

目 次

《履修要項》

2019年度 学年暦	1
滋賀医科大学の理念・目的と使命・教育理念と教育目標	3
医学部看護学科の概要	4
医学部看護学科の三つのポリシー（方針）	6
教育課程（医学部看護学科）	8
国立大学法人滋賀医科大学医学部看護学科授業科目の試験及び進級取扱内規	13
「基礎看護学実習Ⅱ」の履修に関する取扱い	17
医学部看護学科助産師課程の履修に関する申し合わせ	18
滋賀医科大学における他の大学等において修得した単位等の認定に関する取扱要項	19
履修要項	
1. 授業科目の履修と卒業要件単位数	21
2. 履修の手続き	21
3. 単位互換制度	21
4. 既修得単位の認定	21
5. 保健師課程・助産師課程の履修	22
6. 試験	22
7. 成績評価に係る異議申し立て	23
8. GPA制度	23
9. 進級と留年	24
10. 授業の欠席	25
11. 台風等（非常時）における授業、試験の取扱い	25
12. 国家試験の受験資格	26
• 別表 配当授業科目一覧（2019年度入学者）	27
配当授業科目一覧（平成29・30年度入学者）	30
配当授業科目一覧（平成28年度入学者）	32
配当授業科目一覧（平成27年度入学者）	34
配当授業科目一覧（平成24～26年度入学者）	36
2019年度 前期授業時間割	38
2019年度 後期授業時間割	39
2019年度 試験実施計画	40
第3学年編入学生に関する取扱い（平成30年度以降入学者用）	42
• 別表 2019年度 第3学年編入学生用	44
平成30年度 第3学年編入学生用	46

《講義概要》

一般教育科目 I

生 物 学	49
生命活動の物理学	51
生命活動の化学	53
ランダム現象の数理	54
生涯発達論	55
情報科学	57
アカデミック・スキル	60

一般教養科目 II

現代社会と科学	61
社会学	63
医療社会学	64
芸術学	65
歴史学	66
心理学	67
文化人類学	69
スポーツ科学実践	71

人間と環境 I・II

環境論	73
教育学	74
法 学	76
保健医療福祉行政論	78
社会保障	79
国際看護活動論	80

外国語科目

英語 I a	81
英語 I b	83
英語実習 I a	85
英語実習 I b	87
ドイツ語 a	89
ドイツ語 b	91
フランス語 a	93
フランス語 b	95
中国語 a	97
中国語 b	98

人間と人間の関係Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

心 理 学 (第3学年編入学生のみ)	99
家 族 社 会 学	101
哲 学	102
生 涯 発 達 論 (第3学年編入学生のみ)	104
人 間 科 学 総 論	106
地 域 文 化 論	108
英 語 Ⅱ	110
英 語 実 習 Ⅱ	112
保 健 体 育 Ⅰ・Ⅱ	113
臨 床 心 理 学	115
保 健 医 療 情 報 論 Ⅰ	116
保 健 医 療 情 報 論 Ⅱ	117
臨床コミュニケーション学	119

専門基礎科目Ⅰ

解 剖 生 理 学 Ⅰ	121
解 剖 生 理 学 Ⅱ	122
病 理 学	124
感 染 症 学 ・ 免 疫 学	125
医 学 概 論	127

人間の生命活動Ⅰ・Ⅱ

自 然 科 学 総 論	129
看 護 の 生 化 学 ・ 栄 養 学	130
薬 物 動 態 ・ 代 謝	132
診 断 と 治 療 Ⅰ	133
診 断 と 治 療 Ⅱ	134
診 断 と 治 療 Ⅲ	136

専門看護科目Ⅰ・Ⅲ

フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト	139
看 護 学 概 論 Ⅰ	141
看 護 学 概 論 Ⅱ	143
基 礎 看 護 技 術 演 習 Ⅰ	145
基 礎 看 護 技 術 演 習 Ⅱ	147
医 療 の 倫 理 Ⅰ	149

専門看護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

フィジカルアセスメントⅢ	151
看護倫理	153
看護管理論	154
看護過程論Ⅱ	155
看護技術論Ⅲ	157
看護技術論Ⅳ	159
ライフステージと健康Ⅰ	161
ライフステージと健康Ⅱ	162
ライフステージと健康Ⅲ	164
ライフステージと健康Ⅳ	166
ライフステージと健康Ⅴ	168
育成期母性看護学	170
育成期小児看護学	172
成人保健看護学Ⅰ	174
成人保健看護学Ⅱ	176
高齢者看護学	178
精神看護学	181
公衆衛生看護学概論	183
学校保健	185
在宅看護学	186
看護の統合と実践	188
外国文献	189
日本語表現法	190
看護研究方法論	191
看護研究	192

専門看護科目（実習）／専門看護（実習）

人間発達実習	193
基礎看護学実習Ⅰ	196
基礎看護学実習Ⅱ	198
育成期母性看護学実習	199
育成期小児看護学実習	200
成人保健看護学実習	201
高齢者看護学実習Ⅰ	202
高齢者看護学実習Ⅱ	203
精神看護学実習	204
在宅看護学実習	205
統合看護学実習	206

保健師課程

家族看護学	207
公衆衛生看護学方法論Ⅰ	209
公衆衛生看護学方法論Ⅱ	210
公衆衛生看護活動プロセス	211
産業保健	212
公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	213
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	215
地域ケアシステム論	216
公衆衛生看護活動展開論実習	217
地域ケアマネジメント実習	218

助産師課程

助産学概論	219
助産診断・技術学Ⅰ	221
助産診断・技術学Ⅱ	223
ウィメンズヘルス演習	225
周産期病態学Ⅰ	227
周産期病態学Ⅱ	228
助産マネジメント学	230
助産学実習	232
マタニティサイクル支援実習	233
ウィメンズヘルス実習	234

2019年度 学 年 暦 (看護学科)

(前 期)

月	日																															備 考
	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
4月	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
	1		♥					●	●	●	●	●				●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			昭	退	
	2			♥				●	●	●	●	●				●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			和	位	
	3	♥						●	●	●	●	●				●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			の	の	
5月	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	1	即	法	憲	み	こ	振	●	●	●					●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●
	2	位	定	法	ど	ど	替	●	●	●					●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●
	3	の	休	記	り	の	休	●	●	●					●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●
6月	曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
	1			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●				
	2			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●				
	3			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●				

月	日																															備 考
	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
7月	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	1	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			海	月	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	○
	2	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			の	月	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	○
	3	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			月	●	●	●			●	●	●	●	●	●			●	●	○
8月	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	1	○	▲			▲	▲	▲	▲	◇					山	振	◇	◇	◇	◇			◇	◇	◇	◇			◇	◇	◇	◇
	2	○	▲			▲	▲	▲	▲						の	替																
	3	○	▲			▲	▲	▲	▲						日	休																
9月	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
	1	◇	◇	◇	◇	◇			◇	◇	◇	◇	◇			敬	△	△	△	△			秋	◆	◆	◆	◆			◇		
	2	○	○	○	○	●			◎	◎	◎	◎	◎			老	◎	◎	◎	◎			分	△	△	△	△			△		
	3	○	○	○	○	●			★	★	★	★	★			の	★	★	★	★			の	■	■	■	■			■		

(凡例) ●：講義・演習・実習等 ○：補講等 ▲：定期試験 △：再試験 ■：臨地実習
 ◇：人間発達実習 ◆：人間発達実習交流会 ♪：基礎看護学実習Ⅰ ◎：基礎看護学実習Ⅱ ★：高齢者看護学実習Ⅰ ▽：統合看護学実習
 ♥：定期健康診断 助：助産師課程学生が対象であることを示す 保：保健師課程学生が対象であることを示す

(後 期)

月	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備 考	
10月	1	曜		●	●	●			●	●	●	●	●			体	●	●	●			●	即	●	●									10月1日 創立記念日	
	2			●	●	●			●	●	●	●	●			育	●	●	●				●	位	●	●									10月16日 月曜日の時間割で開講する
	3		■	■	■	■			■	■	■	■	■			の	■	■	■				■	の	■	■	■								10月15日～24日 履修確認・変更期間(後期)
	4			●	●	●			●	●	●	●	●			日	●	●	●				●	日	●	●									10月24日 第45回解剖体慰霊式(第1学年(午後の授業は開講))
11月	1	曜	●		文	振	●	●	月	●			●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10月25日～28日 第45回若鮎祭(学園祭)
	2		●		化	替	●	●	月	●			●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11月7日 月曜日の時間割で開講する
	3		■		の	休	■	■	■	■			■	■	■	■						■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	4		●		日	日	●	●	月	●			●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
12月	1	曜		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			♪	♪	♪	♪			●	●										12月14日 推薦入学試験
	2			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●			●	●										12月16日～20日 基礎看護学実習I(第1学年)
	3		■	■	■	■	■			■	■	■	■	■			●	●	●	●	●			●	●										12月16日～24日 助産師課程学生の講義日(第3学年)
	4		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●										●	●	●	●								

月	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備 考		
1月	1	曜	元					●	●	●	●	●				成	●	●	●			●	●	●	●										1月18日・19日 大学入試センター試験 (※1月17日は設営のため休講)	
	2							●	●	●	●	●				人	●	●	●			●	●	●	●											1月24日 卒業論文提出締切(第4学年)
	3							助	助	助	助	助				の	助	助	助			助	助	助	助	助										
	4		日					●	●	●	●	●				日	●	●	●			●	●	●	●											2月上旬 TOEFL ITP(第3学年)
2月	1	曜		●	●	●	●				●	建	○	○	▲			▲	▲	▲	▲			(新)	振				○	○				2月中旬 第109回看護師国家試験 再106回保健師国家試験 第103回助産師国家試験		
	2			●	●	●	●				●	国	○	○	▲			▲	▲	▲	▲			天	替				○	○					2月14日～20日 定期試験期間(第1・2学年)	
	3			●	●	●	●				●	記	●	●	□			□	□	□	□			皇	休				□	□	□	□			2月14日 在宅看護学実習オリエンテーション(第3学年)	
	4											念												生	日										2月17日～28日 在宅看護学実習(第3学年)	
3月	1	曜		△	△	△	△	△															春												2月25日 一般入学試験(前期日程)	
	2			△	△	△	△	△															分													3月上旬 リーダーズ研修【予定】
	3			△	△	△	△	△															の													3月2日～6日 再試験期間(第1～3学年)
	4																						日													3月10日 卒業式 3月16日 助産師課程選抜試験(第2学年)

(凡例) ●: 講義・演習・実習等 ○: 補講等 ▲: 定期試験 △: 再試験 ■: 臨地実習
◇: 人間発達実習 ◆: 人間発達実習交流会 ♪: 基礎看護学実習 I □: 在宅看護学実習
♥: 定期健康診断 助: 助産師課程学生が対象であることを示す 保: 保健師課程学生が対象であることを示す

滋賀医科大学の理念・目的と使命・教育理念と教育目標

理念

滋賀医科大学は、地域の特徴を生かしつつ、特色ある医学・看護学の教育・研究により、信頼される医療人を育成すること、さらに、世界に情報を発信する研究者を養成することにより、人類の健康、医療、福祉の向上と発展に貢献する。

目的と使命

滋賀医科大学は、地域の特徴を生かしつつ、特色ある教育・研究により、信頼される医療人の育成及び世界に情報を発信する研究者を養成することを目的とし、もって人類の健康、医療、福祉の向上と発展に貢献することを使命とする。

(国立大学法人滋賀医科大学学則第1条より抜粋)

教育理念と教育目標

豊かな教養と高い専門的知識及び技能を授けるとともに、確固たる倫理観を備え、科学的探究心を有する医療人及び研究者を養成する。

1. 課題探求、問題解決型学習を通して、適切な判断力と考察する能力を養う。
2. 豊かな教養を身につけ、医療人としての高い倫理観を養う。
3. コミュニケーション能力を持ち、チーム医療を実践する協調性を培う。
4. 参加型臨床（地）実習を通して、基本的な臨床能力を習得する。
5. 国際交流に参加しうる幅広い視野と能力を身につける。

医学部看護学科の概要

教育目標

○ 目指す方向性

看護学科は、看護学を保健・医療・福祉の統合的科学の有機的連携の中に位置づけて、教育と研究を展開し医学科との相互発展を図りながら、学生の人間としての成熟を目指し、看護を実践できる能力の基礎を培う。

○ 目標

看護学に対する社会的なニーズは多様化し、医療看護のみならず、保健・福祉や国際医療活動など様々な分野において、有能な人材が求められている。看護学教育においては、看護ケアの基盤となる知識と基本技術を授け、さらに臨地実習を充実し、社会からの期待に応え、また国際化に対応できる水準を確保する必要がある。

本学科においては、専門知識、技術・判断力、倫理観を授け、看護実践を行い得る総合的能力を養うことを目標とする。また、教育手法については、看護の方法を「知る」ことから、実践的に「使う」能力をいっそう強化する方向へと転換し、卒業時点における実践能力の到達目標を明確にする。

1. 看護の対象となる人間を深く理解し、その人々の信条、人格、権利を尊重し、行動できる豊かな人間性を養う
2. 看護実践のエキスパートを目指して、健康上のニーズに対する人々の反応を診断し、援助するために必要な基本的能力を養う
3. 包括的な保健・医療・福祉の実践における多職種・多機関との連携・協働の必要性を認識し、看護職としての責任を果たす能力を養う
4. 自ら積極的に問題を発見してそれを解決したり、研究する態度を身につけ、将来の教育者、研究者、管理者として成長できる素養を養う
5. 国内外の保健・医療・福祉環境の変化に関心を持ち、看護職の役割を斬新的、創造的に追求していくための基本的な素養を養う。

カリキュラム（平成31（2019）年度入学者以降適用）の特徴

本学では、専門知識、技術・判断力、倫理観を授け、看護実践を行い得る総合的能力を養うことを目標とし、看護師・保健師・助産師の養成を学士課程の中で行ってきたが、文部科学省により平成29年10月に「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」が策定されたことを受けて、より高い専門的技術を持ち、地域における多様な医療・看護のあり方に柔軟に対応できるジェネラリストとしての医療人の育成を目指すとともに、学生の適性や将来のキャリア志向に応じた多様な選択肢を提供する目的から新たに「地域医療実践力育成コース」を開設することとし、平成31（2019）年度からカリキュラムを改正した。

なお、平成31（2019）年度入学者から適用するカリキュラムでは、下記のとおり、授業科目の区分を（1）一般教養科目、（2）外国語科目、（3）専門基礎科目、（4）専門看護科目に整理するとともに、学生の研究、自主学習等の時間を十分に確保するため、卒業要件単位数を従前の127単位から124単位に削減する。

また、地域や産業保健等における多様なニーズに対応する保健師に必要とされる実践的な能力を身につけられるように、新たに産業保健に関する実習施設を追加し、保健師の養成に係る実習の充実を図る。

○ 一般教養科目

近年、ヒト・モノの多様化・国際化が進み、多様な社会的ニーズに対応し、様々な課題を解決する力が

必要になってきている。多文化共生・他文化理解に触れ、多面的な視点から社会を捉えることができる授業科目や少人数ゼミ方式による主体的学習を中心とする授業科目を配置し、科学的な見地を広げるために基盤となる教養科目の充実を図っている。なお、一部の授業科目は医学部医学科と合同で実施する。

○ 外国語科目

英語、ドイツ語、フランス語、中国語の授業科目で構成され、基本的な「読む・書く・話す」能力を習得するだけでなく、言語の背景にある文化を知り、異文化への理解を深めることを目標とする。

また、日常や医療の現場で必要となる英語でのコミュニケーション能力を養うことを目的とした「医療英語」を、臨地実習を履修する第3学年学生に対する後期配当授業科目として新設する。（※実際の開講は、2021年度から。）なお、講義内ではTOEFL-ITP（Level 2）を受験し、さらなる英語力の向上を目指す。

○ 専門基礎科目

基礎医学に関する知識をふまえて看護学の学修が進むように第1学年前期から基礎医学に関する授業科目を配置する。また、将来的には、少子高齢化により地域における看護師・保健師・助産師の活躍の場が増加することが予想されるため、地域に根ざした医療人を育成する観点から地域ケアシステム論、地域保健看護学等の地域看護学関連の授業科目を重点的に配当する。

○ 専門看護科目

1. 保健師課程

地域や産業保健等における多様なニーズに対応する保健師の役割を学び、実践的な能力を修得できるよう、配当する授業科目やその授業内容を見直した。なお、修得単位数は28単位とする。

2. 助産師課程

出生直後の新生児における異常事態への対応や合併症妊娠と新生児疾患について学ぶ授業科目を新設するとともに、地域母子保健に携わる助産師の役割と実践的な技術の修得を目指す授業科目を配当する。なお、修得単位数は35単位とする。

また、保健師課程と助産師課程のどちらにも必要な内容は、保健師課程・助産師課程共通教授科目として分類し配当する。

3. 看護師課程

看護師課程においては、まず基礎看護学の習熟度を高め、基礎看護学実習Ⅰ及び基礎看護学実習Ⅱの到達度の向上を図る。さらに、看護基本技術の習得を目指し、臨地実習前に看護基本技術の到達度の確認を行う授業科目や臨地実習終了後に看護実践能力をより向上させる授業科目を配当する。

また、看護師課程のみの学生を対象に、地域包括ケア時代の地域医療の担い手となる看護職を育てることを目指した「地域医療実践力育成コース」を新たに開設し、地域医療への興味関心を高め、訪問看護ステーションの管理者及び訪問看護師の役割についての理解を深める授業科目を選択科目として新たに配当する。

加えて、第1・2学年における倫理教育として、医療人としての相応しい人間性と今後の能動的な学習の契機を形成する科目である医学部医学科・看護学科合同の授業科目を配当するとともに、第3・4学年においては、医療・看護の臨床現場における倫理観を養う授業科目を配当し、倫理教育を強化する。

○ 看護学教育モデル・コア・カリキュラムへの準拠

医学部看護学科のカリキュラムは、「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」を参考にしており、モデル・コア・カリキュラムに示された教育内容・項目との対応を確認のうえ、それに準拠した授業科目・内容をカリキュラムに配当している。

※【参考1】「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」（文部科学省）

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/078/gaiyou/1397885.htm

医学部看護学科の三つのポリシー（方針）

滋賀医科大学では、その理念・使命に基づき、育成すべき人材像を明確化し、それに必要な教育課程を編成し、体系的・組織的に教育を行うとともに、その教育を受けるに相応しい学生を入学者として選抜することにより、その使命を果たす。

医学部看護学科における、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を以下に示す。

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 豊かな人間性並びに幅広い教養と倫理観にもとづいた専門知識を身につけ、病者や障がい者への看護だけでなく広く人々の健康生活を支援することができる。さらに、国際的見地により健康問題を考えることができる。
2. 十分なコミュニケーション能力や協調性を持ち、患者や医療スタッフと良好な関係を築き、多職種と連携・協働することができる。
3. 自ら積極的に課題を発見し解決する能力や研究する態度など、専門職あるいは将来の研究者としての基本的な研究手法等の素養を身につけている。
4. 人々の健康で文化的な生活を営む権利を保障するために、保健師の社会的意義や活動の可能性を理解し、主体的な公衆衛生看護活動を行うために必要な能力を有する。
5. 助産診断に基づく助産ケアの実践と分娩介助などの周産期医療において助産師に求められる能力を有する。さらに、ウイメンズヘルスを生涯発達として理解し、健康支援の方法が理解できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教養科目と基礎科目の統合を図り、自然環境から社会の仕組みまでを健康との関係で捉え、個としての人間や人間の生命活動の理解を助ける。
2. 専門科目では理論と実践を統合するとともに、附属病院との連携・協力により医療者として必要な知識や倫理観、実践的看護技術を養う。
3. 国内外の保健・医療・福祉環境の変化に関心を持ち、世界的視野にもとづく健康課題を学び、国際的な支援活動のあり方やその方法について理解する。
4. 包括的な保健・医療・福祉の実践並びに多職種との連携・協働に不可欠なコミュニケーション能力を強化する授業科目の開講や医学科との合同授業を行う。
5. 看護研究方法論等を配置し、臨床的知見を踏まえた看護学研究や論文作成の方法を教授するとともに、学会や研究会への参加を促す。
6. 公衆衛生看護活動における地域診断の基本的知識及び住民の健康課題の解決に必要な基本的技術を身につける。
7. 母子保健や女性の健康に関する課題について、助産師に求められる役割と責任を理解し必要な助産診断と助産技術を身につける。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学の理念に基づき、高い教養と高い倫理観を備えた看護職の育成を目指しており、卒業生が看護師、保健師、助産師として地域に貢献し、また看護職者としてのスペシャリストや管理職、教育者・研究者として活躍できることを目標としている。そのため、看護職に必要な学識・能力・技能を習得する素養を持ち、看護学の修得に真摯に、また熱意を持って取り組む、次のような人材を求めている。

○ 求める学生像

1. 看護学の修得に必要な基礎学力を持っている者
2. 十分なコミュニケーション能力を持ち、協調性や他者への思いやりのある者
3. 能動的学習や生涯学習ができる者
4. 地域の保健・医療・福祉に理解を示す者

○ 入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、一般入試、推薦入試、第3年次編入学試験を行っている。

1. 一般入試（前期日程）

大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書を総合して選抜を行う。大学入試センター試験による学力評価に加え、個別学力検査では、「小論文」で理解力、思考力及び表現力など理論的に判断・推理を重ねて対象をとらえる力を測り、面接及び調査書では論理性、協調性、コミュニケーション能力等を評価する。

2. 推薦入試

学校長の推薦書、調査書、志願理由書並びに大学入試センター試験、面接を総合して選抜を行う。大学入試センター試験による学力評価に加え、志願理由書などの提出書類や面接で学習の到達度や高等学校在学中の様々な活動実績、志望の意欲や明確さ等を評価する。

3. 第3年次編入学試験

出願書類、学力検査及び面接の結果を総合して選抜を行う。看護師養成所までの学習の到達度を専門科目と外国語（英語）の学力検査により評価し、協調性、創造性等を評価する面接と併せて、学力や資質を総合的に評価する。

教育課程（平成31（2019）年度入学者用）

第 1 学 年			第 2 学 年			第 3 学 年			第 4 学 年		
前 期		後 期	前 期		後 期	前 期		後 期	前 期		後 期
生物学	アカデミック・スキル		臨床心理学		★地域論	看護倫理	看護管理論		医療英語	母性看護学実習	法医看護学
生命活動の物理学	医療社会学		★教育学		病態生理学特論	成人保健看護学演習Ⅰ		母性看護学実習	地域医療展開論*1		看護統合実践特論
生命活動の化学	心理学		★法学		社会福祉・社会保障論	成人保健看護学演習Ⅱ			地域医療展開論演習	小児保健看護学実習	
ランダム現象の数理	スポーツ科学実践		家族社会学		地域保健看護学	地域ケアシステム論	成人保健看護学演習Ⅱ				
生涯発達論	英語Ⅰb		哲学		疫学						
情報科学	英語実習Ⅰb		★地域文化論		環境保健学*1		老年保健看護学演習	小児保健看護学実習	公衆衛生看護学演習*1	成人保健看護学実習Ⅰ	
★現代社会と科学	ドイツ語b		運動科学実践		看護過程演習Ⅱ						
社会学	フランス語b		★基礎科学研究		成人保健看護学各論		小児保健看護学演習				
★芸術学	中国語b				老年保健看護学各論	小児保健看護学各論					
★歴史学	解剖生理学Ⅱ		★人間科学研究		母性看護学演習		精神保健看護学演習	成人保健看護学実習Ⅰ	助産診断・技術学Ⅰ*2	成人保健看護学実習Ⅱ	
★文化人類学					在宅看護学概論		在宅看護学各論		在宅看護学演習	健康教育演習*3	老年保健看護学実習Ⅱ
英語Ⅰa	病理学	感染症学・免疫学	生化学・栄養学		精神保健看護学各論						
英語実習Ⅰa	フィジカルアセスメント		薬物治療学		在宅看護学概論	在宅看護学各論					
ドイツ語a	看護学概論Ⅱ		診断と治療Ⅰ		看護学研究方法論		看護実践特別演習	成人保健看護学実習Ⅱ		精神保健看護学実習	
フランス語a	基礎看護技術演習Ⅱ						公衆衛生看護学活動Ⅰ				
中国語a	★医療の倫理Ⅰ		診断と治療Ⅱ		公衆衛生看護学活動Ⅱ*1	公衆衛生看護学活動Ⅲ*1	成人保健看護学実習Ⅱ		在宅看護学実習		
解剖生理学Ⅰ	★医学概論		保健医療行政論		助産学概論*2	新生児学*2	老年保健看護学実習Ⅰ				
看護学概論Ⅰ			保健統計学		周産期病態学Ⅰ*2	周産期病態学Ⅱ*2	老年保健看護学実習Ⅱ	統合看護学実習			
基礎看護技術演習Ⅰ			看護課程演習Ⅰ				精神保健看護学実習	地域医療展開論実習Ⅱ			
			基礎看護技術演習Ⅲ				看護学研究 国際看護実践				
			成人保健看護学概論				在宅看護学実習	公衆衛生看護学実習Ⅰ*1	公衆衛生看護学実習Ⅱ*1		
			老年保健看護学概論	小児保健看護学概論			地域医療展開論実習Ⅰ				
			ウイメンズヘルス学	母性看護学概論				助産診断・技術学Ⅱ*2			
			精神保健看護学概論					助産学実習Ⅰ*2			
			★医療の倫理Ⅱ					マタニティサイクル支援実習Ⅰ*2			
★人間発達実習	★基礎看護学実習Ⅰ		基礎看護学実習Ⅱ				ウィメンズヘルス実習*2				

- 【備考】 1. ■印は、自習、実習準備、補講及び課外活動等に充当する時間を示す。
 2. ★印は、医学科との合同授業科目である。
 3. *1は、保健師課程を選択した学生対象の授業科目
 4. *2は、助産師課程を選択した学生対象の授業科目
 5. *3は、保健師課程を選択した学生と助産師課程を選択した学生対象の授業科目

教育課程（平成28年度入学者用）

第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年			第 4 学 年	
前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	(1~2月)	前 期	後 期
社会学	医療社会学	★法学	社会保障	宗教学 (宗教学I)	☆人間科学総論		実習 育成期母性看護学実習 (2単位 90H)	国際看護活動論
環境論	生涯発達論	★教育学	英語 II	臨床コミュニケーション学	看護の統合と実践	宗教学 (宗教学II)		
英語 I a	英語 I b	保健医療情報論 I	保健医療情報論 II	英語実習 II	日本語表現法	看護管理論	実習 育成期小児看護学実習 (2単位 90H)	実習 成人保健看護学実習 (6単位 270H)
英語実習 I a	英語実習 I b	保健医療福祉行政論	診断と治療 I	☆★地域文化論	※家族看護学	高年齢者看護学実習 II (2単位 90H)		
ドイツ語 a	ドイツ語 b	臨床心理学	診断と治療 II	☆自然科学総論	※公衆衛生看護学方法論 II	精神看護学実習 (2単位 90H)	在宅看護学実習 (2単位 90H)	看護研究 外国文献
フランス語 a	フランス語 b	哲学	看護倫理	看護技術論 IV	※公衆衛生看護学方法論 I	統合格看護学実習 集中 90H		
中国語 a	中国語 b	家族社会学	診断と治療 III	育成期小児看護学	※公衆衛生看護学活動プロセス	精神看護学実習 (2単位 90H)	看護研究 外国文献	実習 育成期母性看護学 (2単位 90H)
保健体育 I	保健体育 II	看護の生化学・栄養学	看護技術論 IV	高年齢者看護学	※産業保健	在宅看護学実習 (2単位 90H)		
★現代社会と科学	人体の構造と生理機能	フィジカルアセスメント III	ライフステージと健康 V	成人保健看護学 I	※助産診断・技術学 I	在宅看護学実習 (2単位 90H)	看護研究 外国文献	実習 成人保健看護学 (2単位 90H)
★芸術学	からだの防御の仕組み	看護過程論 II	育成期母性看護学	成人保健看護学 II	※※ウィメンズヘルス演習	精神看護学		
★歴史学	病気の成り立ち	看護技術論 III	公衆衛生看護学概論	成人保健看護学 II	※※助産マネジメント学	在宅看護学	看護研究 外国文献	実習 成人保健看護学 (2単位 90H)
心理学	フィジカルアセスメント I	ライフステージと健康 I	看護研究 方法論	精神看護学	学校保健	在宅看護学		
情報科学	フィジカルアセスメント II	ライフステージと健康 II	※地域ケアシステム論	在宅看護学	※公衆衛生看護学方法論 I	在宅看護学	看護研究 外国文献	実習 成人保健看護学 (2単位 90H)
★文化人類学	看護理論	ライフステージと健康 III	※公衆衛生看護学活動展開論 I	在宅看護学	※公衆衛生看護学活動展開論 II	在宅看護学		
生物学	看護過程論 I	ライフステージと健康 IV	※※公衆衛生看護学概論	在宅看護学	※助産学概論	在宅看護学	看護研究 外国文献	実習 成人保健看護学 (2単位 90H)
生命活動の物理学	看護技術論 II	看護技術論 II	※公衆衛生看護学活動展開論 II	在宅看護学	※※助産学実習 I	在宅看護学		
生命活動の化学	看護技術論 II	看護技術論 II	※※助産学実習 II	在宅看護学	※※助産学実習 II	在宅看護学	看護研究 外国文献	実習 成人保健看護学 (2単位 90H)
ランダム現象の数理	看護技術論 II	看護技術論 II	※※助産学実習 II	在宅看護学	※※助産学実習 II	在宅看護学		
★医学・生命科学入門	精神保健	看護技術論 II	看護技術論 II	在宅看護学	※※助産学実習 II	在宅看護学	看護研究 外国文献	実習 成人保健看護学 (2単位 90H)
看護技術論 I	看護技術論 II	看護技術論 II	看護技術論 II	在宅看護学	※※助産学実習 II	在宅看護学		
★看護学原論	看護技術論 II	看護技術論 II	看護技術論 II	在宅看護学	※※助産学実習 II	在宅看護学	看護研究 外国文献	実習 成人保健看護学 (2単位 90H)
看護技術論 I	看護技術論 II	看護技術論 II	看護技術論 II	在宅看護学	※※助産学実習 II	在宅看護学		
★基礎看護学実習 I 集中 45H	基礎看護学実習 II 集中 90H	基礎看護学実習 II 集中 90H	基礎看護学実習 II 集中 90H	高年齢者看護学実習 I 集中 90H	高年齢者看護学実習 I 集中 90H	高年齢者看護学実習 I 集中 90H	看護研究 外国文献	実習 成人保健看護学 (2単位 90H)
★基礎看護学実習 I 集中 45H	基礎看護学実習 II 集中 90H	基礎看護学実習 II 集中 90H	基礎看護学実習 II 集中 90H	高年齢者看護学実習 I 集中 90H	高年齢者看護学実習 I 集中 90H	高年齢者看護学実習 I 集中 90H		

- 【備考】 1. ■印は、自習、実習準備、補講及び課外活動等に充当する時間を示す。
 2. ★印は、医学科との合同授業科目である。
 3. ☆印は、編入学生用授業科目である。
 4. ※印は、保健師課程の授業科目
 5. ※※印は、助産師課程の授業科目
 6. ※※※印は、保健師課程と助産師課程の授業科目

教育課程（平成27年度入学者用）

第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年			第 4 学 年	
前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	(1~2月)	前 期	後 期
社会学	医療社会学	★法学	社会保障	宗教学 (宗教学Ⅰ)		☆人間科学総論		国際看護活動論
環境論	生涯発達論	★教育学	英語Ⅱ	臨床コミュニケーション学		看護の統合と実践		宗教学 (宗教学Ⅱ)
英語Ⅰa	英語Ⅰb	保健医療情報Ⅰ	保健医療情報Ⅱ	英語実習Ⅱ		日本語表現法	実習	看護管理論
英語実習Ⅰa	英語実習Ⅰb	保健医療福祉行政論	診断と治療Ⅰ	☆★地域文化論		※家族看護学	育成期母性看護学実習 (2単位 90H)	
ドイツ語a	ドイツ語b	臨床心理学	診断と治療Ⅱ	☆自然科学総論		※公衆衛生看護学方法論Ⅱ	育成期小児看護学実習 (2単位 90H)	
フランス語a	フランス語b	哲学	看護倫理			※公衆衛生看護学活動プロセス	成人保健看護学実習 (6単位 270H)	
中国語a	中国語b	家族社会学	診断と治療Ⅲ	育成期小児看護学		※産業保健	高齢者看護学実習Ⅱ (2単位 90H)	
保健体育Ⅰ	保健体育Ⅱ	看護の生化学・栄養学	看護技術論Ⅳ	高齢者看護学		※助産診断・技術学Ⅰ	在宅看護学実習 (2単位 90H)	
★現代社会と科学	人体の構造と生理機能	フィジカルアセスメントⅢ	ライフステージと健康Ⅴ			※※ウィメンズヘルス演習	精神看護学実習 (2単位 90H)	
★芸術学		ライフステージと健康Ⅰ	育成期母性看護学	成人保健看護学Ⅰ		※助産マネジメント学	統合看護学実習 集中 90H	
★歴史学	からだの防御の仕組み	看護過程論Ⅱ		成人保健看護学Ⅱ				
心理学	病気の成り立ち	看護技術論Ⅲ		精神看護学				
情報科学	フィジカルアセスメントⅠ	ライフステージと健康Ⅱ		在宅看護学				
★文化人類学		ライフステージと健康Ⅲ		看護研究 学校保健				
生物学	フィジカルアセスメントⅡ	ライフステージと健康Ⅳ		※公衆衛生看護学概論	※地域ケアシステム論			
生命活動の物理学	看護理論	看護過程論Ⅰ		※公衆衛生看護学方法論Ⅰ				
生命活動の化学	看護技術論Ⅱ			※※公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ				
ランダム現象の数理				※公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ				
★医学・生命科学入門	精神保健			※※助産学概論				
看護技術論Ⅰ				※※助産学				
★看護学原論				※※周産期病態学Ⅰ	※※周産期病態学Ⅱ			
				高齢者看護学実習Ⅰ 集中 90H				
★基礎看護学実習Ⅰ 集中 45H		基礎看護学実習Ⅱ 集中 90H						
							看護研究	
							外国文献	
							※公衆衛生看護学活動展開論実習 (180H)	
							※地域ケアマネジメント実習 (45H)	
							※学校保健実習 (90H)	
							※助産診断・技術学Ⅱ	
							※助産学実習 (360H)	
							※※ウィメンズヘルス実習 (45H)	
							※マタニティサイクル支援実習 (90H)	

- 【備考】 1. ■印は、自習、実習準備、補講及び課外活動等に充当する時間を示す。
 2. ★印は、医学科との合同授業科目である。
 3. ☆印は、編入学生用授業科目である。
 4. ※印は、保健師課程の授業科目
 5. ※※印は、助産師課程の授業科目
 6. ※※※印は、保健師課程と助産師課程の授業科目

教育課程（平成24年度以降入学者用）

第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年			第 4 学 年	
前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	(1~2月)	前 期	後 期
社会学	医療社会学	★法学	社会保障	宗教学 (宗教学I)		☆人間科学総論		国際看護活動論
環境論	生涯発達論	★教育学	英語 II	臨床コミュニ ケーション学		看護の統 合と実践		宗教学 (宗教学II)
英語 I a	英語 I b	保健医療情報論 I	保健医療情報論 II	英語実習 II		日本語 表現法	実習	看護 管理論
英語実習 I a	英語実習 I b	保健医療福祉 行政論	診断と 治療 I	☆★地域文化論		*** 助産診 断・技術 学 I	育成期母性 看護学実習 (2単位 90H)	学校保健
ドイツ語 a	ドイツ語 b	臨床心理学	診断と治療 II	☆自然科学総論			育成期小児 看護学実習 (2単位 90H)	※産業 保健
フランス語 a	フランス語 b	哲学		看護倫理			成人保健看護学 実習 (6単位 270H)	
中国語 a	中国語 b	家族 社会学	診断と治療 III	育成期小児看護学		*** ウイメ ンズヘル ス演習	高年齢看護学 実習 II (2単位 90H)	
保健体育 I	保健体育 II	看護の生化学・ 栄養学	看護技術論 IV	高齢者看護学		*** 助産マ ネジメント学	精神看護学 実習 (2単位 90H)	
★現代社会と科学	人体の構造と 生理機能	フィジカル アセスメント III	ライフステー ジと健康 V	成人保健看護学 I			在宅看護学実習 (2単位 90H)	
★芸術学			育成期母性 看護学	成人保健看護学 II			統合看護学実習 集中 90H	
★歴史学	からだの防御の 仕組み	看護過程論 II		精神看護学				看護研究
心理学	病気の成り立ち	看護技術論 III		在宅看護学			外国文献	
情報科学	フィジカル アセスメント I	ライフステー ジと健康 I		看護研究 方法論			※公衆衛生看護 活動展開論実習 (180H)	
★文化人類学		ライフステー ジと健康 II		※公衆衛生 看護学概論	※地域ケア システム論		※地域ケアマネ ジメント実習 (45H)	
生物学	フィジカル アセスメント II	ライフステー ジと健康 III		※家族看護学			※学校保健実習 (90H)	
生命活動の 物理学	看護理論	ライフステー ジと健康 IV		※公衆衛生看護学 方法論 I			※助産学実習 (360H)	
生命活動の化学	看護過程論 I			※公衆衛生看護学 方法論 II			※ウイメ ンズ ヘルス実習 (45H)	
ランダム現象の 数理	看護技術論 II			※公衆衛生看護 活動プロセス			*** マタニティサイ クル支援実習 (90H)	
★医学・生命科学 入門	精神保健			*** 公衆衛生 看護活動展開論 I				
看護技術論 I				※公衆衛生看護 活動展開論 II				
★看護学原論				*** 助産 学概論				
				*** 周産期 病態学 I	*** 周産期 病態学 II			
				高齢者看護学 実習 I 集中 90H				
★基礎看護学実習 I 集中 45H		基礎看護学実習 II 集中 90H						

- 【備考】 1. ■印は、自習、実習準備、補講及び課外活動等に充当する時間を示す。
 2. ★印は、医学科との合同授業科目である。
 3. ☆印は、編入学生用授業科目である。
 4. ※印は、保健師課程の授業科目
 5. ***印は、助産師課程の授業科目
 6. ****印は、保健師課程と助産師課程の授業科目

国立大学法人滋賀医科大学医学部看護学科授業科目の試験及び進級取扱内規

平成16年4月1日 制定

平成31年4月1日 改正

(趣 旨)

第1条 滋賀医科大学の試験及び進級等の取り扱いは、滋賀医科大学学則（以下「学則」という。）に定めるもののほか、この内規による。

(試 験)

第2条 学則第37条に基づく試験は、定期試験、追試験、及び再試験とする。

- 2 前項に規定する試験のほか、担当教員は中間試験を随時行うことができる。
- 3 病気その他やむを得ない理由により試験を欠席した者は、学長に医師の診断書又は事由書を付して、特別の理由がない限り該当する試験の実施日から1週間以内に「追試験願」を提出しなければならない。
- 4 第1項に規定する追試験は、定期試験又は再試験に欠席した者で、前項に規定する願出により、正当な理由と認められた者に対して行う。
- 5 第1項に規定する再試験は、定期試験又は定期試験の追試験において不合格となった者に対して行う。
- 6 病気等により、一度も受験の機会を持ち得なかった者で、担当教員の申出により学部教育部門の議を経た場合は、1回に限り受験の機会を与えることができる。

(再試験の回数)

第3条 同一授業科目における再試験の受験回数は、1回限りとする。また、再試験の追試験受験回数についても1回限りとし、再試験を実施する科目については、当該年度ごとに通知する。

(受験資格)

第4条 各授業科目について所定の期間履修した者は、その科目の試験を受けることができる。ただし、各担当教員の定める時間数以上出席しなかった者は、当該科目の試験を受けることができない。

また、出席時間数不足により試験を受けることができなかった者は、当該科目を次年度に再履修しなければその科目の試験を受けることができない。

- 2 2人以上の教員が担当する授業科目の受験資格については、担当教員の合議によるものとする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、特別の理由により所定の出席時間数に達しない者で、当該科目の担当教員がその理由を認め、かつ学部教育部門の議を経た場合には、この限りでない。

(成績の評価)

第5条 試験等による学業成績の評価は、秀（90点～100点）、優（80点～89点）、良（70点～79点）、可（60点～69点）及び不可（60点未満）の5種の評語をもって表わし、秀、優、良、可を合格とし不可を不合格とする。

- 2 第1項に規定する5種の評語に基づき成績評価値の平均値、GPA（Grade Point Average）を算出する。その取扱いについて必要な事項は、別に定める。
- 3 第2条第3項に規定する届出を怠り、試験に欠席した者の場合は、当該試験を不合格とする。
- 4 2学年にわたって履修する科目（実習は除く）の学年ごとの評価は、合格又は不合格とする。
- 5 第1項の規定にかかわらず、特定の授業科目の評価は、合格又は不合格とする。特定の授業科目の決

定は、学部教育部門が行う。

第6条 第2条第1項及び前条に規定する試験及び成績の評価は、各科目担当教員の責任において行う。

2 2人以上の教員が担当する授業科目の成績の評価は、各担当教員の合議によるものとする。

3 前2項の規定にかかわらず教授を欠く科目の試験及び成績の評価担当者は、教授会の議を経て学長が定める。

第7条 各担当教員の定める時間数以上出席しなかった者には、当該科目の単位修得を認めない。

第8条 学生は、開示された成績の評価について異議があるときは、学部教育部門長に異議を申し立てることができる。その取扱いについて必要な事項は、別に定める。

(留年)

第9条 第1学年の学年末までに、専門看護科目以外の所定の科目及び必要単位数並びに専門看護科目における第1学年配当の授業科目(別表)をすべて修了するか合格しなければ第2学年への進級を認めない。

2 第2学年の学年末までに、専門看護科目以外の所定の科目及び必要単位数並びに専門看護科目における第2学年配当の授業科目(別表)をすべて修了しなければ第3学年への進級を認めない。

3 第3年次編入学生を除き、第3学年前期配当の専門看護科目における授業科目(別表)のうち看護管理理論を除く必修科目すべてを修了しなければ、後期配当の実習を履修することができない。

4 第3学年の学年末までに、専門看護科目以外の所定の科目及び必要単位数並びに専門看護科目における第3学年配当の授業科目(別表)のうち、実習を除く必修科目をすべて修了しなければ第4学年への進級を認めない。

5 第4学年の学年末において、所定の科目及び必要単位数並びに専門看護科目の所定の科目すべてに合格しなければ、修了を認めない。

6 第1項、第2項、第3項、第4項及び第5項で留年になった者は、不合格となった授業科目について、次年度に担当教員の指示により、再履修しなければならない。

7 第8条やその他特別な事情により、学生に開示された成績の評価を訂正したことにともない、進級判定もしくは卒業判定の結果を訂正する必要があるときは、教授会の議を経て学長が訂正後の結果を認定する。

第10条 すでに修得又は修了が認定された授業科目の再聴講を希望する者は、当該科目担当教員に聴講願を提出して、許可をえうえて講義を聴講することができる。

(不正行為)

第11条 試験に際し、自己又は他人のために不正行為を行った者に対しては、不正行為の内容、程度に応じて嚴重に処分する。

2 試験に際し、不正行為を行った者に対しては、当該試験科目を不合格とする。

3 不正行為の内容が悪質なときは、学期又は学年の試験をすべて無効とすることがある。

4 不正行為の内容が著しく悪質であると認められるときは、学則第52条により処分することがある。

(雑則)

第12条 この内規に定めるもののほか、この内規の実施に関し必要な事項は、学部教育部門の議を経て学長が定める。

附 則

この内規は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学者（3年次編入学生については平成18年度入学者）から適用する。ただし、平成15年度以前の入学者（3年次編入学生については、平成17年度以前入学者）については、なお従前の例による。

附 則

この内規は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学者（3年次編入学生については平成19年度入学者）及び平成16年度入学者（3年次編入学生については平成18年度入学者）から適用する。ただし、平成15年度以前の入学者（3年次編入学生については、平成17年度以前入学者）については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この内規は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、改正後の第8条別表については、平成17年度入学者（3年次編入学生については平成19年度入学者）から適用する。ただし、平成16年度以前の入学者（3年次編入学生については、平成18年度以前入学者）については、なお従前の例による。

附 則

この内規は、平成19年4月1日から施行し、平成19年度入学者から適用する。ただし、平成18年度以前の入学者については、なお、従前の例による。

附 則

この内規は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度入学者（3年次編入学生については平成23年度入学者）から適用する。ただし、平成20年度以前の入学者（3年次編入学生については、平成22年度以前の入学者）については、なお、従前の例による。

附 則

この内規は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から施行し、平成24年度入学者（3年次編入学生については平成26年度入学者）から適用する。ただし、平成23年度以前の入学者（3年次編入学生については、平成25年度以前の入学者）については、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この内規は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学者（3年次編入学生については平成29年度入学者）から適用する。
- 2 平成26年度以前の入学者（3年次編入学生については平成28年度以前の入学者）については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者（3年次編入学生については平成30年度入学者）から適用する。
- 2 平成27年度以前の入学者（3年次編入学生については平成29年度以前の入学者）については、なお従前の例による。ただし、第5条第2項、第8条及び第9条第7項については、平成28年4月1日に在籍する者から適用する。

附 則

- 1 この内規は、平成31年4月1日から施行し、平成31（2019）年度入学者（第3年次編入学生については2021年度入学者）から適用する。
- 2 平成30年度以前の入学者（第3年次編入学生については2020年度以前の入学者）については、なお従前の例による。ただし、第2条第3項については、平成31年4月1日に在籍する者から適用する。

(別 表)

専門看護科目 学年別授業科目表

第1学年担当授業科目

(前期) 看護学概論Ⅰ, 基礎看護技術演習Ⅰ, 人間発達実習

(後期) フィジカルアセスメント, 看護学概論Ⅱ, 基礎看護技術演習Ⅱ, 医療の倫理Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅰ

第2学年担当授業科目

(前期) 看護過程演習Ⅰ, 基礎看護技術演習Ⅲ, 成人保健看護学概論, 老年保健看護学概論, 小児保健看護学概論, ウィメンズヘルス学, 母性看護学概論, 精神保健看護学概論, 医療の倫理Ⅱ, 基礎看護学実習Ⅱ

(後期) 看護過程演習Ⅱ, 成人保健看護学各論, 老年保健看護学各論, 小児保健看護学各論, 母性看護学演習, 精神保健看護学各論, 在宅看護学概論, 在宅看護学各論, 看護学研究方法論

第3学年担当授業科目

(前期) 看護倫理, 看護管理論, 成人保健看護学演習Ⅰ, 成人保健看護学演習Ⅱ, 老年保健看護学演習, 小児保健看護学演習, 精神保健看護学演習, 在宅看護学演習, 看護実践特別演習

(後期) 地域医療展開論, 地域医療展開論演習, 母性看護学実習, 小児保健看護学実習, 成人保健看護学実習Ⅰ, 成人保健看護学実習Ⅱ, 老年保健看護学実習Ⅰ, 老年保健看護学実習Ⅱ, 精神保健看護学実習, 在宅看護学実習, 地域医療展開論実習Ⅰ

第4学年担当授業科目

(前期) 母性看護学実習, 小児保健看護学実習, 成人保健看護学実習Ⅰ, 成人保健看護学実習Ⅱ, 老年保健看護学実習Ⅰ, 老年保健看護学実習Ⅱ, 精神保健看護学実習, 在宅看護学実習, 統合看護学実習, 地域医療展開論実習Ⅱ

(後期) 法医学看護学, 看護統合実践特論

(通年) 看護学研究, 国際看護実践

「基礎看護学実習Ⅱ」の履修に関する取扱い

平成28年4月1日 制定

平成31年4月1日 改正

看護学科第2学年における「基礎看護学実習Ⅱ」の履修については、以下のとおりとする。

- 1 平成28年度以降入学者は第2学年前期担当授業科目「看護過程論Ⅱ」の単位を修得できなかった場合、その後の第2学年担当授業科目「基礎看護学実習Ⅱ」の履修を認めない。
- 2 平成31年度以降入学者は第2学年前期担当授業科目「看護過程演習Ⅰ」の単位を修得できなかった場合、その後の第2学年担当授業科目「基礎看護学実習Ⅱ」の履修を認めない。

附 則

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
 - 2 平成27年度以前の入学者については、なお従前の例による。
-
- 1 この内規は、平成31年4月1日から施行し、平成31年度入学者から適用する。
 - 2 平成27年度以前の入学者については、なお従前の例による。

医学部看護学科助産師課程の履修に関する申し合わせ

平成28年4月1日 制定

滋賀医科大学における医学部看護学科助産師課程の履修については、以下のとおりとする。

1. 第3学年の進級判定において第4学年への進級が認められなかった場合、助産師課程の履修の継続を認めない。
2. 第3学年配当助産師課程授業科目を第3学年末までに修得できなかった場合、助産師課程の履修の継続を認めない。
3. 第4学年前期配当授業科目「助産診断・技術学Ⅱ」の単位を修得できなかった場合、助産師課程の履修の継続を認めない。

附 則

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行し、平成26年度入学者（3年次編入学生については平成28年度入学者）から適用する。
- 2 平成25年度以前の入学者（3年次編入学生については平成27年度以前の入学者）については、なお従前の例による。

滋賀医科大学における他の大学等において修得した 単位等の認定に関する取扱要項

平成16年4月1日 制定

平成28年4月1日 改正

(趣 旨)

第1 この要項は、滋賀医科大学学則第40条、第41条及び第42条の規定に基づき、他の大学、短期大学又は大学以外の教育施設等（以下「他の大学等」という。）において修得した単位等の認定に関し、必要な事項を定めるものとする。

(単位等の認定の対象とする他の大学等における修得単位等)

第2 他の大学等において修得した単位等は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 大学又は短期大学において修得した単位
- (2) 放送大学において修得した単位
- (3) 短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修
- (4) 高等専門学校の課程における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- (5) 専修学校の専門課程のうち修業年限が2年以上のものにおける学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- (6) 実用英語技能検定1級（財団法人日本英語検定協会認定）及びそれと同等と認めるもの
- (7) 本学が適当と認めた研究所、病院等における実習

2 前項に定める単位等については、申請年度の前5年間に修得した単位等に限り、認定を受ける単位等1科目に対し申請する科目は3科目までとする。

(事前申請)

第3 他の大学等において、授業科目を履修又は学修しようとする者は、別記様式1又は別記様式2による履修申請書又は学修申請書に必要書類を添え、事前に授業担当教員の了解を得て学長に申請するものとする。

(申 請)

第4 他の大学等における単位認定を受けようとする者は、所定の期日までに、別記様式3又は別記様式4による単位認定申請書に必要書類を添え、学長に申請するものとする。

2 前項の申請において認定を希望できる単位は、5科目10単位までとする。

(単位認定)

第5 医学科における、基礎学課程の総合生命科学における専門科目及び専門課程に配当の授業科目については、他の大学等で修得した単位は認定しない。

2 他の大学等において修得した単位認定については、5科目10単位までとする。

3 医学・生物学を含む自然科学については、学問の進展と修学年度を考慮した上で、単位の認定を行うものとする。

4 英語関連科目については、原則として、実用英語技能検定1級である者並びにTOEFL又はTOEICにおいて高得点の成績を修めた者について、担当教員が面接を行い妥当と認められた者に単位を認定するものとする。

5 単位認定は、当該授業科目の関係教員の判定に基づき、学部教育部門及び教授会の議を経て学長が行う。
(申請者への通知)

第6 学長は、単位認定の結果を、別紙様式5による単位認定通知書により、申請者に通知するものとする。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成17年6月8日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。

履修要項

1. 授業科目の履修と卒業要件単位数

○ 授業科目の履修

入学年度の区分ごとに別表に示す、授業科目並びにその単位数、時間数及び必修・選択の別を確認し、在籍する学年に配当される授業科目を履修してください。なお、別表に示す授業科目以外に、放送大学及び環びわ湖大学・地域コンソーシアム開設の単位互換対象授業科目（別途通知）を選択し履修することもできます。

○ 卒業要件単位数

入学年度の区分ごとに別表に示す、各授業科目の区分ごとに定められた卒業要件単位数を確認し、必要な単位数を修得してください。

2. 履修の手続き

1. 授業時間割により履修計画を立て、年度ごとに別に定められた履修登録期間（別途通知）内に、学内に設置されているパソコンから登録してください。登録されていない授業科目は履修できません。
2. 学生課学部教育支援係で履修登録の内容を整理・確定させた後、各年度の学期ごとに別に定められた履修確認・変更期間（別途通知）内に、履修登録の結果を確認してください。
3. 履修登録した授業科目について、諸般の事情により履修登録を変更する必要があるときは、履修確認・変更期間内に限り、履修を変更することができます。ただし、単位互換制度により履修登録した授業科目については、履修を変更することはできません。
4. 履修登録後、授業科目によっては履修制限をすることがあります。
5. 必修科目については、学生課学部教育支援係で一括して履修登録します。

3. 単位互換制度

本学と単位互換協定を締結した大学（放送大学、環びわ湖大学・地域コンソーシアム）において、この制度により修得した単位は、本学の単位として認定されます。

ただし、卒業に必要な単位として認定される単位は2科目4単位までとしていますので、別途通知される要項を熟読してください。

4. 既修得単位等の認定

本学では学則第40条、第41条及び第42条により、他の大学、短期大学又は大学以外の教育施設において修得した単位等を卒業に必要な単位として認定できる制度があります。詳細については別途通知しますので、予め申請に必要な次の書類を用意しておいてください。

- ・単位等を修得したことがわかる成績証明書等
- ・単位等を修得した授業科目等の講義概要等

ただし、卒業に必要な単位として認定される単位は5科目10単位までとしていますので、「滋賀医科大学における他の大学等において修得した単位等の認定に関する取扱要項」（p.19掲載）を熟読してください。

5. 保健師課程・助産師課程の履修

保健師課程と助産師課程は、第3学年の履修希望者に対しそれぞれ選抜を行い、合格した者のみが履修することを認められます。

履修を認められた場合は、卒業要件単位数のほか追加科目として、入学年度の区分ごとに別表に示す、保健師課程又は助産師課程の授業科目を履修し、それぞれの課程の修了要件単位数を修得してください。なお、保健師課程と助産師課程の両方を履修することはできません。

6. 試験

○ 成績評価の基準

各授業科目の単位は、実習・実技科目を除き、主として試験の成績により与えられ、次の5種の評語により表わし可以上を合格とします。

秀 (90～100点)、優 (80～89点)、良 (70～79点)、可 (60～69点)、不可 (60点未満)

○ 受験上の注意

1. 試験日程で試験科目が重複する者は、学生課学部教育支援係へ申し出てください。
2. 試験の欠席については、やむを得ない場合を除き、必ず学生課学部教育支援係 (077-548-2068・2069・2065) へ連絡してください。
3. 試験開始20分以後の遅刻者は、試験室への入室を許可しません。
4. 試験開始20分以上経過するまでは、試験室からの退室を許可しません。
5. 試験室では、各自の指定された席についてください。
6. 特に持ち込みを許可された場合を除き、筆記用具以外のものを机上においてはいけません。
7. 万一不正行為があれば、学則第52条並びに医学部看護学科授業科目の試験及び進級取扱内規第11条に基づき厳重に処分します。
8. 定期健康診断を受けなかった者は、学生健康診断規程第7条の規定に基づき、その年度の試験を受けることができません。

医学部看護学科授業科目の試験及び進級取扱内規第11条に掲げる「不正行為」事項

- ① 試験監督者の指示に従わないこと。
- ② カンニング (カンニングペーパー・許可された以外の参考書・他の学生の答案等を見ること。) をすること。
- ③ 許可された物以外を使用して問題を解くこと。
- ④ 携帯電話を身に付けることや、監督者が認めた物以外の物品を机上又は机中に置くこと。
- ⑤ 試験中に監督者の許可なく解答用紙のほか物品・ノート等を貸借すること。
- ⑥ 机上等への書込みを行うこと。
- ⑦ 身代わり受験を行うことや、他の学生に答えを教えること。
- ⑧ 他の学生の迷惑となる行為をすること。
- ⑨ その他、試験の公平性を損なう可能性のある行為をすること。

○ 追試験及び再試験

1. 追試験は、定期試験に欠席した者で、その理由が正当と認められた者に対して行います。
2. 追試験を受けようとする者は、医師の診断書又は事由書を付して、特別の理由がない限り**該当する試験の実施日から1週間以内に追試験願を学生課学部教育支援係へ提出**してください。
3. 定期試験に不合格であった者に対しては、再試験が行われることがあります。「2019年度試験計画」を参照してください。
4. 再試験の該当者については、学生課内で通知していますので、各自で確認してください。
5. 学生個人の成績については、学生用Webサービスにて通知しますので、各自で確認してください。
6. 再試験の評価は、進級判定終了後に発表されます。

○ レポートについて

レポートは、コピーアンドペーストは認めません。また、資料を引用する時は、その引用元を必ず明記してください。

7. 成績評価に係る異議申し立て

1. 成績評価に係る異議は、次のいずれかに該当する場合に限り、申し立てることができます。
 - ア. 成績の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われるもの。
 - イ. シラバス等によりあらかじめ周知している成績評価の方法から、明らかに逸脱した評価であると思われるもの。
2. 次のいずれかに該当する場合は、異議を申し立てることはできません。
 - ア. 成績評価の理由や根拠についての異議を含むもの。
 - イ. 進級判定や卒業判定の結果を覆すことを主たる目的とするもの。
 - ウ. その他自己都合によるもの。
3. 異議申し立ての手続きは、次のとおりです。
 - ア. 成績評価に係る異議を申し立てようとする者は、当該成績評価が開示された日の翌日から原則として3日以内に、「成績評価に係る異議申立書（様式）」を学生課学部教育支援係へ提出してください。
 - イ. 異議申し立てへの回答に対して、再度異議を申し立てることはできません。

8. GPA制度

学生の学修意欲の増進及び学修成果の明確化、並びに教員による学生への学習指導の促進を図り、教育の質の向上を果たすことを目的として、GPA制度を導入しています。

○ GPAについて

GPAとは、成績の評価に係る5種の評語に対してそれぞれ4～0のGrade Point（成績評価値。以下「GP」という。）を付与し、それをもって計算した各学生の履修科目の成績評価に係るGPの総和を基に算出した、1単位あたりの平均値です。

成績の評価に係る5種の評語に対してそれぞれ付与するGPは、次のとおりとします。

成 績 評 価			GP
素 点	評 語 (和文)	評 語 (英文)	
90～100点	秀	A+	4
80～89点	優	A	3
70～79点	良	B	2
60～69点	可	C	1
～59点	不可	F	0

○ GPAの算出対象科目について

GPAの算出対象科目は、本学において開講するすべての授業科目及び単位互換制度により履修可能なすべての授業科目とします。ただし、次の授業科目は算出対象科目には含みません。

1. 成績を「合格」で評価する科目
2. 他大学等で修得した単位であって、本学の単位として「認定」した科目
3. その他特別の事情により対象に含まないことを学部教育部門会議にて決定し、あらかじめ学生へ通知した科目

○ GPAの計算式について

【計算式】
$$\text{GPA} = \frac{\text{履修登録した授業科目のうち算出対象科目の成績評価に係るGP (GP} \times \text{単位数) の総和}}{\text{履修登録した授業科目のうち算出対象科目の配当単位数の総和}}$$

○ 再履修した授業科目の取り扱いについて

留年等の理由により再履修した授業科目であって、当該科目が算出対象科目である場合は、過去に得た成績の評価もGPAの算出に含めます。

○ 履修登録した授業科目の履修取り消しについて

履修登録した授業科目について、諸般の事情により履修登録を取り消す必要が生じたときは、各年度の学期ごとに別に定められた履修確認・変更期間（別途通知）内に限り、履修を取り消すことができます。ただし、単位互換制度により履修登録した授業科目については、履修を取り消すことはできません。

なお、履修確認・変更期間に履修登録を取り消さなかった算出対象科目は、すべてのその評価をGPAの算出に用います。

○ GPAの通知について

学生へのGPAの通知は、学生用Webサービス及び学業成績通知書にて行います。

なお、GPAは成績証明書には記載しません。また、進級、卒業の要件としては定めません。

9. 進級と留年

各学年所定の授業科目を合格又は修了しなければ、次学年に進級できなくなりますので「国立大学法人滋賀医科大学医学部看護学科授業科目の試験及び進級取扱内規」(p.13掲載)を熟読してください。

1. 第1学年の学年末までに、入学年度の区分ごとに別表に示す、各授業科目の区分ごとに定められた第1学年配当の卒業要件単位数を修得した者は、第2学年への進級が認められます。
2. 第2学年前期配当授業科目「看護過程論Ⅱ」（平成28～30年度入学者）又は「看護過程演習Ⅰ」（平成31年度入学者）を履修し単位を修得した者は、第2学年配当授業科目「基礎看護学実習Ⅱ」の履修が認められます。
3. 第2学年の学年末までに、入学年度の区分ごとに別表に示す、各授業科目の区分ごとに定められた第2学年配当の卒業要件単位数を修得した者は、第3学年への進級が認められます。
4. 第3学年前期配当の専門看護（平成30年度以前入学者）のすべての授業科目、又は専門看護科目（平成31年度入学者）のうち「看護管理論」を除くすべての授業科目をそれぞれ履修し単位を修得した者は、第3学年後期からの実習科目の履修が認められます。
5. 第3学年の学年末までに、入学年度の区分ごとに別表に示す、各授業科目の区分ごとに定められた第3学年配当の卒業要件単位数のうち後期からの実習科目以外のすべてを修得した者は、第4学年への進級が認められます。
6. 第4学年の学年末までに、入学年度の区分ごとに別表に示す、各授業科目の区分ごとに定められた卒業要件単位数をすべて修得した者は、第4学年の修了が認められます。
7. 各学年で留年となった者は、単位を修得できなかった授業科目について、次年度に再履修しなければなりません。

10. 授業の欠席

欠席が1～2日程度の短期的な場合は、「欠席届」の提出の必要はありません。病気・その他の事情等、欠席理由が把握できるものを直接担当教員に提示又は説明してください。また、欠席当日、学生課学部教育支援係（077-548-2068・2069・2065）へ連絡を入れた場合についても、後日、直接担当教員に説明してください。

欠席が1週間以上の長期的な場合は、学生課にある所定様式の「欠席届」に必要事項等を記入のうえ、提出してください。

なお、臨地実習の欠席については取り扱いが異なりますので、別途『看護学臨地実習要項』冊子を参照してください。

11. 台風等（非常時）における授業・試験の取り扱い

台風等の異常気象時や非常時における授業（講義、演習、実習等。以下同じ。）、試験の取り扱いは、原則として次のとおりです。

○ 特別警報又は暴風警報が発せられた場合

滋賀県南部に特別警報又は暴風警報（以下「警報」という。）が発令された場合は、授業、試験を休止します。

ただし、午前6時までに警報が解除された場合は、当日の午前から平常どおり授業、試験を実施します。また、午前10時までに警報が解除された場合は、当日の午後から授業、試験を実施します。午前10時を過ぎても警報が解除されない場合は、当日の授業、試験をすべて休止します。

○ 交通機関が運休した場合

JR西日本・琵琶湖線が災害等により全面運休した場合及び同線が運行している場合においても京都以西の全ての交通機関が運休した場合は、授業、試験を休止します。

ただし、午前6時までに交通機関が運行された場合は、当日の午前から平常どおり授業、試験を実施します。また、午前10時までに交通機関が運行された場合は、当日の午後から授業、試験を実施します。午前10時を過ぎても交通機関が運行されない場合は、当日の授業、試験をすべて休止します。

○ 臨床（臨地）実習等における学外施設訪問時の取り扱い

実習（訪問）先の指導者と相談のうえ、帰学、一時待機、宿泊等を決定し、「非常時、災害・事故発生時の連絡体制」により大学へ連絡してください。

○ その他

上記のほか、緊急時等のやむを得ない場合は、学長の判断により措置します。

なお、休止となった授業、試験の取り扱いについては、別途通知します。

12. 国家試験の受験資格

○ 看護師国家試験

入学年度の区分ごとに別表に示す、各授業科目の区分ごとに定められた卒業要件単位数を修得し、医学部看護学科を卒業（卒業見込みを含む。）した者が受験できます。

○ 保健師国家試験

上記の看護師国家試験の受験に必要な単位数の修得に加えて、入学年度の区分ごとに別表に示す、保健師課程の修了要件単位数を修得し、医学部看護学科を卒業（卒業見込みを含む。）した者が受験できます。

○ 助産師国家試験

上記の看護師国家試験の受験に必要な単位数の修得に加えて、入学年度の区分ごとに別表に示す、助産師課程の修了要件単位数を修得し、医学部看護学科を卒業（卒業見込みを含む。）した者が受験できます。

○ その他

保健師免許を取得した後、養護教諭2種免許を取得することを希望する場合は、在学中に下記に指定する8単位を履修し修得しておく必要があります。

1. 平成31年度入学者

「法学」2単位、「スポーツ科学実践」・「運動科学実践」2単位、「英語実習Ⅰa」・「英語実習Ⅰb」2単位、「情報科学」2単位

2. 平成28～30年度入学者

「法学」2単位、「保健体育」2単位、「英語実習Ⅰa」・「英語実習Ⅰb」・「英語実習Ⅱ」・「英語Ⅱ」のうちいずれか2単位、「情報科学」・「保健医療情報論」のうちいずれか2単位

3. 平成24～27年度入学者

「法学」2単位、「保健体育」2単位、「英語実習」2単位、「情報科学」・「保健医療情報論」のうちいずれか2単位

区分	授業科目	単位数		履 修 年 次								授業 時間数	修得すべき科目及び単位数等
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年			
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
一般 教養 科目 I	生物学	2		2								30	必修科目14単位
	生命活動の物理学	2		2								30	
	生命活動の化学	2		2								30	
	ランダム現象の数理	2		2								30	
	生涯発達論	2		2								30	
	情報科学	2		2								30	
	アカデミック・スキル	1			1							15	
	臨床心理学	1				1						15	
計	14	0	12	1	1	0	0	0	0	0	0		
一般 教養 科目 II	現代社会と科学		2	2								30	10単位以上 ただし、5単位以上は第2学年配当の選択科目の中から修得しなければならない。 なお、基礎科学研究と人間科学研究の重複履修は認めない。
	社会学		2	2								30	
	医療社会学		2		2							30	
	教育学		2			2						30	
	法学		2			2						30	
	芸術学		2	2								30	
	歴史学		2	2								30	
	心理学		1		1							15	
	文化人類学		2	2								30	
	家族社会学		1			1						15	
	哲学		2			2						30	
	地域文化論		2			2						30	
	地域論		2				2					30	
	スポーツ科学実践		1		1							30	
運動科学実践		1			1						30		
基礎科学研究		2			2						60		
人間科学研究		2			2						60		
計	0	30	10	4	14	2	0	0	0	0	0		
外国 語 科目	英語 I a	1		1								30	必修科目を含む 7単位以上 ドイツ語 b を履修するためには、ドイツ語 a を履修していなければならない。 フランス語 b を履修するためには、フランス語 a を履修していなければならない。 中国語 b を履修するためには、中国語 a を履修していなければならない。
	英語 I b	1			1							30	
	英語実習 I a	1		1								30	
	英語実習 I b	1			1							30	
	医療英語	1						1				15	
	ドイツ語 a		1	1								30	
	ドイツ語 b		1		1							30	
	フランス語 a		1	1								30	
	フランス語 b		1		1							30	
	中国語 a		1	1								30	
中国語 b		1		1							30		
計	5	6	5	5	0	0	0	1	0	0	0		
専門 基礎 科目 I	解剖生理学 I	2		2								30	必修科目16単位
	解剖生理学 II	2			2							60	
	病理学	1			1							15	
	感染症学・免疫学	1			1							15	
	生化学・栄養学	2				2						30	
	薬物治療学	1				1						15	
	診断と治療 I	2				2						60	
	診断と治療 II	2				2						30	
	病態生理学特論	2					2					30	
	医学概論	1		1								15	
計	16	0	3	4	7	2	0	0	0	0	0		
専門 基礎 科目 II	保健医療行政論	1				1						15	必修科目9単位以上
	社会福祉・社会保障論	2				2						30	
	地域保健看護学	1				1						15	
	地域ケアシステム論	1				1						15	
	疫学	2				2						30	
	保健統計学	2				2						30	
	環境保健学 *1		1			1						15	
計	9	1	0	0	3	7	0	0	0	0	0		

別表

区分	授業科目	単位数		履 修 年 次								授業 時間数	修得すべき科目及び単位数等
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年			
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
I	フィジカルアセスメント	1			1							30	必修科目10単位
	看護学概論Ⅰ	1		1							15		
	看護学概論Ⅱ	1			1						15		
	看護倫理	1						1			15		
	看護管理論	1						1			15		
	看護過程演習Ⅰ	1				1					30		
	看護過程演習Ⅱ	1					1				30		
	基礎看護技術演習Ⅰ	1		1							30		
	基礎看護技術演習Ⅱ	1			1						30		
	基礎看護技術演習Ⅲ	1				1					30		
計	10	0	2	3	2	1	2	0	0	0			
II	成人保健看護学概論	2				2					30	必修科目28単位	
	成人保健看護学各論	2					2				30		
	成人保健看護学演習Ⅰ	2						2			60		
	成人保健看護学演習Ⅱ	2						2			60		
	老年保健看護学概論	1				1					15		
	老年保健看護学各論	1					1				15		
	老年保健看護学演習	2						2			60		
	小児保健看護学概論	1				1					15		
	小児保健看護学各論	1					1				15		
	小児保健看護学演習	2						2			60		
	ウィメンズヘルス学	1				1					15		
	母性看護学概論	1				1					15		
	母性看護学演習	2					2				60		
	精神保健看護学概論	1				1					15		
	精神保健看護学各論	1					1				15		
	精神保健看護学演習	2						2			60		
	在宅看護学概論	1					1				15		
	在宅看護学各論	1					1				15		
	在宅看護学演習	2						2			60		
地域医療展開論 * 1		1						1		15			
地域医療展開論演習		1						1		30			
計	28	2	0	0	7	9	12	2	0	0			
III	医療の倫理Ⅰ	1			1						15	必修科目を含む 7単位以上 看護学研究、国際看護論 実践のうち2単位選択必修 ただし、看護統合実践特 論は看護師課程のみの学 生対象の授業科目	
	医療の倫理Ⅱ	1				1					15		
	法医看護学	1								1	15		
	看護実践特別演習	1						1			30		
	看護統合実践特論		1							1	15		
	看護学研究方法論	1					1				15		
	看護学研究		2							2	60		
	国際看護実践		2							2	60		
	計	5	5	0	1	1	1	1	0	6			
実 習	人間発達実習	1		1							45	必修科目を含む 23単位以上	
	基礎看護学実習Ⅰ	1			1						45		
	基礎看護学実習Ⅱ	2				2					90		
	母性看護学実習	2							2		90		
	小児保健看護学実習	2							2		90		
	成人保健看護学実習Ⅰ	4							4		180		
	成人保健看護学実習Ⅱ	2							2		90		
	老年保健看護学実習Ⅰ	1							1		45		
	老年保健看護学実習Ⅱ	2							2		90		
	精神保健看護学実習	2							2		90		
	在宅看護学実習	2							2		90		
	統合看護学実習	2							2		90		
	地域医療展開論実習Ⅰ		1						1		45		
	地域医療展開論実習Ⅱ		3							3	135		
計	23	4	1	1	2	0		23					
合 計	110	48		52		59		47			124単位以上修得		

別表

区分	授業科目	単位数		履修年次								授業時間数	修得すべき科目及び単位数等
				1学年		2学年		3学年		4学年			
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
*1 保健師課程	公衆衛生看護活動論Ⅰ	2						2				30	保健師課程を選択する場合 必修科目11単位
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	1						1				15	
	公衆衛生看護活動論Ⅲ	1						1				15	
	公衆衛生看護学演習	2							2			60	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4								4		180	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	1									1	45	
計	11	0	0	0	0	0	4	2	4	1			

区分	授業科目	単位数		履修年次								授業時間数	修得すべき科目及び単位数等
				1学年		2学年		3学年		4学年			
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
*2 助産師課程	助産学概論	1						1				15	助産師課程を選択する場合 必修科目20単位
	新生児学	1						1				15	
	助産診断・技術学Ⅰ	3							3			45	
	助産診断・技術学Ⅱ	2								2		60	
	周産期病態学Ⅰ	1						1				15	
	周産期病態学Ⅱ	1						1				15	
	助産学実習	8								8		360	
	マタニティサイクル支援実習	2								2		90	
	ウィメンズヘルス実習	1									1	45	
計	20	0	0	0	0	0	4	3		13			

区分	授業科目	単位数		履修年次								授業時間数	修得すべき科目及び単位数等
				1学年		2学年		3学年		4学年			
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
*3 助産師共通科目	健康教育演習	1								1		30	保健師課程及び助産師課程を選択する場合 必修科目1単位
	計	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0		

* 1 保健師課程を選択した学生対象の授業科目

* 2 助産師課程を選択した学生対象の授業科目

* 3 保健師課程を選択した学生と助産師課程を選択した学生対象の授業科目

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
人間の生命活動Ⅰ	生物学	2		2								30	必修科目8単位
	生命活動の物理学	2		2								30	
	生命活動の化学	2		2								30	
	ランダム現象の数理	2		2								30	
人間と環境Ⅰ	環境論	1		1								15	必修科目を含む 7単位以上 医療社会学、教育学、 法学から2科目 4単位選択必修
	現代社会と科学		2	2								30	
	社会学		2	2								30	
	医療社会学		2		2							30	
	教育学		2			2						30	
	法学		2			2						30	
人間と人間の関係Ⅰ	芸術学		2	2								30	必修科目を含む6単位以上 哲学または宗教学のうち1科目2単位選択必修 ※(宗教学については、3年前期と4年後期に開講し、併せて宗教学として評価する。第3学年では単位認定は行わない。) ※第3・4学年の宗教学は、平成31(2019)年度は開講しません。
	歴史学		2	2								30	
	心理学		2	2								30	
	情報科学	2		2								30	
	文化人類学		2	2								30	
	生涯発達論	2			2							30	
	家族社会学		1			1						15	
	哲学		2			2						30	
	宗教学		2					(1)※			(1)※	30	
人間と人間の関係Ⅱ	英語Ⅰa	1		1								30	必修科目を含む6単位以上 ドイツ語bを履修するためには、ドイツ語aを履修していなければならない。 フランス語bを履修するためには、フランス語aを履修していなければならない。 中国語bを履修するためには、中国語aを履修していなければならない。
	英語Ⅰb	1			1							30	
	英語Ⅱ		1			1						30	
	英語実習Ⅰa	1		1								30	
	英語実習Ⅰb	1			1							30	
	英語実習Ⅱ		1				1					30	
	ドイツ語a		1	1								30	
	ドイツ語b		1		1							30	
	フランス語a		1	1								30	
	フランス語b		1		1							30	
	中国語a		1	1								30	
中国語b		1		1							30		
人間関係Ⅲ	保健体育Ⅰ		1	1								30	1単位以上
	保健体育Ⅱ		1		1							30	
人間の生命活動Ⅱ	人体の構造と生理機能	2			2							60	必修科目12単位
	病気の成り立ち	1			1							30	
	からだの防御の仕組み	1			1							30	
	看護の生化学・栄養学	2				2						60	
	薬物動態・代謝	1					1					15	
	診断と治療Ⅰ	1					1					15	
	診断と治療Ⅱ	2					2					60	
	診断と治療Ⅲ	2					2					60	
人間と人間の関係Ⅳ	臨床心理学		2			2						30	必修科目を含む6単位以上
	保健医療情報論Ⅰ	2				2						30	
	保健医療情報論Ⅱ	2				2						30	
	臨床コミュニケーション学	2					2					30	
人間と環境Ⅱ	保健医療福祉行政論	2				2						30	必修科目6単位
	社会保障	2				2						30	
	国際看護活動論	2								2		30	

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門 看 護 実 習	フィジカルアセスメントⅠ	2			2							60	必修科目を含む 16単位
	フィジカルアセスメントⅡ	1			1							30	
	フィジカルアセスメントⅢ	1				1						30	
	看護学原論	2		2								30	
	看護倫理	1						1				15	
	看護管理論		1								1	15	
	看護理論	1			1							15	
	看護過程論Ⅰ	1			1							15	
	看護過程論Ⅱ	1				1						30	
	看護技術論Ⅰ	1		1								30	
	看護技術論Ⅱ	2			2							60	
	看護技術論Ⅲ	2				2						60	
	看護技術論Ⅳ	1					1					30	
	ライフステージと健康Ⅰ	2				2						30	必修科目29単位
	ライフステージと健康Ⅱ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅲ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅳ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅴ	2					2					30	
	育成期母性看護学	2					2					60	
	育成期小児看護学	2						2				60	
	成人保健看護学Ⅰ	2						2				60	
	成人保健看護学Ⅱ	2						2				60	
	高齢者看護学	2						2				60	
	精神保健	2			2							30	
	精神看護学	2						2				60	
	公衆衛生看護学概論	2					2					30	
	学校保健	1						1				15	
	在宅看護学	2						2				60	
	看護の統合と実践	1							1			15	必修科目7単位
	外国文献	1								1		15	
	日本語表現法	1							1			15	
	看護研究方法論	1						1				15	
	看護研究	3									3	90	
基礎看護学実習Ⅰ	1			1							45	必修科目23単位	
基礎看護学実習Ⅱ	2				2						90		
育成期母性看護学実習	2							2			90		
育成期小児看護学実習	2							2			90		
成人保健看護学実習	6							6			270		
高齢者看護学実習Ⅰ	2					2					90		
高齢者看護学実習Ⅱ	2							2			90		
精神看護学実習	2							2			90		
在宅看護学実習	2							2			90		
統合看護学実習	2								2		90		

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
* 1 保健師課程	家族看護学	2							2			30	保健師課程を選択 する場合必修科目 を含む16単位以上 ※学校保健実習は平成 31(2019)年度は開講 しません。
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	1						1				30	
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	1							1			30	
	公衆衛生看護活動プロセス	1							1			30	
	産業保健	1							1			15	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ * 3	2							2			30	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	2							2			30	
	地域ケアシステム論	1							1			15	
	公衆衛生看護活動展開論実習	4								4		180	
	地域ケアマネジメント実習	1								1		45	
学校保健実習		2								2	90		

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
* 2 助産師課程	助産学概論	1						1				15	助産師課程を選択 する場合 必修科目21単位
	助産診断・技術学Ⅰ	3							3			45	
	助産診断・技術学Ⅱ	2								2		60	
	ウィメンズヘルス演習	1								1		30	
	周産期病態学Ⅰ	1						1				15	
	周産期病態学Ⅱ	1						1				15	
	助産マネジメント学	1							1			15	
	助産学実習	8								8		360	
	マタニティサイクル支援実習	2								2		90	
	ウィメンズヘルス実習	1								1		45	

- * 1 保健師課程を選択した学生対象の授業科目
* 2 助産師課程を選択した学生対象の授業科目
* 3 助産師課程を選択した学生も対象の授業科目

(平成28年度入学者用)

別表

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
人間の生命活動Ⅰ	生物学	2		2								30	必修科目 8 単位
	生命活動の物理学	2		2								30	
	生命活動の化学	2		2								30	
	ランダム現象の数理	2		2								30	
人間と環境Ⅰ	環境論	1		1								15	必修科目を含む 7 単位以上 医療社会学、教育学、 法学から 2 科目 4 単位選択必修
	現代社会と科学		2	2								30	
	社会学		2	2								30	
	医療社会学		2		2							30	
	教育学		2			2						30	
	法学		2			2						30	
人間と人間の関係Ⅰ	芸術学		2	2								30	必修科目を含む 6 単位以上 哲学または宗教学の うち 1 科目 2 単位選択必修 ※(宗教学については、 3 年前期と 4 年後期に開 講し、併せて宗教学とし て評価する。第 3 学年で は単位認定は行わない。) ※第 3・4 学年の宗教学 は、平成 31 (2019) 年度 は開講しません。
	歴史学		2	2								30	
	心理学		2	2								30	
	情報科学	2		2								30	
	文化人類学		2	2								30	
	生涯発達論	2			2							30	
	家族社会学		1			1						15	
	哲学		2			2						30	
	宗教学		2					(1)※			(1)※	30	
人間と人間の関係Ⅱ	英語Ⅰ a	1		1								30	必修科目を含む 6 単位以上 ドイツ語 b を履修する ためには、ドイツ語 a を履修していなければ ならない。 フランス語 b を履修す るためには、フランス 語 a を履修していなけ ればならない。 中国語 b を履修するた めには、中国語 a を履 修していなければなら ない。
	英語Ⅰ b	1			1							30	
	英語Ⅱ		1			1						30	
	英語実習Ⅰ a	1		1								30	
	英語実習Ⅰ b	1			1							30	
	英語実習Ⅱ		1				1					30	
	ドイツ語 a		1	1								30	
	ドイツ語 b		1		1							30	
	フランス語 a		1	1								30	
	フランス語 b		1		1							30	
	中国語 a		1	1								30	
中国語 b		1		1							30		
人間関係Ⅲ	保健体育Ⅰ		1	1								30	1 単位以上
	保健体育Ⅱ		1		1							30	
人間の生命活動Ⅱ	医学・生命科学入門		2	2								30	必修科目を含む 12 単位以上 卒業要件としては認められません。 ※平成 31 (2019) 年度は開講しません。
	人体の構造と生理機能	2			2							60	
	病気の成り立ち	1			1							30	
	からだの防御の仕組み	1			1							30	
	看護の生化学・栄養学	2				2						60	
	薬物動態・代謝	1					1					15	
	診断と治療Ⅰ	1					1					15	
	診断と治療Ⅱ	2					2					60	
	診断と治療Ⅲ	2					2					60	
睡眠学概論		2				2					30		
人間の関係Ⅳ	臨床心理学		2			2						30	必修科目を含む 6 単位以上
	保健医療情報論Ⅰ	2				2						30	
	保健医療情報論Ⅱ	2					2					30	
	臨床コミュニケーション学	2						2				30	
人間と環境Ⅱ	保健医療福祉行政論	2				2						30	必修科目 6 単位
	社会保障	2					2					30	
	国際看護活動論	2								2		30	

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
専	フィジカルアセスメントⅠ	2			2							60	必修科目を含む 16単位
	フィジカルアセスメントⅡ	1			1							30	
	フィジカルアセスメントⅢ	1				1						30	
	看護学原論	2		2								30	
	看護倫理	1						1				15	
	看護管理論		1								1	15	
	看護理論	1			1							15	
	看護過程論Ⅰ	1			1							15	
	看護過程論Ⅱ	1				1						30	
	看護技術論Ⅰ	1		1								30	
看護技術論Ⅱ	2			2							60		
看護技術論Ⅲ	2				2						60		
看護技術論Ⅳ	1					1					30		
門	ライフステージと健康Ⅰ	2				2						30	必修科目29単位
	ライフステージと健康Ⅱ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅲ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅳ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅴ	2					2					30	
	育成期母性看護学	2					2					60	
	育成期小児看護学	2						2				60	
	成人保健看護学Ⅰ	2						2				60	
	成人保健看護学Ⅱ	2						2				60	
	高齢者看護学	2						2				60	
看	精神保健	2			2							30	必修科目7単位
	精神看護学	2						2				60	
	公衆衛生看護学概論	2					2					30	
	学校保健	1						1				15	
	在宅看護学	2						2				60	
	看護の統合と実践	1							1			15	
	外国文献	1								1		15	
	日本語表現法	1							1			15	
	看護研究方法論	1						1				15	
	看護研究	3								3		90	
護	基礎看護学実習Ⅰ	1		1								45	必修科目23単位
	基礎看護学実習Ⅱ	2				2						90	
	育成期母性看護学実習	2							2			90	
	育成期小児看護学実習	2							2			90	
	成人保健看護学実習	6							6			270	
	高齢者看護学実習Ⅰ	2					2					90	
	高齢者看護学実習Ⅱ	2							2			90	
	精神看護学実習	2							2			90	
	在宅看護学実習	2							2			90	
	統合看護学実習	2								2		90	

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
* 1 保健師課程	家族看護学	2							2			30	保健師課程を 選択する場合 必修科目を含む 16単位以上 ※学校保健実習は平成 31(2019)年度は開講 しません。
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	1						1				30	
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	1							1			30	
	公衆衛生看護学活動プロセス	1							1			30	
	産業保健	1							1			15	
	公衆衛生看護学活動展開Ⅰ * 3	2							2			30	
	公衆衛生看護学活動展開Ⅱ	2							2			30	
	地域ケアシステム論	1							1			15	
	公衆衛生看護学活動展開実習	4								4		180	
	地域ケアマネジメント実習	1								1		45	
学校保健実習		2								2	90		

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
* 2 助産師課程	助産学概論	1						1				15	助産師課程を 選択する場合 必修科目21単位
	助産診断・技術学Ⅰ	3							3			45	
	助産診断・技術学Ⅱ	2								2		60	
	ウィメンズヘルス演習	1							1			30	
	周産期病態学Ⅰ	1						1				15	
	周産期病態学Ⅱ	1						1				15	
	助産マネジメント学	1							1			15	
	助産学実習	8								8		360	
	マタニティサイクル支援実習	2								2		90	
	ウィメンズヘルス実習	1								1		45	

- * 1 保健師課程を選択した学生対象の授業科目
 * 2 助産師課程を選択した学生対象の授業科目
 * 3 助産師課程を選択した学生も対象の授業科目

(平成27年度入学者用)

別表

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
人間の生命活動Ⅰ	生物学	2		2								30	必修科目 8 単位
	生命活動の物理学	2		2								30	
	生命活動の化学	2		2								30	
	ランダム現象の数理	2		2								30	
人間と環境Ⅰ	環境論	1		1								15	必修科目を含む 7 単位以上 医療社会学、教育学、 法学から 2 科目 4 単位選択必修
	現代社会と科学		2	2								30	
	社会学		2	2								30	
	医療社会学		2		2							30	
	教育学		2			2						30	
	法学		2			2						30	
人間と人間の関係Ⅰ	芸術学		2	2								30	必修科目を含む 6 単位以上 哲学または宗教学の うち 1 科目 2 単位選択必修 ※(宗教学については、 3 年前期と 4 年後期に開 講し、併せて宗教学とし て評価する。第 3 学年で は単位認定は行わない。) ※第 3・4 学年の宗教学 は、平成 31 (2019) 年度 は開講しません。
	歴史学		2	2								30	
	心理学		2	2								30	
	情報科学	2		2								30	
	文化人類学		2	2								30	
	生涯発達論	2			2							30	
	家族社会学		1			1						15	
	哲学		2			2						30	
宗教学		2					(1)※			(1)※	30		
人間と人間の関係Ⅱ	英語Ⅰ a	1		1								30	必修科目を含む 6 単位以上 ドイツ語 b を履修する ためには、ドイツ語 a を履修していなければ ならない。 フランス語 b を履修す るためには、フランス 語 a を履修していなけ ばならない。 中国語 b を履修するた めには、中国語 a を履 修していなければなら ない。
	英語Ⅰ b	1			1							30	
	英語Ⅱ		1			1						30	
	英語実習Ⅰ a	1		1								30	
	英語実習Ⅰ b	1			1							30	
	英語実習Ⅱ		1				1					30	
	ドイツ語 a		1	1								30	
	ドイツ語 b		1		1							30	
	フランス語 a		1	1								30	
	フランス語 b		1		1							30	
	中国語 a		1	1								30	
中国語 b		1		1							30		
人間関係Ⅲ	保健体育Ⅰ		1	1								30	1 単位以上
	保健体育Ⅱ		1		1							30	
人間の生命活動Ⅱ	医学・生命科学入門		2	2								30	必修科目を含む 12 単位以上 卒業要件としては認められません。 ※平成 31 (2019) 年度は開講しません。
	人体の構造と生理機能	2			2							60	
	病気の成り立ち	1			1							30	
	からだの防御の仕組み	1			1							30	
	看護の生化学・栄養学	2				2						60	
	薬物動態・代謝	1					1					15	
	診断と治療Ⅰ	1					1					15	
	診断と治療Ⅱ	2					2					60	
	診断と治療Ⅲ	2					2					60	
睡眠学概論		2				2					30		
人間と人間の関係Ⅳ	臨床心理学		2			2						30	必修科目を含む 6 単位以上
	保健医療情報論Ⅰ	2				2						30	
	保健医療情報論Ⅱ	2					2					30	
	臨床コミュニケーション学	2						2				30	
人間と環境Ⅱ	保健医療福祉行政論	2				2						30	必修科目 6 単位
	社会保障	2					2					30	
	国際看護活動論	2								2		30	

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
専	フィジカルアセスメントⅠ	2			2							60	必修科目を含む 16単位
	フィジカルアセスメントⅡ	1			1							30	
	フィジカルアセスメントⅢ	1				1						30	
	看護学原論	2		2								30	
	看護倫理	1						1				15	
	看護管理論		1								1	15	
	看護理論	1			1							15	
	看護過程論Ⅰ	1			1							15	
	看護過程論Ⅱ	1				1						30	
	看護技術論Ⅰ	1		1								30	
門	看護技術論Ⅱ	2			2							60	必修科目27単位
	看護技術論Ⅲ	2				2						60	
	看護技術論Ⅳ	1					1					30	
	ライフステージと健康Ⅰ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅱ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅲ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅳ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅴ	2					2					30	
	育成期母性看護学	2					2					60	
	育成期小児看護学	2						2				60	
看	成人保健看護学Ⅰ	2						2				60	必修科目7単位
	成人保健看護学Ⅱ	2						2				60	
	高齢者看護学	2						2				60	
	精神保健	2			2							30	
	精神看護学	2						2				60	
	学校保健	1						1				15	
	在宅看護学	2						2				60	
	看護の統合と実践	1							1			15	
	外国文献	1								1		15	
	日本語表現法	1							1			15	
護	看護研究方法論	1						1				15	必修科目23単位
	看護研究	3								3		90	
	基礎看護学実習Ⅰ	1		1								45	
	基礎看護学実習Ⅱ	2				2						90	
	育成期母性看護学実習	2							2			90	
	育成期小児看護学実習	2							2			90	
	成人保健看護学実習	6							6			270	
	高齢者看護学実習Ⅰ	2						2				90	
	高齢者看護学実習Ⅱ	2							2			90	
	精神看護学実習	2							2			90	
習	在宅看護学実習	2							2			90	
	統合看護学実習	2								2		90	

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
*1 保健師課程	公衆衛生看護学概論	1						1				15	保健師課程を 選択する場合 必修科目を含む 17単位以上 ※学校保健実習は平成 31(2019)年度は開講し ません。
	家族看護学	2							2			30	
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	1						1				30	
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	1							1			30	
	公衆衛生看護活動プロセス	1							1			30	
	産業保健	1							1			15	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ*3	2						2				30	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	2							2			30	
	地域ケアシステム論	1						1				15	
	公衆衛生看護活動展開論実習	4								4		180	
	地域ケアマネジメント実習	1								1		45	
	学校保健実習		2								2	90	

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
*2 助産師課程	助産学概論	1						1				15	助産師課程を 選択する場合 必修科目21単位
	助産診断・技術学Ⅰ	3							3			45	
	助産診断・技術学Ⅱ	2								2		60	
	ウィメンズヘルス演習	1							1			30	
	周産期病態学Ⅰ	1						1				15	
	周産期病態学Ⅱ	1						1				15	
	助産マネジメント学	1							1			15	
	助産学実習	8								8		360	
	マタニティサイクル支援実習	2								2		90	
	ウィメンズヘルス実習	1								1		45	

- *1 保健師課程を選択した学生対象の授業科目
 *2 助産師課程を選択した学生対象の授業科目
 *3 助産師課程を選択した学生も対象の授業科目

(平成24年度以降入学者用)

別表

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
人間の生命活動Ⅰ	生物学	2		2								30	必修科目 8 単位
	生命活動の物理学	2		2								30	
	生命活動の化学	2		2								30	
	ランダム現象の数理	2		2								30	
人間と環境Ⅰ	環境論	1		1								15	必修科目を含む 7 単位以上 医療社会学、教育学、 法学から 2 科目 4 単位選択必修
	現代社会と科学		2	2								30	
	社会学		2	2								30	
	医療社会学		2		2							30	
	教育学		2			2						30	
法学		2			2						30		
人間と人間の関係Ⅰ	芸術学		2	2								30	必修科目を含む 6 単位以上 哲学または宗教学の うち 1 科目 2 単位選択必修 ※(宗教学については、 3 年前期と 4 年後期に開 講し、併せて宗教学とし て評価する。第 3 学年で は単位認定は行わない。) ※第 3・4 学年の宗教学 は、平成 31 (2019) 年度 は開講しません。
	歴史学		2	2								30	
	心理学		2	2								30	
	情報科学	2		2								30	
	文化人類学		2	2								30	
	生涯発達論	2			2							30	
	家族社会学		1			1						15	
	哲学		2			2						30	
宗教学		2					(1)※			(1)※	30		
人間と人間の関係Ⅱ	英語 I a	1		1								30	必修科目を含む 6 単位以上 ドイツ語 b を履修する ためには、ドイツ語 a を履修していなければ ならない。 フランス語 b を履修す るためには、フランス 語 a を履修していなけ ればならない。 中国語 b を履修するた めには、中国語 a を履 修していなければなら ない。
	英語 I b	1			1							30	
	英語 II		1			1						30	
	英語実習 I a	1		1								30	
	英語実習 I b	1			1							30	
	英語実習 II		1				1					30	
	ドイツ語 a		1	1								30	
	ドイツ語 b		1		1							30	
	フランス語 a		1	1								30	
	フランス語 b		1		1							30	
	中国語 a		1	1								30	
中国語 b		1		1							30		
人間関係Ⅲ	保健体育Ⅰ		1	1								30	1 単位以上
	保健体育Ⅱ		1		1							30	
人間の生命活動Ⅱ	医学・生命科学入門		2	2								30	必修科目を含む 12 単位以上
	人体の構造と生理機能	2			2							60	
	病気の成り立ち	1			1							30	
	からだの防御の仕組み	1			1							30	
	看護の生化学・栄養学	2				2						60	
	薬物動態・代謝	1					1					15	
	診断と治療Ⅰ	1					1					15	
	診断と治療Ⅱ	2					2					60	
	診断と治療Ⅲ	2					2					60	
睡眠学概論		2				2					30	卒業要件としては認められません。 ※平成 31 (2019) 年度は開講しません。	
人間と人間の関係Ⅳ	臨床心理学		2			2						30	必修科目を含む 6 単位以上
	保健医療情報論Ⅰ	2				2						30	
	保健医療情報論Ⅱ	2					2					30	
	臨床コミュニケーション学	2						2				30	
人間と環境Ⅱ	保健医療福祉行政論	2				2						30	必修科目 6 単位
	社会保障	2					2					30	
	国際看護活動論	2								2		30	

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
専	フィジカルアセスメントⅠ	2			2							60	必修科目を含む 16単位
	フィジカルアセスメントⅡ	1			1							30	
	フィジカルアセスメントⅢ	1				1						30	
	看護学原論	2		2								30	
	看護倫理	1						1				15	
	看護管理論		1								1	15	
	看護理論	1			1							15	
	看護過程論Ⅰ	1			1							15	
	看護過程論Ⅱ	1				1						30	
	看護技術論Ⅰ	1		1								30	
看護技術論Ⅱ	2			2							60		
看護技術論Ⅲ	2				2						60		
看護技術論Ⅳ	1					1					30		
門	ライフステージと健康Ⅰ	2				2						30	必修科目27単位
	ライフステージと健康Ⅱ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅲ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅳ	2				2						30	
	ライフステージと健康Ⅴ	2					2					30	
	育成期母性看護学	2					2					60	
	育成期小児看護学	2						2				60	
	成人保健看護学Ⅰ	2						2				60	
	成人保健看護学Ⅱ	2						2				60	
	高齢者看護学	2						2				60	
看	精神保健	2			2							30	必修科目7単位
	精神看護学	2						2				60	
	学校保健	1								1		15	
	在宅看護学	2						2				60	
	看護の統合と実践	1							1			15	
	外国文献	1								1		15	
	日本語表現法	1							1			15	
	看護研究方法論	1						1				15	
	看護研究	3								3		90	
	護	基礎看護学実習Ⅰ	1		1								
基礎看護学実習Ⅱ		2				2						90	
育成期母性看護学実習		2							2			90	
育成期小児看護学実習		2							2			90	
成人保健看護学実習		6							6			270	
高齢者看護学実習Ⅰ		2						2				90	
高齢者看護学実習Ⅱ		2							2			90	
精神看護学実習		2							2			90	
在宅看護学実習		2							2			90	
統合看護学実習		2								2		90	

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
*1 保健師課程	公衆衛生看護学概論	1						1				15	保健師課程を 選択する場合 必修科目を含む 17単位以上 ※学校保健実習は平成 31(2019)年度は開講し ません。
	家族看護学	2						2				30	
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	1						1				30	
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	1						1				30	
	公衆衛生看護活動プロセス	1						1				30	
	産業保健	1								1		15	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ *3	2						2				30	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	2						2				30	
	地域ケアシステム論	1						1				15	
	公衆衛生看護活動展開論実習	4								4		180	
	地域ケアマネジメント実習	1								1		45	
	学校保健実習		2								2	90	

区分	授業科目	単位数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		授業時間数	卒業要件単位数
		必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後		
*2 助産師課程	助産学概論	1						1				15	助産師課程を 選択する場合 必修科目21単位
	助産診断・技術学Ⅰ	3							3			45	
	助産診断・技術学Ⅱ	2								2		60	
	ウィメンズヘルス演習	1							1			30	
	周産期病態学Ⅰ	1						1				15	
	周産期病態学Ⅱ	1						1				15	
	助産マネジメント学	1							1			15	
	助産学実習	8								8		360	
	マタニティサイクル支援実習	2								2		90	
	ウィメンズヘルス実習	1								1		45	

- *1 保健師課程を選択した学生対象の授業科目
 *2 助産師課程を選択した学生対象の授業科目
 *3 助産師課程を選択した学生も対象の授業科目

2019年度 授業時間割 (前期)

曜日	時限	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	第 3 学年編入学生	第 4 学 年
月	1	英 語 I a (相 浦) B講	★法 学 (須 永) 臨3	精 神 看 護 学 (河 村) 看1	★法学 (須永) (相浦) 英語 I a 臨3	助産診断・技術学Ⅱ (集中講義) (立 岡) 実習
	2	解 剖 生 理 学 I (相 見) 看3	看 護 過 程 論 II (中 西) 看4			
	3	生 命 活 動 の 物 理 学 (目 良) 看1		英 語 実 習 II (Hodge) 看3	生 命 活 動 の 物 理 学 (目 良) 看1	
	4			(伊藤) 地域ケアシステム論 看3	環 境 論 (桑 田) (伊藤) 地域ケアシステム論 看3	
	5					
火	1	生 命 活 動 の 化 学 (高 橋) B講	看 護 の 生 化 学 ・ 栄 養 学 (佐 々 木) 看4	在 宅 看 護 学 (興 水) 看1	生 命 活 動 の 化 学 (高 橋) B講	助産診断・技術学Ⅱ (集中講義) (立 岡) 実習
	2	情 報 科 学 (本 山) MMC			情 報 科 学 (本 山) MMC	
	3	看 護 学 概 論 I (※前期前半 3限・4限のみ) 看2 実習	★教 育 学 (中 島) 臨3	周 産 期 病 態 学 II (喜 多) 看 護 研 究 方 法 論 (桑 田) 看3	周 産 期 病 態 学 II (喜 多) 看 護 研 究 方 法 論 (桑 田) 看3	
	4	基 礎 看 護 技 術 演 習 I (※前期後半 3～5限) (本 田)	ラ イ フ ス テ ー ジ と 健 康 I (立 岡) 看4	公 衆 衛 生 看 護 学 方 法 論 I (伊 藤) 看3	公 衆 衛 生 看 護 学 方 法 論 I (伊 藤) 看3	
	5			学 校 保 健 (興 水) 看1	学 校 保 健 (興 水) 看1	
水	1	★現代社会と科学 (目良他) ★芸術学 (秋丸) 臨3		育 成 期 小 児 看 護 学 (桑 田) 看1	★現代社会と科学 (目良他) ★芸術学 (秋丸) 臨3	助産診断・技術学Ⅱ (集中講義) (立 岡) 実習
	2	生 涯 発 達 論 (小 島) 看3	哲 学 (室 寺) 看4		◆地域文化論 (兼重他) 心 理 学 (小 島) 哲 学 (室 寺) ④ 看3 看4	
	3	★歴 史 学 (田 中) 看1		公 衆 衛 生 看 護 活 動 展 開 論 I (伊 藤) 看2	公 衆 衛 生 看 護 活 動 展 開 論 I (伊 藤) 看2	
	4		看 護 技 術 論 III (中 西) 看4 実習	公 衆 衛 生 看 護 活 動 展 開 論 II (伊 藤) 看2	公 衆 衛 生 看 護 活 動 展 開 論 II (伊 藤) 看2	
	5					
木	1	ド イ ツ 語 a (森 田) フ ラ ン ス 語 a (助 川) 中 国 語 a (前 田) 小 看2 看3	フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト III (遠 藤) 看4	成 人 保 健 看 護 学 I (宮 松) 看1	ド イ ツ 語 a (森 田) フ ラ ン ス 語 a (助 川) 中 国 語 a (前 田) 小 看2 看3	助産診断・技術学Ⅱ (集中講義) (立 岡) 実習
	2	★医 学 概 論 (佐 々 木) 臨3	保 健 医 療 情 報 論 I (伊 藤) 看4 MMC	(宮 松) 成 人 保 健 看 護 学 II 看1	保 健 医 療 情 報 論 I (伊 藤) 看4 MMC	
	3	英 語 実 習 I a (31～、編入学生) (Hodge) 看2	保 健 医 療 福 祉 行 政 論 (伊 藤・河 村・田 中) 看4	高 齢 者 看 護 学 (荻 田) 看1	保 健 体 育 I (河 北) 英 語 実 習 I a (31～、編入)(Hodge) 実技 看2	
	4	英 語 実 習 I a (1～30) (Hodge) 看2			自 然 科 学 総 論 (相 見) 看3	
	5			看 護 倫 理 (本 田) 看1	看 護 倫 理 (本 田) 看1	
金	1	ラ ン ダ ム 現 象 の 数 理 (川 北) 看4	臨 床 心 理 学 (岡 田) 看3	成 人 保 健 看 護 学 I (宮 松) 看1	ラ ン ダ ム 現 象 の 数 理 (川 北) 看4	助産診断・技術学Ⅱ (集中講義) (立 岡) 実習
	2	生 物 学 (藤 堂) 看3	ラ イ フ ス テ ー ジ と 健 康 II (桑 田) 看4	(宮 松) 成 人 保 健 看 護 学 II 看1	生 物 学 (藤 堂) 看3	
	3	★文 化 人 類 学 (兼 重) 看1	ラ イ フ ス テ ー ジ と 健 康 III (宮 松) 看4	臨 床 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 (岡 田) ②	臨 床 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 (岡 田) ②	
	4	社 会 学 (LADMIRAL) 看1	(宮 松) ラ イ フ ス テ ー ジ と 健 康 IV 看4	助 産 学 概 論 (立 岡) 実 習	助 産 学 概 論 (立 岡) 社 会 学 (LADMIRAL) 実 習 看1	
	5		家 族 社 会 学 (LADMIRAL) 看1	周 産 期 病 態 学 I (喜 多) 看3	家 族 社 会 学 (LADMIRAL) 周 産 期 病 態 学 I (喜 多) (※いずれも前期前半のみ) 看1 看3	

備 考	人間発達実習は医学部医学科と合同で8月・9月に集中して行う。 基礎看護学実習Ⅱは、9月に集中して行う。 ※実線の斜線の授業科目は、選択科目又は出席番号によって授業科目が分かれている科目を示す。 ※点線の斜線の授業科目は、学期の前半又は後半で講義を行う科目を示す。 ★印は医学部医学科との合同授業を示す。 なお、使用教室の表示は、以下のとおり。 [看護学科棟] 看1：看護第1講義室 看2：看護第2講義室 看3：看護第3講義室 看4：看護第4講義室 実習：看護学実習室 [一般教養棟] ①：第1講義室 ②：第2講義室 ④：第4講義室 ⑤：第5講義室 [基礎講義・実習棟] A講：A講義室 B講：B講義室 [臨床講義棟] 臨3：臨床講義室3 [図書館] MMC：マルチメディアセンター演習室
-----	---

時 限	1	2	3	4	5
時 間	8:50～10:20	10:30～12:00	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50

2019年度 授業時間割 (後期)

曜日	時限	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年 12～2月	第 3 学 年 編 入 学 生				第 4 学 年											
					保健師課程		助産師課程			選択課程なし										
月	1		診断と治療Ⅰ (佐々木) ※後期前半1・2限	公衆衛生看護 活動方法論Ⅱ (伊藤)	看 3	公衆衛生看護 活動方法論Ⅱ (伊藤)	看 3	助産師課程	実習	国際看護活動論 (伊藤 他)	看 1									
	2		薬物動態・代謝 (遠藤・寺田) ※後期後半2限のみ									公衆衛生看護 活動方法論Ⅱ (伊藤)	看 3	公衆衛生看護 活動方法論Ⅱ (伊藤)	看 3	助産師課程	実習	国際看護活動論 (伊藤 他)	看 1	
	3	医療の倫理Ⅰ (★医の倫理Ⅲと一部合同) (相見)	臨 3	診断と治療Ⅲ (遠藤)	公衆衛生看護 活動方法論Ⅱ (伊藤)	看 3	公衆衛生看護 活動方法論Ⅱ (伊藤)	看 3	助産師課程	実習	国際看護活動論 (伊藤 他)									看 1
	4	フィジカルアセスメント (相見)	看 1	助産診断・ 技術学Ⅰ ※2～4時限のみ (立岡)																
	5																			
火	1	解剖生理学Ⅱ (相見)	生体 看 3 C D	公衆衛生看護学概論 (伊藤) ※後期前半1・2限	看 4	公衆衛生看護学 活動方法論Ⅱ (伊藤)	看 3	助産師課程	実習	国際看護活動論 (伊藤 他)	看 1									
	2			公衆衛生看護学概論 (伊藤) ※後期前半1・2限		看 4						公衆衛生看護学 活動方法論Ⅱ (伊藤)	看 3	助産師課程	実習	国際看護活動論 (伊藤 他)	看 1			
	3	基礎看護技術演習Ⅱ (本田)	第2 実習	診断と治療Ⅱ (佐々木)	看 4		公衆衛生看護学 活動方法論Ⅱ (伊藤)	看 3	助産師課程	実習	国際看護活動論 (伊藤 他)	看 1								
	4			家族看護学 (興水)			看 4											公衆衛生看護学 活動方法論Ⅱ (伊藤)	看 3	助産師課程
	5					家族看護学 (興水)														
水	1	アカデミック・スキル (室寺)	看 1			人間科学総論 (室寺 他)	看 2	人間科学総論 (室寺 他)	看 2	人間科学総論 (室寺 他)	看 2									
	2	感染症学・免疫学 (保藤・井上) (本田) 看護学概論Ⅱ	看 4 看 1	育成期母性看護学 (立岡)	看 3 看 4	人間科学総論 (室寺 他) (神田) 日本語表現法	看 2 看 1	人間科学総論 (室寺 他) (神田) 日本語表現法	看 2 看 1	人間科学総論 (室寺 他) (神田) 日本語表現法	看 2 看 1									
	3	心理学 (小島)	看 1			生涯発達論 (小島)	看 2	生涯発達論 (小島)	看 2	生涯発達論 (小島)	看 2									
	4					家族看護学 (興水)	看 1													
	5					家族看護学 (興水)	看 1													
木	1	ドイツ語 b (森田) フランス語 b (助川) 中国語 b (前田)	小 看 2 看 3			ドイツ語 b (森田) フランス語 b (助川) 中国語 b (前田)	小 看 2 看 3	ドイツ語 b (森田) フランス語 b (助川) 中国語 b (前田)	小 看 2 看 3	ドイツ語 b (森田) フランス語 b (助川) 中国語 b (前田)	小 看 2 看 3									
	2	スポーツ科学実践 (1～30,編入学生) (河北)	実技	ライフステージと健康Ⅴ (萩田)	看 4	保健体育Ⅱ (1～30,編入学生) (河北)	実技	保健体育Ⅱ (1～30,編入学生) (河北)	実技	保健体育Ⅱ (1～30,編入学生) (河北)	実技									
	3	スポーツ科学実践 (31～) 英語実習Ⅱ (1～30)(Hodge)	実技 看 2	保健医療情報論Ⅱ (永田)	MMC	公衆衛生看護 活動プロセス (伊藤)	看 1	保健医療情報論Ⅱ (永田) ※3・4時限 のみ	MMC	保健医療情報論Ⅱ (永田) ※3・4時限 のみ	MMC	保健医療情報論Ⅱ (永田)	看 3							
	4	英語実習Ⅰ b (31以降) (Hodge)	看 2				助産診断・ 技術学Ⅰ (立岡)	実習	公衆衛生看護 活動プロセス (伊藤)	看 1	助産診断・ 技術学Ⅰ (立岡)	実習	看護管理論 (中西)	看 3						
	5					助産マネジメント学 (立岡)	実習	公衆衛生看護 活動プロセス (伊藤)	看 1	助産マネジメント学 (立岡)	実習									
金	1	英語Ⅰ b (相浦)	看 4	社会 保 障 (馬込・蘭)	看 1	英語Ⅰ b (相浦)	看 4	英語Ⅰ b (相浦)	看 4	英語Ⅰ b (相浦)	看 4									
	2	医療社会学 (馬込)	看 1	英 語 Ⅱ (Hodge)	③	医療社会学 (馬込)	看 1	医療社会学 (馬込)	看 1	医療社会学 (馬込)	看 1									
	3			産業保健 (伊藤・埜田)	看 3	産業保健 (伊藤・埜田)	看 3	産業保健 (伊藤・埜田)	看 3	産業保健 (伊藤・埜田)	看 3									
	4	病理学 (相見)	看 1	看護技術論Ⅳ (中西)	看 4 実習	産業保健 (伊藤・埜田)	看 3	産業保健 (伊藤・埜田)	看 3	産業保健 (伊藤・埜田)	看 3									
	5					助産マネジメント学 (立岡)	実習	助産マネジメント学 (立岡)	実習	助産マネジメント学 (立岡)	実習									

備考	基礎看護学実習Ⅰは12月に集中して実施する。	看護学実習の日程等、詳細については別途通知する。 ※編入学生が「英語実習Ⅰb」を履修する場合は、集中講義とする。 ※編入学生の「生涯発達論」の開講方法は別途通知する。	看護研究については、別途通知する。
	※実線の斜線の授業科目は、選択科目、または名簿の番号によって授業科目がわかれているものである。 ※点線の斜線の授業科目は、学期の前半、後半を示す。 ★印は医学科との合同授業を示す。 使用教室の表示は、以下のとおり。 [看護学科棟] 看1：看護第1講義室 看2：看護第2講義室 看3：看護第3講義室 看4：看護第4講義室 実習：看護学実習室 生体：生体機能実習室 [一般教養棟] ①：第1講義室 ③：第3講義室 ⑤：第5講義室 小：小教室 [基礎講義・実習棟] C：解剖実習室 D：顕微鏡実習室 [図書館] MMC：マルチメディアセンター演習室		

時 限	1	2	3	4	5
時 間	8:50～10:20	10:30～12:00	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50

2019年度 試験計画

区分	授業科目	単位数	履修年次				◎：必修 ○：選択必修 △：選択	試験の時期		備考
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年		定期試験	再試験	
一般教養科目	生 物 学	2	前期				◎	8月上旬	9月中旬～下旬	
	生命活動の物理学	2	前期				◎	8月上旬	9月中旬～下旬	
	生命活動の化学	2	前期				◎	8月上旬	9月中旬～下旬	
	ランダム現象の数理	2	前期				◎	8月上旬	9月中旬～下旬	
	生涯発達論	2	前期				◎	8月上旬	9月中旬～下旬	
	情報科学	2	前期				◎	8月上旬	9月中旬～下旬	
	アカデミック・スキル	1	後期				◎	2月中旬	3月上旬	
	現代社会と科学★	2	前期				△	授業中に実施		
	社 会 学	2	前期				△	8月上旬		
	医療社会学	2	後期				△	2月中旬		
	芸術学★	2	前期				△	8月上旬		
	歴史学★	2	前期				△	8月上旬		
	心理 学	1	後期				△	8月上旬		
文化人類学★	2	前期				△	8月上旬			
スポーツ科学実践(保健体育II)	1	後期				△	授業中に実施			
人間と環境	環 境 論	1			前期		◎	授業中に実施		※第3年次編入学生のみ
	教 育 学★	2		前期			△	8月上旬		
	法 学★	2		前期			△	8月上旬		
	保健医療福祉行政論	2		前期			◎	8月上旬	9月下旬	
	社 会 保 障	2		後期			◎	2月中旬	3月上旬	
	国際看護活動論	2				後期	◎	授業中に実施		
外国語科目	英 語 I a	1	前期				◎(編入:△)	8月上旬	9月中旬～下旬	
	英 語 I b	1	後期				◎(編入:△)	2月中旬	3月上旬	
	英 語 実 習 I a	1	前期				◎(編入:△)	8月上旬	9月中旬～下旬	
	英 語 実 習 I b	1	後期				◎(編入:△)	2月中旬	3月上旬	
	ド イ ツ 語 a	1	前期				○(編入:△)	8月上旬	9月中旬～下旬	
	ド イ ツ 語 b	1	後期				○(編入:△)	2月中旬	3月上旬	
	フ ラ ン ス 語 a	1	前期				○(編入:△)	8月上旬	9月中旬～下旬	
	フ ラ ン ス 語 b	1	後期				○(編入:△)	2月中旬	3月上旬	
人間と人間の関係	心 理 学	2			前期		△	学生課から別途通知する		※第3年次編入学生のみ
	家 族 社 会 学	1		前期			△	8月上旬		
	哲 学	2		前期			○(編入:△)	8月上旬		
	宗 教 学	2			前期	後期	○(編入:△)	試験は実施しない		※平成31(2019)年度開講せず
	生涯発達論	2		後期			◎	学生課から別途通知する		※第3年次編入学生のみ
	人間科学総論★	2		後期			◎	授業中に実施		※第3年次編入学生のみ
	地域文化論★	2		前期			△	8月上旬		※第3年次編入学生のみ
	英 語 II	1		後期			△	2月中旬		
	英 語 実 習 II	1			前期		△	授業中に実施		
	保健体育 I	1			前期		△	授業中に実施		※第3年次編入学生のみ
	臨床心理学	2		前期			△	8月上旬		
	保健医療情報論 I	2		前期			◎	8月上旬	9月下旬	
	保健医療情報論 II	2		後期			◎	12月～1月中旬	3月上旬	
	臨床コミュニケーション学	2			前期		◎	8月上旬	8月中旬	
専門基礎科目 I	解剖生理学 I	2	前期				◎	8月上旬	9月中旬～下旬	
	解剖生理学 II	2	後期				◎	2月中旬	3月上旬	
	病 理 学	1	後期				◎	2月中旬	3月上旬	
	感染症学・免疫学	1	後期				◎	2月中旬	3月上旬	
	医学概論★	1	前期				◎	8月上旬	9月中旬～下旬	
人間の生命活動	自 然 科 学 総 論	2			前期		◎	授業中に実施		※第3年次編入学生のみ
	看護の生化学・栄養学	2		前期			◎	8月上旬	9月下旬	
	薬物動態・代謝	1		後期			◎	2月中旬	3月上旬	
	診断と治療 I	1		後期			◎	2月中旬	3月上旬	
	診断と治療 II	2		後期			◎	2月中旬	3月上旬	
	診断と治療 III	2		後期			◎	2月中旬	3月上旬	
専門看護科目/専門看護	フィジカルアセスメント	1	後期				◎	2月中旬	3月上旬	
	看護学概論 I	1	前期				◎	8月上旬	9月中旬～下旬	
	看護学概論 II	1	後期				◎	2月中旬	3月上旬	
	基礎看護技術演習 I	1	前期				◎	8月上旬	9月中旬～下旬	
	基礎看護技術演習 II	1	後期				◎	2月中旬	3月上旬	
	フィジカルアセスメントIII	1		前期			◎	8月上旬	9月下旬	
	看護倫理	1			前期		◎	8月上旬	8月中旬	
	看護管理論	1				後期	△	授業中に実施		
	看護過程論 II	1		前期			◎	8月上旬	8月中旬	
	看護技術論 III	2		前期			◎	8月上旬	9月下旬	
看護技術論 IV	1		後期			◎	2月中旬	3月上旬		

区分	授業科目	単位数	履修年次				◎：必修 ○：選択必修 △：選択	試験の時期		備考
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年		定期試験	再試験	
専門看護科目／専門看護	ライフステージと健康Ⅰ	2		前期			◎	8月上旬	9月下旬	
	ライフステージと健康Ⅱ	2		前期			◎	8月上旬	9月下旬	
	ライフステージと健康Ⅲ	2		前期			◎	8月上旬	9月下旬	
	ライフステージと健康Ⅳ	2		前期			◎	8月上旬	9月下旬	
	ライフステージと健康Ⅴ	2		後期			◎	2月中旬	3月上旬	
	育成期母性看護学	2		後期			◎	2月中旬	3月上旬	
	育成期小児看護学	2			前期		◎	8月上旬	8月中旬	
	成人保健看護学Ⅰ	2			前期		◎	8月上旬	8月中旬	
	成人保健看護学Ⅱ	2			前期		◎	8月上旬	8月中旬	
	高齢者看護学	2			前期		◎	8月上旬	8月中旬	
	精神看護学	2			前期		◎	8月上旬	8月中旬	
	公衆衛生看護学概論	2		後期			◎	2月中旬	3月上旬	
	学校保健	1			前期		◎	8月上旬	8月中旬	
	在宅看護学	2			前期		◎	8月上旬	8月中旬	
	医療の倫理Ⅰ★	1	後期				◎	2月中旬	3月上旬	※医学科第4学年「医の倫理Ⅲ」と合同
	看護の統合と実践	1			後期		◎	授業中に実施		
	外国文献	1				前期	◎	授業中に実施		
	日本語表現論	1			後期		◎	授業中に実施		
	看護研究方法論	1			前期		◎	授業中に実施		
	看護学研究	3				通年	◎	試験は実施しない		
実習	人間発達実習★	1	前期				◎	試験は実施しない		
	基礎看護学実習Ⅰ★	1	後期				◎	試験は実施しない		
	基礎看護学実習Ⅱ	2		通年			◎	試験は実施しない		
	育成期母性看護学実習	2			3年後期～4年前期		◎	試験は実施しない		
	育成期小児看護学実習	2			3年後期～4年前期		◎	試験は実施しない		
	成人保健看護学実習	6			3年後期～4年前期		◎	試験は実施しない		
	高齢者看護学実習Ⅰ	2			前期		◎	試験は実施しない		
	高齢者看護学実習Ⅱ	2			3年後期～4年前期		◎	試験は実施しない		
	精神看護学実習	2			3年後期～4年前期		◎	試験は実施しない		
	在宅看護学実習	2			3年後期～4年前期		◎	試験は実施しない		
統合看護学実習	2				前期	◎	試験は実施しない			

区分	授業科目	単位数	履修年次				必修/選択の別	試験の時期		備考
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年		定期試験	再試験	
保健師課程	家族看護学	2			後期		*	授業中に実施		*は保健師課程を履修する場合に必修となる科目を示す。 *学校保健実習は平成31(2019)年度は開講しません。
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	1			前期		*	授業中に実施		
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	1			後期		*	2月に実施		
	公衆衛生看護学活動プロセス	1			後期		*	2月に実施		
	産業保健	1			後期		*	授業中に実施		
	公衆衛生看護学活動展開Ⅰ**	2			前期		*	8月上旬	8月中旬	
	公衆衛生看護学活動展開Ⅱ	2			前期		*	8月上旬	8月中旬	
	地域ケアシステム論	1			前期		*	授業中に実施		
	公衆衛生看護学活動展開実習	4				前期	*	試験は実施しない		
地域ケアマネジメント実習	1			前期		*	試験は実施しない			
学校保健実習	2				前期	*	試験は実施しない			

区分	授業科目	単位数	履修年次				必修/選択の別	試験の時期		備考
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年		定期試験	再試験	
助産師課程	助産学概論	1			前期		*	8月上旬	8月中旬	*助産師課程を選択する場合に必修となる科目を示す。
	助産診断・技術学Ⅰ	3			後期		*	2月に実施		
	助産診断・技術学Ⅱ	2				前期	*	授業中に実施		
	ウイメンズヘルス演習	1			後期		*	授業中に実施		
	周産期病態学Ⅰ	1			前期		*	8月上旬	8月中旬	
	周産期病態学Ⅱ	1			前期		*	8月上旬	8月中旬	
	助産マネジメント学	1			後期		*	2月に実施		
	助産学実習	8				前期	*	試験は実施しない		
	マタニティサイクル支援実習	2				通年	*	試験は実施しない		
ウイメンズヘルス実習	1				前期	*	試験は実施しない			

【備考】 ★印は、医学部医学科との合同授業科目を示す。また、『再試験』が空欄のものは、再試験は実施しない。
**印は、助産師課程を選択した学生も対象の授業科目を示す。

第3 学年編入学生に関する取扱い

1. 修学年限、在学期間及び休学期間

- (1) 修学年限は、2年とします。
- (2) 在学期間は、4年を越えることができません。
- (3) 休学期間は、2年を越えることができません。

2. 既修得単位の認定

入学する前の短期大学等において履修した授業科目について修得した単位は、その授業内容が本学の教育課程における授業科目の人間の生命活動Ⅰ、人間と環境Ⅰ、人間と人間の関係Ⅱ・Ⅲの区分に属するものと認められる場合は、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定します。

また、人間の生命活動Ⅱ、人間と環境Ⅱ、専門看護の区分においては、次の単位を既に修得したものととして認定します。

人間の生命活動Ⅱ 12単位、人間と環境Ⅱ 4単位

専門看護Ⅰ 15単位、専門看護Ⅱ 28単位、専門看護（実習） 23単位

3. 授業科目の履修方法等

次の授業科目について単位を修得し、前項により認定された単位と合わせて、卒業要件として定められた単位を修得してください（別表参照）。

必修科目

区 分	科 目 名	単 位
人間の生命活動Ⅰ	自然科学総論	2単位
	ランダム現象の数理	2単位
人間と人間の関係Ⅰ	人間科学総論	2単位
	情報科学	2単位
	生涯発達論	2単位
人間と人間の関係Ⅳ	保健医療情報論Ⅰ	2単位
	保健医療情報論Ⅱ	2単位
	臨床コミュニケーション学	2単位
人間と環境Ⅰ	環境論	1単位
人間と環境Ⅱ	国際看護活動論	2単位
専門看護Ⅰ	看護倫理	1単位
専門看護Ⅱ	学校保健	1単位
専門看護Ⅲ	看護の統合と実践	1単位
	外国文献	1単位
	日本語表現法	1単位
	看護研究方法論	1単位
	看護研究	3単位

4. 保健師課程の履修

卒業要件単位数のほか、追加科目として保健師課程の授業科目（別紙）を履修してください。

5. 助産師課程の履修

卒業要件単位数のほか、追加科目として助産師課程の授業科目（別紙）および公衆衛生看護活動展開論Ⅰ（保健師課程の授業科目）を履修してください。

6. その他

保健師免許を取得した後、養護教諭2種免許を取得することを希望する場合は、在学中に下記に指定する8単位を履修し修得しておく必要があります。

- 平成30・31年度第3年次編入学者

「法学」2単位、「保健体育」2単位、「英語実習Ⅰa」・「英語実習Ⅰb」・「英語実習Ⅱ」・「英語Ⅱ」のうちいずれか2単位、「情報科学」・「保健医療情報論」のうちいずれか2単位

(平成31(2019)年度 第3学年編入学生用)

別表

区分	授 業 科 目	単 位 数			第3学年		第4学年		卒業要件単位数 (認定単位と合わせて)
		認定	必修	選択	前	後	前	後	
人間の生命活動Ⅰ	生物学			2	2				必修科目を含む 8単位以上
	生命活動の物理学			2	2				
	生命活動の化学			2	2				
	ランダム現象の数理		2		2				
	自然科学総論★		2		2				
計		4	6	10					
人間と環境Ⅰ	環境論		1		1				必修科目を含む 7単位以上
	現代社会と科学			2	2				
	社会学			2	2				
	医療社会学			2		2			
	教育学			2	2				
	法学			2	2				
計		1	10	9	2				
人間と人間の関係Ⅰ	芸術学			2	2				必修科目を含む 6単位以上 ※(宗教学については、 3年前期と4年後期に 開講し、併せて宗教学 として評価する。第3 学年では単位認定は行 わない) ※第3・4学年の宗教学 は、平成31(2019) 年度は開講しません。
	歴史学			2	2				
	心理学			2	2				
	情報科学		2		2				
	文化人類学			2	2				
	生涯発達論		2			2			
	家族社会学			1	1				
	哲学			2	2				
	宗教学			2	(1)※			(1)※	
	人間科学総論★		2			2			
地域文化論★			2	2					
計		6	15	15	4		2		
人間と人間の関係Ⅱ	英語Ⅰa			1	1				6単位以上 ドイツ語bを履修する ためには、ドイツ語a を履修していなければ ならない。 フランス語bを履修す るためには、フランス 語aを履修していなけ ればならない。 中国語bを履修するた めには、中国語aを履 修していなければなら ない。
	英語Ⅰb			1		1			
	英語Ⅱ			1		1			
	英語実習Ⅰa			1	1				
	英語実習Ⅰb			1		1			
	英語実習Ⅱ			1	1				
	ドイツ語a			1	1				
	ドイツ語b			1		1			
	フランス語a			1	1				
	フランス語b			1		1			
	中国語a			1	1				
	中国語b			1		1			
計			12	6	6				
人間と人間の関係Ⅲ	保健体育Ⅰ			1	1				1単位以上
	保健体育Ⅱ			1		1			
	計			2	1	1			
人間の生命活動Ⅱ	人体の構造と生理機能	2							12単位
	病気の成り立ち	1							
	からだの防御の仕組み	1							
	看護の生化学・栄養学	2							
	薬物動態・代謝	1							
	診断と治療Ⅰ	1							
	診断と治療Ⅱ	2							
	診断と治療Ⅲ	2							
計	12								
人間と人間の関係Ⅳ	臨床心理学			2	2				必修科目を含む 6単位以上
	保健医療情報論Ⅰ		2		2				
	保健医療情報論Ⅱ		2			2			
	臨床コミュニケーション学		2		2				
	計		6	2	6	2			
人間と環境Ⅱ	保健医療福祉行政論	2							必修科目を含む 6単位
	社会保障	2							
	国際看護活動論		2				2		
	計	4	2				2		

別表

区分	授 業 科 目	単 位 数			第 3 学 年		第 4 学 年		卒業要件単位数 (認定単位と合わせて)
		認定	必修	選択	前	後	前	後	
専 門	フィジカルアセスメントⅠ	2							必修科目を含む 16単位
	フィジカルアセスメントⅡ	1							
	フィジカルアセスメントⅢ	1							
	看護学原論	2							
	看護倫理		1		1				
	看護管理論			1				1	
	看護理論	1							
	看護過程論Ⅰ	1							
	看護過程論Ⅱ	1							
	看護技術論Ⅰ	1							
	看護技術論Ⅱ	2							
	看護技術論Ⅲ	2							
	看護技術論Ⅳ	1							
計	15	1	1	1			1		
専 門	ライフステージと健康Ⅰ	2							必修科目を含む 29単位
	ライフステージと健康Ⅱ	2							
	ライフステージと健康Ⅲ	2							
	ライフステージと健康Ⅳ	2							
	ライフステージと健康Ⅴ	2							
	育成期母性看護学	2							
	育成期小児看護学	2							
	成人保健看護学Ⅰ	2							
	成人保健看護学Ⅱ	2							
	高齢者看護学	2							
	精神保健	2							
	精神看護学	2							
	公衆衛生看護学概論	2							
学校保健		1		1					
在宅看護学	2								
計	28	1		1					
専 門	看護の統合と実践		1			1			必修科目 7 単位
	外国文献		1				1		
	日本語表現法		1			1			
	看護研究方法論		1		1				
	看護研究		3					3	
計		7		1	2		4		
実 習	基礎看護学実習Ⅰ	1							23単位
	基礎看護学実習Ⅱ	2							
	育成期母性看護学実習	2							
	育成期小児看護学実習	2							
	成人保健看護学実習	6							
	高齢者看護学実習Ⅰ	2							
	高齢者看護学実習Ⅱ	2							
	精神看護学実習	2							
	在宅看護学実習	2							
	統合看護学実習	2							
計	23								
合 計	82	28	48			76		127単位以上修得	

* 1 保健師課程	家族看護学		2			2			保健師課程を選択する 場合必修科目を含む 16単位以上 ※学校保健実習は、平成31(2019)年度は開講しません。
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ		1		1				
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ		1			1			
	公衆衛生看護活動プロセス		1			1			
	産業保健		1			1			
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ *3		2		2				
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ		2		2				
	地域ケアシステム論		1		1				
	公衆衛生看護活動展開論実習		4				4		
	地域ケアマネジメント実習		1				1		
学校保健実習			2			2			
計		16	2	6	5	7			

* 2 助産師課程	助産学概論		1		1				助産師課程を選択する 場合 必修科目21単位
	助産診断・技術学Ⅰ		3			3			
	助産診断・技術学Ⅱ		2				2		
	ウィメンズヘルス演習		1			1			
	周産期病態学Ⅰ		1		1				
	周産期病態学Ⅱ		1		1				
	助産マネジメント学		1			1			
	助産学実習		8				8		
	マタニティサイクル支援実習		2				2		
ウィメンズヘルス実習		1				1			
計		21		3	5	13			

- ★ 看護学科第3年次編入学生対象の授業科目
 * 1 保健師課程を選択した学生対象の授業科目
 * 2 助産師課程を選択した学生対象の授業科目
 * 3 助産師課程を選択した学生も対象の授業科目

(平成30年度 第3学年編入学生用)

別表

区分	授 業 科 目	単 位 数			第3学年		第4学年		卒業要件単位数 (認定単位と合わせて)
		認定	必修	選択	前	後	前	後	
人間の生命活動Ⅰ	生物学			2	2				必修科目を含む 8単位以上
	生命活動の物理学			2	2				
	生命活動の化学			2	2				
	ランダム現象の数理		2		2				
	自然科学総論★		2		2				
	計		4	6	10				
人間と環境Ⅰ	環境論		1		1				必修科目を含む 7単位以上
	現代社会と科学			2	2				
	社会学			2	2				
	医療社会学			2		2			
	教育学			2	2				
	法学			2	2				
計		1	10	9	2				
人間と人間の関係Ⅰ	芸術学			2	2				必修科目を含む 6単位以上 ※(宗教学については、 3年前期と4年後期に 開講し、併せて宗教学 として評価する。第3 学年では単位認定は行 わない。) ※第3・4学年の宗教学 は、平成31(2019) 年度は開講しません。
	歴史学			2	2				
	心理学			2	2				
	情報科学		2		2				
	文化人類学			2	2				
	生涯発達論		2			2			
	家族社会学			1	1				
	哲学			2	2				
	宗教学			2	(1)※			(1)※	
	人間科学総論★		2			2			
	地域文化論★			2	2				
計		6	15	15	4		2		
人間と人間の関係Ⅱ	英語Ⅰa			1	1				6単位以上 ドイツ語bを履修する ためには、ドイツ語a を履修していなければ ならない。 フランス語bを履修す るためには、フランス 語aを履修していなけ ればならない。 中国語bを履修するた めには、中国語aを履 修していなければならない。
	英語Ⅰb			1		1			
	英語Ⅱ			1		1			
	英語実習Ⅰa			1	1				
	英語実習Ⅰb			1		1			
	英語実習Ⅱ			1	1				
	ドイツ語a			1	1				
	ドイツ語b			1		1			
	フランス語a			1	1				
	フランス語b			1		1			
	中国語a			1	1				
中国語b			1		1				
計			12	6	6				
人間の関係Ⅲ	保健体育Ⅰ			1	1				1単位以上
	保健体育Ⅱ			1		1			
	計			2	1	1			
人間の生命活動Ⅱ	医学・生命科学入門			2	2				12単位以上
	人体の構造と生理機能	2							
	病気の成り立ち	1							
	からだの防御の仕組み	1							
	看護の生化学・栄養学	2							
	薬物動態・代謝	1							
	診断と治療Ⅰ	1							
	診断と治療Ⅱ	2							
	診断と治療Ⅲ	2							
計	12		2	2					
人間と人間の関係Ⅳ	臨床心理学			2	2				必修科目を含む 6単位以上
	保健医療情報論Ⅰ	2			2				
	保健医療情報論Ⅱ	2				2			
	臨床コミュニケーション学	2			2				
	計	6	2	2	6	2			
人間と環境Ⅱ	保健医療福祉行政論	2							必修科目を含む 6単位
	社会保障	2							
	国際看護活動論		2				2		
	計	4	2				2		

別表

区分	授 業 科 目	単 位 数			第 3 学 年		第 4 学 年		卒業要件単位数 (認定単位と合わせて)
		認定	必修	選択	前	後	前	後	
専 門	フィジカルアセスメントⅠ	2							必修科目を含む 16単位
	フィジカルアセスメントⅡ	1							
	フィジカルアセスメントⅢ	1							
	看護学原論	2							
	看護倫理		1		1				
	看護管理論			1				1	
	看護理論	1							
	看護過程論Ⅰ	1							
	看護過程論Ⅱ	1							
	看護技術論Ⅰ	1							
	看護技術論Ⅱ	2							
	看護技術論Ⅲ	2							
	看護技術論Ⅳ	1							
計	15	1	1	1			1		
専 門	ライフステージと健康Ⅰ	2							必修科目を含む 29単位
	ライフステージと健康Ⅱ	2							
	ライフステージと健康Ⅲ	2							
	ライフステージと健康Ⅳ	2							
	ライフステージと健康Ⅴ	2							
	育成期母性看護学	2							
	育成期小児看護学	2							
	成人保健看護学Ⅰ	2							
	成人保健看護学Ⅱ	2							
	高齢者看護学	2							
	精神保健	2							
	精神看護学	2							
	公衆衛生看護学概論	2							
学校保健		1		1					
在宅看護学	2								
計	28	1		1					
専 門	看護の統合と実践		1			1			必修科目 7 単位
	外国文献		1				1		
	日本語表現法		1			1			
	看護研究方法論		1		1				
	看護研究		3					3	
計		7		1	2		4		
実 習	基礎看護学実習Ⅰ	1							23単位
	基礎看護学実習Ⅱ	2							
	育成期母性看護学実習	2							
	育成期小児看護学実習	2							
	成人保健看護学実習	6							
	高齢者看護学実習Ⅰ	2							
	高齢者看護学実習Ⅱ	2							
	精神看護学実習	2							
	在宅看護学実習	2							
	統合看護学実習	2							
計	23								
合 計	82	28	50			78		127単位以上修得	

* 1 保健師課程	家族看護学		2			2			保健師課程を選択する 場合必修科目を含む 16単位以上 ※学校保健実習は、平成31(2019)年度は開講しません。
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ		1		1				
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ		1			1			
	公衆衛生看護活動プロセス		1			1			
	産業保健		1			1			
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ *3		2		2				
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ		2		2				
	地域ケアシステム論		1		1				
	公衆衛生看護活動展開論実習		4				4		
	地域ケアマネジメント実習		1				1		
学校保健実習			2			2			
計		16	2	6	5	7			

* 2 助産師課程	助産学概論		1		1				助産師課程を選択する 場合 必修科目21単位
	助産診断・技術学Ⅰ		3			3			
	助産診断・技術学Ⅱ		2				2		
	ウィメンズヘルス演習		1			1			
	周産期病態学Ⅰ		1		1				
	周産期病態学Ⅱ		1		1				
	助産マネジメント学		1			1			
	助産学実習		8				8		
	マタニティサイクル支援実習		2				2		
ウィメンズヘルス実習		1				1			
計		21		3	5	13			

- ★ 看護学科第3年次編入学生対象の授業科目
 * 1 保健師課程を選択した学生対象の授業科目
 * 2 助産師課程を選択した学生対象の授業科目
 * 3 助産師課程を選択した学生も対象の授業科目

一般教養科目 I



生 物 学

1 担当教員名

助 教 藤 堂 景 史 (生命科学講座 生物学)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

ヒトを含め多くの生物は、1つの細胞から成長、分裂を繰り返してできた細胞の共同体である。「生命とは何か」、「生物としてのヒトとは何か」を考えるために、生命の基本単位である「細胞」を理解することから始め、生命活動の設計図である遺伝情報の維持や発現のしくみについて学習する。そして、組織、器官、個体、集団といった視点からも生物を捉える。これらの学習を通して、個々の生物を特徴づける多様性とすべての生物に共通する恒常性を対照させながら、生命体を統一的に理解し、「生物としてのヒト」の理解につなげることを目標とする。授業の目標項目を以下に示す。

- 1) 細胞の基本構造と機能を概説できる。
- 2) 生物を構成する物質の種類と機能を説明できる。
- 3) 栄養の摂取と代謝の過程、酵素の機能と調節を説明できる。
- 4) 遺伝様式、ゲノムと染色体、DNAの複製と修復を概説できる。
- 5) 転写と翻訳の過程を説明できる。
- 6) 細胞周期と細胞分裂の過程を説明できる。
- 7) 生物の増殖様式と動物の発生過程を概説できる。
- 8) 動物の組織の種類、その構造と機能を説明できる。
- 9) 器官と器官系を概説できる。
- 10) ホルモンによる生体調節機構を説明できる。
- 11) 神経系の構成、神経の伝導と伝達を説明できる。
- 12) 自然免疫と獲得免疫の機構を説明できる。
- 13) 微生物の種類とその感染症を概説できる。
- 14) 癌の特徴と原因、老化の過程を概説できる。
- 15) 生物学を応用した技術・医療について概説できる。

4 授業概要

生命の基本単位である細胞について、その構造と機能を学習し、生命体を構成する物質や物質代謝の基本を学ぶ。次に、遺伝の法則について学習し、生命の設計図である遺伝子の複製、発現やその調節について学ぶ。さらに、組織・器官といった生物の構成単位についても学び、それをふまえて、ホルモン、神経系による調節や恒常性維持といった個体レベルでの調節や生体防御機構の基本を学習する。また、癌や老化のメカニズムおよび生物学を応用した技術や医療についても学習する。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月12日(金)	2	藤 堂	イントロダクション 生物学の基礎	講義の概要 生物とは	看 3
4月19日(金)	2	〃	細胞	細胞の構造、細胞小器官、細胞の運動	看 3
4月26日(金)	2	〃	生物を構成する物質	水、生体物質の構成単位、生体高分子	看 3
5月17日(金)	2	〃	栄養と代謝	酵素、栄養の摂取、エネルギー代謝、様々な代謝経路	看 3
5月24日(金)	2	〃	遺伝とDNA	遺伝現象、ゲノムと染色体、DNAの複製と修復	看 3
5月31日(金)	2	〃	遺伝情報の発現	転写とRNA、転写調節、タンパク質合成	看 3
6月7日(金)	2	〃	細胞の増殖と死	細胞周期、体細胞分裂、減数分裂、細胞の死	看 3
6月14日(金)	2	〃	生殖、発生、分化	生物の増殖様式、動物の発生、分化・再生	看 3
6月21日(金)	2	〃	動物の組織と器官	筋肉、血液、器官系(消化系、循環系、呼吸系、排出系、感覚系)	看 3
6月28日(金)	2	〃	内分泌系と神経系による 生体調節	内分泌器官とホルモン、細胞内情報伝達、神経伝達メカニズム	看 3
7月5日(金)	2	〃	免疫系による生体防御	自然免疫、獲得免疫、医療における免疫	看 3
7月12日(金)	2	〃	微生物と感染症	微生物の種類、細菌、真核微生物、ウイルス	看 3

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
7月19日(金)	2	藤 堂	癌と老化	癌の特徴・原因・生成と進展、老化と寿命	看3
7月26日(金)	2	〃	生物学の医療への応用	バイオテクノロジー、再生医療	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は講義形式をとる。プロジェクターを使い、教科書に沿って進める。資料としてプリントを配付する。

7 評価方法

目標項目の全範囲を対象とした筆記試験を学期末に行う。筆記試験を85%、出席を15%として評価し、合計が60%以上を合格とする。

8 教科書・参考文献

教科書：「医療・看護系のための生物学 改訂版」田村隆明 著 裳華房 テキストISBN番号 978-4-7853-5233-2

参考書：「Essential 細胞生物学 原書第4版」中村桂子・松原謙一 監訳 南江堂

9 オフィスアワー（授業相談）

質問や相談があれば、随時受け付けます。一般教養棟2階生物学実習準備室（204号室）に来室するかメール等で連絡してください。

10 学生へのメッセージ

生物学は専門課程で履修するすべての科目の基本となる科目です。授業を通して生物学の基本概念と大局観を身につけ、自分自身でしっかりした生物学の基盤を作ってください。「生物としてのヒト」についてじっくり考えてみましょう。

11 授業用E-mail

kftodo@belle.shiga-med.ac.jp

生命活動の物理学

1 担当教員名

教授 目良 裕 (生命科学講座 物理学)
准教授 成瀬 延康 (生命科学講座 物理学)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

人体には重力が働いている。それだけではなく、内部にテコを備えていてこれを利用して効果的な動きを可能にしている。このような人体に働く力について理解を深め、負担の少ない身体の動かし方を考える。また、血液の流れ、熱、音や光の感覚器官など、人体に関わる物理現象を理解する。

医療の場では、様々な計測機器や治療用機器が使用される。計測機器に関しては、何（どのような物理量）を、どのような測定原理で計測しているのかを理解する。治療用機器に対しても同様の理解を深めることを目標とする。

・項目別学習目標

- (1) 運動の法則、および運動方程式を理解し、応用できる。
- (2) 様々な運動を記述できる。
- (3) 回転運動を記述できる。
- (4) エネルギーと運動量を説明でき、応用できる。
- (5) 摩擦がある運動を説明できる。
- (6) 圧力を理解し、説明できる。
- (7) ベルヌーイの定理を理解し、応用できる。
- (8) 熱、仕事の概念を理解し、説明できる。
- (9) 体温調節に関係する熱的現象を説明できる。
- (10) 音の三要素、超音波、ドップラー効果を説明できる。
- (11) 光の反射、屈折、結像公式を説明できる。
- (12) 光の干渉・回折現象を説明できる。
- (13) クーロンの法則を説明できる。
- (14) 電場、電位の概念を説明できる。
- (15) オームの法則を説明できる。
- (16) コンデンサーの原理、性質を説明できる。
- (17) ビオ・サバールの公式を説明できる。
- (18) 電磁誘導、ファラデーの法則を理解し、説明できる。

4 授業概要

医療の場にある物理現象を理解することを目的として、力学（圧力を含む）、熱、音・光、電磁気の基礎を学ぶ。また、授業の最後に行う小テストで実際に問題を解くことにより、更に理解を深める。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月15日(月)	3	目良	力と運動(1)	力、力のつり合い、運動方程式	看1
4月22日(月)	3	〃	力と運動(2)	速度、加速度、等速直線運動、落下運動、円運動	看1
5月13日(月)	3	〃	回転運動	回転運動とトルク、テコの原理	看1
5月13日(月)	4	〃	エネルギーと運動量(1)	エネルギー、運動量	看1
5月20日(月)	3	〃	エネルギーと運動量(2)	摩擦力、牽引	看1
5月27日(月)	3	〃	圧力(1)	気体の圧力、大気圧、陰圧、陽圧、静水圧	看1
6月3日(月)	3	〃	圧力(2)	ベルヌーイの定理、血圧	看1
6月10日(月)	3	〃	熱エネルギーと温度	仕事と熱、熱機関、温度計、比熱、融解、蒸発	看1
6月17日(月)	3	〃	体温調節	熱産生、放熱、平衡温、体温計	看1
6月24日(月)	3	〃	波動(1)	波動、可聴音、超音波	看1
7月1日(月)	3	〃	波動(2)	光(反射、屈折、レンズ、医療への応用)	看1

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
7月8日(月)	3	目良	波動(3)	光(干渉、回折)	看1
7月16日(火)	3	〃	電磁気(1)	静電気、電流、オームの法則、電力	看1
7月22日(月)	3	〃	電磁気(2)	コンデンサー、生体の電気現象	看1
7月29日(月)	3	〃	電磁気(3)	磁気、電磁誘導、コイル	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、板書およびプロジェクターによる説明を主とし、必要に応じてプリントを配布する。講義中に簡単な演習を行う。

7 評価方法

学期末に行う筆記試験を80%、演習を20%として評価する。場合に応じてレポートを課すこともある。

8 教科書・参考文献

教科書：

教科書は指定しない。

参考書：

ベッドサイドを科学するー看護に生かす物理学ー 平田雅子著 学研
医療系のための物理 佐藤幸一・藤城敏幸著 東京教学社

9 オフィスアワー(授業相談)

一般教養棟4階物理実習室前のホワイトボードに掲示する。掲示された日程以外を希望する場合及び掲示が無い場合は、口頭かメール(mera@belle.shiga-med.ac.jp)で相談すること。

10 授業用E-mail

mera@belle.shiga-med.ac.jp

生命活動の化学

1 担当教員名

教授 古 莊 義 雄 (生命科学講座 化学)

非常勤講師 高 橋 知 子

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

医療の世界は、人体を構成する物質をはじめとして、取り扱う薬品や素材などの無数の化学物質に取り囲まれています。さらに日進月歩の医療分野では、医療者が自ら新たな知識を取り入れて消化し、専門分野で役立てていく力が求められています。本講義では、基礎的な化学知識を生命活動や生体成分、薬品、栄養、環境などの分野と密に関連させて理解を進めていくことにより、化学への興味を喚起し、自ら継続して学んでいくための土台を作ることを目標としています。

4 授業概要

本講義では、医療分野に必要な基礎的な化学知識を厳選して学習し、さらに様々な話題を取り入れながら生命活動や医療、身のまわりの事象との繋がりを重視して授業を進めます。また、演示実験による実物の提示や分子模型、画像などを活用して、多面的な理解を深めることで講義内容の定着を図ります。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月9日(火)	1	高 橋	ガイダンス 空気の化学1	この授業の目標・進め方 空気の構成成分を考える－窒素、不活性ガスの話	B
4月16日(火)	1	〃	空気の化学2	なぜ、息をするのか？－酸素、二酸化炭素の話	B
4月23日(火)	1	〃	水の化学1	水の変化－化学反応とは？化学反応式 モルの考え方	B
5月7日(火)	1	〃	水の化学2	水分子を知る－構造、化学結合、溶解の化学	B
5月14日(火)	1	〃	水の化学3	体液の調節機能－浸透圧 溶液の濃度 単位	B
5月21日(火)	1	〃	酸と塩基	体液の調節機能－中和 pH 強弱 緩衝溶液	B
5月28日(火)	1	〃	酸化と還元	体内の酸化還元反応 電池の仕組み	B
6月4日(火)	1	〃	有機化学の基礎1	有機化合物とは？－脂肪族炭化水素	B
6月11日(火)	1	〃	有機化学の基礎2	お酒を飲むとどうなるか？－官能基とその反応	B
6月18日(火)	1	〃	有機化学の基礎3	医薬品を中心に－芳香族炭化水素 異性体と薬	B
6月25日(火)	1	〃	生体の構成成分1	核酸 脂質－DNA 中性脂肪とコレステロール	B
7月2日(火)	1	〃	生体の構成成分2	アミノ酸とタンパク質－酵素と触媒反応	B
7月9日(火)	1	〃	生体の構成成分3	糖類－体内の糖類とその代謝	B
7月23日(火)	1	〃	合成高分子化合物	有機医療用材料－プラスチック 合成繊維	B
7月30日(火)	1	〃	トピックス	放射性物質と医療 無機医療用材料	B

6 評価方法

基本的に定期試験+出席点の総合点数で評価し、60点以上で合格とする。また、授業中に、出席確認・小テストを兼ねたまとめプリントの提出をしてもらい、成績評価の参考にする。但し、特別な事情によらない欠席が7回を超えた場合には、期末試験の受験資格を失い、単位認定も行いません。

7 教科書・参考文献

教科書：コ・メディカル化学－医療・看護系のための基礎化学－
齋藤勝裕・荒井貞夫・久保勘二 共著

参考文献：「看護系で役立つ化学の基本」有本淳一・西沢いづみ著，化学同人
「系統看護学講座「化学」杉田良樹著，医学書院

8 学生へのメッセージ

化学は今後学んでいく様々な専門科目の理解の土台となるものですが、既習の化学で苦手意識を持っているという声も多く聞かれます。今後の専門分野の学習との橋渡しとなるよう、分野横断的な話題を広く取り入れて進めますので、ぜひ興味を持って取り組んで欲しいと思います。

ランダム現象の数理

1 担当教員名

准教授 川北素子 (生命科学講座 数学)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

1. 論理的思考・数学的方法に慣れるようにする。
2. 実験・観測・アンケートなどで得られた資料を、分かり易く使い勝手が良いように整理できるようにする。
3. 多分正しい・正しいかも知れない、などの不完全な情報に基づいて、もっとも合理的な意思決定が出来るための数学的基礎を作る。同時に、からだの生化学・栄養学・環境論等を理解する基礎を整えることを目的とする。

4 授業概要

統計資料の効果的な整理法からはじめ、確率空間、確率変数の定義と基本的性質や、二項分布、正規分布等の種々の分布の性質、計算法などにを経て、推測統計の基礎理論へと進む。講述と演習を行う。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月12日(金)	1	川北	授業計画	授業計画	看4
4月19日(金)	1	〃	確率	確率	看4
4月26日(金)	1	〃	確率分布1	離散確率分布	看4
5月17日(金)	1	〃	確率分布2	連続確率分布	看4
5月24日(金)	1	〃	確率分布3	演習	看4
5月31日(金)	1	〃	確率分布4	平均と分散	看4
6月7日(金)	1	〃	確率分布5	二項分布	看4
6月14日(金)	1	〃	確率分布6	正規分布	看4
6月21日(金)	1	〃	確率分布7	演習	看4
6月28日(金)	1	〃	統計1	標本分布	看4
7月5日(金)	1	〃	統計2	標本抽出	看4
7月12日(金)	1	〃	統計3	演習	看4
7月19日(金)	1	〃	統計4	推定	看4
7月26日(金)	1	〃	統計5	仮説検定	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

黒板書による講義形式、適宜演習を行う。

7 評価方法

学期末に定期試験を行う。定期試験70%、演習30%の合計が60%以上を合格とする。

8 教科書・参考文献

「確率・統計序論」 氏家・道家・土井・鳥越共著 東海大学出版会 テキストISBN番号 978-4-486-01745-5

9 オフィスアワー(授業相談)

随時相談に応じます。

10 学生へのメッセージ

理解を深めるため、また考える習慣をつけるために、演習問題を自分の力で解いて下さい。

11 授業用URL

<http://www.shiga-med.ac.jp/~kawakita/lectures.html>

生涯発達論

1 担当教員名

准教授 小島隆次 (医療文化学講座 心理学)

2 配当学年等

第1学年 前期 2単位

3 学習目標

本授業は、乳幼児期から高齢期までの人の発達過程や変化の諸相に関する発達心理学における基礎知識を習得することを第一義とします。また、受講生が本授業で課される様々な課題を適切にこなすことで、論理的に考え、批判する能力が養われ、習得した知識を日常生活でどのように応用していくのかを考えられるようになることも目指します。

そして、上記目標の達成に伴い、結果的に受講生が以下の目標を達成できるようになることを学習目標とします。

1. 発達心理学諸分野の基礎知識を身に着けること
2. 発達心理学諸分野の基礎知識を様々な日常の場面で活用する態度を身に着けること
3. 様々な事象に対して、批判的・発展的に考える態度を身に着けること

4 授業概要

本授業は、人の生涯発達という視点を加味して、発達心理学において扱われる主要なトピック（個々のテーマなどについては授業スケジュールを参照してください）を幅広く教授します。また、授業を受講することで、受講生が論理的に考え、批判する能力を養いつつ、論理的・批判的思考と日常における人の思考・行動特性との関係性について考察する契機を得られるようにしたいと思います。

5 授業内容

授業内容は以下の授業計画表の各授業における内容を参照してください。基本的には、一般的な生涯発達論や発達心理学分野で扱われることの多いトピックを紹介する内容になります。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月10日(水)	2	小島	初回ガイダンス	本授業の受講方法や基本方針などを説明。	看3
4月17日(水)	2	〃	発達理論概説	心理学における発達概念と代表的な発達理論を概説。	看3
4月24日(水)	2	〃	遺伝と環境	心理学や行動科学分野における遺伝や環境の扱いについて概説。	看3
5月8日(水)	2	〃	乳幼児期の認知能力	胎児期を含め、乳幼児期の認知能力の発達の変化について概説。	看3
5月15日(水)	2	〃	児童期の認知能力	児童期の認知能力の発達の変化について概説。	看3
5月22日(水)	2	〃	中間まとめ	第2～5回までの授業内容のまとめを受講生との質疑応答を中心に行う。	看3
5月29日(水)	2	〃	乳幼児期の社会性	乳幼児期の他者との関わり方の発達の変化について概説。	看3
6月5日(水)	2	〃	児童期の社会性	児童期の他者との関わり方の発達の変化について概説。	看3
6月12日(水)	2	〃	中高年期の認知能力	中高年期における認知能力の変化について概説。	看3
6月19日(水)	2	〃	中高年期の社会性	中高年期における他者との関わり方の変化について概説。	看3
6月26日(水)	2	〃	青年期の諸問題	青年期において見られる自我同一性の問題や他者・社会との関わりに関する心理的問題について概説。	看3
7月3日(水)	2	〃	発達障害とパーソナリティ障害	発達障害及びパーソナリティ障害とその発達の特性について概説。	看3
7月10日(水)	2	〃	死生観	生死の意味づけの意味について考える。	看3
7月17日(水)	2	〃	振り返り	第13回までの授業内容の履修状況確認を履修確認課題によって行う。	看3
7月24日(水)	2	〃	全体のまとめ	授業全体のまとめを受講生との質疑応答を中心に行う。	看2

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は基本的にパワーポイントを利用したプレゼンテーション形式です。但し、テーマによっては画像・音声・動画による資料の視聴、デモや問題解決課題を授業内課題として行っていただくことがあります。また、webシステムを利用した課外課題も適宜出します。授業中のデモ、問題解決、質疑応答等の授業内課題や、課外課題等への取り組みについては、単位の認定及び評価時の資料とします。

本学学生の多様な知的背景や自主学習の便宜なども考慮して、本授業の受講形態には講義型とweb型の二種類が用意されており、受講生はいずれの方法も自由に選択できます。無論、どちらか一方の型を常に選択する必要はなく、個々人の裁量において自由に適宜選択できます。もちろん、両方の形式で受講することも可能であり、授業担当者としては両方の形式での受講を勧めます。また、授業に必要な情報は全てwebで提供しますので、受講予定の学生は、必ず授業用webサイトのIDとパスワードを取得して下さい（IDとパスワードは初回ガイダンス時に知らせます）。

いずれの受講形態を選択しても単位認定に際して不利益が生じることはありません。受講形態に関する詳細などは、初回ガイダンスで説明しますが、授業webサイトで配布される授業ガイドも参照して下さい。

7 評価方法

評価は、単位認定と単位評価の二段階で行います。

まず、単位認定は、履修確認課題の成績（100点満点）、授業内容をまとめるレポート課題（15点満点）、課外課題（15点満点）に基づいて行います。各課題の詳細については、授業中の説明や授業ガイド等の授業時に配布される資料を参照して下さい。

各課題の得点を以下の式で全体として100点満点に換算し、その得点で単位認定を行います。60点以上で認定となります。

$(\text{レポート課題得点} + \text{課外課題得点}) + \text{履修確認課題得点} \times (100 - (\text{レポート課題得点} + \text{課外課題得点})) \div 100 = \text{単位認定のための素点}$

次に、認定された単位に対して相対評価を行い、これを最終評価とします。認定された単位に対する評価については、授業内課題への参加状況なども考慮します。

評価方法の詳細等については、初回授業（ガイダンス）及び授業用webサイトで配布する授業ガイドでより詳細に説明しますので、受講予定の方は、初回授業に参加するか、授業ガイドを必ず手に入れてください。

8 教科書・参考文献

教科書：特に指定しない。修学に必要な資料は全てwebで配布します。

参考文献：配布資料やwebにて適宜示します。

9 オフィスアワー（授業相談）

オフィスアワー情報は授業時に通知します。もちろん、個別にメール等でアポイントメントを取っていただければ、適宜対応します。

10 学生へのメッセージ

本授業は、発達心理学や認知心理学を中心として、認知・行動科学的観点からの人の生涯発達の諸相を主として扱います。一般に“人”について語る際には、つい“いわゆる成人”を暗黙裡に想定しますが、実際にはそのような“いわゆる成人”が存在する可能性は著しく低いでしょう。時系列的変化を加味して人をとらえることの重要性和、以て“人”について語ることの困難さを得心していただけるようにしたいと思います。

最後に重要な注意事項を述べておきますが、教授活動の迅速かつ適切な形成的改善のために、単位認定と評価の方法を含めた本授業における様々な規則等は、原則としてシラバス記載の内容よりも、授業webサイトを通じて配布される様々な文書に記される規定を最優先としますので、必ず授業webサイトを定期的に確認するようにしてください。また、本授業の単位認定に関しては、いわゆる救済策の類は一切存在しませんので、この点も注意して下さい。

11 授業用URL

http://kojima-lab.net/lecture_etc/index.html

情報科学

1 担当教員名

准教授 本山 一 隆 (情報総合センター)
 准教授 杉本 喜久 (医療情報部)
 講師 芦原 貴司 (循環器内科)
 助教 重歳 憲治 (マルチメディアセンター)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

- ・一般学習目標

医学学習に必要な情報リテラシーおよび研究や臨床での活用につながる情報技術の習得、ならびにそれらの基礎となる概念の理解。
- ・個別学習目標
 - (1) コンピュータの構造と動作の概要を理解し、基本的な操作が行える
 - (2) オペレーティングシステムの役割とファイルの概念を理解し、操作できる
 - (3) ネットワークの基本動作とインターネットの成り立ちを理解し、情報通信に必要な基本操作が行える
 - (4) インターネット上で最も活用されているWeb (ホームページ) や電子メールの仕組みを理解し、情報の収集と発信、コミュニケーションの手段として活用できる
 - (5) 情報活用に際して起こりうるセキュリティ面での危険性を理解して対応し、日常だけでなく、医療情報管理や個人情報保護の観点から発生しうる問題がわかる
 - (6) 文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトウェアなどの日常作業に用いるアプリケーションが活用できる
 - (7) これらのアプリケーションに共通する「オブジェクト」の概念を理解し、各局面で応用できる
 - (8) コンピュータにおける静止画、動画データの基本構造と処理過程を理解し、基本的なデータ操作が行える
 - (9) 情報を処理する際のフロー (流れ) の考え方、表現法を理解し、小規模なプログラミングの経験を持つ
 - (10) 医療における情報技術の活用状況を把握し、習得した知識との関連付けができる

4 授業概要

医学分野における情報化の進展は、臨床現場においては電子カルテを始めとして業務の効率化や医療ミスを防ぐための有効な手段となっており、診療支援に欠くことのできないものになっている。また、研究分野でも、遺伝子、タンパク質を扱う分野にとどまらず情報技術は不可欠なものになっている。看護学を目指すものも、否応なくこうした領域のコンピューターシステムを扱わなければならない。その際に、基本となる情報技術、情報科学の基礎を持っているか否かで、習得効率や有効活用のレベルが大きく異なる。勉学の面でも、爆発的な医学知識の増大は今後も続き、こうした医学知識の習得や、実践のための取捨選択を限られた時間に全うするには、情報を扱う技術が重要な役割を果たすことになる。

本講義「情報科学」では、臨床や医学研究、学習に用いられる情報技術の共通かつ必須の部分、いわゆるコンピュータリテラシーを一通り習得する。現在では、学校授業や日常生活でこれらを習得している可能性が高いので、早期に最低限のスキルに到達することを目的とする。講義では各人1台のコンピュータが割り当てられる。講義内容は毎回のトピックスの解説と実習で構成され、実践技術の実習を通して情報科学の基礎知識の理解を目的としている。また、単なるコンピュータ利用技術の習得にとどまらぬよう、実習課題などには医学医療を意識した題材を用いている。また、道具としてのコンピュータをより理解するため、プログラミングの学習も行う。ブラウザ上で動作し、簡易にプログラム作成ができるJavascriptを用いる。

5 授業内容

下記の「授業計画表」の内容に沿って講義、演習を行うが、進捗状況次第で順序や内容を変更することがある。講義とは別にマルチメディアセンターが主催している講習会もあるので活用してほしい。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月3日(水)	4	本山・重歳 図書館、 マルチメディア センター職員	図書館・マルチメディア センター合同ガイダンス 4月3日(水) 15:00～17:30	学内でのネットワーク、コンピュータの利用に必要な最低限の手続きを行い、利用方法を学ぶ。(メールアドレス、パスワード設定、メール利用、学内PC利用など) 臨床講義室3に集合すること。	臨3 MMC
4月9日(火)	2	本山・重歳	Introduction	学内の情報環境と利用方法、ルールを確認する。 ファイルの概念などコンピュータ操作の基本を学ぶ。	MMC

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月16日(火)	2	本山・重歳	文書作成とプレゼンテーション(基礎編)	学生生活の中で多用される文書作成とプレゼンテーションの基本技術を学習する.その中で図形をはじめとする様々なオブジェクトの概念と操作法を学ぶ。	MMC
4月23日(火)	2	本山・図書館職員	図書検索システム入門	ネットワークを駆使して文献(図書や論文など)を手早く見つけ出す。図書館の効率的な利用方法やオンラインジャーナル、電子ブックについても解説する。	MMC
5月7日(火)	2	本山・重歳	文書作成とプレゼンテーション(応用編)	文書作成とスライド作成での応用技術。PDF作成や文字コードなどについても触れる。	MMC
5月14日(火)	2	〃	画像処理	画像データの基本知識を学習する。画像の回転縮小や写真合成など簡単な画像処理を、医療画像を題材に実習する。	MMC
5月21日(火)	2	〃	動画処理の仕組みと加工	日常扱うことが多くなった動画データの基本知識と加工技術を習得する。	MMC
5月28日(火)	2	〃	インターネットの仕組み	インターネットが機能するための仕組み、メール、webの挙動と特性。	MMC
6月4日(火)	2	〃	情報セキュリティ	コンピュータウィルスやネットワーク・サーバーへの不正侵入、フィッシングなど、現実に目の前にあるインターネット上の「脅威」について学習する。	MMC
6月11日(火)	2	〃	情報セキュリティ2	IPAが提供するビデオ教材による学習および擬似ウィルス感染による体験学習、他。	MMC
6月18日(火)	2	〃	web(ホームページ)による情報発信	webの仕組みを理解し、ホームページを形成するHTMLを学習する.自己紹介のホームページ作成を通して、webの基本を学ぶ。	MMC
6月25日(火)	2	〃	表計算ソフトウェア(基本編)	表計算ソフトウェアの概念。作表と自動計算。表データからのグラフ作成。グラフの基礎知識。	MMC
7月2日(火)	2	〃	表計算ソフトウェア(応用編)	集計データを扱う際の前処理(文字列加工)と初歩的な統計処理を試みる	MMC
7月9日(火)	2	芦原・本山・重歳	医療とAI	AI(人工知能)の仕組み理解し医療への応用を学ぶ。関連するプログラミングも体験する。	MMC
7月23日(火)	2	〃	医療情報I	医療情報の収集から発信までを学ぶ。	MMC
7月30日(火)	2	〃	医療情報II	医療情報の収集から発信までを学ぶ。	MMC

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義はマルチメディアセンター(MMC)演習室において、口述と実習を交えて進める。講義資料は全てeLearningサーバ(授業用URLを参照)に掲載されており、紙による講義資料は基本的に配布しない。資料は講義中に参照するほか、講義時間外でも参照し、予復習することができる。紙での資料を希望するものは、各自がプリンタで印刷すること。講義中はプロジェクト映像と共に、机上のサブモニター上にも映像が提示され、スライドや実際の操作画面等が必要に応じて映し出される。

講義時間中に行う演習は、1人1台のコンピュータが割り当てられており、受講者自身による操作演習が課せられる。大部分の演習時間で講師以外に実習を補助する教員がつく。

各自のデータのためにファイルサーバ上に1GBの保存領域が割り当てられている。実習課題でもあるホームページなどは、ここに作成する。保管容量が不足する場合は、USBメモリやクラウドに各自のデータを退避させれば、自宅のコンピュータで利用することも可能である。なお、センター内ではプリンター印刷が一定量まで自由に利用できるよう用意されている。

7 評価方法

各テーマ毎に、演習課題の提出、または小テストへの回答をeLearningシステム上で行う。回答に時間を要する課題については、宿題として課する場合がある。また、学期末には試験を行う。成績評価は、出席、小テスト、宿題、期末試験(eLearningによる試験もしくは課題レポート)、学習態度等を統合して行う。

8 教科書・参考文献

講義はスライドを基に進められる。講義レジメとしてスライド内容を毎回eLearningシステムに掲載する。必ずノートを用意し、スライドに書かれていない内容や不明点など書き残しながら、聴講すること。

特定の教科書は用いない。以下に参考文献をあげるのので、必要に応じて参照されたい。これらを含めた参考図書は、図書館の開架書庫や演習室内の書架、センター事務室に置かれているので、利用すると良い。図書以外に参考になるホームページも多数あり、講義中に紹介する。

・コンピュータやその上で動く個々のプログラムの使い方については、巷にたくさん本が出ているので、参考にすると良

い。講義中の演習に用いるコンピュータ環境は、OSにWindows7、ワープロ、表計算、プレゼンテーション作成にMicrosoft Office2010、画像加工にAdobe Photoshop Elements10、動画加工にムービーメーカー、WebブラウザにInternet Explorer10などからなっている。

これらについての参考書籍が図書館や演習室書架に置かれているので、必要に応じて読むと良い。

参考文献：

・基礎的な情報科学の参考書

情報理論や計算機の構造などの情報科学の基礎については以下の2冊を紹介しておく。これらは情報科学の基礎を広く扱っているが、医学部基礎教養としてはやや高度な内容なので、講義内容以上に学習したい場合に参考にとすると良い。

八村広三郎：計算機科学の基礎（近代科学社）

上林弥彦：情報科学の基礎理論（昭晃堂）

・コンピュータリテラシーに関する参考書

海野 敏、田村恭久：情報リテラシー（オーム社出版局）

コンピュータリテラシー全般がコンパクトにまとめて書かれている。講義では、この内容の半数程度をカバーしているので、不足部分を参照すると良い。

久保田裕、佐藤英雄：知っておきたい情報モラルQ&A（岩波書店）

情報モラルは、ネットワークを利用し始めると身近に起こる問題であるが、合法であるか否か、マナーに反しているか否かの判断は非常に難しい。実例が挙げられており、一読の価値がある。

9 オフィスアワー（授業相談）

授業に関連した質問、相談は、マルチメディアセンター教員室または事務室で随時可能である。不在の場合があるので、予めメールで問い合わせの方が良い。メールでの質問も受付ける。また、コンピュータ操作等基本的な質問は、マルチメディアセンターのサービスとして1階事務室でも受付けている。

10 学生へのメッセージ

医学、医療への情報技術の浸透は急速に進んでおり、これらに携わる人は情報機器の利用を避けて通ることはできなくなっている。一方では、情報技術そのものの発達も速く、時代と共に使わなければならない機器の姿も変わり続けている。講義で学んだコンピュータの使い方も、将来仕事で使う時には形が変わっているに違いない。

講義で用いるコンピュータは昨年（2017年）3月に新たに設置されたもの（CPUにCorei5、OSにWindows10を装備したノートPC）である。将来、臨床の場等で活用するであろう機器は上記のものとは違ったものになる。しかし、これらを使って学んでゆく「情報を扱う」技術や考え方は変わらないので、それらの基本をしっかりと理解していれば、どの時代にも対応してゆける。「コンピュータに使われる」ことなく、その恩恵を享受するために、情報機器を使いこなす「センス」をこの講義を通じて習得されることを期待する。

ほとんどの学生が、コンピュータの一種であるスマートフォンを日常的に利用しており、既にネットワークとコンピュータの環境の中に暮らしているといえる。講義では、スマートフォンにはできない（使いにくい）利用法やスマートフォンにも共通する情報の仕組みについて学んでゆく。

講義で学ぶ基本的なリテラシーは高校などで既に習得している部分もある。レポートや発表など、他の科目ですぐに実用しなければならなくなるので、復習すると同時に、利用経験の少ない同級生がいれば、教えてあげることで自己確認するといった積極的な態度で受講してほしい。

学内で学生が自由に利用できるコンピュータは、マルチメディアセンター以外にも、食堂、一般教養棟3階第5講義室、看護学科棟ピロティニーなどにもある。授業休憩時間等に必要に応じて活用してほしい。自身の所有しているノートPC、タブレット、スマートフォンは、登録をすれば学内でのネットワークが利用可能となる。教室を始め学内主要箇所には無線LAN(WiFiスポット)が設置されている。他の講義でも、それぞれの情報機器の使用ルールに従って、活用すると良い。

11 授業用URL

<http://latte.shiga-med.ac.jp/>

12 参考URL

<http://www.shiga-med.ac.jp/~hqseimei/>

アカデミック・スキル

1 担当教員名

教授 室 寺 義 仁 (医療文化学講座 哲学)
 教授 兼 重 努 (医療文化学講座 文化人類学)
 教授 宮 松 直 美 (臨床看護学講座)
 准教授 小 島 隆 次 (医療文化学講座 心理学)

2 配当学年等

第1学年 後期 1単位

3 学習目標

大学の各授業において課せられるレポートを作成するに当たり、大学生として相応しいレポートを完成できるように、受講生の皆さんが「学士力」を身に付けることを目指します。

4 授業概要

アカデミック・ライティング (学術的な記述) のためにはスキル (技法) を習得する必要があります。そこで、まず第一に、そのスキルが、対社会的に、あるいは、同業者集団内、例えば、医療人の仲間内において、なぜ必要とされるのか、看護学分野の研究倫理の初歩から学びます。そして、具体的に、分かり易い文章の書き方から始め、文献引用の際の決まりごとや著作権などについて理解を深めます。その上で、プロトコール (臨床研究/実験計画手順書) などの作成についての基礎知識を学習します。

5 授業内容

「学士力」を身に付けるために、レポート課題への取り組み方の姿勢、課題内容についての関連文献の検索の仕方、並びに、先行研究文献を引用するときの標準的な規則などについての理解を深めます。研究倫理の初歩についても学習します。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
11月20日(水)	1	宮 松	専門職に求められる学術的記述とは (1)	学識を有する専門職者に求められる論述能力について	看 1
11月27日(水)	1	〃	専門職に求められる学術的記述とは (2)	学識を有する専門職者に求められる研究倫理について	看 1
12月4日(水)	1	室 寺	分かり易い文章の書き方 (1)	看護師を目指す者として、受講生各自が大切にしている言葉を題材として	看 1
12月11日(水)	1	〃	分かり易い文章の書き方 (2)	看護師を目指す者として、受講生各自が大切にしている言葉を題材として	看 1
2020年					
1月8日(水)	1	兼重・附属図書館職員	学術的引用の作法 (1)	文献資料を用いて論ずるときの引用の仕方などについて	看 1
1月15日(水)	1	兼 重	学術的引用の作法 (2)	文献資料を用いて論ずるときの引用の仕方などについて	看 1
1月22日(水)	1	小 島	実験・調査の方法 (1)	実験計画の立て方、アンケートなどにおける質問の作り方について	看 1
1月29日(水)	1	〃	実験・調査の方法 (2)	実験計画の立て方、アンケートなどにおける質問の作り方について	看 1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式。

7 評価方法

授業担当の各教員から提示される課題レポート、あるいは、小テストをもって評価します。授業実数の3分の2を超える出席回数が認められることを前提とします。その上で、各教員の評価点数を合算して100点満点評価します。

8 教科書・参考文献

指定テキストはありません。それぞれの授業の中で参考図書などについて紹介する予定です。

一般教養科目Ⅱ



現代社会と科学

1 担当教員名

教授	目良裕	(生命科学講座 物理学)
教授	久津見弘	(臨床研究開発センター)
教授	古莊義雄	(生命科学講座 化学)
教授	平田多佳子	(生命科学講座 生物学)
教授	宇田川潤	(解剖学講座 生体機能形態学部門)
教授	縣保年	(生化学・分子生物学講座 分子生理化学部門)
教授	扇田久和	(生化学・分子生物学講座 分子病態生化学部門)
教授	小島秀人	(生化学・分子生物学講座 再生・修復医学部門)
教授	後藤敏	(病理学講座 微生物感染症学部門)
教授	一杉正仁	(社会医学講座 法医学部門)
教授	相見良成	(基礎看護学講座)
教授	宮松直美	(臨床看護学講座)
准教授	尾松万里子	(生理学講座 細胞機能生理学部門)
准教授	伊藤靖	(病理学講座 疾患制御病理学部門)
准教授	本山一隆	(情報総合センター)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

科学と技術が人類の生き方に大きな影響力をもつ現代において、科学や技術の成果を享受するだけでなく、責任ある市民としてまた医療人として現代社会に関与するための科学知識と素養を備えること、すなわち科学的な思考方法を社会的目的のために用いる能力が求められる。本講義では、科学的な思考方法、その有効さと限界の一端を知るところを学習目標とする。

以下に各回の目標を列挙する。

- 1) ナノスケールの物質が持つ特異な性質と、その応用について学ぶ。
- 2) 医療製品の有効性・安全性を科学するレギュラトリーサイエンスの重要性を理解する。
- 3) 化学反応と分子間相互作用を巧みに利用した新しい材料のつくり方について理解する。
- 4) スーパーコンピュータが自然現象の解明、災害の予測、製品開発等の様々な分野で利用され、人々の生活に変化をもたらすことを理解する。
- 5) がんの免疫療法について理解する。
- 6) 生体における3つの重要なホメオスタシスシステムについて学ぶと同時にそれだけでは説明できない新たな現象について考察する。
- 7) 妊娠中のストレスと子どもの生後の疾患発症リスクとの関係を科学的に説明できる。
- 8) 遺伝子組換え技術を概観し、その技術の現代社会に及ぼす影響を考察する。
- 9) 我が国における外因死の現状を理解し効果的予防対策の重要性を理解する。
- 10) 文明化に伴い現代社会で増えている病気について、生命進化の視点からその原因を考える。
- 11) インフルエンザウイルスの生物学的特徴を理解し、感染制御方法を考察する。
- 12) 血管病変の発症について、基礎的な事項を理解できる。
- 13) 脂肪細胞の生理的意義に対する考え方が文明の進歩に従って変化してきたことを理解する。
- 14) 組織化学法を例にあげ、形態学的研究法の意義と限界について考える。
- 15) 公衆衛生の実践や臨床判断に不可欠である疫学の基本的な概念および方法論を理解する。

4 授業概要

新聞・雑誌・テレビなどマスコミにも登場する身の回りの科学事象を通して、「サイエンスとは」を理解しようとする総合的授業である。

5 授 業 内 容

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	内 容	教室
2019年					
4月10日(水)	1	目 良	ガイダンス 講義	ナノテクノロジー	臨3
4月17日(水)	1	久津見	講義	レギュラトリーサイエンス	臨3
4月24日(水)	1	古 莊	講義	ナノケミストリー	臨3
5月 8日(水)	1	本 山	講義	スーパーコンピュータの発達と社会への貢献	臨3
5月15日(水)	1	縣	講義	がんの免疫療法 - PD-1抗体療法とT-iPS細胞	臨3
5月22日(水)	1	小 島	講義	第四のホメオスタシスシステム	臨3
5月29日(水)	1	宇田川	講義	妊婦のストレスと子どもの健康	臨3
6月 5日(水)	1	後 藤	講義	ウイルス作製技術と人工生物	臨3
6月12日(水)	1	一 杉	講義	社会を守る - エビデンスに基づく事故予防対策 -	臨3
6月19日(水)	1	平 田	講義	ヒトへの進化と文明の病	臨3
6月26日(水)	1	伊 藤	講義	新型インフルエンザは流行するのか?	臨3
7月 3日(水)	1	扇 田	講義	血管は年齢と共に老いる - 動脈硬化にまつわる話 -	臨3
7月10日(水)	1	尾 松	講義	脂肪細胞と文明の進歩	臨3
7月17日(水)	1	相 見	講義	研究方法をブラックボックスにしないで!	臨3
7月24日(水)	1	宮 松	講義	Evidence based medicine時代の科学: 疫学ことはじめ	臨3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式で行う。必要に応じて、視聴覚機器を使用する。

7 評 価 方 法

各講義毎の試験あるいはレポート等の評価により総合的に評価する。全回出席を前提とする。

8 教科書・参考文献

教科書は使用しない。必要に応じて資料プリントを配布し、参考図書等を紹介する。

9 学生へのメッセージ

医学科・看護学科教員による医学科・看護学科の合同講義です。広い分野にわたる話題をオムニバス形式で提供しますが、統一テーマ「サイエンスとは」、「テクノロジーとは」および「科学的思考法とは」を、各講師の話から考えてもらえればと思っています。

社 会 学

1 担当教員名

非常勤講師 LADMIRAL Guillaume (京都大学大学院文学研究科 非常勤講師)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

現在社会学の主な項目を取り上げ、それぞれについての基本的な考え方を理解し、習得します。

現在日本社会がどのような変化の結果として存在しているのかを理解することを通じて、社会問題について知識に基づいた見方を身につけます。

4 授業概要

「近代化」(産業化、都市化など)にともなって生じる様々な社会変化や社会問題を理解するのが社会学の目標の一つです。教育、労働、結婚、家族、老いなどのいくつかのトピックを取り上げ、社会学的な視点から解説をしていきます。

5 授業内容

毎回、次回授業に関する部分のテキストを読んだ上での要約と関連する専門用語の定義の記述を小課題とします。各授業の前半では前回授業に関する質疑応答および受講生が提出した小課題に関するコメントを行い、後半ではその日の項目の説明を行います。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月12日(金)	4	LADMIRAL	1. イントロダクション	授業の全貌揭示 「社会学」とは? 方法論: レポートの書き方について説明と指導	看1
4月19日(金)	4	〃	2. 出生(1)	なぜ子供が生まれなくなっているのか	看1
4月26日(金)	4	〃	3. 出生(2)	避妊、妊娠、出産	看1
5月17日(金)	4	〃	4. 学ぶ/教える	教育への「義務」の成立 教育と不平等	看1
5月24日(金)	4	〃	5. 働く(1)	「働くこと」の社会的な位置づけ	看1
5月31日(金)	4	〃	6. 働く(2)	「社会」のなかで働くこと	看1
6月7日(金)	4	〃	7. 結婚・家族(1)	近代化と家族の変容	看1
6月14日(金)	4	〃	8. 結婚・家族(2)	家族の多様化	看1
6月21日(金)	4	〃	9. 病い・老い(1)	統計学は医療とどうかかわってきたか	看1
6月28日(金)	4	〃	10. 病い・老い(2)	病気・病状の社会的要因	看1
7月5日(金)	4	〃	11. 死(1)	社会学は自殺をどう扱ってきたか	看1
7月12日(金)	4	〃	12. 死(2)	死ぬこと	看1
7月19日(金)	4	〃	13. 貧困と福祉	貧困化、高齢化と日本の生活保障システム	看1
7月26日(金)	4	〃	14. まとめ	事前に受講生にいくつか項目を選んでもらい、それらの項目について講義を行う	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

- ・授業形式: 講義
- ・視聴覚機器の活用: プロジェクターで講義を行います。

7 評価方法

出席50%、末期レポート50%で評価をします。出席は、基本的に各授業で行う小課題で確認をします。末期レポートは、参考文献を最低2冊参照しながら、授業で取り扱った項目について、書いてもらいます。

8 教科書・参考文献

筒井 淳也・前田 泰樹『社会学入門』有斐閣 テキストISBN番号 ISBN-13:978-4641150461

9 オフィスアワー(授業相談)

該当せず

医療社会学

1 担当教員名

非常勤講師 馬込 武志 (学校法人湊川相野学園 湊川短期大学 教授)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 後期 2単位

3 学習目標

医療社会学の基本的な考え方について理解する。

4 授業概要

わが国では、21世紀になってから医療制度や医療者-患者関係が急速に変化してきている。どのような変化が見られるのか、なぜ変化してきているのかを、様々なトピックを通して社会学の視点から明らかにしていくことを授業の狙いとしている。

5 授業内容

現代医療における言説や現象をとりあげ、現実には起こっている問題を示しながら、その問題の原因と解決方法について共に考える。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	教室
2019年				
10月4日(金)	2	馬込	オリエンテーション …授業の進め方について	看1
10月11日(金)	2	〃	病人役割	看1
10月18日(金)	2	〃	医療はマジックだ!	看1
11月1日(金)	2	〃	提供される情報、されない情報	看1
11月8日(金)	2	〃	カルテ開示について	看1
11月15日(金)	2	〃	自己決定と求助権	看1
11月22日(金)	2	〃	犠牲者(患者)非難について	看1
11月29日(金)	2	〃	看護師について考えました	看1
12月6日(金)	2	〃	医療と差別	看1
12月13日(金)	2	〃	医療過誤について	看1
2020年				
1月10日(金)	2	〃	健康の多様性	看1
1月24日(金)	2	〃	「正当な」文化としての健康	看1
1月31日(金)	2	〃	調査はなぜ捏造されたのか?	看1
2月7日(金)	2	〃	メタボリックの失敗	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式

7 評価方法

試験を行いません。また、平常点も加味したいと思います。

8 教科書・参考文献

特にありません。参考文献などは適宜お示しいたします。

9 学生へのメッセージ

みなさんと一緒に授業を作り上げて行きたいと思います。

芸 術 学

1 担当教員名

非常勤講師 秋丸知貴（上智大学グリーンケア研究所 非常勤講師）

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

本講義は、これまで人類が生み出した代表的な芸術作品を通じて、人間の芸術的創造力を様々な角度から分析する。それにより、芸術に関する一般的な基礎知識や美的感受性を身に付けると共に、伝統的・国際的な文化理解を深めることを目標とする。毎回、芸術鑑賞を楽しみつつ、将来の医療人（医学科・看護学科共に）として一生役立つ、芸術を通じて人間の心をより深く考察する機会としたい。

4 授業概要

主に、西洋と日本の美術史を古代から現代まで概観する。特に、それらの芸術作品が誕生する背景となったそれぞれの個人と時代・社会の関係を理解する。順序は下記の通りだが、内容によっては回をまたがることがある。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月10日(水)	1	秋丸	1) イントロダクション	芸術とは何か?—原始美術と現代美術	②
4月17日(水)	1	〃	2) 西洋美術史①	古代エジプト・古代ギリシャの美術	②
4月24日(水)	1	〃	3) 西洋美術史②	中世・ルネサンスの美術	②
5月8日(水)	1	〃	4) 西洋美術史③	マニエリスム・北方ルネサンスの美術	②
5月15日(水)	1	〃	5) 西洋美術史④	バロック・ロココ・新古典主義の美術	②
5月22日(水)	1	〃	6) 西洋美術史⑤	ロマン主義・写実主義・印象主義・の美術	②
5月29日(水)	1	〃	7) 西洋美術史⑥	象徴主義・19世紀末の美術	②
6月5日(水)	1	〃	8) 西洋美術史⑦	フォーヴィズム・キュビズム・ダダイズム・シュールレアリズム・20世紀の美術	②
6月12日(水)	1	〃	9) 日本美術史①	縄文時代・弥生時代・古墳時代の美術	②
6月19日(水)	1	〃	10) 日本美術史②	飛鳥時代・白鳳時代・奈良時代の美術	②
6月26日(水)	1	〃	11) 日本美術史③	平安時代・鎌倉時代の美術	②
7月3日(水)	1	〃	12) 日本美術史④	室町時代・安土桃山時代の美術	②
7月10日(水)	1	〃	13) 日本美術史⑤	江戸時代の美術	②
7月17日(水)	1	〃	14) 日本美術史⑥	幕末・明治時代の美術	②
7月24日(水)	1	〃	15) 日本美術史⑦	大正時代・昭和時代・平成時代の美術	②

6 授業形式・視聴覚機器の活用

パワーポイントを用いた講義を行う。ただし、講義中に質問に対する回答を求める場合がある。毎回、受講者は授業後に講義内容に関する小レポート（出席票に自らの考えを記述）を提出する。

7 評価方法

毎回の小レポートを60%、期末レポート（論述式）を40%として総合評価する。受講態度に問題がある場合は、程度に応じて10～40点減点する。特別な理由のない限り、5回欠席者は不可とする。

8 教科書・参考文献

教科書は指定しない。参考文献は下記の2冊の他、適宜講義中に紹介する。
 高階秀爾 監修『増補新装 カラー版 西洋美術史』美術出版社、2002年
 辻 惟雄 監修『増補新装 カラー版 日本美術史』美術出版社、2002年

歴史学

1 担当教員名

非常勤講師 田中一輝 (立命館大学 衣笠総合研究機構 専門研究員)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

中国医学史料についての基礎知識体得を目指す。

4 授業概要

はじめに漢文訓読や出土史料について講義し、その後に各種の中国医学史料の紹介を行う。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月10日(水)	3	田中	第1講	授業紹介	看1
4月17日(水)	3	〃	第2講	漢文と文献	看1
4月24日(水)	3	〃	第3講	文献からみた中国医学の歴史	看1
5月8日(水)	3	〃	第4講	様々な出土史料	看1
5月15日(水)	3	〃	第5講	張家山漢簡と『引書』・『脈書』①	看1
5月22日(水)	3	〃	第6講	張家山漢簡と『引書』・『脈書』②	看1
5月29日(水)	3	〃	第7講	馬王堆漢墓の発掘	看1
6月5日(水)	3	〃	第8講	馬王堆漢墓の医学史料	看1
6月12日(水)	3	〃	第9講	武威漢代医簡について	看1
6月19日(水)	3	〃	第10講	『黄帝内経』の世界①	看1
6月26日(水)	3	〃	第11講	『黄帝内経』の世界②	看1
7月3日(水)	3	〃	第12講	張仲景と『傷寒論』	看1
7月10日(水)	3	〃	第13講	本草学への道のり	看1
7月17日(水)	3	〃	第14講	様々な本草書	看1
7月24日(水)	3	〃	第15講	中国医学の本質	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式。パワーポイントを使用。

7 評価方法

出席などの平常点と、期末にレポート試験をあわせて評価を行う。
(平常点45%、レポート55%)

8 教科書・参考文献

教科書は指定しない。参考文献は講義中に随時紹介する。

9 学生へのメッセージ

本講義では中国古代の医学史料について講義する。中国の医学は従来の(西洋)医学とは異なる歴史と体系を持っているので、それを学ぶことで、西洋医学を相対的・客観的に理解することにもつながるであろう。

心 理 学

1 担当教員名

准教授 小島隆次 (医療文化学講座 心理学)

2 配当学年等

第1学年 後期前半 1単位

3 学習目標

本授業では、実験・認知心理学を中心として、代表的な心理学諸分野の基礎知識を習得することを第一義とします。また、受講生が本授業で課される様々な課題を適切にこなすことで、論理的に考え、批判する能力が養われ、習得した知識を日常生活でどのように応用していくのかを考えられるようになることも目指します。

そして、上記目標の達成に伴い、結果的に受講生が以下の目標を達成できるようになることを学習目標とします。

1. 心理学諸分野の基礎知識を身に着けること
2. 心理学諸分野の基礎知識を日常の様々な場面で活用する態度を身に着けること
3. 様々な事象に対して、批判的・発展的に考える態度を身に着けること

4 授業概要

本授業は、心理学で扱われる主要なトピック（個々のテーマなどについては授業スケジュールを参照してください）を幅広く教授します。また、授業を受講することで、受講生が論理的に考え、批判する能力を養いつつ、論理的・批判的思考と日常における人の思考・行動特性との関係性について考察する契機を得られるようにしたいと思います。

5 授業内容

授業内容は以下の授業計画表の各授業における内容を参照してください。基本的には、一般的な心理学諸分野で扱われることの多いトピックを紹介する内容になりますが、主として、実験心理学、認知心理学分野のトピックが中心になります。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月2日(水)	3	小島	初回ガイダンス	本授業の受講方法や基本方針などを説明。	看1
10月9日(水)	3	〃	感覚・知覚	感覚・知覚情報の処理特性について概説。	看1
10月23日(水)	3	〃	注意	視覚的注意を中心として、注意の機構と役割について概説。	看1
10月30日(水)	3	〃	学習・動機づけ	学習概念の定義と様々な学習研究の応用について、古典的学習理論と動機づけを中心に概説。	看1
11月6日(水)	3	〃	記憶	記憶の種類とそれらの機能について概観した上で、人の記憶特性について概説。	看1
11月13日(水)	3	〃	思考・推論	人の思考特性について概説。	看1
11月20日(水)	3	〃	対人認知	印象形成に関する古典的理論と、人の第一印象を決定する情報などについて概説。	看1
11月27日(水)	3	〃	社会性と認知	他者との関わり方や集団に対する認識が、人の認知過程にどのような影響をもたらすのかについて概説。	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は基本的にパワーポイントを利用したプレゼンテーション形式です。但し、テーマによっては画像・音声・動画による資料の視聴、デモや問題解決課題を授業内課題として行っていただくことがあります。また、第2～8回の授業後には、各回の授業内容に応じた課外課題を出します。授業中のデモ、問題解決、質疑応答等の授業内課題や、課外課題等への取り組みについては、単位の認定及び評価時の資料とします。

本学学生の多様な知的背景や自主学習の便宜なども考慮して、本授業の受講形態には講義型とweb型の二種類が用意されており、受講生はいずれの方法も自由に選択できます。無論、どちらか一方の型を常に選択する必要はなく、個々人の裁量において自由に適宜選択できます。もちろん、両方の形式で受講することも可能であり、授業担当者としては両方の形式での受講を勧めます。また、授業に必要な情報は全てwebで提供しますので、受講予定の学生は、必ず授業用webサイトのIDとパスワードを取得して下さい（IDとパスワードは初回ガイダンス時に知らせます）。

いずれの受講形態を選択しても単位認定に際して不利益が生じることはありません。受講形態に関する詳細などは、初回ガイダンスで説明しますが、授業webサイトで配布される授業ガイドも参照して下さい。

7 評価方法

評価は、単位認定と単位評価の二段階で行います。

まず、単位認定に際しては、第2～8回の各授業に対応した課外課題に対する得点（各回につき8点満点の7回分で56点満点）と全授業を終えてから課される履修確認課題の得点（44点満点）の合計得点（100点満点）で判断をします。60点以上で単位認定とします。

次に、認定された単位に対して相対評価を行い、これを最終評価とします。認定された単位に対する評価については、授業内課題への参加状況なども考慮します。

評価方法の詳細等については、初回授業（ガイダンス）及び授業用webサイトで配布する授業ガイドでより詳細に説明しますので、受講予定の方は、初回授業に参加するか、授業ガイドを必ず手に入れてください。

8 教科書・参考文献

教科書：特に指定しない。修学に必要な資料は全てwebで配布します。

参考文献：配布資料やwebにて適宜示します。

9 オフィスアワー（授業相談）

オフィスアワー情報は授業時に通知します。もちろん、個別にメール等でアポイントメントを取っていただければ、適宜対応します。

10 学生へのメッセージ

本授業は、実験心理学の方法論を中心とした、学問としての心理学諸分野の基礎的な知見を紹介します。いわゆる「古い心理学」の他に、医学や医療現場においても主張されることの多い「情緒的な胡散臭い心理学的言説」のような、論理的考察に適さない類のものを期待されている方は御注意下さい。おそらくそのような御期待には応えられません。

最後に重要な注意事項を述べておきますが、教授活動の迅速かつ適切な形成的改善のために、単位認定と評価の方法を含めた本授業における様々な規則等は、原則としてシラバス記載の内容よりも、授業webサイトを通じて配布される様々な文書に記される規定を最優先としますので、必ず授業webサイトを定期的に確認するようにしてください。また、本授業の単位認定に関しては、再試験も含め、いわゆる救済策の類は一切存在しませんので、この点も注意して下さい。

文化人類学

1 担当教員名

教授 兼 重 努 (医療文化学講座 文化人類学)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

文化人類学とは、人類の文化・社会の多様性と普遍性について研究する総合的学問です。文化人類学における文化の捉え方、視点、考え方、研究方法に関する学習をとおして、他者理解、自己理解、他者の尊重につながる以下の事項を身につけることを目標とします。

- ①世界の諸文化の多様性を理解しようとする姿勢
- ②異文化を生きる人々の目を通して人生や世界を見るための方法論の基礎
また近い将来、医療人となるみなさんに有用な、文化人類学にかかわる基礎知識の習得もめざします。
- ③病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。
- ④自身が所属する文化を相対化することができる。
- ⑤人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかに気を配ることができる。
- ⑥文化と医療の関係を考えることができる。

4 授業概要

まず、①文化人類学の考え方や研究方法、研究対象などの事項について解説し、異文化理解のための基礎的な枠組みを提供します。

つぎに、②文化人類学の主要な研究テーマのうち、みなさん医大生が知っておくと将来必ず役立つ分野について具体的に紹介します。

5 授業内容

1. 文化人類学とはどんな学問？
2. 異文化理解の基礎知識
3. 文化人類学の方法：フィールドワーク
4. 実は身近にある異文化
5. 民族誌を読む
6. 文化人類学は医療人の役にたつ！

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月12日(金)	3	兼 重	文化人類学の目的	①文化人類学では何を学ぶのか？その目的は？ ②なぜ医大生が文化人類学を学ばなければならないのか？	看1
4月19日(金)	3	〃	文化人類学における文化のとらえ方	①文化人類学における「文化」のとらえかたの特徴は？ ②文化人類学における「異文化」のとらえかたの特徴は？	看1
4月19日(金)	5	〃	文化の多様性	世界中で同一、普遍的のようにみえる事象を文化人類学の視点から捉えなおす	臨1
4月26日(金)	3	〃	異文化データ収集方法	文化人類学ではどうやってデータを集めるのか？	看1
5月17日(金)	3	〃	文化人類学におけるフィールドワーク(1)	文化人類学者はどのようにフィールドワークをするのか？	看1
5月24日(金)	3	〃	文化人類学におけるフィールドワーク(2)	文化人類学のフィールドワークの具体例：福井勝義「東アフリカ・色と模様の世界ー無文字社会の豊かな創造力ー」	看1
5月31日(金)	3	〃	民族誌	①民族誌とは何か？ ②課題レポート作成に関する注意事項	看1
6月7日(金)	3	〃	サブ・カルチャー： 実は身近にある異文化	①サブ・カルチャーとは？ ②サブ・カルチャーとしての医療	看1
6月14日(金)	3	〃	民族誌を読む(1)	マリノフスキー著『西太平洋の遠洋航海者』	看1
6月21日(金)	3	〃	民族誌を読む(2)	マリノフスキー著『西太平洋の遠洋航海者』	看1
6月28日(金)	3	〃	医療と文化	医療人と患者さんの間の文化摩擦ー「エホバの証人」信者の輸血拒否の事例ー	看1

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年 7月5日(金)	3	兼重	民族誌を読む(3)	医療人と患者さんの間の文化摩擦ー「エホバの証人」信者の輸血拒否の事例ー ロバート・F・マーフィー著 『ボディ・サイレントー病いと障害の人類学ー』	看1
7月12日(金)	3	〃	民族誌を読む(4)	ロバート・F・マーフィー著 『ボディ・サイレントー病いと障害の人類学ー』	看1
7月19日(金)	3	〃	文化人類学は万人の役に立つ!	①応用人類学とは何か ②応用人類学の実例	看1
7月26日(金)	3	〃	文化人類学は医療人の役に立つ!	①医療人と患者さんの間のプチ異文化ーアンケートの結果よりー ②医療人にとくに役立つ医療人類学!	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式の授業を基本としますが、臨機応変に他の形式をとり入れることもありえます。適宜、視聴覚教材(ビデオ)を活用します。

数回小課題を課します。

7 評価方法

期末に課す課題レポート(100点満点)。

しかし、数回課す小課題の提出状況・出席状況・受講態度などに問題がある場合は程度に応じて、課題レポートの点数から10~40点減点します。

なお、課題レポートに剽窃(盗用)その他不正行為があった場合は単位を認定しません。詳細は授業で説明します。

8 教科書・参考文献

教科書:教科書は使用しません。毎時間プリントを配布します。

参考文献:参考文献は授業のなかで適宜紹介します。

9 オフィスアワー(授業相談)

随時。ただし、事前に電話やメールでアポをとっていただけるとありがたいです。

10 学生へのメッセージ

文化人類学を学ぶことは非常に重要です。みなさんは近い将来、医療の専門家として患者さんと接します。「患者さんの立場に立った医療人になる」ーよく耳にする言葉です。だが、「言うは易し、行なうは難し」ではないでしょうか。

それはなぜでしょうか。文化人類学の視点から見ると、同じく日本で生まれ育っていても、患者の方々は、医療の専門家とは「異なる文化」に属しています。「異なる文化」は我々の身近にあります。異なる文化に属する人々のことを理解するためにはちょっとした知識や技術が必要なのです。

異文化に生きる人びとの多様な思考や行動様式を尊重、理解しようとする態度、そしてそれらを理解するための技術や方法論を身につけることは、近い将来医療人となるみなさんにとって、とても大切です。その際、大いに役立つのが文化人類学の素養なのです。

「抽象的すぎてよくわからない」って?是非、文化人類学の授業を聴きにきてください。具体例を示しつつわかりやすく説明します。

11 授業用E-mail

kanesige@belle.shiga-med.ac.jp

スポーツ科学実践

1 担当教員名

非常勤講師 河北純子（龍谷大学、関西大学 非常勤講師）

2 配当学年等

第1学年 後期 1単位

3 学習目標

運動の合理的実践を通して、心身の健康維持・増進に役立てる方法を体験的に学ぶ。また、トレーニングの基礎的知識や方法を習得し、大学卒業後も自らのスポーツライフを実践できる能力を培うことを目標とする。より理解を深めるため、2年次「健康科学実践」と共に受講することが望ましい。

4 授業概要

<実施種目>ピラティス，バドミントン，バスケットボール，ニュースポーツ等（進度により適宜変更有）
<講義内容>体力トレーニング論，運動処方論

5 授業内容

※初回講義は着替えずに体育館へ集合。

年月日(曜)	時限	担当教員	内 容
2019年			
10月3日(木)	2 / 3	河北	ガイダンス・ピラティスの基本理解
10月10日(木)	2 / 3	〃	バドミントン（ネット型）① 基本技術・ルールの理解①
10月17日(木)	2 / 3	〃	バドミントン② 基本技術・ルールの理解②
10月31日(木)	2 / 3	〃	バドミントン③ 応用技術①
11月14日(木)	2 / 3	〃	バドミントン④ 応用技術②
11月21日(木)	2 / 3	〃	バドミントン⑤ チーム戦術①・振り返り
11月28日(木)	2 / 3	〃	バドミントン⑥ チーム戦術②・振り返り
12月5日(木)	2 / 3	〃	体力測定①
12月12日(木)	2 / 3	〃	体力測定②
2020年			
1月9日(木)	2 / 3	〃	バスケットボール（ゴール型）① 基本技術・ルールの理解①
1月16日(木)	2 / 3	〃	バスケットボール② 基本技術・ルールの理解②
1月23日(木)	2 / 3	〃	バスケットボール③ 応用技術①
1月30日(木)	2 / 3	〃	バスケットボール④ 応用技術②
2月6日(木)	2 / 3	〃	バスケットボール⑤ チーム戦術①・振り返り
2月13日(木)	2 / 3	〃	バスケットボール⑥ チーム戦術②・振り返り

6 授業形式・視聴覚機器の活用

実技による演習形式

7 評価方法

出席参加度70%、レポート30% 但し、11 / 15時間に満たない場合は不可

8 オフィスアワー（授業相談）

授業日の12:00～13:00

人間と環境Ⅰ・Ⅱ



環 境 論

1 担当教員名

教 授 桑 田 弘 美 (臨床看護学講座)
准 教 授 埜 田 和 史 (社会医学講座 衛生学部門)
准 教 授 多 川 晴 美 (看護臨床教育センター)
特任助教 近 藤 慶 子 (社会医学講座 公衆衛生学部門)

2 配当学年等

編入第3学年 前期前半 1単位

3 学習目標

近年、地球温暖化の問題が大气中のCO₂増加と関連付けて議論されている。現在は地球の歴史から考慮すると、むしろ寒冷化に向かっているとの議論もある。また、地球の気温に影響を与える最も大きな要因は太陽の活動であり、CO₂の関与は小さいとの説も説得力がある。さらに生命活動にはCO₂が重要であり、それを抑制することに意味はないとの暴言じみた意見も聞かれる。実際、環境問題の本質は非常に見えにくい。因果関係の証明が難しいことが一因であろう。

看護職者にとって、環境は看護するうえで切り離せない基本的な課題であり、その環境には多くの要因がある。それぞれの専門家から環境について学ぶことで、自分の身近な環境の話題に関心を持ち、看護を学ぶ礎としてほしい。

4 授業概要

自然環境の破壊の現状と人間の健康に及ぼす影響について学び、医療人として最低限度の環境問題に対する問題意識を持てるように教授する。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	教室
2019年				
4月8日(月)	4	桑 田	環境と健康	看3
4月15日(月)	4	金城真一 (看護部：感染管理 認定看護師)	感染症対策	看3
4月22日(月)	4	小崎信子 (看護部：がん放射線療法 看護認定看護師)	放射線と健康	看3
5月13日(月)	4	近 藤	生活習慣と健康	看3
5月20日(月)	4	〃	食の安全	看3
5月27日(月)	4	多 川	廃棄物とリサイクル	看3
6月3日(月)	4	埜 田	空気環境と健康	看3
6月10日(月)	4	桑 田	まとめ	看3

6 評価方法

毎回の授業終了時にレポートを提出することで出席とみなし、その内容で評価する。
レポート課題は、毎回の授業で提示する。

7 教科書・参考文献

教科書：

毎回、授業担当者より指示あり。

参考文献：

保田仁資：やさしい環境科学、京都、(株)化学同人、2003

環境白書、環境省編集、(株)ぎょうせい (毎年発行)

8 学生へのメッセージ

環境問題を学ばずして医学・看護には入れません。しっかり学んでください。

教 育 学

1 担当教員名

非常勤講師 中 島 千 恵 (京都文教大学 教授)

2 配当学年等

第2学年 前期 2単位

3 学習目標

- (1) 健康と教育との関わりについて認識を深め、子育てや教育について医療関係者に求められる法的責務や社会的責任を考え、遵守することができる。
- (2) 多様な子どもの教育的ニーズについて考え、教育における公正や平等に対して意識を高める。
- (3) 教育事象を多面的視点から考える力や洞察力を養う。
- (4) 教育問題を通して自己や他者について考え、自己の行動を見極める姿勢を培う。

4 授業概要

乳幼児期は人間としての基礎として重要な時期であり、その後の成長にとっても重要な時期である。また、義務教育は生きていく上で基礎的な学力を身につける時期である。それ故に、乳幼児期から義務教育段階はすべての子どもの学習権が保障され、ふさわしい環境が整備されなければならない。このような認識から、本講義では、乳幼児期から義務教育段階の保育・教育の本質と現代的課題について学ぶ。授業全体を通して目指すのは、これらの知識を基礎として、子どもの教育問題に対する洞察力を高め、広い意味での教育における医療者の役割を考えられるようにすることである。

5 授業内容

- I. 教育の動向と現代的課題 (1)
 1. オリエンテーション (医療者の立場から教育の必要性を考える)
 2. 健康と教育：教育者としての医療関係者の使命を考える
 3. 格差・貧困・教育：子どもと保護者の状況を考える
 4. グローバル化する社会に生きる：外国籍の子どもの教育
 5. 教育制度改革の動向
- II. 教育の基本原理
 6. 教育活動の本質と社会的機能
 7. 知識・技術の伝達、心：伝達するとはいかなることなのか
 8. 教育における権利と義務：病児の教育を受ける権利と義務を考える
 9. 公教育の基本原則：国家と教育の関係を考える
 10. 日本における幼児期の保育・教育の基本・幼児期の理解を深める
- III. 教育の現代的課題 (2)
 11. 特別支援教育：変化する障害者支援の考え方を学ぶ
 12. AI時代の教育：求められる能力の資質を考える
 13. 学校・保護者・地域との連携と相互支援：エンパワーメントを考える
 14. ディベート
 15. まとめ

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月9日(火)	3	中 島	I. 教育の動向と現代的課題(1)	1. オリエンテーション (医療者の立場から教育の必要性を考える)	臨3
4月16日(火)	3	〃	I. 教育の動向と現代的課題(1)	2. 健康と教育：教育者としての医療関係者の使命を考える	臨3
4月23日(火)	3	〃	I. 教育の動向と現代的課題(1)	3. 格差・貧困・教育：子どもと保護者の状況を考える	臨3
5月7日(火)	3	〃	I. 教育の動向と現代的課題(1)	4. グローバル化する社会に生きる：外国籍の子どもの教育	臨3
5月14日(火)	3	〃	I. 教育の動向と現代的課題(1)	5. 教育制度改革の動向	臨3
5月21日(火)	3	〃	II. 教育の基本原則	6. 教育活動の本質と社会的機能	臨3
5月28日(火)	3	〃	II. 教育の基本原則	7. 知識・技術の伝達、価値、心：伝達するとはいかなることなのか	臨3
6月4日(火)	3	〃	II. 教育の基本原則	8. 教育における権利と義務：病児の教育を受ける権利と義務を考える	臨3

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
6月11日(火)	3	中島	Ⅱ. 教育の基本原則	9. 公教育の基本原則：国家と教育の関係を考える	臨3
6月18日(火)	3	〃	Ⅱ. 教育の基本原則	10. 日本における幼児期の保育・教育の基本・幼児期の理解を深める	臨3
6月25日(火)	3	〃	Ⅱ. 教育の基本原則	11. 特別支援教育：変化する障害者支援の考え方を学ぶ	臨3
7月2日(火)	3	〃	Ⅲ. 教育の現代的課題(2)	12. AI時代の教育：求められる能力の資質を考える	臨3
7月9日(火)	3	〃	Ⅲ. 教育の現代的課題(2)	13. 学校・保護者・地域との連携と相互支援：エンパワメントを考える	臨3
7月23日(火)	3	〃	Ⅲ. 教育の現代的課題(2)	14. ディベート	臨3
7月30日(火)	3	〃	Ⅲ. 教育の現代的課題(2)	15. まとめ	臨3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

- 1) 授業形式 講義とディスカッション、ディベートも入れる（受講者数に応じて柔軟に考える）。授業中に感想や意見を書いて提出してもらう。
- 2) 視聴覚機器 ビデオ、OHC、パワーポイント使用

7 評価方法

宿題・授業中の提出物（70%）

ディベートまたは研究レポート（30%）

なお、授業に出席することを前提とするが、出席点などない。

提出物の評価基準

- ①基礎的内容の理解
- ②教育に対する意識の高さ、理解の深さ、多面的思考
- ③論理の明瞭性
- ④誠実で丁寧な取り組みであること
- ⑤学習目標に照らして自己の学びについて適切に記述している。

8 教科書・参考文献

教科書：

授業中に紹介する。

参考文献：

田中、越後、中島 編著 『改訂 未来に生きる教育学』あいり出版、2018年

阿部 彩『子どもの貧困—日本の不公平を考える』岩波書店、2003年

山野良一『子どもの最貧国・日本：学力・心身・社会に及ぶ諸影響』光文社新書、2008年。

その他、授業で紹介する。

9 オフィスアワー（授業相談）

授業終了後か時間がかかる場合は、相談の上、別に時間を取る。

10 学生へのメッセージ

教育について語り合いながら授業を進めたいと思っています。

なお、教育改革の進展や重大な教育問題の発生、また特別学生諸氏から要望などがあった場合、シラバスを一部、変更するなど柔軟に対応します。

法 学

1 担当教員名

非常勤講師 須永知彦 (滋賀大学 経済学部 講師)

2 配当学年等

第2学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

現代社会における様々な法律問題について、特に財産・取引や家族生活といった私法の分野を中心に、身近な素材例にして考えます。ごく初歩的な法律知識の習得も目標としますが、それよりも、法律の世界でのものの考え方や問題解決の仕方を理解してもらったり、法律の世界の全般の見取り図（どのような問題がどのような法律で扱われるか等）を頭に描けるようになることに重点をおきます。その際に、情報社会や生命倫理といった現代的課題について、現行の法制度や法的思考方法が有する限界を確認することが重要と考えます。

4 授業概要

1回の授業について2つほどのテーマを設定して、教科書やその他の資料を参考にしながらそのテーマに関する法的な考え方を解説します。その上で、そうした考え方や導かれる結論が「妥当」かどうか、妥当かどうかを判断する基準は何かを考えていきます。

時間の関係から、様々な法分野を網羅的に解説することはできません。そこで、扱うテーマは、社会生活にとって身近でありまた医療従事者としても触れる機会が多いであろう民法等の分野が中心になりますが、主要な法分野全般については触れるように努め、またそれらの法分野の相互関係も解説します。

5 授業内容

法と憲法の目指す価値、法的思考の特色について簡単に触れた上で、それをもとに刑法と民法の基礎、裁判制度の概要について説明します。それらの応用として、医療と法（患者の地位、医療事故、生殖医療、終末期医療等）について、裁判例にも触れながら検討していきます。具体的には、以下の授業計画のようになります。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月8日(月)	1	須永	法の世界	(1) 法の世界の見取り図 (2) 法的思考の特色、法と裁判	臨3
4月15日(月)	1	〃	憲法と法律	(1) 最高法規としての憲法 (2) 憲法と法的問題の解決	臨3
4月22日(月)	1	〃	犯罪と刑罰	(1) 刑法と罪刑法定主義 (2) 刑罰の機能	臨3
5月13日(月)	1	〃	民法と事故処理	(1) 不法行為の基本枠組み (2) 共同不法行為と使用者責	臨3
5月20日(月)	1	〃	民法と財産関係	(1) 財産の帰属と移転・利用 (2) 契約の履行と不履行	臨3
5月27日(月)	1	〃	民法と家族関係	(1) 婚姻と親子 (2) 私的扶養と公的扶養	臨3
6月3日(月)	1	〃	個人と団体	(1) 成年後見制度 (2) 法人	臨3
6月10日(月)	1	〃	法と情報	(1) 個人情報の保護 (2) 知的財産権制度の意味	臨3
6月17日(月)	1	〃	医療と法1	(1) 医療を巡る法 (2) 契約としての医療	臨3
6月24日(月)	1	〃	医療と法2	(1) 自己決定権とQoL (2) 説明と同意の法的意味	臨3
7月1日(月)	1	〃	医療と法3	(1) 医療事故 (2) 医療事故の民事処理1	臨3
7月8日(月)	1	〃	医療と法4	(1) 医療事故の民事処理2 (2) 事故予防と法の役割	臨3
7月16日(火)	1	〃	医療と法5	(1) 生殖医療と法 (2) 代理出産の扱い	臨3
7月22日(月)	1	〃	医療と法6	(1) 終末期医療と法 (2) 安楽死・尊厳死	臨3
7月29日(月)	1	〃	まとめ	法と日常生活、法と医療、法と裁判の限界	臨3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

レジュメに基づく解説と質疑応答により授業を進めます。問題の確認のために、ビデオ等を補助的に用いることがあります。板書の代替としてスライドを用います。

7 評価方法

定期試験（7割）と小レポート（3割）により評価します。

- ・小レポートは、毎回の授業内容と関連する2～3の問題について、授業を進める中で考えてもらい、授業終了時に提出、次回授業時に返却します。（2点×15回＝30点）
- ・定期試験では、授業内容の理解度、すなわち、基本的な概念の意味の理解、それを応用した思考方法、授業中に触れた事例や判例の意義を、多岐選択問題や事例問題などによりはかります。（70点）

定期試験と小レポートあわせて、成績評価は概ね以下のような基準になります。

可：授業で触れた重要な用語・概念について意味を把握している。

良：それらの用語・概念について、相互に関連でづけて理解している。

また、それらから導かれる論理的な帰結について理解している。

優：医療関係の重要判例について、位置づけや内容を理解している。

秀：様々な問題の背景や経緯等について説明できる。

8 教科書・参考文献

教科書：レジュメ及び雑誌・新聞記事の抜粋その他の資料を適宜配布します。

参考文献：授業で紹介します。

9 オフィスアワー（授業相談）

授業の前後にお願いします。教室には8時40分頃からいます。

10 学生へのメッセージ

- ・授業に出席し、メモをとるように願います。
- ・大幅に遅刻してくる方には、小レポートの提出資格はないものとします。「大幅に」の定義については授業時に説明します。
- ・参考用に過去問を配布しますが、年度ごとに授業内容、重点は異なりますので、過去問どおりの問題が出るとは思わないでください。

保健医療福祉行政論

1 担当教員名

教授 伊藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座) 非常勤講師
 教授 河村 奈美子 (臨床看護学講座) 田中 逸郎 (特定非営利活動法人NPO政策研究所 理事 (主任研究員))

2 配当学年等

第2学年 前期 2単位

3 学習目標

人々の暮らしに関わる保健・医療・福祉行政・制度の変遷と特徴を学び、あらゆるライフステージにある対象の看護や保健指導に役立てる。

4 授業概要

社会と行政の基本的枠組みを理解する

5 授業内容

この授業は、保健・医療・福祉制度の概要、発展課程、各制度、計画と評価についての内容となる。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月11日(木)	3	田中	ガイダンス 国・地方自治体の行政の仕組み	当講義のねらい・構成・授業の進め方・成績評価等	看4
4月18日(木)	3	〃	保健医療福祉の行政・財政		看4
4月25日(木)	3	〃	公衆衛生に関する国際的な活動		看4
5月9日(木)	3	〃	保健医療福祉行政 ①基盤形成		看4
5月16日(木)	3	〃	②新たな課題と政策の発展		看4
5月23日(木)	3	伊藤・田中・ ゲストスピーカー	保健医療福祉行政 ③政策の充実と転換 実際の仕事の現場から	レポート提出の説明 複数提示するテーマから選択	看4
5月30日(木)	3	田中	社会保障制度と公衆衛生行政		看4
6月6日(木)	3	〃	地域保健の体系		看4
6月13日(木)	3	〃	社会福祉の制度		看4
6月20日(木)	3	〃	提出レポートの振り返り	意見交換	看4
6月27日(木)	3	〃	医療制度 介護保険制度		看4
7月4日(木)	3	〃	地方自治体の保健医療福祉計画 地方自治体の計画策定		看4
7月11日(木)	3	〃	計画の推進と管理・評価 授業の振り返り	意見交換	看4
7月18日(木)	3	河村	精神保健医療福祉		看4
7月25日(木)	3	〃	発達障害者支援と合理的配慮		看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式

7 評価方法

詳細な評価方法は、講義の際に説明を行います。

8 教科書・参考文献

「最新保健学講座7 保健医療福祉行政論」メヂカルフレンド社(最新版)を必ず購入してください。

社 会 保 障

1 担当教員名

教 授 伊 藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座) 非常勤講師
助 教 平 和 也 (公衆衛生看護学講座) 馬 込 武 志 (学校法人湊川相野学園 湊川短期大学 教授)
蘭 由岐子 (追手門学院大学 社会学部 教授)

2 配当学年等

第2学年 後期 2単位

3 学習目標

日本の社会保障制度の働きと仕組みを理解し、専門分野との関わりの中で課題を検討する能力を培う。

4 授業概要

社会保障の目的、現状、課題、歴史等について概説する。

5 授業内容

私たち国民の生活を保障する仕組みの全体像をつかみ、各サービスの役割と特徴について学習する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	教室
2019年				
10月4日(金)	1	馬 込	「社会保障」の概念と概要	看1
10月11日(金)	1	〃	日本社会の課題と社会保障制度の動向	看1
10月18日(金)	1	〃	医療保険と介護保険Ⅰ	看1
11月1日(金)	1	〃	医療保険と介護保険Ⅱ	看1
11月8日(金)	1	〃	所得保障：年金保険・社会手当	看1
11月15日(金)	1	〃	公的扶助Ⅰ	看1
11月22日(金)	1	〃	公的扶助Ⅱ	看1
11月29日(金)	1	〃	社会保険と公的扶助Ⅰ	看1
12月6日(金)	1	〃	社会保障の歴史Ⅰ：西欧 社会保障の歴史Ⅱ：日本	看1
12月6日(金)	4	蘭	医療と差別Ⅰハンセン病	看1
12月6日(金)	5	〃	医療と差別Ⅱハンセン病	看1
2020年				
1月10日(金)	1	馬 込	社会福祉Ⅰ：福祉六法体制	看1
1月24日(金)	1	〃	社会福祉Ⅱ：高齢者・障害者福祉	看1
1月31日(金)	1	〃	社会保険と公的扶助Ⅱ	看1
2月7日(金)	1	〃	社会保険と公的扶助Ⅲ	看1

6 評価方法

定期試験80%、日常点20%の比率で合算し評価する。
出席回数が2/3未満の場合は、定期試験の受験資格はないものとする。

7 教科書・参考文献

「健康支援と社会保障制度 [3] 社会保障・社会福祉」(第17版)(近刊)

8 学生へのメッセージ

質問を歓迎します。

国際看護活動論

1 担当教員名

教授 伊藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座) 非常勤講師
角野 文彦 (滋賀県健康医療福祉部 理事)

2 配当学年等

第4学年・編入第4学年 後期前半 2単位
杉浦 康夫 (国立国際医療研究センター
国際医療協力局・連携協力部展開支援課長)

3 学習目標

地球規模での健康課題、特に開発途上国の保健医療問題に対する国際協力のあり方を学ぶと同時に、看護職として国際的な支援活動を行なう必要性と支援の具体的な方法、および異文化看護について理解する。

4 授業概要

本講義は国際保健・国際協力と国際看護活動の2部構成とする。まず、国際保健・国際協力に携わる専門家により開発途上国での国際協力の支援の実際について講義をうける。その内容をもとに、グループにて演習を行い、国際保健・国際協力についての理解を深める。続く国際看護活動では、JICAにおける国際協力の実践活動をとおり、国際看護のあり方を理解するとともに、グローバル化に伴う日本での看護のあり方をも考察する。

5 授業内容

集中講義

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月4日(金)	2	水谷	国際看護学とは		看4
10月4日(金)	3	〃	世界の健康課題		看1
10月4日(金)	4	〃	国際保健・看護の目標 国際協力のしくみ		看4
10月18日(金)	2	〃	海外における国際看護活動		看4
10月18日(金)	3	〃	海外における国際看護協働研究		看1
10月18日(金)	4	〃	日本における国際看護：文化を考慮した看護		看4
10月30日(水)	1・2	杉浦	国際保健・国際協力	国際協力活動の実際	看1
11月1日(金)	3・4	伊藤・ ゲストスピーカー(予定)	日本における国際看護：文化を考慮した看護①②		看1
11月5日(火)	3	角野	国際保健・国際協力	日本の国際協力の理念 開発途上国の課題	看1
11月5日(火)	4	〃	国際保健・国際協力	健康課題の抽出と課題解決の検討	看1
11月13日(水)	1・2	杉浦	国際看護活動論	海外の文化・価値観の多様性に基 づいた国際看護活動の展開	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

1. 講義 (DVD視聴含む)
2. グループワーク

7 評価方法

講義への参加度、レポート (テーマは講義の際に提示します)。
全講義数の3分の2以上の出席を評価の要件とします。

8 教科書・参考文献

講義の際に適宜紹介します。

9 オフィスアワー (授業相談)

外部講師の集中講義になります。質問は授業中あるいは講義の終了後に直接各先生方へ尋ねるようにして下さい。

10 学生へのメッセージ

日程は未定です (上記の日程は暫定的なもので確定ではありません)。
全講師の日程は9月中に決定しますので、その後通知します。

外国語科目



英 語 I a

1 担当教員名

教 授 相 浦 玲 子 (医療文化学講座 英語)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 1単位

3 学習目標

言語には、文化の表現されたものという側面と、コミュニケーションの手段としての側面がある。入学までに少なくとも6年間は学んできた英語について、客観的に見て、どのような言語であるのかを把握する。

人と人がコミュニケーションをとるといふこと、異文化の担い手としての外国語を学ぶということによって、将来、医療人になったときに、異なる文化をもつ相手を理解する態度も身につけたい。英語という言語の背景にある文化を知ることにより、異文化への理解を深め、また英文中に出てくるさまざまな問題を考える過程で思考力を養い、語彙を増やす。実際にTOEFL-ITPを受験して、自らの実力を知り、今後の勉学の励みとしたい。

4 授業概要

英文のテキストを読むことにより、語彙力の構築をはかると共に、異文化にふれて自文化との相違点を学ぶ。音声に触れる機会を設け、リスニングの力もつける。詳細は授業開始時に述べる。

5 授業内容

テキストの英文を熟読、精読していく。毎回の予習は欠かせない。文化の背景を知るためにビデオ／DVD教材を随所に用いる。Pre-TOEFL-ITPをクラスで受験し、自己の英語力を知り、今後の学習計画を立てる上での基本とする。

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	内 容	教室
2019年					
4月15日(月)	1	相 浦	Introduction	Writing "Self-introduction"	B
4月22日(月)	1	"	Pre-TOEFL (ITP) 実施	実力を知る	B
5月13日(月)	1	"	"Mr and Mrs Dove" Katherine Mansfield	文化的背景を知る。	B
5月20日(月)	1	"	"Mr and Mrs Dove" Katherine Mansfield	(New Zealand, イギリスのClass system)	B
5月27日(月)	1	"	"Mr and Mrs Dove" Katherine Mansfield	(New Zealand, イギリスのClass system)	B
6月3日(月)	1	"	"Mr and Mrs Dove" Katherine Mansfield	(New Zealand, イギリスのClass system)	B
6月10日(月)	1	"	"Mr and Mrs Dove" Katherine Mansfield	(Initiation to life and death)	B
6月17日(月)	1	"	"Mr and Mrs Dove" Katherine Mansfield	(Conflicts within the family)	B
6月24日(月)	1	"	"Happy Prince" Oscar Wilde	(Human nature)	B
7月1日(月)	1	"	"Happy Prince" Oscar Wilde	(Knowing outside society)	B
7月8日(月)	1	"	"Happy Prince" Oscar Wilde	(struggling within)	B
7月16日(火)	1	"	"Happy Prince" Oscar Wilde	(Death and Peace)	B
7月22日(月)	1	"	"Happy Prince" Oscar Wilde	(Friendship)	B
7月29日(月)	1	"	Film "The Verdict" を見る。(1)	アメリカの医療制度や法廷について知る(事前学習) アメリカの医療訴訟についての法廷ドラマ	B

6 授業形式・視聴覚機器の活用

ビデオ／DVDあり。

7 評価方法

平常点・定期試験の成績などからの総合評価 (TOEFL-ITPも10%を限度に加点)
発表を重視する学生参加型の授業を行うので、積極的姿勢で受講することがもっとも重要である。

①全回出席を前提とする。出席は加点の対象とせず、正当な理由（忌引き、病欠、交通機関の遅延など）がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とする。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数のおよそ三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしない。

②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率に関わらず、単位を認定しない。

8 教科書・参考文献

教科書：プリント教材

参考文献：「看護英語の基本用語と表現」メジカルビュー社。2016年

9 オフィスアワー（授業相談）

随時（メールでアポイントメントをとる事が望ましい。）

10 学生へのメッセージ

言語環境が異なる中で語学の勉強に近道はありませんが、毎日、少しずつ積み重ねることが大切です。そのことを理解した上で、少しでも楽しく学びましょう。精読用には、電子だけでなく紙の辞書を活用してください。漫然と教室に座っているだけでなく、一回一回の授業に積極的に真剣に取り組んで下さることを期待しています。

英 語 I b

1 担当教員名

教 授 相 浦 玲 子 (医療文化学講座 英語)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 後期 1単位

3 学習目標

言語には、文化の表現されたものという側面と、コミュニケーションの手段としての側面がある。入学までに少なくとも6年間は学んできた英語について、客観的に見て、どのような言語であるのかを把握する。

人と人がコミュニケーションをとるといふこと、異文化の担い手としての外国語を学ぶということによって、将来、医療人になったときに、異なる文化をもつ相手を理解する態度も身につけたい。英語という言語の背景にある文化を知ることにより、異文化への理解を深め、また英文中に出てくるさまざまな問題を考える過程で思考力を養い、語彙を増やす。実際にTOEFL-ITPを受験して、自らの実力を知り、今後の勉学の励みとしたい。英語I a (必修)で行ったことを、さらに発展させる。

4 授業概要

英文のテキストを読むことにより、語彙力の構築をはかると共に、異文化にふれて自文化との相違点を学ぶ。音声に触れる機会を設け、リスニングの力もつける。詳細は授業開始時に述べる。

5 授業内容

テキストの英文を熟読、精読していく。毎回の予習は欠かせない。文化の背景を知るためにビデオ／DVD教材を随所に用いる。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月4日(金)	1	相 浦	Writing In-class essay	自由作文の作法	看4
10月11日(金)	1	〃	“Mortmain” Graham Greene	Introduction	看4
10月18日(金)	1	〃	“Mortmain” Graham Greene	Background culture	看4
11月1日(金)	1	〃	“Mortmain” Graham Greene		看4
11月8日(金)	1	〃	“Mortmain” Graham Greene		看4
11月15日(金)	1	〃	“Mortmain” Graham Greene		看4
11月22日(金)	1	〃	“Mortmain” Graham Greene		看4
11月29日(金)	1	〃	“Mortmain” Graham Greene		看4
12月6日(金)	1	〃	“The View” Alan Sillitoe		看4
12月13日(金)	1	〃	“The View” Alan Sillitoe		看4
2020年					
1月10日(金)	1	〃	“The View” Alan Sillitoe		看4
1月24日(金)	1	〃	“The View” Alan Sillitoe	Film: “Soldier and Death”	看4
1月31日(金)	1	〃	Film (1)	“Shadowlands”	看4
2月7日(金)	1	〃	Film (2)	“Shadowlands”	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

ビデオ／DVDあり。

7 評価方法

平常点・定期試験の成績などからの総合評価

発表を重視する学生参加型の授業を行うので、積極的姿勢で受講することがもっとも重要である。

①全回出席を前提とする。出席は加点の対象とせず、正当な理由(忌引き、病欠、交通機関の遅延など)がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とする。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数数の三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしない。

②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率に関わらず、単位を認定しない。

8 教科書・参考文献

教科書：プリント教材

参考文献：「看護英語の基本用語と表現」メジカルビュー社。2016年

9 オフィスアワー（授業相談）

随時（e-mailにてアポイントメントをとること。）

10 学生へのメッセージ

言語環境が異なる中での語学の勉強に近道はありませんが、毎日、少しずつ積み重ねることが大切です。そのことを理解した上で、少しでも楽しく学びましょう。精読用には、電子だけでなく紙の辞書も活用してください。漫然と教室に座っているだけでなく、一回一回の授業に積極的に真剣に取り組んで下さることを期待しています。

英語実習 I a

1 担当教員名

特任准教授 Richard Hodge (医療文化学講座 英語)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 1単位

3 学習目標

The goals for this course are:

- to develop an ability to communicate with a diverse range of people in English.
- to distinguish between different styles of writing including academic, formal and informal correspondence by letter and email, and narratives.
- to acquire skills for quickly understanding the gist of written and spoken English.
- to be able to respond appropriately to different types of written and spoken English.
- to develop autonomy in language study for life-long learning.

4 授業概要

Students will mainly be engaged in speaking and listening activities, with some reading and writing. Speaking activities will take place in pairs and small groups to increase opportunities for practice and build confidence. Students will also read, write, and listen to English online (e-learning) during class time and as homework.

5 授業内容

Speaking: in-class pair and group practice

Listening: songs, dialogs, narratives, film clips, and online materials (e-learning)

Reading: prints, medical English, and online material

Writing: film response essays and listening reports

年月日(曜)	時限	担当教員	内 容	教室
2019年				
4月11日(木)	3 / 4	Hodge	Self introductions: speaking in pairs and small groups, followed by written version as homework.	看2
4月18日(木)	3 / 4	"	Self introductions: due printed out for peer reading and discussion in class. Vocabulary for body parts and common action verbs.	⑤
4月25日(木)	3 / 4	"	manythings.org: pronunciation practice, grammar quizzes, and vocabulary matching.	⑤
5月9日(木)	3 / 4	"	Definitions: Describing foods "hints" game.	看2
5月16日(木)	3 / 4	"	Food hints continued. Hospital admissions vocabulary and dialog.	看2
5月23日(木)	3 / 4	"	Hospital admissions vocabulary and dialog, continued.	看2
5月30日(木)	3 / 4	"	Accident story: Practice in telling stories in formats of various length. Brainstorming to generate relevant details. Homework: Write one accident story with a moral or other life lesson in the conclusion.	看2
6月6日(木)	3 / 4	"	Accident story: Small groups do peer reading and discussion in class.	看2
6月13日(木)	3 / 4	"	Giving directions and describing locations.	看2
6月20日(木)	3 / 4	"	Directions: Students role-play giving directions to an authentic place.	看2
6月27日(木)	3 / 4	"	GATTACA part I: Film on biotechnology and reproduction, discussion questions.	看2
7月4日(木)	3 / 4	"	GATTACA part II: Discussion questions, and writing assignment.	看2
7月11日(木)	3 / 4	"	Film essay due printed out for peer-reading, correction, and discussion in small groups.	看2
7月18日(木)	3 / 4	"	Dictation practice	看2
			Review for final exam	
7月25日(木)	3 / 4	"	Oral Interview Exam	看2

6 授業形式・視聴覚機器の活用

A student-centered approach will be used to activate students' existing knowledge of English.

7 評価方法

Students will be evaluated according to their attendance and in-class participation (30%), completed assignments and in-class exams (30%), and the final exam (40%). The final exam will consist of writing and listening sections based on content studied during the course. Students who are absent from more than 30% of the classes will be disqualified from taking the final exam. Normally, a score of at least 60 points on the final exam is required to pass the course. However, students who lose points for incomplete or late assignments during the semester may be required to score well above 60 points on the final exam to pass the course.

8 教科書・参考文献

Prints will be supplied by the teacher. Students are required to bring a folder with all course prints and written assignments to each lesson.

9 授業用E-mail

richard@belle.shiga-med.ac.jp

英語実習 I b

1 担当教員名

特任准教授 Richard Hodge (医療文化学講座 英語)

2 配当学年等

第1学年 後期 1単位

3 学習目標

The goals for this course are:

- to develop an ability to communicate with a diverse range of people in English.
- to distinguish between different styles of writing including academic, formal and informal correspondence by letter and email, and narratives.
- to acquire skills for quickly understanding the gist of written and spoken English.
- to be able to respond appropriately to different types of written and spoken English.
- to develop autonomy in language study for life-long learning.

4 授業概要

Students will mainly be engaged in speaking and listening activities, with some reading and writing. Speaking activities will take place in pairs and small groups to increase opportunities for practice and build confidence. Students will also read, write, and listen to English online (e-learning) during class time and as homework.

5 授業内容

Speaking: in-class pair and group practice

Listening: songs, dialogs, narratives, film clips, and online materials (e-learning)

Reading: prints, medical English, and online material

Writing: film response essays and listening reports

年月日(曜)	時限	担当教員	内 容	教室
2019年				
10月3日(木)	3 / 4	Hodge	Summer dialogs	看2
10月10日(木)	3 / 4	"	Summer report	看2
10月17日(木)	3 / 4	"	Introduction to ello.org, online language listening practice. Students will receive semester listening report instructions.	⑤・看2
10月24日(木)	3 / 4	"	Drama activity: Exploring non-verbal communication	看2
10月31日(木)	3 / 4	"	1st ello.org listening report due printed out for peer reading and discussion in class.	看2
11月14日(木)	3 / 4	"	Stanford Research into the impact of Tobacco Advertising Medlineplus.gov: medical vocabulary	⑤・看2
11月21日(木)	3 / 4	"	Introduction to TED Talks online. Instructions for semester listening reports.	⑤・看2
11月28日(木)	3 / 4	"	Film viewing with discussion questions: SICKO Part I	看2
12月5日(木)	3 / 4	"	Film viewing with discussion questions and writing assignment: SICKO Part II	看2
12月12日(木)	3 / 4	"	Healthcare systems essay for peer-reading, correction, and discussion in small groups. Homework: Draft 2	看2
2020年				
1月9日(木)	3 / 4	"	First aid activities 1. Exploring the best practices.	⑤・看2
1月16日(木)	3 / 4	"	First aid activities 2. Writing a script for student demonstrations.	看2
1月23日(木)	3 / 4	"	First aid student demonstrations	看2
1月30日(木)	3 / 4	"	Dictation practice	看2
2月6日(木)	3 / 4	"	Oral interview exam	看2

6 授業形式・視聴覚機器の活用

A student-centered approach will be used to activate students' existing knowledge of English.

7 評価方法

Students will be evaluated according to their attendance and in-class participation (30%), completed assignments and in-class exams (30%), and the final exam (40%). The final exam will consist of writing and listening sections based on content studied during the course. Students who are absent from more than 30% of the classes will be disqualified from taking the final exam. Normally, a score of at least 60 points on the final exam is required to pass the course. However, students who lose points for incomplete or late assignments during the semester may be required to score well above 60 points on the final exam to pass the course.

8 教科書・参考文献

Prints will be supplied by the teacher. Students are required to bring a folder with all course prints and written assignments to each lesson.

9 学生へのメッセージ

richard@belle.shiga-med.ac.jp

ドイツ語 a

1 担当教員名

准教授 森田 一平 (医療文化学講座 独語)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 1単位

3 学習目標

- ・名前、出身地、居住地、年齢、職業などについて尋ねたり答えたりできる。また他者を紹介できる。
- ・家族について簡単な会話ができる。
- ・値段を尋ねたり、答えたりできる。
- ・家具や日用品を描写（色、素材、形など）したり、意見を述べたりできる。
- ・名前や単語の綴りを言ったり、綴りを聞き取ったりできる。
- ・持っているものや必要なものを尋ねたり、答えたりできる。
- ・ドイツ語圏に暮らす人びとの生活や文化について知る。
- ・後期が終了した時点で「ヨーロッパ言語共通参照枠」A1レベル前半に到達していること。

4 授業概要

日常に身近なテーマで、バランスの良い「読む・書く・聞く・話す」能力を養います。ドイツ語を日本語に翻訳して理解するのではなく、文脈やシチュエーションから意味を読み取る、既存の知識を応用して意味を推測する、文法規則を自分で探すなどの能動的な活動を通して、学びを深めます。

簡単な表現を用いて、他者とコミュニケーションが取れる「使えるドイツ語」の習得を目指します。

またドイツ語圏の社会や文化、暮らしなどに触れながら、多様性への意識を高めます。

5 授業内容

前期の授業では、挨拶、自己・他己紹介、家族、家具と日用品などをテーマに、「読む・書く・聞く・話す」ドイツ語の運用能力を身につけていきます。プロフィール、商品説明、メール、コミック、ショッピングサイトなど、さまざまな種類のテキストに触れ、実践的にドイツ語を学びます。ビデオ教材やゲーム形式の練習も取り入れます。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月11日(木)	1	森田		授業説明、自己紹介	小
4月18日(木)	1	〃	第1課	挨拶、人と知り合う	小
4月25日(木)	1	〃	第1課	他己紹介、名前を綴る	小
5月9日(木)	1	〃	第2課	職業の表現、共通点を見つける	小
5月16日(木)	1	〃	第2課	年齢、プロフィールを読む・書く	小
5月23日(木)	1	〃	第3課	私の家族とあなたの家族	小
5月30日(木)	1	〃	第3課	家族や友人を紹介する、何語を話しますか？	小
6月6日(木)	1	〃		これまでのまとめと小テスト	小
6月13日(木)	1	〃	第4課	家具店での会話	小
6月20日(木)	1	〃	第4課	値段の表現、家具を描写する	小
6月27日(木)	1	〃	第5課	商品説明、色・素材・形の表現	小
7月4日(木)	1	〃	第5課	ドイツ語で何といいますか？	小
7月11日(木)	1	〃	第6課	メール、電話での会話、オフィス用品	小
7月18日(木)	1	〃	第6課	持ち物について話す	小
7月25日(木)	1	〃		これまでのまとめと口頭試験の練習	小

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は講義形式ではなく、受講者の活動を中心とする参加型とします。ペアワークや少人数のグループワークを多く取り入れ、相互的に学びます。授業ではできるだけ、色々な人と組むようにしてください。

7 評価方法

平常点（積極的な授業参加、課題への取り組み方、課題の提出状況）40%

定期試験（筆記および口頭試験）60%

毎回の出席が大前提です。また授業では、能動的に授業内活動に参加すること。

欠席日数が6日以上の受講者は定期試験の受験を認めず、単位認定もしません。また続けて3回以上欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は、他の受講生に授業内容と宿題を尋ねるなどし、遅れをとらないよう努めること。

毎回宿題を出します。必ず取り組むこと。また提出物等の期限は厳守すること。

8 教科書・参考文献

Hueber社：Menschen. Deutsch als Fremdsprache Kursbuch. A1.1. (2012) テキストISBN番号 978-3193019011

9 オフィスアワー（授業相談）

月曜日昼休みおよび14時半から15時まで。そのほかの時間はメールにてアポイントメントを得てから。

10 学生へのメッセージ

授業では間違いを恐れず、ドイツ語をどんどん使いコミュニケーションをとってください。

外国語学習では、予習よりも復習が大切です。授業後は復習を必ず行って、わからない箇所がないか確認すること。あれば次の授業時に質問してください。

一度に長時間学ぶよりも、毎日10分の方が語学力は身につけやすくなります。日々の積み重ねを心がけましょう。自分に興味のある分野で、教材以外のドイツ語に触れる機会を作ると、学習頻度も上がります。

自分に合った学習方法を見つけるために、色々な方法で復習や練習を行ってください。

ドイツ語 b

1 担当教員名

准教授 森田 一平 (医療文化学講座 独語)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 後期 1単位

3 学習目標

- ・余暇の過ごし方や趣味・特技について、尋ねたり答えたりできる。
- ・依頼ができる。
- ・親しい人と会う約束をする、誘いに応じたり断ったりできる。
- ・食習慣や食の好みについて会話ができる。
- ・一日の流れを表現できる。
- ・駅や車内のアナウンスから重要な情報が理解できる。
- ・今日何をしたか、尋ねたり答えたりできる。
- ・体験や経験について、簡単な会話ができる。
- ・ドイツ語圏に暮らす人びとの生活や文化について知る。
- ・後期が終了した時点で「ヨーロッパ言語共通参照枠」A1レベル前半に到達していること。

4 授業概要

日常に身近なテーマで、バランスの良い「読む・書く・聞く・話す」能力を養います。ドイツ語を日本語に翻訳して理解するのではなく、文脈やシチュエーションから意味を読み取る、既存の知識を応用して意味を推測する、文法規則を自分で探すなどの能動的な活動を通して、学びを深めます。

簡単な表現を用いて、他者とコミュニケーションが取れる「使えるドイツ語」の習得を目指します。

またドイツ語圏の社会や文化、暮らしなどに触れながら、多様性への意識を高めます。

5 授業内容

後期の授業では、趣味・特技、余暇の過ごし方、食事、スケジュール、ドイツ語圏のお祭りやイベントなどのテーマで、「読む・書く・聞く・話す」ドイツ語の運用能力をさらに伸ばします。チャット、メール、コミック、メニュー、スケジュール帳、情報誌の記事などを扱い、書く練習も行います。ビデオ教材やゲーム形式の練習も取り入れます。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月3日(木)	1	森田	第7課	特技、誰かをほめる	小
10月10日(木)	1	〃	第7課	趣味について話す、依頼の表現	小
10月17日(木)	1	〃	第8課	誘いに応じる・断る	小
10月31日(木)	1	〃	第8課	時刻・曜日の表現、チャットで約束する	小
11月14日(木)	1	〃	第9課	食習慣や食べ物の好みについて話す	小
11月21日(木)	1	〃	第9課	食事に招待する・される、メニュー、ドイツ語圏の料理	小
11月28日(木)	1	〃		これまでのまとめと小テスト	小
12月5日(木)	1	〃	第10課	一日の行動、乗り物での移動	小
12月12日(木)	1	〃	第10課	駅や車内のアナウンス	小
2020年					
1月9日(木)	1	〃	第11課	スケジュールについて話す	小
1月16日(木)	1	〃	第11課	今日したことを話す	小
1月23日(木)	1	〃	第12課	ドイツ語圏のお祭り・イベント	小
1月30日(木)	1	〃	第12課	体験・経験について話す	小
2月6日(木)	1	〃		聴解練習	小
未定	未定	〃		これまでのまとめと口頭試験の練習(※日程は別途通知する。)	小

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は講義形式ではなく、受講者の活動を中心とする参加型とします。ペアワークや少人数のグループワークを多く取り入れ、相互的に学びます。授業ではできるだけ、色々な人と組むようにしてください。

7 評価方法

平常点（積極的な授業参加、課題への取り組み方、課題の提出状況）40%

定期試験（筆記および口頭試験）60%

毎回の出席が大前提です。また授業では、能動的に授業内活動に参加すること。

欠席日数が3分の1を超えた受講者は定期試験の受験を認めず、単位認定もしません。また続けて3回以上欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は、他の受講生に授業内容と宿題を尋ねるなどし、遅れをとらないよう努めること。

毎回、宿題を出します。必ず取り組むこと。また提出物等の期限は厳守すること。

8 教科書・参考文献

Hueber社：Menschen. Deutsch als Fremdsprache Kursbuch. A1.1. (2012) テキストISBN番号 978-3193019011

9 オフィスアワー（授業相談）

月曜日昼休みおよび14時半から15時まで。そのほかの時間はメールにてアポイントメントを得てから。

10 学生へのメッセージ

授業では間違いを恐れず、ドイツ語をどんどん使いコミュニケーションをとってください。

外国語学習では、予習よりも復習が大切です。授業後は復習を必ず行って、分からない箇所がないか確認すること。あれば次の授業時に質問してください。

一度に長時間学ぶよりも、毎日10分の方が語学力は身につくようになります。日々の積み重ねを心がけましょう。自分に興味のある分野で、教材以外のドイツ語に触れる機会を作ると、学習頻度も上がります。

自分に合った学習方法を見つけるため、色々な方法で復習や練習を行ってみてください。

フランス語 a

1 担当教員名

助川 晃 自 (国際交流支援室 主幹)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 1単位

3 学習目標

a、bの履修を通じて、フランス語の発音と基本的な文法を習得し、簡単な日常表現を身につけ、仏検5級に合格できるレベルを目指します。

4 授業概要

初級の教科書を用いてフランス語の基礎をひとつずつ丁寧に学びながら、「読み・書き・聞く・話す」の総合的な語学力を養います。フランス語を初めて学ぶ学生が対象です。

5 授業内容

フランス語の基礎を段階的に学習していきます。文法の解説と演習を中心に進めますが、発音や聞き取りなどの音声面も重視し、必要に応じて、ペアワークやグループワークを取り入れ、視聴覚教材(映画や音楽)も用います。予習よりも復習を重んじ、各課ごとに宿題を課し、適宜、小テストを行います。また時間の許すかぎり、フランス語圏の文化や社会についても紹介します。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月18日(木)	1	助川	イントロダクション	発音と綴り字	看2
4月25日(木)	1	〃	第1課	自己紹介	看2
5月9日(木)	1	〃	第1課	名詞の性と数・冠詞	看2
5月16日(木)	1	〃	第2課	基本動詞①	看2
5月23日(木)	1	〃	第3課	否定形・形容詞	看2
5月30日(木)	1	〃	第4課	規則動詞の活用	看2
6月6日(木)	1	〃	第4課	疑問形	看2
6月13日(木)	1	〃	第5課	所有形容詞	看2
6月20日(木)	1	〃	第5課	指示形容詞・疑問形容詞	看2
6月27日(木)	1	〃	第6課	不規則動詞①	看2
7月4日(木)	1	〃	第6課	不規則動詞②	看2
7月11日(木)	1	〃	第7課	不規則動詞③	看2
7月18日(木)	1	〃	第7課	疑問代名詞	看2
7月25日(木)	1	〃	第7課	疑問副詞・数詞	看2

6 授業形式・視聴覚機器の活用

文法解説と演習を中心に進めます。

7 評価方法

期末試験の成績70%、小テストの成績30%で総合的に評価します。

①全回出席を前提とします。出席は加点の対象とせず、正当な理由(忌引き、病欠、交通機関の遅延など)がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とします。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数の三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしません。

②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率の良し悪しに関わらず、単位を認定しません。再試験は行いません。

8 教科書・参考文献

『《新版》ル・フランセ・クレール』清岡智比古、白水社 テキストISBN番号 978-4-560-06119-0

9 オフィスアワー（授業相談）

質問はいつでも受け付けます。以下のアドレスへ連絡してください。

10 学生へのメッセージ

何よりも授業への積極的な参加を求めます。休まない。遅刻しない。復習を怠らない。この3点を心に留めて、最後まで意欲をもって取り組んでください。

11 授業用E-mail

sukegawa@belle.shiga-med.ac.jp

フランス語 b

1 担当教員名

助 川 晃 自 (国際交流支援室 主幹)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 後期 1単位

3 学習目標

a、bの履修を通じて、フランス語の発音と基本的な文法を習得し、簡単な日常表現を身につけ、仏検5級に合格できるレベルを目指します。

4 授業概要

初級の教科書を用いてフランス語の基礎をひとつずつ丁寧に学びながら、「読み・書き・聞く・話す」の総合的な語学力を養います。フランス語を初めて学ぶ学生が対象です。

5 授業内容

フランス語の基礎を段階的に学習していきます。文法の解説と演習を中心に進めますが、発音や聞き取りなどの音声面も重視し、必要に応じて、ペアワークやグループワークを取り入れ、視聴覚教材(映画や音楽)も用います。予習よりも復習を重んじ、各課ごとに宿題を課し、適宜、小テストを行います。また時間の許すかぎり、フランス語圏の文化や社会についても紹介します。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月3日(木)	1	助 川	前期の復習	第1課～第7課	看2
10月10日(木)	1	〃	第8課	不規則動詞④	看2
10月17日(木)	1	〃	第8課	不規則動詞④	看2
10月31日(木)	1	〃	第8課	最上級	看2
11月14日(木)	1	〃	第9課	不規則動詞⑤	看2
11月21日(木)	1	〃	第9課	命令形	看2
11月28日(木)	1	〃	第9課	非人称構文	看2
12月5日(木)	1	〃	第10課	目的語人称代名詞	看2
12月12日(木)	1	〃	第11課	複合過去①	看2
2020年					
1月9日(木)	1	〃	第11課	複合過去②	看2
1月16日(木)	1	〃	第12課	関係代名詞	看2
1月23日(木)	1	〃	第12課	強調構文	看2
1月30日(木)	1	〃	演習	会話表現①	看2
2月6日(木)	1	〃	演習	会話表現②	看2

6 授業形式・視聴覚機器の活用

文法解説と演習を中心に進めます。

7 評価方法

期末試験の成績70%、小テストの成績30%で総合的に評価します。

①全回出席を前提とします。出席は加点の対象とせず、正当な理由(忌引き、病欠、交通機関の遅延など)がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とします。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数の三分之一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしません。

②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率の良し悪しに関わらず、単位を認定しません。再試験は行いません。

8 教科書・参考文献

『《新版》ル・フランセ・クレール』清岡智比古、白水社 テキストISBN番号 978-4-560-06119-0

9 オフィスアワー（授業相談）

質問はいつでも受け付けます。以下のアドレスへ連絡してください。

10 学生へのメッセージ

何よりも授業への積極的な参加を求めます。休まない。遅刻しない。復習を怠らない。この3点を心に留めて、最後まで意欲をもって取り組んでください。

11 授業用E-mail

sukegawa@belle.shiga-med.ac.jp

中国語 a

1 担当教員名

非常勤講師 前田尚香 (京都大学 非常勤講師)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 前期 1単位

3 学習目標

中国語の正しい発音を身につけ、基本的な語法を理解したうえで、簡単な事柄を中国語で表現でき、聞きとれるようになる。

4 授業概要

基本的な語法をしっかりと学んだ上で語彙を増やし、コミュニケーション能力をつける。中国の人々の現代文化や生活習慣などに対する理解を深める。

5 授業内容

授業はテキストに基づいて行い、随時プリント等を配布予定。最初の1か月で基礎としての発音を習得し、その後基礎的な文法から順に学ぶ。また、ヒアリングやスピーキングの練習なども行う。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月11日(木)	1	前田	ガイダンス・発音	ガイダンスと発音の基礎。声調・単母音など	看3
4月18日(木)	1	〃	発音	子音、複合母音など	看3
4月25日(木)	1	〃	発音	複母音・鼻母音など	看3
5月9日(木)	1	〃	発音まとめ	総復習、小テストなど	看3
5月16日(木)	1	〃	第1課	第1課文法事項の理解・練習	看3
5月23日(木)	1	〃	第2課	第2課文法事項の理解・練習	看3
5月30日(木)	1	〃	第1～2課の復習	第1～2課の復習・練習	看3
6月6日(木)	1	〃	第3課	第3課文法事項の理解・練習	看3
6月13日(木)	1	〃	第4課	第4課文法事項の理解・練習	看3
6月20日(木)	1	〃	第3～4課の復習	第3～4課の復習・練習	看3
6月27日(木)	1	〃	第5課	第5課文法事項の理解・練習	看3
7月4日(木)	1	〃	第6課	第6課文法事項の理解・練習	看3
7月11日(木)	1	〃	第5～6課の復習	第5～6課の復習・練習	看3
7月18日(木)	1	〃	前期総復習1	前期の復習・ヒアリング練習など	看3
7月25日(木)	1	〃	前期総復習2	前期のまとめ・総復習	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

最初の一ヶ月は発音の習得を中心とする。文法事項の講義内容はテキストに沿って行い、授業中は中国語を話す機会をできるだけ多く持てるようにする。適宜小テスト等を行う。課題も必ず提出すること。

7 評価方法

- ①全回出席を前提とする。出席は加点の対象とせず、正当な理由(忌引き、病欠、交通機関の遅延など)がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とする。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数の三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしない。
- ②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率の良し悪しに関わらず、単位を認定しない。
以上の原則のもと、期末試験の成績70%、授業中の評価30%とする。なお、再試験は行わない。

8 教科書・参考文献

教科書:『中国語はじめの一步』尹景春ほか著/白水社 テキストISBN番号 978-4-560-06925-7
参考文献:特に準備する必要はなし。適宜プリントを配布予定。

9 学生へのメッセージ

同じ漢字文化圏の人々が話している言葉を通じて、私たちの将来のさまざまな可能性を想像していただければと思います。

中国語 b

1 担当教員名

非常勤講師 前田尚香 (京都大学 非常勤講師)

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年 後期 1単位

3 学習目標

中国語の正しい発音を身につけ、基本的な語法を理解したうえで、簡単な事柄を中国語で表現でき、聞きとれるようになる。

4 授業概要

基本的な語法をしっかりと学んだ上で語彙を増やし、コミュニケーション能力をつける。中国の人々の現代文化や生活習慣などに対する理解を深める。

5 授業内容

授業はテキストに基づいて行い、随時プリント等を配布予定。基礎的な文法を復習しつつ、さらに複雑な文の形式と多くの単語を身につけて表現力を高める。また、ヒアリングやスピーキングの練習なども引き続き行い、さらなるレベルアップを目指す。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月3日(木)	1	前田	ガイダンス・復習	前期の範囲の復習など	看3
10月10日(木)	1	〃	第7課	第7課文法事項の理解・練習	看3
10月17日(木)	1	〃	第8課	第8課文法事項の理解・練習	看3
10月31日(木)	1	〃	第7～8課の復習	第7～8課の復習・練習	看3
11月14日(木)	1	〃	第9課	第9課文法事項の理解・練習	看3
11月21日(木)	1	〃	第10課	第10課文法事項の理解・練習	看3
11月28日(木)	1	〃	第9～10課の復習	第9～10課の復習・練習	看3
12月5日(木)	1	〃	第11課	第11課文法事項の理解・練習	看3
12月12日(木)	1	〃	第12課	第12課文法事項の理解・練習	看3
2020年					
1月9日(木)	1	〃	第11～12課の復習	第11～12課の復習・練習	看3
1月16日(木)	1	〃	「自己紹介」	文法事項の理解・練習	看3
1月23日(木)	1	〃	「自己紹介」	スピーキング演習など	看3
1月30日(木)	1	〃	「自己紹介」	ヒアリング演習など	看3
2月6日(木)	1	〃	「決まり文句」「文法のまとめ」	よく使うフレーズ、文法事項のまとめ	看3
2月12日(水)	1	〃	後期総復習	後期のまとめ・総復習	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

文法事項の講義内容はテキストに沿って行い、授業中は中国語を話す機会をできるだけ多く持てるようにする。適宜テストや発表等を行う。課題も必ず提出すること。

7 評価方法

- ①全回出席を前提とする。出席は加点の対象とせず、正当な理由(忌引き、病欠、交通機関の遅延など)がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とする。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数の三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしない。
- ②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率の良し悪しに関わらず、単位を認定しない。以上の原則のもと、期末試験の成績70%、授業中の評価30%とする。なお、再試験は行わない。

8 教科書・参考文献

教科書：『中国語はじめの一步』尹景春ほか著／白水社 テキストISBN番号 978-4-560-06925-7
参考文献：特に準備する必要はなし。適宜プリントを配布予定。

9 学生へのメッセージ

同じ漢字文化圏の人々が話している言葉を通して、私たちの将来のさまざまな可能性を想像していただければと思います。

人間と人間の関係Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ



心理学（第3学年編入学生のみ）

1 担当教員名

准教授 小島隆次（医療文化学講座 心理学）

2 配当学年等

編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

本授業では、実験・認知心理学を中心として、代表的な心理学諸分野の基礎知識を習得することを第一義とします。また、受講生が本授業で課される様々な課題を適切にこなすことで、論理的に考え、批判する能力が養われ、習得した知識を日常生活でどのように応用していくのかを考えられるようになることも目指します。

そして、上記目標の達成に伴い、結果的に受講生が以下の目標を達成できるようになることを学習目標とします。

1. 心理学諸分野の基礎知識を身に着けること
2. 心理学諸分野の基礎知識を日常の様々な場面で活用する態度を身に着けること
3. 様々な事象に対して、批判的・発展的に考える態度を身に着けること

4 授業概要

本授業は、心理学で扱われる主要なトピック（個々のテーマなどについては授業スケジュールを参照してください）を幅広く教授します。また、授業を受講することで、受講生が論理的に考え、批判する能力を養いつつ、論理的・批判的思考と日常における人の思考・行動特性との関係性について考察する契機を得られるようにしたいと思います。

5 授業内容

基本的には、一般的な心理学諸分野で扱われることの多いトピックを紹介する内容になりますが、主として、実験心理学、認知心理学分野のトピックが中心になります。

詳細は編入学生オリエンテーション時に通知します。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は基本的にパワーポイントを利用したプレゼンテーション形式です。但し、テーマによっては画像・音声・動画による資料の視聴、デモや問題解決課題を授業内課題として行っていただくことがあります。また、webシステムを利用した課外課題も適宜出します。授業中のデモ、問題解決、質疑応答等の授業内課題や、課外課題等への取り組みについては、単位の認定及び評価時の資料とします。

本学学生の多様な知的背景や自主学習の便宜なども考慮して、本授業の受講形態には講義型とweb型の二種類が用意されており、受講生はいずれの方法も自由に選択できます。無論、どちらか一方の型を常に選択する必要はなく、個々人の裁量において自由に適宜選択できます。もちろん、両方の形式で受講することも可能であり、授業担当者としては両方の形式での受講を勧めます。また、授業に必要な情報は全てwebで提供しますので、受講予定の学生は、必ず授業用webサイトのIDとパスワードを取得して下さい（IDとパスワードは初回ガイダンス時に知らせます）。

いずれの受講形態を選択しても単位認定に際して不利益が生じることはありません。受講形態に関する詳細などは、初回ガイダンスで説明しますが、授業webサイトで配布される授業ガイドも参照して下さい。

7 評価方法

評価は、単位認定と単位評価の二段階で行います。

まず、単位認定は、履修確認課題の成績（100点満点）、授業内容をまとめるレポート課題（15点満点）、課外課題（15点満点）に基づいて行います。各課題の詳細については、授業中の説明や授業ガイド等の授業時に配布される資料を参照して下さい。

各課題の得点を以下の式で全体として100点満点に換算し、その得点で単位認定を行います。60点以上で認定となります。

$(\text{レポート課題得点} + \text{課外課題得点}) + \text{履修確認課題得点} \times (100 - (\text{レポート課題得点} + \text{課外課題得点})) \div 100 = \text{単位認定のための素点}$

次に、認定された単位に対して相対評価を行い、これを最終評価とします。認定された単位に対する評価については、授業内課題への参加状況なども考慮します。

評価方法の詳細等については、初回授業（ガイダンス）及び授業用webサイトで配布する授業ガイドでより詳細に説明しますので、受講予定の方は、初回授業に参加するか、授業ガイドを必ず手に入れてください。

8 教科書・参考文献

教科書：特に指定しない。修学に必要な資料は全てwebで配布します。

参考文献：配布資料やwebにて適宜示します。

9 オフィスアワー（授業相談）

オフィスアワー情報は授業時に通知します。もちろん、個別にメール等でアポイントメントを取っていただければ、適宜対応します。

10 学生へのメッセージ

本授業は、実験心理学の方法論を中心とした、学問としての心理学諸分野の基礎的な知見を紹介します。いわゆる「古い心理学」の他に、医学や医療現場においても主張されることの多い「情緒的な胡散臭い心理学的言説」のような、論理的考察に適さない類のものを期待されている方は御注意下さい。おそらくそのような御期待には応えられません。

最後に重要な注意事項を述べておきますが、教授活動の迅速かつ適切な形成的改善のために、単位認定と評価の方法を含めた本授業における様々な規則等は、原則としてシラバス記載の内容よりも、授業webサイトを通じて配布される様々な文書に記される規定を最優先としますので、必ず授業webサイトを定期的を確認するようにしてください。また、本授業の単位認定に関しては、再試験も含め、いわゆる救済策の類は一切存在しませんので、この点も注意して下さい。

11 授業用URL

http://kojima-lab.net/lecture_etc/index.html

家族社会学

1 担当教員名

非常勤講師 LADMIRAL Guillaume (京都大学大学院文学研究科 非常勤講師)

2 配当学年等

第2学年・編入第3学年 前期前半 1単位

3 学習目標

家族社会学の主な項目ごとに、家族についての社会的な見方の基本を身につけることが目標です。歴史的に見て、また他の国との比較から、現在日本の家族あるいは現在日本における家族がどのような特徴をもっているかを理解します。

4 授業概要

授業では、古代社会から中世社会、そして近代における家族のかたちを概観し、また現在の他国の多様な家族の形にも触れながら、家族が実際には社会的体系の一要素であり、社会全貌と変容を共にすることを明らかにしています。

5 授業内容

毎回、次回授業に関する部分のテキストを読んだ上での要約と関連する専門用語の定義の記述を小課題とします。各授業の前半では前回授業に関する質疑応答および受講生が提出した小課題に対するコメントを行い、後半ではその日の項目の説明を行います。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月12日(金)	5	LADMIRAL	1. イントロダクション	授業の全貌揭示 「家族」とは? 「社会学」とは? 方法論: レポートの書き方について説明と指導	看1
4月19日(金)	5	〃	2. 家族の歴史社会学	「非近代家族」の多様性と「近代家族」の特徴	看1
4月26日(金)	5	〃	3. 配偶者選択、結婚、離婚	配偶者選択という社会的事実 結婚と離婚の歴史変動と現状	看1
5月17日(金)	5	〃	4. 就業と家族	男女で異なる働き方 性別役割分業の実態	看1
5月24日(金)	5	〃	5. 妊娠、出産、子育て	少子化と戦後日本の家族 現在日本で子どもをもつ	看1
5月31日(金)	5	〃	6. 親-成人子関係	親-成人子関係の変化、少子高齢化	看1
6月7日(金)	5	〃	7. 家族と福祉	家族と貧困 福祉レジームと家族	看1
6月14日(金)	5	〃	8. 家族と親密性のゆくえ	「親密性」とその変容 多様化する家族	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

- ・授業形式: 講義
- ・視聴覚機器の活用: プロジェクターで講義を行います。

7 評価方法

出席50%、末期レポート50%で評価します。出席は、基本的に各授業で行う小課題で確認をします。末期レポートについては、参考文献を最低2冊参照しながら、授業で取り扱った項目について、書いてもらいます。

8 教科書・参考文献

岩間暁子・大和礼子・田間泰子『問いからはじめる家族社会学—多様化する家族の包摂に向けて』有斐閣
テキストISBN番号 ISBN: 978-4-641-15016-4

9 オフィスアワー (授業相談)

該当せず

哲 学

1 担当教員名

教 授 室 寺 義 仁 (医療文化学講座 哲学)

2 配当学年等

第2学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

世界の哲学史の観点から、特に東洋の古典に伝わる諸思想を取り上げる。この授業を受講する中で、受講生は、例えば、それぞれに自分自身の存在を見つめ直す古典の中の言葉に出会い、そして、

- (1) 東洋の古典に伝わる諸思想、すなわち、南アジア (古典インド語圏)・東アジア (漢字文化圏) の主たる思想の基本的な考え方が理解できるようになる。
- (2) 特に日本的な精神文化、並びに、その背景にある仏教の思想や人間観について、自ら感じ・考えた内容を、他者に分かる言葉で伝える能力が身につく向上している。

これら2点を主たる目標とする。

4 授業概要

世界の哲学史の中、まず欧米の哲学の出発点にある古代ギリシャ哲学の基本を紹介する。まず、アリストテレスの説く「愛の三つの形」について概説する。そして、この流れ汲む形で、近代における現象学的な人間観察の基本や、エーリッヒ・フロムの「愛の技術」について紹介する。

次いで、世界史的に見れば、古代ギリシャとほぼ時を同じくして現れる、南アジア・東アジアにおける諸思想について、それぞれの思想を代表する古えの哲人・賢者たちの言葉を紹介して行く。そして、比較分析を加えながら、それぞれの哲学・思想が語ろうとする、特に「仁とは人を愛す」と語られるときの人間の観方に注目して、現代の私たちの日常生活の中で、意識するとなしに問わず、影響を与え続けている人間観・人生観について考察する。

このような学びの過程で、受講生各自が、様々な「愛」の形、そして、日本の精神文化における「悲しみ」の形について、思索を繰り返す習慣性を身に付けることを目指す。

5 授業内容

1. 古代ギリシャ哲学における自然万物の生成についての考え方、その観方を背景とする医療に係る養育治療の捉え方、並びに、アリストテレスの語る「友愛」について、そして、「愛の技術」について
 2. 古代インドの神秘思想における世界の創造についての考え方、その観方を背景とする自己自身の捉え方、そして、究極的な「自己愛」について
 3. 古代中国における無為なる自然と人為とに二分する考え方、その観方を背景とする道と徳との思想、あるいは、人倫の道としての仁と義の思想、そして、儒家の語る「仁愛」について
 4. 仏教における人間存在そのものの捉え方、心のあり様の捉え方、そして、ブッダが抱いた「大悲」について
- こうした思想それぞれの潮流を概説しながら、身近な日本語の意味、例えば、かわいいの語を挙げると、可愛いと見えたものを(いつしか)悲しむ(対象として観る)という行為が起こるとき、その愛(いと)しくも悲しくもある思想感情にはどのような意味合いがあるのかなど、受講生とともに思索を深めて行く。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内 容	教室
2019年					
4月10日(水)	2	室 寺	ガイダンス	医療の原点としての「人を愛する」ことについて、その愛の形について	看 4
4月17日(水)	2	〃	ギリシャの自然哲学(1)	アリストテレスの思想	看 4
4月24日(水)	2	〃	ギリシャの自然哲学(2)	ヒポクラテスの思想	看 4
5月8日(水)	2	〃	近代の西洋思想	メルロ・ポンティの思想 エーリッヒ・フロムの思想	看 4
5月15日(水)	2	〃	インドの神秘思想(1)	ヤージュニャヴァルキヤの思想	看 4
5月22日(水)	2	〃	インドのバクティ思想(2)	『バガヴァット・ギーター』の思想	看 4
5月29日(水)	2	〃	中国の道教思想(1)	老子荘子の思想	看 4
6月5日(水)	2	〃	中国の儒教思想(2)	孔子の思想	看 4
6月12日(水)	2	〃	中国の儒教思想(3)	孔子孟子の思想	看 4
6月19日(水)	2	〃	仏教の思想(1)	ブッダ(釈迦)の思想	看 4
6月26日(水)	2	〃	仏教の思想(2)	最澄・空海の思想	看 4

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
7月3日(水)	2	室 寺	日本の精神文化(1)	人間存在の観方、こころのあり様の観方について —『万葉集』(巻5)から学ぶ	看 4
7月10日(水)	2	〃	日本の精神文化(2)	「悲しみ」「大悲」について —現代日本の「死生観」から学ぶ	看 4
7月17日(水)	2	〃	日本の精神文化(3)	「悲しみ」と「大悲」について	看 4
7月24日(水)	2	〃	まとめ	まとめとしての「人を愛する」ことについて	看 4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式。

必要に応じてビデオなどの視聴覚機器を使用することもある。

7 評価方法

講義で取り上げた主要テーマごとに、基本、毎時間、コメント(出席票に、自らの考えや意見を述べるという仕方)の提出を求めます(3点満点評価)。このコメントについて、40%評価。出席も毎回取ります(コメントの提出で出席を取ります)。

期末試験(論述式)を、60%の評価として、成績評価を行います。

8 教科書・参考文献

適宜、プリント配布する。

講義中に参考図書を紹介する。

9 学生へのメッセージ

今、ここに、こうして生きている「私」への、そして、この「私」が思い願う明日の「私」への問い掛けから、哲学は始まると私は考えます。

自分自身の存在を問い直しながら講義を受講し、自らの考えを深めて下さい。

生涯発達論（第3学年編入学生のみ）

1 担当教員名

准教授 小島隆次（医療文化学講座 心理学）

2 配当学年等

編入第3学年 後期 2単位

3 学習目標

本授業は、乳幼児期から高齢期までの人の発達過程や変化の諸相に関する発達心理学における基礎知識を習得することを第一義とします。また、受講生が本授業で課される様々な課題を適切にこなすことで、論理的に考え、批判する能力が養われ、習得した知識を日常生活でどのように応用していくのかを考えられるようになることも目指します。

そして、上記目標の達成に伴い、結果的に受講生が以下の目標を達成できるようになることを学習目標とします。

1. 発達心理学諸分野の基礎知識を身に着けること
2. 発達心理学諸分野の基礎知識を様々な日常の場面で活用する態度を身に着けること
3. 様々な事象に対して、批判的・発展的に考える態度を身に着けること

4 授業概要

本授業は、人の生涯発達という視点を加味して、発達心理学において扱われる主要なトピック（個々のテーマなどについては授業スケジュールを参照してください）を幅広く教授します。また、授業を受講することで、受講生が論理的に考え、批判する能力を養いつつ、論理的・批判的思考と日常における人の思考・行動特性との関係性について考察する契機を得られるようにしたいと思います。

5 授業内容

基本的には、一般的な生涯発達論や発達心理学分野で扱われることの多いトピックを紹介する内容になります。詳細は編入学生オリエンテーション時に通知します。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は基本的にパワーポイントを利用したプレゼンテーション形式です。但し、テーマによっては画像・音声・動画による資料の視聴、デモや問題解決課題を授業内課題として行っていただくことがあります。また、webシステムを利用した課外課題も適宜出します。授業中のデモ、問題解決、質疑応答等の授業内課題や、課外課題等への取り組みについては、単位の認定及び評価時の資料とします。

本学学生の多様な知的背景や自主学習の便宜なども考慮して、本授業の受講形態には講義型とweb型の二種類が用意されており、受講生はいずれの方法も自由に選択できます。無論、どちらか一方の型を常に選択する必要はなく、個々人の裁量において自由に適宜選択できます。もちろん、両方の形式で受講することも可能であり、授業担当者としては両方の形式での受講を勧めます。また、授業に必要な情報は全てwebで提供しますので、受講予定の学生は、必ず授業用webサイトのIDとパスワードを取得して下さい（IDとパスワードは初回ガイダンス時に知らせます）。

いずれの受講形態を選択しても単位認定に際して不利益が生じることはありません。受講形態に関する詳細などは、初回ガイダンスで説明しますが、授業webサイトで配布される授業ガイドも参照して下さい。

7 評価方法

評価は、単位認定と単位評価の二段階で行います。

まず、単位認定は、履修確認課題の成績（100点満点）、授業内容をまとめるレポート課題（15点満点）、課外課題（15点満点）に基づいて行います。各課題の詳細については、授業中の説明や授業ガイド等の授業時に配布される資料を参照して下さい。

各課題の得点を以下の式で全体として100点満点に換算し、その得点で単位認定を行います。60点以上で認定となります。

$(\text{レポート課題得点} + \text{課外課題得点}) + \text{履修確認課題得点} \times (100 - (\text{レポート課題得点} + \text{課外課題得点})) \div 100 = \text{単位認定のための素点}$

次に、認定された単位に対して相対評価を行い、これを最終評価とします。認定された単位に対する評価については、授業内課題への参加状況なども考慮します。

評価方法の詳細等については、初回授業（ガイダンス）及び授業用webサイトで配布する授業ガイドでより詳細に説明しますので、受講予定の方は、初回授業に参加するか、授業ガイドを必ず手に入れてください。

8 教科書・参考文献

教科書：特に指定しない。修学に必要な資料は全てwebで配布します。

参考文献：配布資料やwebにて適宜示します。

9 オフィスアワー（授業相談）

オフィスアワー情報は授業時に通知します。もちろん、個別にメール等でアポイントメントを取っていただければ、適宜対応します。

10 学生へのメッセージ

本授業は、発達心理学や認知心理学を中心として、認知・行動科学的観点からの人の生涯発達の諸相を主として扱います。一般に“人”について語る際には、つい“いわゆる成人”を暗黙裡に想定しますが、実際にはそのような“いわゆる成人”が存在する可能性は著しく低いでしょう。時系列的变化を加味して人をとらえることの重要性和、以て“人”について語ることの困難さを得心していただけるようにしたいと思います。

最後に重要な注意事項を述べておきますが、教授活動の迅速かつ適切な形成的改善のために、単位認定と評価の方法を含めた本授業における様々な規則等は、原則としてシラバス記載の内容よりも、授業webサイトを通じて配布される様々な文書に記される規定を最優先としますので、必ず授業webサイトを定期的に確認するようにしてください。また、本授業の単位認定に関しては、いわゆる救済策の類は一切存在しませんので、この点も注意して下さい。

11 授業用URL

http://kojima-lab.net/lecture_etc/index.html

人間科学総論

1 担当教員名

教授 室 寺 義 仁 (医療文化学講座 哲学)
 教授 兼 重 努 (医療文化学講座 文化人類学)
 准教授 小 島 隆 次 (医療文化学講座 心理学)

2 配当学年等

編入第3学年 後期 2単位

3 学習目標

哲学・倫理学、文化人類学、行動科学の各視座から、家族道徳・人生哲学、東アジアにおける諸民族文化と伝統社会、そして、現代社会におけるコミュニケーション論やパーソナリティ論に至るまで、「人間」に係わる諸科学において明らかにされてきた学的な知見を学ぶことを通じて、「人間」を多角的に分析しながら幅広く深く「看」ることのできる学習能力を身に付ける。

4 授業概要

人文科学、社会科学の研究成果を学ぶことによって、幅広い教養を身に付けることを一つの目的とする。
 もう一つの目的は、緩和医療の現場を学び、医学科生と看護学科生、並びに、他大学の教員や実践的な宗教学を学ぶ大学院生や宗教家などとのグループ討議を通じて、医療関係者以外の多職種の人々によって構成される医療チームの姿を想像できる柔軟な思考力を身に付けることである。この目的達成に向けての授業として、11月11日(月)午後第3時限目から第5時限目の授業を展開する。この授業は、看護学科(「人間科学総論」「医療の倫理Ⅰ」)と医学科生(「医の倫理Ⅲ」)の合同講義である。また、学外からの多職種の(ボランティア)参加者も講義参加する予定であり、この意味で、学外者との合同講義でもある。緩和医療の現場での諸事例について講義を受けた後、グループに分かれて討論を行う。そして、検討結果についての各グループからの発表と全体での討議を行った上で、事例考察のまとめを行う。

5 授業内容

- (1) 「人間」観について学ぶ(担当:室寺教授、4回)
 「人間科学」(Human Sciences)は、人の文化を学問の対象とすると言うよりも、人そのものを対象とする諸科学を総称します。果たして、古来、人は人の全体像を如何に観て来たのでしょうか。古典文献を参照しながら考えて行きます。
- (2) 「風水」からみた東アジアの社会と文化(担当:兼重教授、4回)
 中国大陸に源を発する「風水」は、日本本土をはじめとして、沖縄、朝鮮・韓国、台湾、香港など、東アジア諸国(地域)にも大きな影響を与えてきました。本講義では「風水」をキーワードに、東アジア諸国(地域)の社会と文化について考察します。
- (3) 人の情報処理特性(担当:小島准教授 4回)
 全4回の講義では、人の「認知特性」や「パーソナリティ」に関するテーマを中心に扱います。出席を前提にして、講義内での双方向のやりとりなどを重視します。
- (4) 緩和医療の現場から学ぶ臨床倫理(担当:早島名誉教授、長倉講師、室寺教授、11月11日(月)午後3コマの医学科生並びに学外者との合同講義)

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月2日(水)	1	室 寺	インド・古典的人間観察	「梵我一如」(究極的な自己愛)の観方と、仏教的「無我」観、あるいは、人生哲学	看 2
10月2日(水)	2	〃	中国・古典的人間観察	道家の「万物斉同」という観方・道徳哲学と、儒家の「仁愛」の教えからの観方・家族道徳	看 2
10月9日(水)	1	〃	日本・古典的無常観	古典から学ぶ「悲しみ」の形と「大悲」	看 2
10月9日(水)	2	〃	人間観察についてのまとめ	医療の原点としての「人を愛する」ことについて — 現象学的な観察法と仏教的な捉え方	看 2
10月23日(水)	1	兼 重	日本の風水	日本本土および沖縄の風水の特徴について	看 2
10月23日(水)	2	〃	中国の風水①	中国の村落風水について	看 2
10月30日(水)	1	〃	中国の風水②	中国の墓地風水について	看 2
10月30日(水)	2	〃	中国の風水③	中国の風水闘争について	看 2
11月6日(水)	1	小 島	集団での問題解決と意思決定	集団で行う問題解決と意思決定に見られる人の認知特性について	看 2
11月6日(水)	2	〃	説得的コミュニケーション	説得や交渉場面での人の認知特性について	看 2

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
11月11日(月)	3	室寺・早島	臨床倫理	事例についての講義とグループ討議	臨3・臨2・臨1
11月11日(月)	4	室寺・長倉	臨床倫理	緩和医療の現場から学ぶ	臨3・臨2・臨1
11月11日(月)	5	〃	臨床倫理	グループ発表と全体討議	臨3・臨2・臨1
11月13日(水)	1	小島	パーソナリティ理論	パーソナリティに関する基礎事項について	看2
11月13日(水)	2	〃	パーソナリティの測定方法	パーソナリティの測定方法について	看2

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式。

担当教員によって異なりますが、毎回プリント類を配布しながら講義を進めます。

視聴覚機器も授業内容に応じて適宜使用します。

7 評価方法

出席を重視するとともに、3名の授業担当専任教員、並びに、合同講義担当教員それぞれがレポート課題を出しますので、その全レポート総合点で成績評価を行います。当該授業科目全体を通じての期末筆記試験やレポート試験は実施しません。

8 教科書・参考文献

教科書は使用しません。参考文献は講義の中で、各教員から紹介します。

9 学生へのメッセージ

少人数の授業ですので、積極的な授業参加を望みます。すなわち、授業担当教員との間での双方向的な学術的な対話・意見交換ができるように努めて下さい。例えば、それぞれの担当教員の授業開講予定日前には、予め（クラスの学生代表者を決めて）、個々の教員と授業展開についての相談を行うなどして、事前の学習準備を積極的に行って欲しいと思います。

地域文化論

1 担当教員名

教 授 兼 重 努 (医療文化学講座 文化人類学)

非常勤講師

横 内 吾 郎 (京都外国語大学・龍谷大学・
福井県立大学 非常勤講師)

2 配当学年等

編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

ここ十数年来の世界情勢の激変に伴い、わが国でも中東情勢あるいはイスラーム教に関するニュース報道が急激に増大しつつある。にもかかわらず、私たちはイスラームについて十分な知識を持ち合わせていない。

この講義では、イスラーム教に関する基礎的な理解から始めて、現代イスラーム社会について基本的な事柄を解説してゆく。加えて、比較文化的な観点から、中国・東南アジア・ヨーロッパの各地域について、イスラーム教徒・イスラーム社会に関するトピックスを取り上げ解説する。

4 授業概要

《イスラーム理解のための基礎知識》

イスラーム文化が現代社会に及ぼしているさまざまな影響について、地域文化比較の観点から総合的に解説する。

(1) イスラーム概論

イスラーム教の基本的教義の理解から始めて、現代イスラーム世界についての基礎的な知識の獲得を目指す。

(2) ヨーロッパとイスラーム

ヨーロッパにおけるイスラーム教徒とその立場

(3) 中国・東南アジアとイスラーム

中国におけるイスラーム教徒とその立場、東南アジア大陸部とイスラーム社会

5 授業内容

第1週～第8週 イスラーム概論 (横内講師)

ただし、第1週 of 最初の10分は成績評価などに関する説明 (兼重)

第9週～第10週 現代ヨーロッパにおけるイスラーム教 (横内講師)

第11週～第15週 中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教 (兼重)

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月10日(水)	2	兼重・横内	イスラーム概論	成績評価などに関する10分程度の説明 (兼重) ガイダンスーイスラームについて学ぶ意義を考えるー	④
4月17日(水)	2	横内	イスラーム概論	イスラーム教の基本的な教義	④
4月24日(水)	2	〃	イスラーム概論	イスラーム法	④
5月8日(水)	2	〃	イスラーム概論	スーフィズムと聖者信仰	④
5月15日(水)	2	〃	イスラーム概論	シーア派	④
5月22日(水)	2	〃	イスラーム概論	近代以降の思想的展開	④
5月29日(水)	2	〃	イスラーム概論	現代の諸問題	④
6月5日(水)	2	〃	イスラーム概論	イスラーム世界の文化	④
6月12日(水)	2	〃	現代ヨーロッパにおけるイスラーム教	現代ヨーロッパにおけるムスリム移民社会	④
6月19日(水)	2	〃	現代ヨーロッパにおけるイスラーム教	現代ヨーロッパにおけるムスリム移民問題	④
6月26日(水)	2	兼重	中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教(1)	中国におけるイスラーム教徒ー回族の事例(1)ー	④
7月3日(水)	2	〃	中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教(2)	中国におけるイスラーム教徒ー回族の事例(2)ー	④
7月10日(水)	2	〃	中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教(3)	中国におけるイスラーム教徒ーウイグル族の事例ー	④
7月17日(水)	2	〃	中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教(4)	東南アジア大陸部におけるイスラーム教徒ー雲南系ムスリムの事例(1)ー	④

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年 7月24日(水)	2	兼重	中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教(5)	東南アジア大陸部におけるイスラーム教徒－雲南系ムスリムの事例(2)－	④

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式をとる。必要に応じて、視聴覚機器を使って映像資料などを紹介する。

7 評価方法

レポート課題の成績(100点満点)とする。出席状況・受講態度などに問題がある場合は程度に応じて10～40点減点する。期末筆記試験は実施しない。

なお、レポートは、参考文献を全て明示し、引用出典を逐一明記すること。剽窃・盗用は厳禁する。レポート執筆に関する注意事項は授業中に指示する。注意事項を守っていないレポートを提出した場合は単位を認定しないこともある。またその場合レポートの再提出などの救済措置は一切とらない。

8 教科書・参考文献

教科書は使用しない。

参考文献は、講義の際に随時紹介する。

9 オフィスアワー(授業相談)

随時。ただし、事前に電話やメールでアポをとっていただくとありがたいです。

10 学生へのメッセージ

将来、医療・看護の現場に身を置く皆さんにとって、自分と異なる文化的背景をもつ人々とかかわる機会は少なくないと思います。なかでもイスラーム文化は、これまで日本の歴史には比較的縁遠い存在であったため、私たちにとって身近なものとは言い難いようです。どうかこの講義を利用して、自分のあまり知らない異国の文化に対して理解を深めて下さい。

11 授業用E-mail

kanesige@belle.shiga-med.ac.jp

英 語 II

1 担当教員名

特任准教授 Richard Hodge (医療文化学講座 英語)

2 配当学年等

第2学年・編入第3学年 後期 1単位

3 学習目標

The goals for this course are:

- to develop an ability to communicate with a diverse range of people in English.
- to distinguish between different styles of writing including academic, formal and informal correspondence by letter and email, and by narratives.
- to acquire skills for quickly understanding the gist of written and spoken English.
- to be able to respond appropriately to different types of written and spoken English.
- to develop autonomy in language study for life-long learning.

4 授業概要

Practical communicative English themes will include the following:

- intercultural communication: speaking English with people from other cultures
- public speaking: giving short speeches and presentations
- situational dialogs including medical English and other themes

5 授業内容

1. speaking practice in pairs and in small groups
2. listening practice: internet websites (e-learning) , songs, movie clips
3. writing practice: email, listening reports, short narratives

年月日(曜)	時限	担当教員	内 容	教室
2019年				
10月4日(金)	2	Hodge	Self introductions: speaking in pairs and small groups.	③
10月11日(金)	2	〃	Self introductions: Report due printed out for peer reading and discussion in class.	⑤
10月18日(金)	2	〃	Pronunciation practice: Paired sounds practiced online. Grammar review: Online grammar quizzes at manythings.org	⑤
11月1日(金)	2	〃	Accident story: Practice in telling stories in formats of varying lengths.	③
11月8日(金)	2	〃	Accident story: Small groups read/discuss printed stories after they are completed.	③
11月15日(金)	2	〃	Introduction to ello.org, online language listening practice.	⑤
11月22日(金)	2	〃	First ello.org listening report due printed out for peer reading and discussion in class.	③
11月29日(金)	2	〃	Directions: Prints provided on giving directions and describing locations.	③
12月6日(金)	2	〃	Directions: Students role-play giving directions to an authentic place. Definitions: Practice describing things through "hints" game.	③
12月13日(金)	2	〃	Definitions: Students share description-hints in small groups and as a whole class.	③
12月20日(金)	2	〃	Practice in formal and informal letter writing and email messages.	③
2020年				
1月10日(金)	2	〃	Parts of the body terminology practice.	③
1月24日(金)	2	〃	First Aid: study, practice, and demonstrate key procedures in English	⑤
1月31日(金)	2	〃	First Aid demonstrations in groups	③
2月7日(金)	2	〃	Oral interview exam	③

6 授業形式・視聴覚機器の活用

A student-centered approach will be used such that students will have many opportunities to interact in English. E-learning will be adjusted to fit each student depending on their English level. Students with all levels of English ability are welcome.

7 評価方法

Evaluations will be based on the following:

- class participation and attendance 50%
- assignments 30%
- oral interview exam 20%

8 教科書・参考文献

No textbook is required for this course. Prints will be supplied by the teacher.

9 学生へのメッセージ

All levels of English ability are welcome.

10 授業用E-mail

richard@belle.shiga-med.ac.jp

英語実習Ⅱ

1 担当教員名

特任准教授 Richard Hodge (医療文化学講座 英語)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期 1単位

3 学習目標

This elective course is open to 3rd year students interested in further developing their communicative English skills.

4 授業概要

Practical communicative English themes will include the following:

1. speaking practice in pairs and in small groups
2. listening practice: songs and movie clips
3. role-plays including nurse-patient situations and "daily" English
4. reading and writing practice related to medical care situations
5. exploring English study on the internet, and email communication

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	内 容	教室
2019年				
4月8日(月)	3	Hodge	Self introductions: speaking in pairs and small groups, followed by written version as homework.	看3
4月15日(月)	3	"	Vocabulary acquisition through environmental stimulation	看3
4月22日(月)	3	"	Journal article: Nursing in the USA	看3
5月13日(月)	3	"	Introduction to TED Talks online	⑤
5月20日(月)	3	"	Charades role play: Nonverbal communication and intended meanings	看3
5月27日(月)	3	"	Dictation practice I	看3
6月3日(月)	3	"	Drama role play: Writing and acting out a script: Part I	看3
6月10日(月)	3	"	Drama role play: Writing and acting out a script: Part II	看3
6月17日(月)	3	"	Nurse-patient role play	看3
6月24日(月)	3	"	Nursing terminology hints activity	看3
7月1日(月)	3	"	Dictation practice II	看3
7月8日(月)	3	"	Online study: Gapminder, a fact-based world	⑤
7月16日(火)	3	"	Short presentation preparation and practice	看3
7月22日(月)	3	"	Short presentations and peer evaluations	看3
7月29日(月)	3	"	Oral interview exam	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

A student-centered approach will be used such that students will have many opportunities to interact in English.

7 評価方法

The basis for evaluating each student's performance will be as follows:

- class participation and attendance 50%
- assignments 30%
- oral interview exam 20%

8 教科書・参考文献

No textbook is required for this course. Prints and websites will be supplied by the teacher.

9 オフィスアワー (授業相談)

Students with all levels of English ability are welcome.

10 授業用E-mail

richard@belle.shiga-med.ac.jp

保健体育 I・II

1 担当教員名

非常勤講師 河北純子（龍谷大学、関西大学 非常勤講師）

2 配当学年等

編入第3学年 前期 1単位
編入第3学年 後期 1単位

3 学習目標

運動の実践を通して、体力の保持増進と運動に親しむ資質の向上を図る。また、健康で豊かな生活を創造するためのフィットネストレーニングの基礎的な知識や技術を習得する。

本授業は、ファシリテーション型で進行するため、主体的な参加姿勢が望まれる。

4 授業概要

<実施種目>

ニュースポーツ、バスケットボール、ピラティス
バレーボール、フットサル、ショートテニス、バドミントン、卓球等

<講義内容>

体力トレーニング論

5 授業内容

※初回講義は着替えずに体育館へ集合。

【保健体育 I】

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容
2019年				
4月11日(木)	3	河北	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
4月18日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
4月25日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
5月9日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
5月16日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
5月23日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
5月30日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
6月6日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
6月13日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
6月20日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
6月27日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
7月4日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
7月11日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
7月18日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく
7月25日(木)	3	〃	スポーツ実技ほか	実施する種目は適宜決めていく

【保健体育 II】

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容
2019年				
10月3日(木)	2	河北	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
10月10日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
10月17日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
10月31日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
11月14日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
11月21日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
11月28日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
12月5日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
12月12日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	内 容
2020年				
1月9日(木)	2	河 北	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
1月16日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
1月23日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
1月30日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
2月6日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく
2月13日(木)	2	〃	スポーツ実技	実施する種目は適宜決めていく

6 授業形式・視聴覚機器の活用

実技による演習形式

7 評 価 方 法

出席：50点満点。但し、11 / 15時間に満たない場合不可 実技点 他 50点満点

8 オフィスアワー（授業相談）

授業日の12：00～13：00

臨床心理学

1 担当教員名

非常勤講師 岡田康志 (彦根市教育委員会 事務局教育部学校教育課 学校支援室 (スクールカウンセラー)・臨床心理士)

2 配当学年等

第2学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

本講座では、「臨床心理学的な見方・理解の仕方」とはどのようなものか、それがどのような理論的背景をもっているか、人間の抱える様々な心理学的問題にはどのようなものがあり、それはどのように解決し得るかなどを扱う。そのことによって、人間理解の幅が広がり、対人援助職としての患者やクライアントの理解およびそのための自己理解がより深まることを目標とする。

4 授業概要

各回毎に臨床心理学において重要なテーマを提示し、そのテーマ (概念) について概説する。

病的な心理状態のみならず、心のあり方や機微について学び、日常生活や実習場面で相手の気持ちを理解していけるよう受講生が気づいたり考えたりすることができる素養を高めることを目的とする。

5 授業内容

以下の授業計画表に基づくが、進捗状況や受講生の希望等で順序や内容を変更することがある。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月12日(金)	1	岡田	臨床心理学について	臨床心理学の歴史および医学との比較から理解する	看3
4月19日(金)	1	〃	臨床心理学の理論	精神分析学から人の心のあり様を理解する	看3
4月26日(金)	1	〃	トピック①	非常勤講師の個人的体験から学ぶ	看3
5月17日(金)	1	〃	心理検査の体験	エゴグラムを使って自分の性格を知る	看3
5月24日(金)	1	〃	さまざまな心理検査	さまざまな心理検査を知るとともに、扱う際に注意すべきことを学ぶ	看3
5月31日(金)	1	〃	心理社会的発達論①	乳児期から学童期を理解し、その頃を対象とした心理療法を知る	看3
6月7日(金)	1	〃	心理社会的発達論②	思春期から老年期を理解し、その頃を対象とした心理療法を知る	看3
6月14日(金)	1	〃	精神医学①	医学的診断について考え、日常にもみられやすい精神症状を学ぶ	看3
6月21日(金)	1	〃	精神医学②	器質因も考慮される重い精神症状について、関わり方とともに知る	看3
6月21日(金)	5	〃	トピック②	学生の興味関心からトピックを一つ選んで理解する	看3
6月28日(金)	1	〃	発達障害	認知特性から発達段階でのつまずきや対人関係の問題を理解する	看3
7月5日(金)	1	〃	心理療法①	基本となるクライアント中心療法と初回面接の基本的進め方について学ぶ	看3
7月12日(金)	1	〃	心理療法②	初回面接のビデオを見る	看3
7月19日(金)	1	〃	心理療法③	ビデオの解説から見立てについて具体的に学ぶ	看3
7月26日(金)	1	〃	心理療法④	話を聴く技術および面接の中期から終結について知る	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

基本的には講義を中心とするが、必要に応じて演習も取り入れる。具体的な理解をしてもらうために視聴覚教材も活用する予定である。

7 評価方法

出席率 (30%) および授業の際に課す小レポート (20%) と、定期試験 (50%) により総合的に評価する。

ただし、欠席が3分の1を上回ったり、試験を欠席したりした場合は評価しない。

8 教科書・参考文献

教科書：特に教科書は指定しない。毎回、レジュメを配付する。

参考書：必要に応じて紹介する。

9 オフィスアワー (授業相談)

非常勤講師のため、質問や意見は授業中に行うよう心掛けること。授業時間外の連絡については世話人の河村教授にメールで問い合わせること。

保健医療情報論 I

1 担当教員名

教授 伊藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)
助教 平 和也 (公衆衛生看護学講座)

2 配当学年等

第2学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

科学的思考としての疫学と、それに基づいた保健統計の見方、研究に不可欠な統計処理・統計解析の方法について学び、エビデンスに基づいた実践、公衆衛生看護活動の実践、看護研究に応用できる基本的な能力を養う。

4 授業概要

疫学の基礎を理解し、疫学指標の意味と意義を把握できるように講義する。
保健統計や数値データを読み取るための科学的思考を習得する。
統計処理・統計解析の方法を実際にソフトを用いた演習を通して習得する。
得られた値を適切に読み取り、結果を提示する方法を習得する。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月11日(木)	2	伊藤・平	疫学とは何か	疫学の考え方、公衆衛生における疫学の意義	看4
4月18日(木)	2	〃	疫学で用いられる指標	頻度の測定、頻度の比較	看4
4月25日(木)	2	〃	疫学研究総論	調査対象の選択 分母の選定 標本の抽出	看4
5月9日(木)	2	〃	記述疫学		看4
5月16日(木)	2	〃	分析疫学1	横断研究と生態学的研究	看4
5月23日(木)	2	〃	分析疫学2	症例対照研究	看4
5月30日(木)	2	〃	分析疫学3	コホート研究	看4
6月6日(木)	2	〃	スクリーニング	スクリーニング、検査	看4
6月13日(木)	2	〃	因果関係、交絡因子		看4・MMC
6月20日(木)	2	〃	Excelを用いた統計解析	演習	MMC
6月27日(木)	2	〃	Excelを用いた統計解析	演習	MMC
7月4日(木)	2	〃	Excelを用いた統計解析	演習	MMC
7月11日(木)	2	〃	Excelを用いた統計解析	演習	MMC
7月18日(木)	2	〃	データ解析クリティーク	演習	看4
7月25日(木)	2	〃	Excelを用いた統計解析まとめ	演習	MMC

6 教科書・参考文献

はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第3版：監修：日本疫学会，南江堂

7 評価方法

出欠状況、ミニレポート、演習課題

8 学生へのメッセージ

MMCで実際に保健統計に関する統計処理や分析を行います。
演習内容については復讐をして、知識を定着させること。
エクセルの基本操作は習得しておくことが望ましい。

保健医療情報論Ⅱ

1 担当教員名

副学長 永田 啓
講師 芦原 貴司 (循環器内科)

2 配当学年等

第2学年・編入第3学年 後期前半 2単位

3 学習目標

情報をおつかうということは、医療・看護の根本であり、単純にコンピュータをおつかうことではない。情報とは何か、情報をどのようにおつかえばよいか、情報はどのようにして伝わるのか、また、うまく伝わらないのはなぜなのか、など、情報の根幹にかかわる部分について学ぶとともに、看護の現場や研究環境における医療情報について、さまざまな視点から学び、医療情報に対する考え方を身につける。

4 授業概要

収集から発信にいたるまでの情報の取り扱い、診療録にはじまる医療情報の基礎、電子カルテをはじめとする臨床現場における医療情報の実際、人間の脳における情報処理とそれともなう医療現場での注意点、セキュリティーや個人情報のとりあつかい、といったさまざまな視点からの医療情報へのアプローチを講義する。

グループごとにテーマを選び、今や研究、臨床現場で必要不可欠なものとなったコンピュータとネットワーク環境を有機的に利用してグループワークを行う。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	内 容	教室
2019年				
10月3日(木)	3	永 田	イントロダクション	MMC
10月3日(木)	4	〃	演習 グループ分けとテーマ選択・インターネットによる個人レポート提出	MMC
10月10日(木)	3	〃	講義：情報収集の方法	MMC
10月10日(木)	4	〃	演習：グループワーク	MMC
10月17日(木)	3	〃	医療情報1	MMC
10月17日(木)	4	〃	演習：グループワーク	MMC
10月24日(木)	3・4	〃	グループワーク中間報告会	MMC
10月31日(木)	3	〃	医療情報2	MMC
10月31日(木)	4	〃	演習：グループワーク	MMC
11月14日(木)	3	〃	講義：セキュリティー	MMC
11月14日(木)	4	芦 原	講義	MMC
11月21日(木)	3・4	永 田	講義：情報の可塑性	MMC
11月28日(木)	3・4	〃	グループワーク発表会	MMC

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業およびグループワークは、マルチメディアセンター演習室を使用。レポート・試験はメールおよびインターネット上のシステムで行う

7 評価方法

インターネットを使った個人レポート・グループレポート・出席・グループ発表、インターネット上での試験、試験期間中のグループワーク発表会

※定期試験はインターネット上で12月末～1月中旬まで(予定)で行う。

8 教科書・参考文献

教科書：

テキストとしては指定しない。参考文献は以下に挙げるが、日進月歩(分進秒歩)の分野であるので、インターネット上で情報を収集すること。また、カリキュラムも状況の変化により、変化するので最新情報については、メールにて連絡する。また、質問等は、nagata@belle.shiga-med.ac.jp, ash@belle.shiga-med.ac.jpに連絡すること。

参考文献：

篠原出版：医療情報学（医療情報システム編および情報処理技術編）

9 オフィスアワー（授業相談）

相談はメールにて受け付けており、その内容に応じて面談等も行う。

10 授業用E-mail

nagata@belle.shiga-med.ac.jp

臨床コミュニケーション学

1 担当教員名

教授 河村 奈美子（臨床看護学講座） 非常勤講師
 講師(学内) 藤本 智美（臨床看護学講座） 岡田 康志（彦根市教育委員会 事務局教育部学校教育課
 学校支援室（スクールカウンセラー）・臨床心理士

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

コミュニケーションの意義や手段について基本的な知識を理解した上で、対人関係の奥深さを実感しながら対人援助職として相手とコミュニケーションできるようにすることを目標とする。

4 授業概要

コミュニケーションは幅広い概念であるが、本講義では個人と個人の間で繰り広げられる対人コミュニケーション、援助場面のコミュニケーションについて教授する。日常生活や実習場面に当てはめてコミュニケーションを検討・考察できるように受講者の気づきを高めることを目的とする。

5 授業内容

以下の計画表に基づくが、進捗状況や受講者の希望等で順序や内容を変更することがある。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月12日(金)	3	岡田	コミュニケーションとは	コミュニケーションの定義、文脈や言葉の機能について	②
4月19日(金)	3	〃	非言語的コミュニケーション	声音や身体的表現から伝わること、空間や距離が意味することについて	②
4月26日(金)	3	〃	自分を知る	コミュニケーションの主体となる自分の性格をエゴグラムを用いて知る	②
5月17日(金)	3	〃	他者との交流を分析する	他者との言葉によるやり取りを交流分析の理論を用いて理解する	②
5月24日(金)	3	〃	アサーショントレーニング	さわやかな自己表現とその効果について	②
5月31日(金)	3	〃	子どもとのコミュニケーション	言葉の発達と関わりの工夫について	②
6月7日(金)	3	〃	描画を用いたコミュニケーション	固定概念に捉われずコミュニケーションの本質を体験する	②
6月14日(金)	3	〃	カウンセリング	カウンセリングの基本的な考え方を来談者中心療法から学ぶ	②
6月21日(金)	3	〃	共感	人にとっての感情の意味と共感のための工夫について	②
6月28日(金)	3	〃	応答訓練	模擬事例への応答をグループで発表し、相手に与える影響を検カウンセリングの基本的な考え方を来談者中心療法から学ぶ討する。	②
7月4日(木)	5	河村・藤本	看護場面におけるコミュニケーション	臨床場面における看護師と患者とのコミュニケーションについて事例の作成とロールプレイ	②
7月5日(金)	3	〃	看護場面におけるコミュニケーション	臨床場面における看護師と患者とのコミュニケーションについて事例の作成とロールプレイ	②
7月12日(金)	3	〃	看護場面におけるコミュニケーション	臨床場面における看護師と患者とのコミュニケーションについて事例の作成とロールプレイ	②
7月19日(金)	3	〃	看護場面におけるコミュニケーション	臨床場面における看護師と患者とのコミュニケーションについて事例の作成とロールプレイ	②
7月26日(金)	3	〃	看護場面におけるコミュニケーション	臨床場面における看護師と患者とのコミュニケーションについて事例の作成とロールプレイ	②

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義および演習も並行して進める。講義はパワーポイントで行い、具体的な理解をしてもらうために視聴覚教材を活用することもある。また、演習では学習効果を高めるために感想をできるだけ聞いていく。

7 評価方法

1～10回の授業については出席70%、レポート30%により評価する。

ただし、欠席が1/3を上回ったり、レポート評価が30点満点中10点を下回ったりした場合は評価しない。

成績は、1～10回と11～15回の評価を平均して総合的に行う。

課題等の詳細は、講義内で担当教員から指示がある。

8 教科書・参考文献

1～10回については、講義に用いるパワーポイントのスライドを、内容を一部穴埋め形式にして印刷したものを資料として配布する。

参考文献は必要に応じて紹介する。

9 オフィスアワー（授業相談）

学外教員へは授業時間内の質疑を中心とする。また、教員および受講生の両者に支障がない内容であれば、リアクションペーパーに対して授業中に返答することも可能である。授業時間外の連絡が必要な場合は、授業担当で専任教員である河村教授にメールで連絡すること。

10 学生へのメッセージ

己との真のコミュニケーション、他者への援助的なコミュニケーションには、自分がその場で何を感じているかに正直である必要があります。自分の体験に開かれているということは実は非常に覚悟がいることです。何もうまくできる必要はありません。真摯な態度で臨んでください。

專門基礎科目 I



解剖生理学 I

1 担当教員名

教授 相見良成 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第1学年 前期 2単位

3 学習目標

人を対象とする看護の実践にあたっては、人体のあらゆる側面について学び、深く理解することが重要である。このための学修領域のひとつである解剖生理学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、看護学教育において最重要の基礎となるものである。この解剖生理学を単なる知識ではなく、看護の現場で自由自在に応用可能な実践的な知識として定着させることを目標とする。

4 授業概要

解剖生理学 I では、人体の構造と機能について、はじめに総論として解剖生理学の基礎を学び、引き続き器官系ごとに系統的に学ぶ。循環器系、呼吸器系、消化器系の順に学修し、さらには微細構造をより深く理解するために組織学を学ぶ。

5 授業内容

器官系ごとの講義は、はじめに解剖学的側面、すなわち「構造」について学び、その後に生理学的側面、すなわち「機能」について学ぶというスタイルを基本とし、これに生化学、病理学、病態生理学など周辺の学修領域についての解説を適宜加える。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月8日(月)	2	相見	解剖生理学概論	講義シリーズ全体のイントロダクション	看3
4月15日(月)	2	〃	循環器系1	心臓の構造	看3
4月22日(月)	2	〃	循環器系2	心臓の機能	看3
5月13日(月)	2	〃	循環器系3	血管の構造	看3
5月20日(月)	2	〃	循環器系4	血管の機能	看3
5月27日(月)	2	〃	呼吸器系1	呼吸器の構造	看3
6月3日(月)	2	〃	呼吸器系2	呼吸器の機能	看3
6月10日(月)	2	〃	消化器系1	消化器の構造	看3
6月17日(月)	2	〃	消化器系2	消化器の機能	看3
6月24日(月)	2	〃	消化器系3	消化管付属器の構造と機能	看3
7月1日(月)	2	〃	消化器系4	消化吸収と代謝	看3
7月8日(月)	2	〃	組織学1	細胞の構造と機能	看3
7月16日(火)	2	〃	組織学2	上皮組織、支持組織	看3
7月22日(月)	2	〃	組織学3	筋組織、神経組織	看3
7月29日(月)	2	〃	問題演習	問題形式による復習	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

指定教科書を基本に、スライド、ハンドアウトを用いて講義を展開する。

7 評価方法

筆記試験に加え、受講態度、レポート、小テストなどにより総合的に評価する。

8 教科書・参考文献

系統看護学講座・人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 (第10版) 医学書院
テキストISBN番号 ISBN978-4-260-03171-4

9 オフィスアワー (授業相談)

まずは aimi@belle.shiga-med.ac.jp へメールで。

解剖生理学Ⅱ

1 担当教員名

教授 相見良成 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第1学年 後期 2単位

3 学習目標

人を対象とする看護の実践にあたっては、人体のあらゆる側面について学び、深く理解することが重要である。このための学修領域のひとつである解剖生理学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、看護学教育において最重要の基礎となるものである。この解剖生理学を単なる知識ではなく、看護の現場で自由自在に応用可能な実践的な知識として定着させることを目標とする。

4 授業概要

解剖生理学Ⅱでは、講義・演習を通じて、解剖生理学Ⅰと同様に器官系ごとに、分子から個体のレベルについて系統的に学ぶ。筋骨格系、泌尿器系、生殖器系、神経系、内分泌系、免疫系、外皮系について学び、さらに成体の正常構造機能のみならず、妊娠、個体の発生、成熟、生殖に関連する解剖生理も学ぶ

5 授業内容

講義では、まず解剖学的側面、その後に生理学的側面を学ぶというスタイルを基本とし、これに生化学、病理学、病態生理学など周辺の学修領域についての解説を適宜加える。演習では骨標本の観察や顕微鏡実習などを通じて、講義で学んだ知識のより一層の定着を図る。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月8日(火)	1	相見	骨格系1	骨格の肉眼解剖と機能	看3・D
10月8日(火)	2	〃	骨格系2	骨、軟骨の顕微解剖と機能	看3・D
10月15日(火)	1	〃	骨格系3	四肢骨の観察	看3・D
10月15日(火)	2	〃	骨格系4	体幹骨の観察	看3・D
10月29日(火)	2	〃	筋系1	筋系の肉眼解剖と機能	看3・D
11月5日(火)	2	〃	筋系2	筋の顕微解剖と機能	看3・D
11月12日(火)	1	〃	神経系1	神経系総論	看3・C・D
11月12日(火)	2	〃	神経系2	体性神経と自律神経	看3・C・D
11月19日(火)	1	〃	神経系3	末梢神経系	看3・C・D
11月19日(火)	2	〃	神経系4	中枢神経系	看3・C・D
11月26日(火)	1	〃	神経系5	高次脳機能	看3・C・D
11月26日(火)	2	〃	神経系6	感覚器の構造と機能	看3・C・D
12月2日(月)	1	〃	泌尿器系1	泌尿器の構造	看3・C・D
12月2日(月)	2	〃	泌尿器系2	泌尿器の機能	看3・C・D
12月3日(火)	1	〃	生体観察法	体表解剖	看3・C・D
12月3日(火)	2	〃	外皮系	皮膚の構造と機能	看3・C・D
12月9日(月)	2	〃	血液	血液の構造と機能	看3・D
12月9日(月)	3	〃	顕微鏡法1	骨組織、筋組織、泌尿器の観察	看3・D
12月9日(月)	4	〃	顕微鏡法2	循環器、呼吸器、消化器の観察	看3・D
12月23日(月)	1	〃	生殖器系1	男性生殖器の構造と機能	看3・C・D
12月23日(月)	2	〃	生殖器系2	女性生殖器の構造と機能	看3・C・D
12月24日(火)	1	〃	生殖器系3	胎児の成長と発達	看3・C・D
12月24日(火)	2	〃	生殖器系4	妊娠時の母体の解剖と生理	看3・C・D
2020年					
1月6日(月)	1	〃	内分泌系1	内分泌器の構造	看3・C・D
1月6日(月)	2	〃	内分泌系2	内分泌器の機能	看3・C・D
1月14日(火)	1	〃	免疫系1	免疫系の構造と機能	看3・C・D

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2020年					
1月14日(火)	2	相見	免疫系2	免疫	看3・C・D
1月21日(火)	1	〃	顕微鏡法3	血液の観察	看3・C・D
1月21日(火)	2	〃	顕微鏡法4	神経系、内分泌、感覚器の観察	看3・C・D
1月28日(火)	2	〃	総合問題演習	問題形式による総復習	看3・C・D

6 授業形式・視聴覚機器の活用

指定教科書を基本に、スライド、ハンドアウトを用いて講義を展開する。演習では標本や模型の観察を行う。

7 評価方法

筆記試験に加え、受講態度、レポート、小テストなどにより総合的に評価する。

8 教科書・参考文献

系統看護学講座・人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 (第10版) 医学書院
テキストISBN番号 ISBN978-4-260-03171-4

9 オフィスアワー(授業相談)

まずは aimi@belle.shiga-med.ac.jp へメールで。

病 理 学

1 担当教員名

教授 相見良成 (基礎看護学講座)
准教授 伊藤靖 (病理学講座 疾患制御病理学部門)
講師(学内) 石垣宏仁 (病理学講座 疾患制御病理学部門)
助教 仲山貴永 (病理学講座 分子診断病理学部門)

2 配当学年等

第1学年 後期 1単位

3 学習目標

病気の成り立ちと経緯、臓器機能・組織の変化について教授し、疾病に対する理解を深めることを目的とする。

4 授業概要

疾病の予防や治療を実践するためには、疾病の成因を知る必要がある。病理学は疾病の成因を知る上で最も重要な学問分野の一つであり、基礎医学及び臨床医学の発展に必須である。因みに疾病の確定診断は、通常、病理的検査で行われる。本講義を通して病理学の基礎を学んでください。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月4日(金)	4	伊藤	病因論	病因論	看1
10月11日(金)	4	〃	先天性疾患	先天性疾患	看1
10月18日(金)	4	〃	炎症	炎症	看1
11月1日(金)	4	石垣	循環障害(1)	循環障害(1)	看3
11月8日(金)	4	〃	循環障害(2)	循環障害(2)	看3
11月15日(金)	4	仲山	進行性病変・退行性病変	進行性病変・退行性病変	看1
11月22日(金)	3	〃	腫瘍(1)	腫瘍(1)	看1
11月29日(金)	3	〃	腫瘍(2)	腫瘍(2)	看1

6 評価方法

最終的な合否の判定は定期試験80%、出席率20%の比率で合算して判定する。出席9回未満の場合は定期試験の受験資格はないものとする。

7 教科書・参考文献

「病理学—疾病のなりたちと回復の促進〈1〉」(系統看護学講座 専門基礎分野 医学書院)

感染症学・免疫学

1 担当教員名

教授 遠藤 善裕 (臨床看護学講座)
准教授 井上 寛一 (病理学講座 微生物感染症学部門)

2 配当学年等

第1学年 後期 1単位

3 学習目標

人間に危害を及ぼす微生物とはどのようなものか、またこれらの微生物からの攻撃に対する生体の防御システムについて学び、感染症に対する理解を深める。

原核細胞と真核細胞、およびウイルスの特徴を説明できる。

微生物が病気を引き起こす機序を説明できる。

微生物の感染経路を分類し説明できる。

生体の防御機構について非特異的、特異的に分けて説明できる。

感染症の予防、治療について説明できる。

4 授業概要

感染症とは微生物が寄生することによっておこる疾患である。我々の身边には夥しい数の微生物が棲息しているがヒトに寄生する病原微生物(寄生体)の数はごくわずかであり、殆どの微生物はヒトに無害である。しかし、平素は無害な微生物の中には宿主であるヒトの免疫系の機能が低下すると寄生体に変身するものがあり、いわゆる日和見感染をおこす。感染症とは宿主と寄生体の相互関係において寄生体が優位に立った状態と考えることもできる。さまざまな医療行為により生体防御機能が低下したヒトが集まる場所である病院では、通常的生活環境ではみられない集団的宿主寄生体関係が成立してしばしば院内感染が発生する。抗生物質が発見されワクチンが開発されたことから宿主が圧倒的に優位となる状況となり、少なくとも日本を含む先進国では、感染症はもう恐くないと考えられた一時期がある。しかし、細菌感染症の特効薬と考えられた抗生物質に対しては次々と耐性菌が出現し、また、昔ならば一地方病にとどまったようなウイルス感染症もまたたく間に世界中に広まる時世になった。地球規模で進行する熱帯雨林の伐採では、森の動物たちの間で棲息していた微生物がヒトに感染する機会を得て、新たなしかも重篤な疾患をひきおこしている。このように近年変貌しつつある感染症を概説し、これに対する対策について考察する。

5 授業内容

授業計画表の内容項目を参照してください。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月2日(水)	2	遠藤・井上	微生物とはどのようなものか	(1) 細菌とウイルス	看4
10月9日(水)	2	〃	微生物とはどのようなものか	(2) 真菌と原虫、寄生虫	看4
10月23日(水)	2	〃	感染の成立と宿主との関連	感染の成立と宿主との関連	看4
10月30日(水)	2	〃	微生物の病原性と感染経路	微生物の病原性と感染経路	看4
11月6日(水)	2	〃	生体防御機構	(1) 自然免疫の機序	看4
11月13日(水)	2	〃	生体防御機構	(2) 獲得免疫の機序	看4
11月20日(水)	2	〃	感染症の予防	ワクチンと予防接種	看4
11月27日(水)	2	〃	感染症の治療	化学療法剤	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

液晶プロジェクターによるスライドと資料プリントを中心に授業を行う。

7 評価方法

評価は学習目標にあげた項目の全範囲を対象とした記述式・論述式の筆記試験によって行う。60点を合格点とする。再試験は1回のみとする。

8 教科書・参考文献

教科書:

教科書は特に用いない。資料プリントを中心に授業を行う。

参考文献：(教科書的なもの)

- はじめの一步のイラスト感染症・微生物学 本田武司／編 羊土社
スタンダード微生物学 土肥義胤、山本容正、宇賀昭二 著 文光堂
系統看護学講座 専門基礎6 疾病のなりたちと回復の促進 [3] 微生物学 医学書院
絵でわかる感染症 岩田健太郎著 講談社
新書
「感染症とたたかう」 岡田晴恵、田代真人 著 岩波新書
「感染症の時代」 井上栄 著 講談社現代新書
「感染症と文明」 山本太郎 著 岩波新書
「寄生虫の話」 小島荘明 著 中公新書
「細菌の逆襲」 吉川昌之介 著 中公新書
「現代免疫物語」 岸本忠三、中嶋彰 著 講談社ブルーバックス
「新しい免疫学」 審良静男・黒崎知博 著 講談社ブルーバックス
「99.9%が誤用の抗生物質」 岩田健太郎 著 光文社新書
「予防接種は効くのか？」 岩田健太郎 著 光文社新書
「エボラVS人類 終わりなき戦い」 岡田晴恵 著 PHP新書
「ワクチンは怖くない」 岩田健太郎 著 光文社新書
「感染症医が教える性の話」 岩田健太郎 著 ちくまプリマー新書
「知っておきたい感染症」 岡田晴恵 著 ちくま新書
「ウイルスは生きている」 中屋敷均 著 講談社現代新書
単行本
「あなたを狙う感染症」 本田武司、飯島義雄 著 小学館
「感染症とどう闘うか」 清水文七 著 東京化学同人
「エボラ出血熱とエマージングウイルス」 山内一也 著 岩波書店
「免疫・「自己」と「非自己」の科学」 多田富雄 著 NHKブックス
「麻疹が流行する国で新型インフルエンザは防げるのか」 岩田健太郎 著 垂紀書房
「新疫病流行記」 濱田篤郎 著 バジリコ (株)
「細菌と人類」 ハンセン&フレネ 著 渡辺格 訳 中央公論新社
「ウイルスの反乱」 R.M.ヘニッグ 著 長野敬、赤松真紀 訳 青土社
「人類と感染症の歴史」 加藤茂孝 著 丸善出版

9 オフィスアワー (授業相談)

授業に関する疑問点、質問などは授業中、授業後いつでも受け付けます。また、基礎研究棟4階の微生物感染症学部門の研究室(井上)はいつでもオープンにしているので、授業に関する質問、相談などに来ていただいても結構です。

10 学生へのメッセージ

自分の頭で考え、自分の言葉で自分の意見を表明できるようになるために、しっかり勉強してください。

医学概論

1 担当教員名

教授	佐々木 雅也 (基礎看護学講座)	非常勤講師
教授	室寺 義仁 (医療文化学講座 哲学)	藤田 保 (明和会琵琶湖病院 医師)
准教授	埜田 和史 (社会医学講座 衛生学部門)	口分田 政夫 (びわこ学園医療福祉センター草津 施設長)
准教授	荻田 美穂子 (臨床看護学講座)	長倉 伯博 (龍谷大学、京都光華女子大学 非常勤講師)
		花戸 貴司 (東近江市永源寺診療所 所長)

2 配当学年等

第1学年 前期 1単位

3 学習目標

今日の科学技術の目覚ましい発展は、それ自身を生み出した社会に大きな影響を及ぼし、人々の生活様式やものの考え方を変えてきた。医学や看護学もまたその科学の一分野であるが、直接、人間の生命現象に深い関わりをもつ点で、他領域とはかなり異なった性格をもっている。諸君は将来、こうした科学技術（医学や看護学）を身につけた専門家として、現に生きている人々、あるいはこれから生まれてくる人々にそれを適用し、人々の健康と福祉の実現に寄与するという仕事に携わることになる。人々は、性や年齢、所属する集団、生活する地域や健康状態などの違いに応じて、健康や福祉に関わる多様な課題を抱えながら生活を営んでいることから、諸君に求められている専門家としてのありようも多様であり、自らがこれからの大学生活を通じて追求していかなければならない。

医学概論の授業では、医療や福祉のさまざまな実践活動に触れることを通じて、医学・看護学を身につけた専門家として相応しい人間性と今後の能動的な学習の契機を形成することを目標とする。

4 授業概要

多くの授業は、医療や福祉の第一線で活躍されている講師を招いておこなう。それぞれの領域における医療や福祉活動の特徴を知るとともに、現在直面している課題について考察する。とくに、授業を通じて「人権」や「医の倫理」について考えを深めること求める。授業は、医学科と看護学科の合同授業としてすすめる。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月11日(木)	2	室寺・埜田・佐々木・荻田	合同	オリエンテーション	臨3
4月18日(木)	2	花戸	合同	地域の人たちとともに生きる医療	臨3
4月25日(木)	2	長倉	合同	人の死と向き合う医療	臨3
5月9日(木)	2	口分田	合同	障害のある人への医療－びわこ学園の実践	臨3
5月16日(木)	2	藤田	合同	聴覚障害と医療	臨3
5月23日(木)	2	菊井	合同	がん患者の視点から、将来の医師・看護師に望むこと	臨3
6月13日(木)	2	埜田・室寺・佐々木・荻田	合同	小グループ討論(患者の立場・家族の立場) / 早期体験学習・人間発達実習 受入施設説明	臨3
7月11日(木)	2	〃	合同	早期体験学習・人間発達実習 訪問施設別グループワーク	看2・看3 ②・③

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、講義形式、小グループによる討論会形式、ロールプレー形式などによる。いずれの授業においても、随時、学生に意見や質問を求めるので積極的に参加してほしい。

教材としては、スライド提示の他、TVの録画番組なども利用する。

7 評価方法

毎回の授業ごとに、テーマを示し、レポートの提出を求める。レポートでは、授業を契機に、課題に関連して生じた問題意識や調べた事項などについて論考することを求める。提出されたレポートについて、医学生・看護学生として真摯に課題に対峙する姿勢および記述の論理性について、4段階で評価する。受理に値しないと判断されたレポートは再提出を求める。

受理されたレポート数が、全授業数の2/3未満の場合は不合格とする。

8 教科書・参考文献

滋賀医科大学：医学・保健・医療・看護と人権
その他は、授業の際に随時示す。

9 学生へのメッセージ

- 1) 医学・看護学を学ぶ者としてふさわしい「態度」で授業に参加することを求める。
- 2) 他人の考えに耳を傾けることを求める。
- 3) 自分の頭で考えることを求める。
- 4) 自分の意見を率直に表明することを求める。

人間の生命活動Ⅰ・Ⅱ



自然科学総論

1 担当教員名

教授 相見良成 (基礎看護学講座)
 教授 目良裕 (生命科学講座 物理学)
 教授 古荘義雄 (生命科学講座 化学)
 教授 平田多佳子 (生命科学講座 生物学)
 教授 遠藤善裕 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

編入第3学年 前期 2単位

3 学習目標

授業内容に示すように、生きているヒトを数学、生物学、化学、物理学、生化学、解剖学、生理学、病理学など、自然科学的側面からとらえて理解できる知識と能力を養う。

4 授業概要

看護学においては人間を自然科学的側面から理解することも必要であり、生物としてのヒトを理解することが重要な要素となる。自然界に生きる生物としてのヒトの全体像を把握するため、体内で起こる現象の物理学的な側面、生命を受け継いでいくための遺伝学、生体内の構造や生理現象に基づいたアセスメント、生命を維持するのに必須のエネルギー変換、エネルギー代謝、病的側面からの疾病の理解と対処法などを取り上げ、生きているヒトを数学、生物学、化学、物理学、生化学、解剖学、生理学、病理学の側面から考えたい。看護を学ぶ者にとって基礎的な知識事項を考察する機会である。

5 授業内容

下記の予定で、各講師の専門分野に基づいて、講義・演習等をオムニバス形式で行う。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月11日(木)	4	遠藤	臨床看護1	がん看護学入門1	看3
4月18日(木)	4	古荘	化学1 (一般教養棟4F405号室)	身の回りの化学1	
4月25日(木)	4	〃	化学2 (一般教養棟4F405号室)	身の回りの化学2	
5月9日(木)	4	目良	物理学1	音の物理	看3
5月16日(木)	4	〃	物理学2	光の物理I	看3
5月23日(木)	4	〃	物理学3	光の物理II	看3
5月30日(木)	4	平田	生物学1	生命の探求	看3
6月6日(木)	4	〃	生物学2	細胞の構造と機能	看3
6月13日(木)	4	〃	生物学3	生体システムの構築と制御	看3
6月20日(木)	4	遠藤	臨床看護2	がん看護学入門2	看3
6月27日(木)	4	〃	臨床看護3	がん看護学入門3	看3
7月4日(木)	4	相見	解剖・生理1 (看護学科棟308号室)	組織化学法	セミナー
7月11日(木)	4	〃	解剖・生理2	神経の形態学	セミナー
7月18日(木)	4	〃	解剖・生理3	血液の形態学	セミナー
7月25日(木)	4	〃	解剖・生理4	ヒトの個体発生	セミナー

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義・演習

7 評価方法

出席、受講態度、レポート、試問等総合的に判断する。

8 教科書・参考文献

教科書を使用しない。適宜、講義資料などを配布し、参考図書を紹介する。

看護の生化学・栄養学

1 担当教員名

教授 佐々木 雅也 (基礎看護学講座)
 教授 扇田 久和 (生化学・分子生物学講座 分子病態生化学部門)

2 配当学年等

第2学年 前期 2単位

3 学習目標

1. 人間の生命維持過程に必要な代謝と栄養について理解することができる。
 - 1-1. 生命を維持する過程に必要な栄養素を知ることができる。
 - 1-2. 生命を維持する過程に必要な代謝を理解することができる。
 - 1-3. 生命を維持する過程に必要な栄養を理解することができる。
2. 人間の生命の連続性を保つ生殖について理解することができる。
3. 人間の生活と代謝・栄養との関連を考察することができる。
 - 3-1. 生活習慣を獲得し発展維持する過程と代謝・栄養との関連を考察することができる。
 - 3-2. 社会関係を結び発展維持する過程と代謝・栄養との関連を考察することができる。
4. 疾患による栄養代謝病態の特徴と、その特徴に応じた栄養管理の基本について考察することができる。
5. 上記の理解をふまえ、代謝・栄養と基本的看護との関連を考察することができる。

4 授業概要

【学習目的】

統一された生物体・生活体としての人間理解をふまえ、科学的な看護実践を導き出すために必要な代謝学・栄養学を理解し、基本的看護との関連を考察することができる。

5 授業内容

【単元】

※コースガイダンス：基礎看護学と代謝学・栄養学 学習目的・目標の理解

1. 人間の生命維持過程に必要な代謝と栄養
 - 1-1. 生命を維持する過程に必要な栄養素
 - 1-2. 生命を維持する過程に必要な代謝
 - 1-3. 生命を維持する過程に必要な栄養
2. 人間の生命の連続性を保つ生殖
3. 人間の生活と代謝・栄養との関連
 - 3-1. 生活習慣を獲得し発展維持する過程と代謝・栄養
 - 3-2. 社会関係を結び発展維持する過程と代謝・栄養
4. 代謝・栄養と基本的看護との関連

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月9日(火)	1	佐々木	ガイダンス	ガイダンス	看4
4月9日(火)	2	扇田	糖質の生化学①		看4
4月16日(火)	1・2	〃	糖質の生化学②③		看4
4月23日(火)	1・2	〃	脂質の生化学①②		看4
5月7日(火)	1	〃	脂質の生化学③		看4
5月7日(火)	2	〃	エネルギー代謝の生化学		看4
5月14日(火)	1・2	〃	アミノ酸・タンパク質の生化学①②		看4
5月21日(火)	1	〃	酵素学		看4
5月21日(火)	2	〃	ビタミンの生化学		看4
5月28日(火)	1	〃	ミネラルの生化学		看4
5月28日(火)	2	〃	核酸の生化学①		看4
6月4日(火)	1	〃	核酸の生化学②		看4
6月4日(火)	2	〃	遺伝情報の生化学①		看4

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
6月11日(火)	1	扇田	遺伝情報の生化学②		看4
6月11日(火)	2	佐々木	栄養不良と栄養評価		看4
6月18日(火)	4	栗原美香 (栄養治療部)	母性看護と栄養		看4
6月19日(水)	1	中西直子 (栄養治療部)	栄養所要量		看4
6月25日(火)	2	佐々木	経腸栄養法		看4
6月26日(水)	1	中西直子 (栄養治療部)	病院給食		看4
7月2日(火)	2	佐々木	病態別の栄養管理：消化器疾患		看4
7月2日(火)	4	栗原美香 (栄養治療部)	病態別の栄養管理：肥満・糖尿病		看4
7月9日(火)	2	佐々木	病態別の栄養管理：肝疾患・膵疾患		看4
7月9日(火)	4	栗原美香 (栄養治療部)	病態別の栄養管理：低栄養（褥瘡・COPD等）		看4
7月23日(火)	1・2	岡田信子 (看護部)	摂食嚥下①②【※持参物あり】		看4
7月29日(月)	3	中西直子 (栄養治療部)	病態別の栄養管理：腎疾患・心疾患		看4
7月30日(火)	2	佐々木	シリーズ全体の振り返り	補講：悪液質・サルコペニアの病態と治療 など	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式で、座席は指定とします。前席を希望する場合は、佐々木宛にメールで連絡してください。
テキストは購入し、講義の際に持参して下さい。

7 評価方法

出席評価と筆記試験により総合的に評価する。

8 教科書・参考文献

教科書：

生化学…「生化学—人体の構造と機能〈2〉」系統看護学講座 専門基礎分野 医学書院 第13版
栄養学…「栄養学—人体の構造と機能〈3〉」系統看護学講座 専門基礎分野 医学書院 第13版

参考書籍：

栄養学…『臨床栄養学』ナーシング・グラフィカ
静脈経腸栄養テキストブック 南江堂
ハーパー生化学 原書25版, 丸善
イラストレイテッド生化学 原書3版, 丸善

9 オフィスアワー（授業相談）

この授業についてのご質問やご相談は随時可能です。
不在の場合は、メールで連絡して下さい。
佐々木雅也 sasaki@belle.shiga-med.ac.jp

10 学生へのメッセージ

個々の患者に適した栄養管理をおこなうことは基本的医療です。そのためには、栄養代謝病態を理解することが必須であり、それには生化学、栄養学の知識が重要です。積極的に学んで下さい。

薬物動態・代謝

1 担当教員名

教授 遠藤善裕 (臨床看護学講座)
教授 寺田智祐 (薬剤部)
准教授 森田真也 (薬剤部)

2 配当学年等

第2学年 後期後半 1単位

3 学習目標

薬物の体内動態・代謝の解説および薬物の投与経路、作用・副作用について必要な知識を教授する。

4 授業概要

看護師として必要な、薬物の体内動態ならびに薬物の代謝経路を理解し、临床上重要な、薬物の投与経路、作用、副作用等につき、深い知識を得る。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
12月2日(月)	2	寺田		薬物の体内動態	看4
12月9日(月)	2	〃		薬効に影響を及ぼす要因	看4
12月16日(月)	2	〃		薬の有害作用	看4
12月23日(月)	2	全国B型肝炎訴訟原告団・ 弁護団	特別講義	「B型肝炎患者の現状について」	看4
2020年					
1月6日(月)	2	花井十伍 (ネットワーク医療と人権)	特別講義	「薬害のない医療のために」	看4
1月20日(月)	2	森田		薬物の投与経路と各種製剤	看4
1月27日(月)	2	寺田		処方の実際と看護	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

プリントや液晶プロジェクターを利用して、講義を行う。各授業の最後に、理解度確認するための小テストを行う。

7 評価方法

学習目標に掲げた項目の全範囲を対象とした筆記試験を行い、成績下位約30%の者には、出席評価を加味して、再試験の要否を判定する。最終的に、筆記試験60%以上の得点を修了の認定要件とする。

8 教科書・参考文献

系統看護学講座 専門基礎5 『薬理学』大鹿英世、吉岡充弘著 医学書院

9 学生へのメッセージ

薬は、医療に必要不可欠なものの1つですが、医療現場において最もヒヤリハットの報告が多いのも「処方・予薬」の場面です。医薬品に関する知識や理解を深めることは、質の高い看護業務の実践のみならず、安全な医療を提供する上で必要不可欠なことです。本講義では、臨床の現場で必要とされる医薬品情報について、実例を交えながら講義する予定です。

診断と治療 I

1 担当教員名

教授	佐々木 雅也	(基礎看護学講座)
教授	西 英一郎	(薬理学講座)
准教授	大野 美紀子	(薬理学講座)
准教授	木藤 克之	(内科学講座 血液内科)
助教	園田 文乃	(消化器内科)
助教	大澤 真	(感染制御部)
助教	岩崎 広高	(薬理学講座)

2 配当学年等

第2学年 後期前半 1単位

3 学習目標

薬物治療には、医師、看護師、薬剤師の連携が必要であるが、実際に患者とコミュニケーションをとりながら投薬するのは看護師である。誤薬を防止するだけでなく、服薬指導や治療内容の説明を行うと共に治療効果の確認や副作用の発見や防止にも努めなければならない。そのためにも、薬理的な知識を身につけて薬のはたらきについて説明できるようになる。

4 授業概要

看護師として薬物治療に関する基礎的知識は必要である。薬理学の基本的な知識と共に循環器作用薬、中枢神経作用薬、自律神経作用薬、内分泌薬、化学療法薬、抗炎症薬、などについて個別に薬剤の作用機序や臨床応用を理解する。

5 授業内容

授業形式は、講義となる。講義では、出来る限り資料配付を行う。

視聴覚機器：スライド、ビデオなどを活用する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月7日(月)	1	西	系統講義	総論	看4
10月7日(月)	2	佐々木	系統講義	抗アレルギー薬/抗炎症薬	看4
10月16日(水)	1	園田	系統講義	抗ガン薬	看4
10月16日(水)	2	大澤	系統講義	抗感染症薬	看4
10月21日(月)	1	上西幸治 (薬剤部室長)	系統講義	中枢神経作用薬 (抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬、睡眠薬など)	看4
10月21日(月)	2	國津侑貴 (薬剤部)	系統講義	中枢神経作用薬 (全身麻酔薬、パーキンソン治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬など)	看4
11月7日(木)	1	佐々木	系統講義	消化器作用薬・呼吸器作用薬	看4
11月11日(月)	1	大野	系統講義	循環器作用薬1	看4
11月11日(月)	2	木藤	系統講義	血液作用薬	看4
11月18日(月)	1	西	系統講義	末梢神経作用薬	看4
11月18日(月)	2	〃	系統講義	循環器作用薬2	看4
11月25日(月)	1	金本賢枝 (薬剤部室長)	系統講義	漢方薬	看4
11月25日(月)	2	岩崎	系統講義	ホルモン	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式 8.に記載した教科書を中心に行う。補助的に適宜プリントを配付する。なお、本シリーズの講義は座席指定でおこなう。テキストは購入して、講義に持参してください。

7 評価方法

出席評価と筆記試験により総合的に評価する。

8 教科書・参考文献

系統看護学講座 専門基礎分野 『薬理学－疾病のなりたちと回復の促進 [3]』医学書院 第14版

9 学生へのメッセージ

看護師として必要な薬物治療の知識を修得して欲しい。

診断と治療Ⅱ

1 担当教員名

教授	佐々木 雅也	(基礎看護学講座)	非常勤講師
教授	中川 義久	(内科学講座 循環器内科)	西村 貴士 (兵庫医科大学)
教授	中野 恭幸	(内科学講座 呼吸器内科)	肝胆膵内科超音波センター 講師)
教授	漆谷 真	(内科学講座 脳神経内科)	
教授	前川 聡	(内科学講座 糖尿病内分泌内科)	
教授	丸尾 良浩	(小児科学講座)	
准教授	木藤 克之	(内科学講座 血液内科)	
准教授	多賀 崇	(小児科学講座)	
講師	川合 寛道	(内科学講座 脳神経内科)	
講師	山本 孝	(循環器内科)	
講師	芦原 貴司	(循環器内科)	
講師	長尾 大志	(呼吸器内科)	
講師	稲富 理	(消化器内科)	
講師	卯木 智	(糖尿病内分泌内科)	
講師	松井 克之	(小児科)	
講師	馬場 重樹	(栄養治療部)	
講師(学内)	久米 真司	(内科学講座 腎臓内科)	
講師(学内)	金 一 暁	(内科学講座 脳神経内科)	
講師(学内)	森野 勝太郎	(糖尿病内分泌内科)	
助教	山川 勇	(内科学講座 脳神経内科)	
助教	眞田 陸	(精神医学講座)	
助教	星野 真介	(小児科)	
助教	川口 民郎	(リハビリテーション科)	

2 配当学年等

第2学年 後期 2単位

3 学習目標

本講義は、専門看護の学習に向けて必要な基礎的、また最新の医学的知識を提供し、学習していただくことで専門知識と技術を習得し、実地学習を効率よく円滑に履修し看護師としての資質を向上させることを目標としている。特に内科系の講義が主体で構成されている。

4 授業概要

専門看護の講義及び実習の履修に当たって必要な医学的知識を包括的に学習して実地学習を円滑に実施できるようにすることを目的とする。

5 授業内容

臨床医学の各分野にわたって基礎的・今日的な内容を含む。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月8日(火)	3	佐々木	内科学入門	輸液と静脈栄養	看4
10月8日(火)	4	中川	循環器疾患(1)	循環器病総論	看4
10月15日(火)	3	芦原	循環器疾患(2)	不整脈・心不全	看4
10月15日(火)	4	山本	循環器疾患(3)	虚血性心疾患	看4
10月29日(火)	4	川口	循環器疾患(4)	心臓リハビリ	看4
10月30日(水)	2	森野	生活習慣病(肥満-脂質異常症)	生活習慣病(肥満-脂質異常症)	看3
11月12日(火)	3・4	馬場	消化器疾患(1)(2)	消化管(1)(2)	看4
11月13日(水)	1	前川	糖尿病	糖尿病	看4
11月19日(火)	3・4	眞田	精神疾患(1)(2)	精神疾患(1)(2)	看4
11月26日(火)	3	稲富	消化器疾患(3)	膵・胆道疾患	看4
11月26日(火)	4	中野	呼吸器疾患(1)	COPD	看4

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
12月3日(火)	3	長尾	呼吸器疾患(2)	呼吸不全と酸素	看4
12月3日(火)	4	〃	呼吸器疾患(3)	気管支喘息と気胸	看4
12月5日(木)	3・4	久米	腎疾患(1)(2)	腎疾患(1)(2)	看4
12月10日(火)	3・4	木藤	血液疾患(1)(2)	血液疾患(1)(2)	看4
12月17日(火)	3	星野	小児循環器疾患	小児循環器疾患	看4
12月17日(火)	4	西村	消化器疾患(4)	肝疾患	看4
12月24日(火)	4	松井	小児感染症	小児感染症	看4
2020年					
1月7日(火)	4	多賀	小児血液疾患	小児血液疾患	看4
1月8日(水)	2	山川	脳血管障害	脳血管障害	看4
1月9日(木)	1	金	認知症	認知症	看4
1月14日(火)	4	木藤	HIV疾患	HIV疾患	看4
1月16日(木)	1	卯木	内分泌疾患	内分泌疾患	看4
1月20日(月)	1	丸尾	小児の成長、発達、栄養	小児の成長、発達、栄養	看4
1月28日(火)	2	漆谷	神経疾患(1)	神経疾患(1)	看4
1月28日(火)	3	川合	神経疾患(2)	神経疾患(2)	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業形式は講義形式でおこなう。

講義では、出来る限り資料配付を行う。

なお、本シリーズの講義は座席指定でおこなう。

7 評価方法

出席評価と筆記試験により総合的に評価する。

8 オフィスアワー(授業相談)

質問や相談は随時可能です。

不在の場合は、メールで連絡して下さい。

佐々木雅也 sasaki@belle.shiga-med.ac.jp

9 学生へのメッセージ

本講義は滋賀医科大学の特徴を生かし、現在、本学の臨床の場で活躍されている臨床医学及び研究に励まれている諸先生方に御協力いただき、臨床医学に直結した講義になるように心掛けています。そのために講義毎に教員が入れ替わり又講義のスタイルも変わります。また、講義日程等に変更が出る場合があります。

講義用資料は、出来るだけe-Learningに掲載を予定しています。

また、講義内容等への質問への回答は、出来るだけ学生連絡用メールで配信を予定しています。

診断と治療Ⅲ

1 担当教員名

教 授	遠 藤	善 裕	(臨床看護学講座)		非常勤講師
教 授	山 本	学	(歯科口腔外科学講座)		田 村 祐 樹 (彦根市立病院非常勤医)
教 授	喜 多	伸 幸	(臨床看護学講座)		
特任教授	高 橋	健太郎	(総合周産期母子医療センター)		
准 教 授	大 脇	成 広	(耳鼻咽喉科学講座)		
講 師	中 西	健 史	(皮膚科学講座)		
講 師	飯 田	洋 也	(外科学講座 消化器・乳腺・一般外科)		
講 師	花 岡	淳	(呼吸器外科)		
講 師	澤 田	修	(眼科)		
講師(学内)	岩 下	成 人	(ペインクリニック科)		
助 教	坂 井	幸 子	(外科学講座 乳腺・一般外科)		
助 教	熊 谷	康 佑	(整形外科学講座)		
助 教	貝 田	佐知子	(消化器外科)		
助 教	植 木	智 之	(消化器外科)		
助 教	榎 本	匡 秀	(心臓血管外科)		
助 教	近 藤	康 生	(心臓血管外科)		
助 教	竹 村	宜 記	(整形外科)		
助 教	村 井	亮 介	(泌尿器科)		

2 配当学年等

第2学年 後期 2単位

3 学 習 目 標

臓器からさらに細分化・特化した診療分野の診断法と、その治療および予後について適切な看護を提供する知識、手法、能力を養うことを目的とする。とりわけ周産期の性状からの逸脱に注目し、その病態の理解、診断、介入方法を習得する。

4 授 業 概 要

最近の臨床医学の発展に触れ、医療の現状を包括的に学ぶことで、看護の実践に必要な臨床的知識を段階的に学び活用できるように配慮した。各論では1年次に総論で学習した分野と重複しないように講義内容が組まれている。

5 授 業 内 容

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	教室
2019年				
10月7日(月)	3	遠 藤	外科学入門	看 4
10月7日(月)	4	〃	腹部術後合併症	看 4
10月16日(水)	3・4	喜 多	妊娠分娩産褥 (1)(2)	看 4
10月18日(金)	4	飯 田	肝胆膵外科	看 3
10月21日(月)	3	坂 井	小児外科	看 4
10月21日(月)	4	植 木	腹部外科 (下部消化管)	看 4
11月11日(月)	3・4	榎 本	心臓外科 (先天性) (1)(2)	看 4
11月11日(月)	5	熊 谷	整形外科関節疾患	看 4
11月12日(火)	5	貝 田	腹部外科 (上部消化管)	看 4
11月18日(月)	4	竹 村	整形外科：手の外科・末梢神経	看 4
11月25日(月)	3・4	近 藤	心臓外科 (後天性) (1)(2)	看 4
12月9日(月)	3	山 本	歯科の基礎知識	看 4
12月9日(月)	4	中 西	皮膚疾患とアレルギーの評価	看 4
12月13日(金)	3・4	花 岡	胸部外科 (1)(2)	看 4
12月16日(月)	3・4	村 井	泌尿器疾患 (1)(2)	看 4
12月23日(月)	3・4	高 橋	婦人科疾患 (1)(2)	看 4

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	教室
2020年				
1月6日(月)	3	大 脇	平衡・聴覚・味覚機能評価	看 4
1月6日(月)	4	遠 藤	生命危機の評価と処置 1	看 4
1月20日(月)	3	小越優子 (附属病院看護部)	生命危機の評価と処置 2	看 4
1月20日(月)	4	武村佳奈子 (附属病院看護部)	クリティカル期におけるフィジカルアセスメント	看 4
1月27日(月)	4	梅村由佳 (附属病院看護部)	救急看護入門	看 4
1月31日(金)	3	澤 田	視機能の評価	看 4
2月3日(月)	3	岩 下	痛みの評価と対策	看 4
2月3日(月)	4	田 村	緩和医療	看 4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業形式は、講義となる。

講義では、出来る限り資料配付を行う。

視聴覚機器：スライド、ビデオなどを活用する。

7 評 価 方 法

学習目標に掲げた項目の全範囲を対象とした筆記試験を行い、成績下位約30%の者には、出席評価を加味して、再試験の要否を判定する。最終的に、筆記試験60%以上の得点を修了の認定要件とする。

8 オフィスアワー（授業相談）

随時可能、ただし、不在時には、メール等で連絡してください。

遠藤善裕

yendo@belle.shiga-med.ac.jp

看護学科棟 6階605室

電話：077-548-2440

9 学生へのメッセージ

本講義は滋賀医科大学の特徴を生かし、現在、本学の臨床の場で活躍されている臨床医学及び研究に励まれている諸先生方に御協力を仰ぎ、臨床医学に直結した講義になるように心掛けています。そのために講義毎に教員が入れ替わり又講義のスタイルも変わります。また、講義日程等に変更が出る場合があります。

講義用資料は、出来るだけe-Learningに掲載を予定しています。

また、講義内容等への質問への回答は、出来るだけ学生連絡用メールで配信を予定しています。

專門看護科目Ⅰ・Ⅲ



フィジカルアセスメント

1 担当教員名

教授 相見 良成 (基礎看護学講座)
 准教授 本田 可奈子 (基礎看護学講座)
 助 教 山 下 敬 (基礎看護学講座)
 助 手 岡 美登里 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第1学年 後期 1単位

3 学習目標

1. 人体の構造と機能について、生体の観察、人体標本の観察、解剖見学実習などを通じて多面的、実践的に理解し、フィジカルアセスメントに活用できる。(知識・理解)
2. 的確なフィジカルイグザミネーションを行い、正確な情報を取得・分析することができる。(技能)
3. 得られた情報より、対象者についてアセスメントができる。(思考・判断・表現)
4. 看護を学ぶ者としてルール・規範を守り、主体的に学習することができる。(関心・意欲・態度)

4 授業概要

1. 人体の観察・評価法について主に実習を通じて学習する。「人体の構造と生理機能」の講義と連携して学習を進めることにより、身体計測法や測定値の意義についてより理解を深める。また骨学実習、人体解剖見学実習、顕微鏡実習を通じて人体の構造と機能について体験的に学ぶ。
2. 看護の対象の身体の状態を客観的に評価するための基本となるフィジカルイグザミネーションの基礎的な知識・技術を習得し、正確な情報を取得することができる。
3. 看護の対象について総合的にアセスメントし、判断するために必要な観察力を養い、情報を的確に分析することができる。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
12月2日(月)	3	相見・本田・山下・岡	ガイダンス 神経系の評価・バイタルサイン①	神経系のフィジカルアセスメント バイタルサイン総論 予習：シラバスを読んでおく 復習：学習内容を整理する	看3
12月2日(月)	4	〃	神経系の評価・バイタルサイン②		看3
12月9日(月)	1	相見	腹部の評価	嚙下・腹部のフィジカルアセスメント 予習：ナーシングスキルで関連項目を学習する 復習：課題レポート作成	看3
12月10日(火)	1	〃	解剖見学実習①	ガイダンス、上肢	C
12月10日(火)	2	〃	解剖見学実習②	胸部臓器	C
12月23日(月)	3	相見・本田・山下・岡	グループ実習①	3グループに分かれて実習を行う (1：循環器、2：呼吸器、3：スキルスラボ) 予習：ナーシングスキルで関連項目を学習する 復習：課題レポート作成	看2・看実
12月23日(月)	4	〃	グループ実習②		看2・看実
12月24日(火)	3	〃	グループ実習③		看2・看実
12月24日(火)	4	〃	グループ実習④		看2・看実
2020年					
1月6日(月)	3	〃	グループ実習⑤		看2・看実
1月6日(月)	4	〃	グループ実習⑥		看2・看実
1月7日(火)	1	相見	解剖見学実習③	腹部臓器	C
1月7日(火)	2	〃	解剖見学実習④	下肢、脳脊髄	C
1月7日(火)	3	相見・本田・山下・岡	バイタルサインの測定技術①	バイタルサイン各論のまとめ バイタルサイン測定技術の統合する 予習：グループ実習の内容を整理しておく 復習：課題レポート作成	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2020年 1月7日(火)	4	相見・本田・ 山下・岡	バイタルサインの 測定技術②		看実

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は講義・演習より構成され、適宜グループワークなども行う。
 ナーシングスキルで関連項目に関する予習を課し、講義の中ではシミュレーター教材やWeb素材なども使用する。
 グループ実習では、20人程度の小グループに分かれて講義・演習を行う。(教室は変更の可能性あり)
 実技試験に向けての練習で、動画などの参考資料は別途提示する。

7 評価方法

- ・筆記試験：40% (到達目標1・2)、実技試験：30% (到達目標3)、事前事後のレポート提出：20% (到達目標1・2・4)、授業への参加度：10% (到達目標5)、期限を過ぎたレポートについては-2点、未提出の場合-5点とする。
- ・無断欠席：-5点 (到達目標5)、不適切な態度・行動 (不要な携帯電話・スマートフォン等の使用など)、および他者への迷惑行為：-5点 (到達目標5)
- ・記述試験、実技試験それぞれに60%未満の評価となった場合、それぞれにおいて再試験を受験する。なお、技術試験60点～70点未満の場合は補講を行う。合計で60%以上の評価を得ることで単位修得要件とする。

8 教科書・参考文献

教科書：ナーシンググラフィカ 基礎看護学②ヘルスアセスメント：メディカ出版
 参考文献：フィジカルアセスメントがみえる 第1版, メディックメディア, 2015, その他適宜紹介・配布する

9 オフィスアワー (授業相談)

本田：毎週月曜日16:30～18:00 (不在のこともあり、できれば事前に連絡してください)
 相見：いつでも対応します。まずはメールで連絡ください。

10 学生へのメッセージ

演習は体験することが重要です。体調を整えて欠席しないようにしてください。

看護学概論Ⅰ

1 担当教員名

准教授 本田 可奈子 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第1学年 前期前半 1単位

3 学習目標

1. 看護の基本的概念を理解できる。
2. 看護（理論も含む）の歴史の変遷ならびに医療や福祉全般を概観して現代における看護の位置づけと今後の発展を理解できる。
3. 看護の対象を理解できる
4. 看護の役割と機能について説明できる。
5. 看護専門職と看護倫理について理解でき、態度としても自覚ができる。
6. 看護とは何か、自己の考えを表現できる。

4 授業概要

看護学の基本概念、役割等看護学の基本を学習し、看護学初学者としての自己の看護に対する考えがもて、自らの看護観を培う基盤を養う。

5 授業内容

講義とグループワークによって、看護学の導入として専門職看護の機能や役割について学びをすすめていく。予習をもとに授業をすすめるため、指定した教科書の範囲は予習をしてくる。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月9日(火)	3	本田	オリエンテーション 看護の基本	看護の定義・基本概念・健康の概念 看護に対するイメージ 社会の出来事を用いてグループ討議 (iPad ロイロノート)	看2
4月9日(火)	4	〃	看護の歴史の変遷	看護の歴史の変遷 (予習) テキスト第1部-4を読んでくる (復習) 看護の歴史を概観し、また健康の定義の変遷をふまえ看護に対しての自分の考えをまとめる。	看2
4月16日(火)	3	〃	看護理論①	看護理論とは何か、看護理論と変遷 (ナイチンゲール・ヘンダーソン・オレム) (予習) テキスト第2部-5を読んでくる	看2
4月16日(火)	4	〃	看護理論②	看護理論とは何か、看護理論と変遷 (ロイ・ペプロウ・ニューマン・ワトソン) (復習) 看護の理論を概観して看護に対する自分の考えをまとめる。	看2
4月23日(火)	3	〃	看護の対象/ ライフサイクルと健康	生活者としての人間 (健康と人、地域社会と人、健康障害のある人の理解) (予習) テキスト第1部-4を読んでくる	看2
4月23日(火)	4	〃	看護の対象/ ライフサイクルと健康	人間の成長発達概念、小児・成人・老年各期の概念 (復習) 自分や、周囲の人がいる発達段階における①発達課題または②健康障害について考察する。	看2
5月7日(火)	3	〃	看護の役割と機能	看護が機能する場、看護の組織とその役割 (予習) テキスト第1部-1 (1.2.3.5)を読んでく (復習) 自分や、周囲の人がいる発達段階における①発達課題または②健康障害について考察する。	看2
5月7日(火)	4	〃	看護における倫理と価値	看護実践の倫理 (予習) テキスト第1部-3を読んでくる (復習) 看護に対しての自分の考えをまとめる。	看2

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義は、予習してきたことをもとに学生に質問しながらすすめていく。グループワークでは、6人前後のグループにわかれ、プレゼンテーションはロイロノートアプリを使用して、iPadでプレゼンテーションを行う。

7 評価方法

- ・毎時間の課題レポート（40% 目標1－4）
- ・まとめのレポート（60% 目標5）
- ・無断欠席－5点、また授業開始後20分をこえた出席で理由なきものは無断欠席扱いとする（目標4）。
- ・不適切な行為（不要な携帯電話・スマートホン等の使用など）または他者への迷惑行為－5点（目標4）
- ・なお全講義数の3分の2以上の出席をもって授業評価を受ける資格要件とする。無断早退は出席に含めない。3回の遅刻で1回の欠席とみなす。

8 教科書・参考文献

教科書：

志々岐康子ら「ナースングラフィカ基礎看護学1看護学概論」メディカ出版

参考文献：

- ・ヴァージニア・ヘンダーソン 著／湯楨ます・小玉香津子 訳：看護の基本となるもの，日本看護協会出版会
- ・フロレンス ナイチンゲール 著／湯楨ます 訳：看護覚え書－看護であること看護でないこと，現代社，第7版，2011.
- ・筒井 真優美 編：看護理論－看護理論20の理解と実践への応用，看護学テキストNiCE，南江堂，2008.

9 オフィスアワー（授業相談）

事前にメール等で時間調整いただくことが望ましい。

10 学生へのメッセージ

看護を学ぶ第一歩です。人に看護に関心をもってみましょう。

看護学概論Ⅱ

1 担当教員名

准 教 授 本 田 可 奈 子 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第1学年 後期後半 1単位

3 学習目標

1. 保健医療福祉活動における看護の特徴と課題について説明できる。
2. 看護の法的責務について説明できる。
3. 看護の思考の展開の基礎についてわかる。
4. これからの看護の課題と展望について自己の考えを整理できる。

4 授業概要

看護概論Ⅱでは、保健・医療・福祉の中の看護のあり方を概観し、専門職看護として、社会の中で看護のあり方を考察する。ロールプレイ、映像を多用し現在の社会問題を材料に、個人またはグループディスカッションを行いながらすすめていく。

5 授業内容

以下授業内容のとおり

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
12月4日(水)	2	本 田	オリエンテーション 保健・医療サービス と看護の機能	保健・地域包括ケア・医療サービス提供システムにおける 看護の機能や他職種との連携(予習)テキスト第3部-10 (1.2.3まで)を読んてくる (復習)2035年にむけた看護のあり方について自分の意見を まとめてみる	看1
12月11日(水)	2	〃	看護活動の思考の 展開方法	看護活動の思考の展開方法 (予習)テキスト第2部-8を読んてくる (復習)ヘンダーソンの理論を用いた情報の整理	看1
2020年					
1月8日(水)	2	〃	看護活動の思考の 展開方法	看護活動の思考の展開方法 (予習)ヘンダーソンの理論を用いたアセスメントの実践	看1
1月15日(水)	2	〃	看護活動の思考の 展開方法	看護活動の思考の展開方法 (復習)ヘンダーソンの理論を用いたアセスメントを整理する	看1
1月15日(水)	4	〃	看護の法的側面	看護と法のかかわり、看護実践における法的基盤 (予習)テキスト第3部-9を読んてくる (復習)保健師助産師看護師法に何が規定されているか歴史 的変遷をふまえて記述する。	看1
1月22日(水)	2	〃	看護の展開と継続性	看護のチーム、継続性、協働 (予習)テキスト第4部-11を読んてくる (復習)継続看護の必要性について記述する。	看1
1月29日(水)	2	〃	看護とキャリア	これから看護に求められる役割について (予習)テキスト序章2を読んてくる (復習)今の自分が考える看護職としてのキャリア発達につ いてまとめてみる	看1
1月29日(水)	4	〃	まとめ	社会における看護専門職の存在意義	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義は、予習してきたことをもとに学生に質問しながらすすめていく。グループワークでは、6人前後のグループにわかれ、プレゼンテーションはロイロノートアプリを使用して、iPadでプレゼンテーションを行う。

7 評価方法

- ・課題の提出：40%（目標1-4）、個人レポート60%（目標4）
- ・また授業開始後20分をこえた出席で理由なきものは無断欠席扱いとする（目標4）。
- ・全体評価で60%未満の場合は再課題を行う。無断欠席は-5点とする。
- ・提出期限を過ぎた課題レポートは-2点、未提出は-5点とする。
- ・なお全講義数の3分の2以上の出席をもって成績評価の資格要件とする。無断早退は出席に含めない。3回の遅刻で1回の欠席とみなす。

8 教科書・参考文献

教科書：志々岐康子ら「ナースンググラフィカ基礎看護学1看護学概論」メディカ出版
参考文献：適宜紹介、または配付する

9 オフィスアワー（授業相談）

時間を確保するため、事前にメール等で連絡をしてくれるのが望ましい。

10 学生へのメッセージ

専門科目も増えてきました。病院実習もはさみますので、学内授業に実習体験をいかしてみてください。

基礎看護技術演習 I

1 担当教員名

准教授 本田 可奈子 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第1学年 前期後半 1単位

3 学習目標

1. 看護技術の意義について理解する。
2. 援助者として人々に関わるための基本的なコミュニケーションの技術を習得する。
3. 無意識に過ごしている「日常生活」「生活行動」について概念化ができる。
4. 人々をとりまく環境・健康・生活の関連について理解することができる。
5. 看護技術の対象となる「生活」の意味について理解できる。
6. 援助者として人々に関わるために必要な環境整備の技術を習得する。
7. グループでひとつの課題を明らかにし、プレゼンテーションができる。
8. 看護職者として必要な協調的態度を身に付ける。

4 授業概要

自分の日常生活を通して今まで無意識に営んできた生活と生活行動について、生活を構成している基本的な要素について考察する。とくに人々が営む生活行動をとりあげ、その意味や行動の成り立ちについてグループワークとプレゼンテーションによって探求する。そこから看護の対象である人間を生活者としてとらえ、人にとっての日常生活行動の意味を理解し、看護の視点について学ぶ。(この授業は基礎看護学実習 I の基盤となる科目のひとつである)

5 授業内容

詳細は以下のとおり

ただし、5月28日4時間目はグループワークの自主学習日で使用してもよい。

7月9日3時間日から4時間目は技術試験の自己練習として実習室を開放する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
5月14日(火)	3	本田	看護技術とは 人間関係を発展させる技術 (コミュニケーション)	・看護技術とは ・コミュニケーションの概念と基本原理 ①(予習)自分のコミュニケーションの傾向を振り返る	看2
5月14日(火)	4	〃	人間関係を発展させる技術 (コミュニケーション)	・効果的なコミュニケーションと演習	看実
5月21日(火)	3	〃	人々の生活を支える生活行動	・生活の構造 ・生活全体の理解 ・生活の過ごし方から対象の理解 ・6つの生活行動の理解	看2
5月21日(火)	4	〃	人々の生活を支える生活行動	無意識で行っていた健康な6つの生活行動 (食べる、眠る、身だしなみを整える、からだを清潔にする、排泄する、移動する)を 意識化、概念化する。	看2
5月28日(火)	3	〃	グループワーク	グループで無意識で行っていた健康な6つの生活行動(食べる、眠る、身だしなみを整える、からだを清潔にする、排泄する、移動する)のうちひとつを取り上げ、意識化、概念化する作業をする。	看2
6月4日(火)	3・4	〃	グループワークの報告会	各グループが取り組んだ生活行動の意識下、概念化について報告し、全体で共有する。 ②(復習)グループワーク評価	看2
6月11日(火)	3	〃	グループワークの報告会 「生活」「生活行動」まとめ	各グループが取り組んだ生活行動の意識下、概念化について報告し、全体で共有する。 ・看護における生活の捉え方の整理 ②(復習)グループワーク評価	看2

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年 6月11日(火)	4	本 田	健康な生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の意義 ・環境のアセスメント（(光・温度・換気・採光・騒音・プライバシー：照度・騒音・臭度を測定する) ・人の生活と環境 	看2・看実
6月18日(火)	3	〃	看護における感染管理 (ユニフォーム着用)	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生的な手洗い法の習得 ・防護具の取り扱い 	看実
6月18日(火)	4	〃	看護における感染管理 (ユニフォーム着用)	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生的な手洗い法の習得 ・防護具の取り扱い 	看実
6月25日(火)	3	〃	環境を整える基本的な技術の 理解(ユニフォーム着用)	③(予習)自分のいる環境を振り返る ポジショニング(体圧計)	看実
6月25日(火)	4	〃	環境を整える基本的な技術の 理解(ユニフォーム着用)	⑤(復習)自分の手洗い方法の評価 ベットメーカーキング	看実
7月2日(火)	3	〃	環境を整える基本的な技術の 理解(ユニフォーム着用)	・シーツ交換	看実
7月2日(火)	4	〃	環境を整える基本的な技術の 理解(ユニフォーム着用)	援助の視点(安全性・安楽性・自立/自律性)をもとに整理する。	看実
7月23日(火)	3	〃	ベットメーカーキング技術試験		看2
7月23日(火)	4・5	〃	ベットメーカーキング技術試験		看2・看実
7月30日(火)	3・4・5	〃	再試験(ベットメーカーキング)		看2・看実

6 授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、授業の進行状況によっては一部変更する場合があります。授業は、講義・グループワーク・演習を取り入れてすすめていく。とくにグループワークでは資料として動画、画像をiPadとアプリ(ロイロノート)を用いて作成し、プレゼンテーションを行う。評価には教員評価とピア評価も受ける。

7 評価方法

記述試験30%(目標1-5)、ベットメーカーキング技術試験30%(目標6)、グループの成果物20%(目標3457)、課題15%(①~⑤目標1-8)、ピア評価5%(目標7)、無断欠席-5点(目標8) 不適切な行為(不要な携帯電話・スマートホンの使用など)または他者への迷惑行為-5点(目標8) 提出期限を過ぎた課題レポートは-2点、未提出は-5点とする。

- ・単位修得の条件として記述試験、技術試験おのおので60%以上の得点を得ること(60%に満たない場合は再試験を受験する。なお再試験は1回限りとする)。
- ・全体評価で60%未満の場合は単位修得ができない場合がある。
- ・なお全講義数の3分の2以上の出席をもって筆記試験・技術試験の受験資格要件とする。無断早退は出席に含めない。3回の遅刻で1回の欠席とみなす。20分以上の遅刻は欠席扱いとする。

8 教科書・参考文献

教科書：ナースング・グラフィカ：基礎看護学③基礎看護技術 メディカ出版
参考文献：深井喜代子他編：基礎看護学テキスト-EBN志向の看護実践，南江堂

9 オフィスアワー(授業相談)

時間確保のため事前に連絡をいただけることが望ましい。

10 学生へのメッセージ

日々なにげなくおこなってきた生活の営みをあらためて知ることから自分のめざす看護を探究してみましょう。

基礎看護技術演習Ⅱ

1 担当教員名

准 教 授 本 田 可 奈 子 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第1学年 後期 1単位

3 学習目標

1. 対象者の日常生活を援助する看護技術の根拠・原理を理解する。
2. 日常生活を援助するための安全性・安楽性・自立／自律性を守った基本技術を修得する。
3. 看護技術の実践を通して人間の尊厳を護ることが理解できる。
4. 看護職者としてふさわしい態度を身につける。

4 授業概要

- ・看護基本技術のうち、人間の生理的・行動的な基本的ニーズである日常生活（活動と休息・衣生活・食生活・清潔）を援助する技術を中心に習得する。授業は個人及びグループでの主体的学習による技術の修得を目指す。具体的にはTBL（Team Based Learning）の形式を一部取り入れる。演習では、患者・看護師のロールプレイングを通して、援助的対人関係のあり方を理解し、人間の尊厳を守った安全性・安楽性・自立／自律性を考慮した援助方法を習得する。
- ・時間内に演習ができなかったグループメンバーについては、5時間目に自由参加で教員がファシリテーターとなって演習を行う。

5 授業内容

詳細は以下のとおり

ただし、10月8日5時間目、10月16日5時間目、10月21日5時間目、10月29日5時間目、11月5日5時間目、11月12日5時間目は、授業時間内に演習体験ができなかった学生に対して教員が指導について自己学習ができる時間として提供する。

また、11月18日1時間目2時間目、11月19日3時間目4時間目、11月25日3時間目4時間目は、技術試験の自己練習時間として実習室を開放する。なお、11月26日に技術試験のペアを発表する。

12月3日は技術試験再試験者、また他に必要とみなされた学生の補講日とする。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内 容	教室
2019年					
10月7日(月)	3	本 田	オリエンテーション 移動・活動に関わる技術	・ポジショニングの復習 ・移動と移送（車いす乗車、ストレッチャー） (予習) 教科書の該当箇所	看実
10月7日(月)	4	〃	移動・活動に関わる技術	・移動と移送（車いす乗車、ストレッチャー）	看実
10月7日(月)	5	〃	移動・活動に関わる技術	・移動と移送（車いす乗車、ストレッチャー） (復習) ポジショニングについて看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
10月8日(火)	4	〃	臥床患者の寝衣交換 (和式寝衣)	健康と環境・清潔に関わる技術 ・寝衣交換（シーツ交換） (予習) 教科書の該当箇所	看実
10月8日(火)	4	〃	臥床患者の寝衣交換 (和式寝衣)	健康と環境・清潔に関わる技術 ・寝衣交換（シーツ交換） (復習) 寝衣交換について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
10月15日(火)	3	〃	清潔に関わる技術①	・清拭 (予習) 教科書の該当箇所を読んでくる	看実
10月15日(火)	4	〃	清潔に関わる技術①	・清拭 (復習) 清拭について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
10月21日(月)	3	〃	清潔に関わる技術②	・洗髪 (予習) 教科書の該当箇所	看実
10月21日(月)	4	〃	清潔に関わる技術②	・洗髪 (復習) 洗髪について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
10月29日(火)	3	〃	清潔とリラクゼーションに関わる技術	・足浴 (予習) 教科書の該当箇所	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月29日(火)	4	本田	清潔とリラクゼーションに関わる技術	・足浴 (復習) 足浴について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
11月5日(火)	3	〃	栄養摂取のケア技術	・食事介助 (予習) 教科書の該当箇所	看実
11月5日(火)	4	〃	栄養摂取のケア技術	・食事介助 (復習) 食事の援助について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
11月12日(火)	3	〃	口腔衛生の技術	・口腔ケア (予習) 教科書の該当箇所	看実
11月12日(火)	4	〃	口腔衛生の技術	・口腔ケア (復習) 口腔ケアについて看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
11月26日(火)	3・4・5	〃	技術試験		看2・看実
12月10日(火)	3	〃	技術試験【再試験】		看2・看実

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は個人及び3人から4人のグループでの主体的学習による技術の修得を目指す。具体的にはTBL (Team Based Learning) の形式を一部取り入れる。事前に伝えた学習範囲を個別学習をして授業にのぞむ。予習成果を確かめるために、授業のはじめに学生が予習してきたことの確認テストを行い、これを採点し個人評価として記録する。ここで学習が不完全なところや、強調点を示す。演習では、患者・看護師のロールプレイングを通して行う。講義の最後に学習が不完全なところをグループで議論し、グループ単位で解答・説明をして解決し、チーム間でテストを行う。まとめとして教員が学生の解答に対するフォローを行う。

7 評価方法

- ・記述試験40% (目標1・2)、技術試験40% 課題 (事前・事後のレポート) 20% (目標2・3・4)。
- ・不適切な行為 (身だしなみ・不要な携帯電話の使用など) または他者への迷惑行為 - 5点 (目標4) 提出期限を過ぎた課題レポートは - 2点、未提出は - 5点とする。
- ・記述試験、技術試験それぞれに60%以上の評価を得ることを修得要件とする。60%未満の場合はそれぞれにおいて再試験を受験する。なお、技術試験60点～70点未満は原則補習を行う。
- ・なお全講義数の3分の2以上の出席をもって筆記試験・技術試験の受験資格要件とする。無断早退は出席に含めない (- 5点)。3回の遅刻で1回の欠席とみなす。授業開始後20分をこえた出席で理由なきものは無断欠席扱いとする (目標4)。

8 教科書・参考文献

教科書：ナースング・グラフィカ：基礎看護学③基礎看護技術 メディカ出版

参考文献：深井喜代子他編：基礎看護学テキスト－EBN志向の看護実践，南江堂，2015．適宜紹介、または配付する

医療の倫理 I

1 担当教員名

教授 相見 良成 (基礎看護学講座) 非常勤講師
教授 室寺 義仁 (医療文化学講座 哲学) 早島 理 (滋賀医科大学名誉教授)
浅井 篤 (東北大学大学院医学系研究科 教授)
長倉 伯博 (龍谷大学、京都光華女子大学 非常勤講師)

2 配当学年等

第1学年 後期 1単位

3 学習目標

「医療の倫理 I」の授業では、倫理学についての基礎を学んだ上で、臨床倫理を主に学習する。はじめに受講生は、日々臨床現場で遭遇するであろう事例に含まれる様々な倫理的な問題に気づくための想像力を養う。次いでグループ学習を通して、個々の問題をどのように考え、どのように対応・対処すれば良いのかという手法・心得について学び、看護実践に必要な倫理観を涵養することを目的とする。

4 授業概要

倫理学および臨床倫理について概説を受けた後に、緩和医療の現場での諸事例について講義を受ける。その後にグループに分かれて討論を行う。そして検討結果についての各グループからの発表と全体での討議を行った上で、事例考察のまとめを行う。このような形で授業を進める。11月11日(月)3～5時限、18日(月)3～4時限目の講義は医学科4年生との合同講義である。また、11日は学外から多職種のボランティアが講義に参加する予定であり、この意味で学外者との合同講義でもある。およそ200人を超える受講生との間での討論の場となる予定である。18日の講義では、動画を用いた医療倫理を考える授業を展開する。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月29日(火)	1	室寺・相見	倫理学とはなにか	倫理学の基礎を学ぶ	看1
11月5日(火)	1	〃	臨床倫理の基礎	臨床倫理の基礎知識を学ぶ	看1
11月11日(月)	3	早島・室寺・相見	臨床倫理	緩和医療の現場から学ぶ	臨1・臨2・臨3
11月11日(月)	4	長倉・室寺・相見	臨床倫理	事例についての講義とグループ討議	臨1・臨2・臨3
11月11日(月)	5	〃	臨床倫理	グループ発表と全体討議	臨1・臨2・臨3
11月18日(月)	3・4	浅井・室寺・相見	臨床倫理の現状と課題	生命医療倫理 (biomedical ethics) の総論と、映画を通して考える医療倫理	臨3
2020年					
2月3日(月)	3	相見	献体のこころ	解剖見学実習での経験をふまえた上で、献体にまつわる倫理について考える	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

基本は講義形式。授業によっては、医療現場における個々の事例を紹介しながら、それぞれの事例についての意見交換を行うために、全体討議と小グループでの討論とに分けて授業を行う。また、現代の医療問題をテーマに取り上げている動画を教材に用いながら、共に考えるような授業も行う。

7 評価方法

試験は行わない。講義ごとに、授業担当者が与える課題に対して、レポートの提出を求める(レポート受理期間は、各講義終了1週間後の同一曜日午後1時まで)。

(1) レポートは各10点満点で評価し、全レポートの総合点で合否を判定する。

なお、レポート用紙は出席者のみに配布する。レポートの提出期限は厳守すること。提出期限を過ぎたレポートは、原則、受理しない(当該授業の評価は、0点とする)。

(2) 病気その他緊急の事態でやむを得ず欠席する場合は、授業終了時までに学生課に連絡すること。学生課への連絡がある場合のみ、後日、学科事務室でレポート用紙を本人に手渡す。

8 教科書・参考文献

特に定めない。必要に応じて講義の中で紹介する。

9 学生へのメッセージ

グループワークを取り入れた授業では、積極的に議論に参加して能動的に学ぶことを期待します。

專門看護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ



フィジカルアセスメントⅢ

1 担当教員名

教授	遠藤善裕	(臨床看護学講座)	非常勤講師
准教授	寺島智也	(生化学・分子生物学講座 再生・修復医学部門)	森川茂廣
准教授	椎野顯彦	(神経難病研究センター 橋渡し研究ユニットMR医学研究部門)	(松寿会共和病院 副院長)
准教授	梅田朋子	(地域医療教育研究拠点)	田村祐樹
講師	家森正志	(歯科口腔外科)	(彦根市立病院 非常勤医)
助教	土屋桂子	(放射線科)	
助教	越沼伸也	(歯科口腔外科)	
助教	町田好聡	(歯科口腔外科)	

2 配当学年等

第2学年 前期 1単位

3 学習目標

生体の各種機能の評価の原理・方法を学ぶ。つまり患者さんの状態、臓器機能を客観的に正しく評価し、適切な看護を提供する知識、手法、能力を養う。

4 授業概要

看護の対象となる人間の生理活動を科学的に把握し、その体の異常を評価し理解する。

5 授業内容

現在、本学の臨床の場で活躍されている臨床医学及び研究に励まれている基礎医学の諸先生方に御協力を仰ぎ、フィジカルアセスメントに必要な最新の医学知識を提供する。

授業計画表

年月日(曜)	時限	担当教員	内容	教室
2019年				
4月11日(木)	1	遠藤	呼吸器の評価	看4
4月18日(木)	1	〃	循環機能評価	看4
4月25日(木)	1	梅田	乳腺・内分泌疾患のアセスメント	看4
5月9日(木)	1	椎野	神経・意識状態の評価(出血・腫瘍)	看4
5月16日(木)	1	〃	神経・意識状態の評価(出血・腫瘍)	看4
5月30日(木)	4	寺島	遺伝診療とケア「遺伝子変異によるフィジカルアセスメント」	看4
6月3日(月)	4	家森	糖尿病と歯周病および歯科疾患と全身疾患の関連	看4
6月6日(木)	4	寺島	再生医療	看4
6月17日(月)	3	町田	口腔ケア	看4
6月20日(木)	1	越沼	インプラント治療と顎変形症について	看4
6月27日(木)	1	森川	MRI検査の評価と注意点	看4
7月4日(木)	1	河田優子 (附属病院看護部)	WOC看護	看4
7月11日(木)	1	石川真 (附属病院看護部)	呼吸・循環のアセスメント	看4
7月18日(木)	4	土屋	画像による情報・評価	看4
7月25日(木)	1	湯本浩史 (検査部 副臨床検査技師長)	検査の情報・評価	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義では出来る限り資料配布を心掛けている。

視聴覚機器：スライド、ビデオ、コンピューター液晶プロジェクターの活用

7 評価方法

学習目標に掲げた項目の全範囲を対象とした筆記試験を行い、成績下位約30%の者には、出席評価を加味して、再試験の要否を判定する。最終的に、筆記試験60%以上の得点を修了の認定要件とする。

8 教科書・参考文献

参考図書：看護の基礎科学：からだのしくみ、からだの異常、日本看護協会出版会

9 オフィスアワー（授業相談）

随時可能、ただし、不在時には、メール等で連絡してください。

遠藤善裕

yendo@belle.shiga-med.ac.jp

看護学科棟 6 階605室

電話：077-548-2440

10 学生へのメッセージ

本講義は滋賀医科大学の特徴を生かし、現在、本学の臨床の場で活躍されている臨床医学及び研究に励まれている諸先生方に御協力を仰ぎ、臨床医学に直結した講義になるように心掛けています。そのために講義毎に教員が入れ替わり又講義のスタイルも変わります。また、講義日程等に変更が出る場合があります。

講義用資料は、出来るだけe-Learningに掲載を予定しています。

また、講義内容等への質問への回答は、出来るだけ学生連絡用メールで配信を予定しています。

看護倫理

1 担当教員名

准教授 本田 可奈子 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期前半 1単位

3 学習目標

1. 医療倫理と看護倫理について説明できる。
2. 倫理的判断能力について説明できる。
3. 倫理的意思決定について説明できる。
4. 倫理的問題の分析方法を实践できる。

4 授業概要

近年、価値の多様化に伴い様々な倫理問題が生じている。医療においても、看護職は日常的に倫理問題に直面し、専門職としての対応を求められるようになってきた。本科目では、倫理問題に対処するための基礎的知識と看護職に求められる役割や行動について学習し、倫理的問題にアプローチできる力を培う。

5 授業内容

授業計画参照

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月10日(水)	5	本田	ガイダンス 倫理学の基本的な考え方	ガイダンス 倫理とは何か 生命倫理 医療をめぐる倫理的課題 (安楽死と尊厳死、脳死と臓器移植、生殖に関する問題等)	看1
4月11日(木)	5	〃	看護倫理	講義:看護専門職の倫理 倫理的感受性、倫理的意思決定	看1
4月25日(木)	5	〃	倫理的問題へのアプローチ	事例分析の方法 グループ分けの発表とテーマの決定	看1
5月9日(木)	5	〃	グループワーク	事例検討とプレゼンの準備	看1
5月16日(木)	5	〃	事例検討	小児・精神・母性・終末期・先端医療・老年期等の事例について検討する。	看1
5月23日(木)	5	〃	事例検討	小児・精神・母性・終末期・先端医療・老年期等の事例について検討する。	看1
5月30日(木)	5	〃	事例検討	小児・精神・母性・終末期・先端医療・老年期等の事例について検討する。	看1
6月6日(木)	5	〃	まとめ	看護師の倫理的責務	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義、グループワークですすめていく。とくにグループワークでは、5人から6人のグループとなり、Jonsenらの症例検討シートをもとに事例分析を行い、倫理的問題へのアプローチの方法を身につけることをめざす。

7 評価方法

- ・ディベートに関連するレポート (40%)、まとめのレポート (60%)
- ・提出期限をすぎたレポートは-5点とする。
- ・まとめのレポートが提出されない場合は評価はできない。
- ・3分の2以上の出席をもって成績評価の資格要件とする。無断早退は出席と認めない。3回の遅刻で1回の欠席とみなす。無断欠席は-5点とする。
- ・全体評価で60%未満の場合は再レポートを提示することがある。

8 教科書・参考文献

教科書:資料配布

参考文献:宮坂道夫:系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院

看護管理論

1 担当教員名

准教授 中西京子 (基礎看護学講座)

非常勤講師

竹内芳子 (京都山城総合医療センター
看護部人材確保担当部長)

2 配当学年等

第4学年 後期前半 1単位

3 学習目標

1. 看護管理の基礎となる理論を理解する。
2. 看護の提供システムの理解をする。
3. 人材育成の実態や制度を学び、将来看護職として自己の能力を向上させる必要性を理解する。
4. 看護における組織改革および政策の必要性と政策決定過程を理解する。

4 授業概要

看護管理の概念と原則を学び、質の高い看護サービスを提供するために看護職者個人および看護組織が担う役割を学ぶ。医療・看護をめぐる法律や社会の仕組み、変遷について学び、看護専門職としての役割を学ぶ。

5 授業内容

授業計画参照。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月3日(木)	3	中西	ガイダンス 看護管理プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理の歴史 ・看護管理の定義 ・看護管理のプロセスと対象 	看3
10月3日(木)	4	〃	看護の組織化・組織改革	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の組織化 ・組織改革 ・リーダーシップ 	看3
10月10日(木)	3	〃	看護サービスのマネージメント	<ul style="list-style-type: none"> ・人事労務管理 ・物的資源管理 	看3
10月10日(木)	4	〃	安全なケアの提供と質保証	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理とリスクマネージメント ・ケアの質管理 ・看護技術の経済的評価 	看3
10月17日(木)	3	〃	看護に影響を及ぼす法令と政策	<ul style="list-style-type: none"> ・医療制度 ・看護制度 ・診療報酬 ・看護政策 	看3
10月17日(木)	4	〃	キャリアマネージメント	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の基準 ・看護学における専門職の基準 ・スペシャリストとジェネラリスト ・キャリアアンカーとキャリアプラン 	看3
10月24日(木)	3	西村路子 (附属病院看護部長)	トップマネージメントと経営	<ul style="list-style-type: none"> ・組織変革とリーダーシップ ・看護政策の意思決定 	看3
10月24日(木)	4	竹内	看護管理者のコンピテンシーについて	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピテンシーとは何か ・看護管理者のコンピテンシー 	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義・グループワーク

7 評価方法

- ・課題レポートにより評価する。
- ・全講義数の2/3以上の出席 (早退は出席に含めない。2回の遅刻で1回の欠席とみなす) を評価の要件とする。

8 教科書・参考文献

教科書：なし

参考文献：上泉和子「系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践①」医学書院

9 学生へのメッセージ

主体的な参加を期待しています。

看護過程論Ⅱ

1 担当教員名

准教授 中西京子 (基礎看護学講座)
 助 教 山 下 敬 (基礎看護学講座)
 助 手 岡 美登里 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第2学年 前期 1単位

3 学習目標

看護を系統的に実践するための思考過程について理解し、事例学習を用いて問題解決思考を習得する。

1. アセスメントの仕方を説明することができる。
2. 看護問題を構成する要素を述べることができる。
3. 看護計画に必要な要素を述べることができる。
4. 看護過程における評価の視点を述べることができる。
5. 主体的および計画的な学習姿勢を身につけることができる。

4 授業概要

対象の、健康上の問題や生活上のニーズを明らかにし、適切な援助を提供する方法論である看護過程を理解し、具体的な問題解決のプロセスを学習する。

この授業は、基礎看護学実習Ⅱの基盤となる科目である。

5 授業内容

・授業では、紙上事例を用いてアセスメントから具体的な看護介入方法の立案、評価までを行う。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月8日(月)	2	中西・山下・岡	授業ガイダンス アセスメントの概念枠組み	・看護過程論Ⅰの復習 ・ゴードンの機能的健康パターン ・事例提示	看4
4月15日(月)	2	〃	アセスメント	パターン別アセスメント①	看4
4月22日(月)	2	〃	アセスメント	パターン別アセスメント②	看4
5月13日(月)	2	〃	アセスメント	パターン別アセスメント③	看4
5月20日(月)	2	〃	アセスメント	パターン別アセスメント④	看4
5月27日(月)	2	〃	アセスメント	パターン別アセスメント⑤	看4
6月3日(月)	2	〃	アセスメント	パターン別アセスメント⑥	看4
6月10日(月)	2	〃	関連図	病態相互の関連図	看4
6月17日(月)	2	〃	看護診断	統合・看護問題の明確化 看護診断①	看4
6月24日(月)	2	〃	看護診断	看護診断②	看4
7月1日(月)	2	〃	問題の優先度	目標設定	看4
7月8日(月)	2	〃	計画立案	計画立案①	看4
7月16日(火)	2	〃	計画立案	計画立案②	看4
7月22日(月)	2	〃	実施・評価	看護計画の実施と評価①	看4
7月29日(月)	2	〃	まとめ	看護計画の実施と評価② 看護過程のまとめ	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、講義・個人ワーク・グループワーク・発表などの方法を用いて実施する。

7 評価方法

全講義数の2/3以上の出席を満たすことを評価の要件とする。

【評価基準】

1. 定期試験（50％）筆記試験は、点数が6割に満たない場合は再試験の対象となる。（再試験は1回のみ）
2. グループワークへの貢献度・発表（20％）
3. 課題レポート（30％）

8 教科書・参考文献

教科書：

1. ナーシング・グラフィカ「基礎看護学②ヘルスアセスメント」 メディカ出版.
2. リンダ J. カルペニート＝モイエ『看護診断ハンドブック 第10版』 医学書院.

参考文献：

渡邊トシ子 編：ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント 第3版
ヌーベルヒロカワ、2011.

9 オフィスアワー（授業相談）

質問は随時受け付けます。

10 学生へのメッセージ

1. 効果的なグループワークを行うために、事前に提示された課題はかならず各自で事前学習をして臨むこと。課題は、適宜提出を求める。
2. 学生が主体的・計画的な学習を進めること。

看護技術論Ⅲ

1 担当教員名

准教授 中西京子 (基礎看護学講座)
 助教 山下敬 (基礎看護学講座)
 助手 岡美登里 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第2学年 前期 2単位

3 学習目標

1. 看護技術論Ⅰ、Ⅱでの学習内容を踏まえて、診療に伴う援助を実施する上で必要な基本的知識・技術を習得することができる。
2. 安全性・安楽性・自立（自律）性を考慮した看護技術が実施できる。

4 授業概要

身体侵襲を伴う援助技術や医学的検査および治療の際に付随して発生する対象の苦痛や不安をできるだけ軽減し、検査の目的や治療の効果が最大限に達成されるように支援する知識・技術を修得する。

演習では、対象者に必要な看護介入方法を思考しながら技術演習を行う。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月10日(水)	3	中西・山下・岡	授業ガイダンス 看護活動における「診療の補助」 感染予防の技術	・診療の補助 ・無菌操作に必要な基礎知識	看実
4月10日(水)	4	〃	感染予防の技術	無菌操作の実際	看実
4月17日(水)	3	〃	排泄を促す技術	・排尿・排便の意義	看実
4月17日(水)	4	〃	排泄を促す技術	・床上での排泄の援助 ・ポータブルトイレの援助	看実
4月24日(水)	3・4	〃	排泄：身体の清潔を援助する技術	陰部洗浄	看実
5月8日(水)	3	〃	排泄を促す技術	・排尿障害について ・排尿障害のある対象者への介入方法について ・導尿法に必要な基礎知識	看実
5月8日(水)	4・5	〃	排泄を促す技術	導尿法の実際	看実
5月15日(水)	3	〃	排泄を促す技術	・排便障害について ・排便障害のある対象者への介入方法について ・浣腸法に必要な基礎知識浣腸	看実
5月15日(水)	4	〃	排泄を促す技術	浣腸法の実際	看実
5月22日(水)	3	〃	薬物療法の管理	与薬の基本	看4
5月29日(水)	3・4	〃	呼吸を安楽にする技術	SpO ₂ 測定 酸素療法	看実
6月5日(水)	3・4	〃	呼吸を安楽にする技術	吸入療法 吸引（口腔内・鼻腔内）	看実
6月12日(水)	3	〃	教育指導技術	指導の進め方	看4・看実
6月12日(水)	4	〃	教育指導技術	指導の実際	看4・看実
6月19日(水)	3	〃	体温調整の技術	罨法に必要な基礎知識 ・温罨法 ・冷罨法	看実
6月26日(水)	3	中西	検査時の看護	採血に必要な基礎知識	看実
6月26日(水)	4・5	中西・山下・岡	検査時の看護	採血の実際	看実
7月3日(水)	3・4・5	〃	技術指導	技術演習（教員指導）	看実・看4
7月10日(水)	3・4・5	〃	技術指導	技術演習（教員指導）	看実・看4

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
7月17日(水)	3・4・5	中西・山下・岡	技術の確認	技術の到達度確認	看実・看4
7月24日(水)	3	〃	まとめ	技術のまとめ	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は講義と演習によって行う。

学習の進捗状況などに応じて内容および開講時間を変更する場合がある。

変更となった場合は掲示する。

7 評価方法

全講義数の2/3以上の出席（早退は出席に含めない。2回の遅刻で1回の欠席とみなす）をもって、技術の到達度確認、筆記試験の受験資格要件とする。

【評価基準】

1. 筆記試験（60%）、技術の確認（20%）、レポート課題（10%）、授業への参加状況（10%）
2. 筆記試験は、点数が6割に満たない場合は再試験の対象となる（再試験は1回のみ）。

8 教科書・参考文献

教科書：

1. 村中洋子・玉木ミヨ子・川西千恵美 編著：学ぶ・試す・調べる看護ケアの根拠と技術，医歯薬出版株式会社，2013（第2版）。
2. 深井喜代子：基礎看護学テキスト－EBN志向の看護実践－，南江堂，2014。

参考文献：

授業の進行に応じて順次紹介する。

9 学生へのメッセージ

- ・既習技術を修得していることを前提とする。
- ・主体的学習（事前学習を含む）と授業への参加を期待する。
- ・授業時間内では、当該技術の修得はできない。時間外の反復学習で修得に努めること。

看護技術論Ⅳ

1 担当教員名

准教授 中西京子 (基礎看護学講座)
 助 教 山 下 敬 (基礎看護学講座)
 助 手 岡 美登里 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第2学年 後期 1単位

3 学習目標

1. 看護技術論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲでの学習内容を踏まえて、診療に伴う援助を実施するうえで必要な基本的知識・技術を習得することができる。
2. 看護の対象者の個性にあわせた看護技術活用の必要性を理解し、対象者に必要な看護介入方法が検討できる。
3. 安全性・安楽性・自立（自律）性を考慮した看護技術が実施できる。

4 授業概要

看護実践において対象の日常生活に関わるニーズを判断し、対象の個性に応じ、さまざまな看護技術を統合・応用・創造し、最善の看護を実践する意義と方法を学習する。演習では、対象者に必要な看護介入方法を思考しながら技術演習を行う。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月4日(金)	3	中西・山下・岡	授業ガイダンス 技術の統合	技術の統合 (GW) ・事例提示 ・アセスメント	看4
10月11日(金)	3	〃	技術の統合	技術の統合 (GW) ・関連図 ・看護診断	看4
10月11日(金)	4	〃	技術の統合	技術の統合 (GW) ・関連図の発表	看4
10月18日(金)	3	〃	技術の統合	技術の統合 (GW) ・計画立案	看4
11月1日(金)	3・4・5	〃	技術の統合 (発表)	シミュレーション演習	看4・看実
11月8日(金)	3・4・5	〃	技術の統合 (発表)	シミュレーション演習	看4・看実
11月15日(金)	3・4	〃	診療の補助技術	点滴静脈内注射の基礎知識 点滴静脈注射の実際	看実
11月22日(金)	3・4	〃	診療の補助技術	点滴静脈内注射の基礎知識 点滴静脈注射の実際	看実
11月29日(金)	3	〃	診療の補助技術	注射法 ・筋肉注射	看実
11月29日(金)	4	〃	診療の補助技術	注射法 ・皮下注射	看実
12月6日(金)	3	〃	まとめ	技術のまとめ	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、講義と演習によって行う。

学習の進捗状況などに応じて内容および開講時間を変更する場合がある。

変更となった場合は掲示する。

7 評価方法

- ・全講義数の2/3以上の出席（早退は出席に含めない。2回の遅刻で1回の欠席とみなす）をもって、筆記試験の受験資格要件とする。

【評価基準】

1. 筆記試験（50%）、技術の統合発表（30%）、レポート課題（10%）、授業への参加状況（10%）：演習への参加度、グループワーク、質疑応答を総合して評価する。
2. 筆記試験は、点数が6割に満たない場合は再試験の対象となる（再試験は1回のみ）。

8 教科書・参考文献

- ・村中洋子・玉木ミヨ子・川西千恵美編著：学ぶ・試す・調べる看護ケアの根拠と技術、医歯薬出版株式会社、2013（第2版）
- ・深井喜代子：基礎看護学テキスト－EBN志向の看護実践－、南江堂、2011

9 オフィスアワー（授業相談）

質問は随時受け付けます。

10 学生へのメッセージ

- ・既習技術を修得していることを前提とする。
- ・主体的学習（事前学習を含む）と授業への参加を期待する。
- ・授業時間内では、当該技術の修得はできない。時間外の反復学習での修得に努めること。

ライフステージと健康 I

1 担当教員名

教 授 立 岡 弓 子 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第2学年 前期前半 2単位

3 学習目標

人間の生涯における女性の健康についての理解を深める。

1. 女性の健康を生涯発達として理解する概念について理解できる。
2. ウイメンズヘルスに関する看護理論について理解できる。
3. 母性・女性のヘルスケアの概念とヘルスプロモーションの考え方が理解できる。
4. 女性に関する性差・ライフサイクルの視点からみた健康について理解できる。
5. 女性の健康に関連する法律について理解できる。

4 授業概要

1. 女性を取り巻く環境と性差に関する影響について、歴史的変遷から学習する。
2. 女性の健康について、身体的・心理的・社会的視点から包括的に学習する。
3. 女性の生涯発達における健康障害について、性差をふまえた視点から学習する。
4. 女性の自己決定とリプロダクティブヘルス/ライツについて、国際的視野をふまえて学習する。
5. ライフサイクル各期にある女性への社会的支援と看護の役割について学習する。

5 授業内容

1. 女性の健康の概念について、国際的な歴史・社会学・心理学・看護学分野から包括的に理解する。
2. リプロダクティブヘルス/ライツへの理解と参画する意味を理解する。
3. 女性の健康問題について、環境・社会情勢・栄養・嗜好・暴力の視点から理解する。
4. 女性の生殖に関する生命倫理と医療に関する諸問題を理解する。
5. 女性を取り巻く法律について理解する。

年月日(曜)	時限	担当教員	内 容	教室
2019年				
4月9日(火)	4	立 岡	母性とは 女性の健康の概念と生涯発達の概念	看 4
4月9日(火)	5	〃	女性の性と生殖に関する健康と権利 ヘルスプロモーション	看 4
4月16日(火)	4	〃	女性の生命倫理	看 4
4月16日(火)	5	〃	女性と環境	看 4
4月23日(火)	4	〃	女性と社会	看 4
4月23日(火)	5	〃	女性と栄養	看 4
5月7日(火)	4	〃	女性と嗜好 (アルコール、喫煙)	看 4
5月7日(火)	5	〃	女性と暴力	看 4
5月14日(火)	4	〃	思春期女性と健康	看 4
5月14日(火)	5	〃	性成熟期女性と健康	看 4
5月21日(火)	4	〃	母子保健の包括支援について (産科的アプローチ)	看 4
5月21日(火)	5	〃	更年期女性と健康	看 4
5月28日(火)	4	〃	老年期女性と健康	看 4
5月28日(火)	5	〃	女性にまつわる諸問題	看 4
6月4日(火)	4	〃	母子保健と法律の理解	看 4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義に関して DVD、画像、動画を使用する。

7 評価方法

総授業時間のうち、3分の1を超えて欠席した場合は本試験を受験できない。

評価基準：出席 (20%)、筆記試験 (80%)

8 教科書・参考文献

立岡弓子；女性の健康と看護，サイオ出版，2017. テキストISBN番号 978-4-907176-49-5

ライフステージと健康Ⅱ

1 担当教員名

教 授 桑 田 弘 美 (臨床看護学講座)
 講師(学内) 白 坂 真 紀 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第2学年 前期 2単位

3 学習目標

子どもの健やかな発育には環境の影響は大きく、その国の政策や文化にも左右される。平和な日本において、子どもが健康に発育する環境としては理想的ではあるが、現代の社会や家族の状況は常に変化し、子どもや家族が様々な悩むや不安を抱えることがあるため、小児看護が果たす役割は大きい。子どもがどのように成熟過程を歩むのか、小児看護の対象である子どもについて理解を深める必要がある。

小児の発達課題や心理社会的発達の特徴を踏まえ、小児期それぞれのライフステージにおける身体的成長及び発達と看護、さらに小児期における親子関係についても習得する。

4 授業概要

子どもは未来を担う存在である。少子高齢社会に伴い、政治、経済、文化、医療など、小児を取り巻く環境は急激に変化しており、子どもを育てる家族の悩みはつきない。小児看護は子どもと家族を中心とする看護である。現代の子どもと家族の特徴を捉えながら、小児看護の理念、役割を理解し、発達段階別の子どもの成長・発達、健康、家族、看護について学ぶ。

5 授業内容

子どもへの関わり方を含め、できるだけ具体的な事例を提示して講義する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	内 容	教室
2019年					
4月12日(金)	2	白 坂	家族の特徴とアセスメント1	子育ての現状 子育てにまつわる問題	看4
4月19日(金)	2	桑 田	家族の特徴とアセスメント2	子どもにとっての家族 現代の家族の特徴 家族アセスメント 子どものしつけ	看4
4月26日(金)	2	〃	小児看護の特徴と理念	小児と家族の諸統計 小児看護の変遷 小児看護における倫理	看4
5月17日(金)	2	〃	小児の成長・発達	成長・発達とは 成長・発達に影響する因子 子どもの遊び	看4
5月24日(金)	2	白 坂	新生児・乳児	新生児・乳児の形態的特徴 新生児・乳児の養育及び看護	看4
5月31日(金)	2	〃	幼児	幼児の形態的特徴 幼児の養育及び看護	看4
6月7日(金)	2	〃	学童	学童の形態的特徴 学童の養育及び看護	看4
6月14日(金)	2	〃	思春期・青年期	思春期・青年期の形態的特徴 思春期の看護	看4
6月21日(金)	2	桑 田	小児の栄養	子どもにとっての栄養 発達段階別の子どもの栄養の特徴	看4
6月28日(金)	2	〃	小児の家族を取り巻く社会	小児をめぐる法律と政策 学校保健	看4
7月5日(金)	2	〃	子ども虐待と看護	子ども虐待の種類と現状 被虐待児と家族の看護	看4
7月12日(金)	2	〃	小児看護に用いられる理論	セルフケア理論 エリクソン自我発達理論 ピアジェの認知発達理論 親子関係論	看4

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
7月19日(金)	2	桑田・白坂	子どもの遊び1	生活制限のある子どもへの遊び1	看4
7月25日(木)	4	〃	子どもの遊び2	生活制限のある子どもへの遊び2	看3
7月26日(金)	2	〃	子どもの遊び3	生活制限のある子どもへの遊び3 (発表会)	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義・演習

毎回の授業で、ミニテストを行う。

パワーポイント、DVD教材など使用

7 評価方法

最終的に筆記試験を行い、6割以上の得点で合格とする。

出席回数が全講義数の2/3以上の出席（遅刻3回あるいは早退3回は1日の欠席、30分以上の遅刻は欠席とみなすこともある）をもって、筆記試験の受験資格要件とする。

毎回の授業で行われるミニテストの提出をもって出席とみなす。

8 教科書・参考文献

教科書：

授業で、その日の資料を配布する。

参考文献：

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学1 医学書院

小児看護学 オーム社

ライフステージと健康Ⅲ

1 担当教員名

教授 宮松直美 (臨床看護学講座)
 助教 東さおり (臨床看護学講座)
 助教 炭本佑佳 (臨床看護学講座)
 助手 岡本智子 (臨床看護学講座)

非常勤講師
 田中英夫 (大阪府岸和田保健所 所長)
 岡村智教 (慶應義塾大学
 医学部衛生学公衆衛生学教室 教授)
 志摩 梓 (株式会社平和堂
 教育人事部健康サポートセンター)

2 配当学年等

第2学年 前期前半 2単位

3 学習目標

成人期の保健学的課題とそれに対する国の保健医療政策や個人の対処のあり方を、国内外の知見を踏まえて理解する。

4 授業概要

成人保健看護学で重要な成人期の発達課題や役割、疾病動向や人口静態・動態統計について学び、さらに健康段階に応じた看護実践能力の基礎を養う。

5 授業内容

成人期および成人保健看護の特徴、成人期の健康障害の要因と健康管理、成人への指導・相談・援助のありかた、職域での健康管理などについて、講義、討論、演習を通じて学ぶ。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月12日(金)	3	宮松	成人保健①	成人各期の特徴と保健課題	看4
4月12日(金)	4	〃	成人保健②	生活習慣病の予防・管理における看護の役割	看4
4月19日(金)	3	〃	成人保健③	疫学概論	看4
4月19日(金)	4	〃	成人保健④	人口統計	看4
4月26日(金)	3	〃	成人保健⑤	循環器疾患の動向と今後の課題①高血圧	看4
4月26日(金)	4	〃	成人保健⑥	循環器疾患の動向と今後の課題②脳卒中・心疾患	看4
5月17日(金)	3	志摩	成人保健⑦	産業保健	看4
5月17日(金)	4	田中	成人保健⑧	悪性新生物(がん)の動向と今後の課題	看4
5月24日(金)	3	宮松	成人保健⑨	成人教育とは	看4
5月24日(金)	4	岡村	成人保健⑩	わが国の保健政策の動向と今後の課題	看4
5月31日(金)	3	宮松	成人保健⑪	成人教育 自己管理行動：体重管理	看4
5月31日(金)	4	〃	成人保健⑫	成人教育 自己管理行動：減塩管理	看4
6月7日(金)	3	宮松・東	成人保健⑬	成人教育 自己管理行動：禁煙支援	看4
6月7日(金)	4	宮松	成人保健⑭	禁煙支援 がん患者としての体験	看4
7月31日(水)	3	宮松・東・炭本・岡本	成人保健⑮	成人保健まとめ	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義

パワーポイントやビデオ等の視聴覚教材を用いることもある

7 評価方法

筆記試験(70%)およびレポート(20%)、演習(10%)の評価によって行う。

ただし、筆記試験60%以上の得点を修了の認定要件とする。

8 教科書・参考文献

- 1) 標準保健師講座 疫学・保健統計学 医学書院
- 2) 国民衛生の動向 厚生統計協会
- 3) 成人看護学概論 大西和子・岡部聡子編集 ニューヴェルヒロカワ
- 4) 成人看護学原論 氏家幸子監修 廣川書店
- 5) 明解看護学双書5 成人看護学 山崎智子監修 岡部聡子他編 金芳堂
- 6) 成人看護学 小島操子他著 医学書院
- 7) ナーシング・グラフィカ22 成人看護学概論 メディカ出版

9 オフィスアワー（授業相談）

office hour：毎日12時～13時@509号室、@516号室（看護学科棟5階）（教室全体で対応）

10 学生へのメッセージ

レポートは指定された提出期限内にe-mail<hqahn@belle.shiga-med.ac.jp>で提出してください。

11 参考URL

<http://www.shiga-med.ac.jp/~hqahn/>

12 授業用E-mail

hqahn@belle.shiga-med.ac.jp

ライフステージと健康Ⅳ

1 担当教員名

教授	宮松直美	(臨床看護学講座)	非常勤講師
助教	東さおり	(臨床看護学講座)	伊波早苗(草津総合病院 看護部看護部長)
助教	炭本佑佳	(臨床看護学講座)	横田恵子(神戸女学院大学 文学部 教授)
助手	岡本智子	(臨床看護学講座)	

2 配当学年等

第2学年 前期後半 2単位

3 学習目標

1. ライフステージにおける発達課題を踏まえ、成人期の健康の概念について理解する。
2. 成人保健看護学の様々な領域について、その対象者の特徴を理解し、援助に必要な基本的な知識と技術を習得する。

4 授業概要

成人保健看護学の各領域の特徴や対象、慢性期・急性期看護学総論について学び、さらに健康段階に応じた看護実践能力の基礎を養う。

5 授業内容

成人期および成人保健看護の特徴、慢性期・急性期看護学総論、災害・救急場面での看護、周手術期看護の基本、終末期看護およびがん看護の基本等について、講義、討論、演習、レポート作成を通じて学ぶ。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
6月14日(金)	3	宮松	成人看護学概論	成人看護学の様々な領域と対象①	看4
6月14日(金)	4	〃	成人看護学概論	成人看護学の様々な領域と対象②	看4
6月21日(金)	3	伊波	慢性期看護学総論	慢性期看護の対象となる人の特徴と看護活動	看4
6月21日(金)	4	〃	慢性期看護学総論	慢性看護学総論：病みの軌跡	看4
6月28日(金)	3	宮松・木村(看護部)	がん看護	がん患者の特徴と主な治療法、看護の役割	看4
6月28日(金)	4	横田	がん看護	がん包括医療・チーム医療	看4
7月5日(金)	3	宮松	急性期看護学総論	急性期看護の対象となる人の特徴と看護活動	看4
7月5日(金)	4	〃	周手術期看護	手術療法に伴う看護(術前看護)	看4
7月12日(金)	3	宮松・望月(看護部)	周手術期看護	手術療法に伴う看護(術中看護)	看4
7月12日(金)	4	宮松	周手術期看護	手術療法に伴う看護(術後看護)	看4
7月19日(金)	3	〃	救急看護	救命救急における看護判断の重要性と看護活動	看4
7月19日(金)	4	〃	災害看護	災害発生時の環境的特徴と看護活動	看4
7月26日(金)	3	宮松・東・炭本・岡本	周手術期看護：演習	術前の準備と患者オリエンテーション	看実・看4
7月26日(金)	4	〃	周手術期看護：演習	術後の患者受け入れ準備と観察	看実・看4
7月31日(水)	4	宮松	成人看護学概論総括	成人看護学概論まとめ	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義および演習

パワーポイントやビデオ等の視聴覚教材を用いることもある

7 評価方法

筆記試験(70%)およびレポート(20%)、演習(10%)の評価によって行う。

ただし、筆記試験60%以上の得点を修了の認定要件とする。

8 教科書・参考文献

- 1) 成人看護学概論 大西和子・岡部聡子編集 ニューヴェルヒロカワ
- 2) 慢性期看護論 鈴木志津枝・藤田佐和編集 ニューヴェルヒロカワ
- 3) 急性期看護論 鈴木志津枝・藤田佐和編集 ニューヴェルヒロカワ
- 4) 成人看護学原論 氏家幸子監修 廣川書店
- 5) 明解看護学双書5 成人看護学 山崎智子監修 岡部聡子他編 金芳堂
- 6) 成人看護学 小島操子他著 医学書院
- 7) ナーシング・グラフィカ22 成人看護学概論 メディカ出版
- 8) 周手術期看護 中村美知子監修 インターメディカ

9 オフィスアワー（授業相談）

office hour：毎日12時～13時@509号室、@516号室（看護学科棟5階）（教室全体で対応）

10 学生へのメッセージ

レポートは指定された提出期限内にe-mail<hqahn@belle.shiga-med.ac.jp>で提出してください。

11 授業用E-mail

hqahn@belle.shiga-med.ac.jp

ライフステージと健康Ⅴ

1 担当教員名

准教授 荻田 美穂子 (臨床看護学講座)
 助教 片寄 亮 (臨床看護学講座)

非常勤講師
 徳川 早知子
 荒井 秀典 (国立研究開発法人
 国立長寿医療研究センター 病院長)
 秋口 一郎 (康生会武田病院
 神経脳血管センター 所長)

2 配当学年等

第2学年 後期 2単位

3 学習目標

人間の生涯における老年期についての理解を深める。学習目標は以下の6点である。

1. 長い人生を歩んできた人として高齢者の理解ができる。
2. 高齢者の発達課題および成熟と衰退が理解できる。
3. 加齢に伴う心身の変化とそれが日常生活に及ぼす影響が理解できる。
4. 我が国及び諸外国の保健・医療・福祉政策や制度の変遷や課題を理解し、将来が展望できる。
5. 高齢者看護学の基盤となる理論が理解できる。
6. 加齢およびフレイル予防の考え方について理解できる。

4 授業概要

1. 新聞記事等から高齢者に関する情報を収集し、高齢者を取り巻く状況に関心を持つ。
2. 身近な高齢者との交流を通して、高齢者の考え方や健康状態などについて学習する。
3. 講義や疑似体験、グループディスカッションを通して、高齢者の身体面、心理・精神面、社会及び霊的側面を考える。
4. 我が国および諸外国の保健・医療・福祉政策や制度の変遷、現状、課題について理解を深める。
5. 最近の研究動向を交え、加齢およびフレイル予防の考え方を学ぶ。

5 授業内容

老年期の特徴、加齢と老化、加齢に伴う健康障害と予防の現状、高齢者を支える保健・医療・介護・福祉、老いと死等について、講義・討議・演習・レポート課題を通じて学ぶ。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月3日(木)	2	荻田	授業オリエンテーション 高齢者のライフステージ	授業目標・内容・課題の説明 高齢者の生きてきた時代	看4
10月10日(木)	2	〃	老年期の人々を取り巻く環境	高齢社会の統計的輪郭	看4
10月17日(木)	2	秋口	加齢と老化 加齢に伴う身体的変化 高齢者に多い疾患	エイジングと老化 生理的老化・病的老化 人間の身体のしくみと加齢による変化 老年症候群(歩行障害・転倒・認知障害など)	看4
10月24日(木)	2	片寄・荻田	高齢者体験演習(1)	高齢者疑似体験用の装具を装着し日常生活を体験	看実
10月31日(木)	2	〃	高齢者体験演習(2)	第4回の内容継続	看実
11月14日(木)	2	荻田	老年期の理解 老年看護学とは	老年期の定義・老年期の発達課題 老年看護の成り立ちと役割 老年看護を支える看護理論	看4
11月21日(木)	2	〃	高齢者に対するアセスメント(1)	身体の高齢変化とアセスメント 高齢者の日常生活動作と環境のアセスメント 対象理解に活用できる指標とツール	看4
11月28日(木)	2	荻田	高齢者に対するアセスメント(2)	第7回の内容継続	看4
12月5日(木)	2	〃	老年期の人々を取り巻く社会制度(1)	高齢社会における保健医療福祉の動向 高齢社会における権利擁護	看4
12月12日(木)	2	〃	老年期の人々を取り巻く社会制度(2)	第9回の内容継続	看4
12月19日(木)	2	徳川	老いと死 尊厳ある見取り	エンド・オブ・ライフ エンド・オブ・デス	看4

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2020年					
1月9日(木)	2	荻田	高齢者観の共有	高齢者へのインタビュー内容をグループで共有(グループワーク)	看4
1月16日(木)	2	荒井	フレイルの定義 フレイルに関する研究動向	フレイルの定義 フレイルに関する研究動向	看4
1月23日(木)	2	〃	フレイルの定義 フレイルに関する研究動向	フレイルの定義 フレイルに関する研究動向	看4
1月30日(木)	2	荻田・片寄	高齢者観の共有 まとめ	高齢者へのインタビュー内容をグループで共有(発表)	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、都合により、一部変更する場合がある。

講義、VTR、DVD、事例等を通して高齢者のイメージをつける。また、グループワークや体験学習および高齢者とのコミュニケーションを通して理解を深める。

7 評価方法

総授業時間のうち3分の1を超えて欠席した場合は本試験を受験することはできない。

本試験70%、授業の取り組み状況(レポート・グループワーク・発表など)30%で評価を行う。

ただし、本試験は100点満点中60点以上あることが単位認定の必須要件とする。

8 教科書・参考文献

授業でその日の資料を配布する。

教科書：

老年看護学概論、南江堂

参考文献：

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学、医学書院

厚生省の指標「国民衛生の動向」、厚生統計協会

健康長寿診療ハンドブック、編集/発行 老年医学会

9 学生へのメッセージ

我が国は世界でも類を見ない速さで超高齢社会に突入しています。新聞やニュースでは高齢者に関する話題が頻りに報道され、公共の中で高齢者に出会わない日はないと思います。

日頃から高齢者の生活に関心に向け、我が国の高齢者が抱える問題について考えてみましょう。

育成期母性看護学

1 担当教員名

教授 立岡 弓子 (臨床看護学講座)
 教授 喜多 伸幸 (臨床看護学講座)
 講師 土川 祥 (臨床看護学講座)
 助教 中井 抄子 (臨床看護学講座)
 助教 花原 恭子 (臨床看護学講座)
 助手 吉川 芙雪 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第2学年 後期 2単位

3 学習目標

女性のライフサイクルにおける成熟期のリプロダクションの意義を理解する。
 妊娠・分娩・産褥期の女性と新生児、それを取り巻く家族や環境の特徴を学び、この時期の健康問題を評価するとともに具体的援助技術を習得する。

4 授業概要

妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期における生理的経過、心理社会的変化、および看護について教授する。
 事例検討、ロールプレイ、技術演習を通して周産期に必要な援助技術を教授する。

5 授業内容

妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期にある対象の特徴と看護についての講義を行う。また講義を踏まえて、妊娠期・産褥期・新生児期の事例演習、妊産褥婦・新生児に対する看護技術演習、分娩期の看護のロールプレイを行う。
 アクティブラーニングを取り入れた能動的学修を行う。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月2日(水)	3	花原	妊娠期の看護	妊娠とは 妊娠にかかわる検査 妊娠経過の理解 胎児発育	看4
10月2日(水)	4	〃	妊娠期の看護	妊娠に伴う生理的变化 妊娠に伴う身体的変化 妊娠に伴うマイナートラブル	看4
10月9日(水)	3	立岡	分娩期の看護	分娩の生理・三要素	看4
10月9日(水)	4	〃	分娩期の理解と看護	分娩の経過、アセスメントと看護ケア	看4
10月23日(水)	2	喜多	妊娠期の異常	ハイリスク妊娠とケア	看3
10月23日(水)	3	〃	妊娠期の異常	ハイリスク妊娠とケア	看4
10月23日(水)	4	立岡	妊娠期・分娩期の看護の役割	妊娠期～分娩期の心理・社会的特性と看護ケア	看4
10月30日(水)	3・4	花原・中井・立岡・土川・吉川・病棟助産師	技術演習1・2	妊娠期のケア 分娩期のケア	看実
11月6日(水)	2	立岡	母性看護における看護過程と理論	オレムのセルフケア理論 ウェルネスの看護論 愛着理論	看3
11月6日(水)	3・4	花原	妊娠期の看護	妊娠期(切迫早産)事例のアセスメント	看3
11月13日(水)	2	立岡	産褥期の看護	産褥期の身体的・心理的变化とケア	看3
11月13日(水)	3	中井	新生児期の看護	新生児の生理とアセスメント・ケア	看4
11月13日(水)	4	〃	新生児期の異常と看護	新生児期の異常とケア	看4

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
11月20日(水)	2	立岡	産褥期の看護	乳房の変化とケア	看3
11月20日(水)	3	中井	産褥期の看護	産褥期のアセスメント・ケア	看4
11月20日(水)	4	花原	帝王切開の看護	帝王切開とケア	看4
11月27日(水)	2	花原・6A病棟副看護師長；助産師	周産期の看護・子育て支援	周産期看護の実際／地域での子育て支援	看3
11月27日(水)	3	中井・花原・土川	産褥・新生児の事例	事例のアセスメントの視点	看3・看2・看4
11月27日(水)	4	花原・中井・土川	産褥・新生児の事例	事例のグループワーク	看3・看2・看4
12月4日(水)	2	中井・花原・立岡・土川・吉川	技術演習3	産褥期のケア 新生児の観察 乳房ケア	看実・看3
12月4日(水)	3・4	〃	技術演習4・5	産褥期のケア 新生児の観察 乳房ケア	看実
12月11日(水)	3	中井・花原・吉川・土川	産褥・新生児の事例	発表準備	看4・看2・看3
2020年					
12月18日(水)	3	花原・中井・吉川・土川	産褥・新生児の事例	事例のアセスメント、診断、ケアプラン発表準備	看4・看2・看3
1月8日(水)	3・4	花原・中井・立岡・喜多・吉川・病棟助産師	技術演習6・7	分娩期ケアのロールプレイ 保健指導案作成	看実 看4
1月15日(水)	3・4	花原・中井・立岡・喜多・吉川	事例発表	事例のアセスメント、診断、ケアプラン発表	看4

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式、演習形式、グループワークと発表の形式を取る。
アクティブラーニングを取り入れた能動的学修を行う。
スライド、DVDなど適宜使用する。

7 評価方法

出席状況10%、グループワーク・プレゼンテーション・討論10%、保健指導案10%、定期試験70%により評価する。
全回出席を前提とする。
グループワークのまとめを発表資料として提出してもらう。
学習目標に掲げた項目の全範囲を対象とした筆記試験を行う。
定期試験で60%以上をとる必要がある。

8 教科書・参考文献

横尾京子他 編：母性看護実践の基本，メディカ出版，第4版，2016。
立岡弓子 編著：『新訂版 周産期ケア・マニュアル』第2版，サイオ出版，2014。

9 学生へのメッセージ

講義、学内演習を通じて母性看護に関する知識・技術の統合に努めて欲しい。
講義には指定のテキスト（今年度よりテキストを変更）を準備して臨むこと。

育成期小児看護学

1 担当教員名

教授 桑田 弘 美 (臨床看護学講座)
講師(学内) 白坂 真 紀 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第3学年前期 2単位

3 学習目標

ライフステージと健康Ⅱで学んだことをベースに、健康障害をもつ子どもと家族の実際を理解し、さまざまな状況にある子どもと家族の特徴と看護を習得する。

4 授業概要

子どもは常に成長・発達している存在であるが、健康障害によってその成長・発達が妨げられるおそれがある。また、子どもの家族は、子どもの生活を規定する存在であり、家族の関わり方によって、子どものQOLは大きく影響を受ける。ライフステージと健康Ⅱで、子どもと家族の関係について、繰り返し学習してきた。この授業では、健康障害をもつ子どもと家族の実際を理解し、看護師としてどのようにケアをしていくとよいのか、考察し演習で実践する。

5 授業内容

できるだけ健康障害をもつ子どものイメージがつきやすいように、DVDなども使用して具体的に学習し、演習で実際に行い、ケアの工夫を考える。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月10日(水)	1	桑田	健康問題をもつ子どもと家族の看護	子どもの疾病・障がいへの理解 疾病・治療に伴うストレス 子どもの疾病・障がいに対する家族の反応	看1
4月10日(水)	2	〃	入院している子どもと家族の看護	入院している子どもと家族 入院環境	看1
4月17日(水)	1・2	白坂	子どものアセスメントに必要な技術1・2	アセスメントに必要な技術 身体的アセスメントの方法	看1
4月24日(水)	1・2	〃	症状を示す子どもの看護1・2	一般状態、痛み、呼吸・循環器系の症状、発熱、消化器系の症状、水分・電解質異常など	看1
5月8日(水)	1・2	〃	検査や処置を受ける子どもの看護	検査・処置(与薬、輸液管理、抑制、検体採取、罨法、清潔、排泄など)	看1
5月15日(水)	1	桑田・白坂・武村佳奈子(看護部・救急看護認定看護師)	急性期にある子どもと家族の看護 周手術期の子どもと家族の看護	急性期の特徴 急性期にある子どもと家族の特徴と看護 周手術期の特徴 術前・術後の子どもと家族の看護	看1
5月15日(水)	2	〃	外来における子どもと家族の看護 小児期感染症と看護 救急処置が必要な子どもと家族の看護	外来の機能と看護 継続看護 小児のトリアージ 小児期感染症と予防接種 子どもに多い事故の種類 救急処置	看1
5月22日(水)	1	桑田・白坂	活動制限が必要な子どもと家族の看護	活動制限の目的・種類 身体的・心理的な影響 ストレスとコーピング	看1
5月22日(水)	2	〃	プレパレーション	プレパレーションの意義と現状 プレパレーションの演習	看1
5月29日(水)	1	〃	プレパレーションの実際1	プレパレーションの演習	看1
5月29日(水)	2	〃	プレパレーションの実際2	プレパレーションの演習	看1
				まとめ 発表会	
6月5日(水)	1	桑田	慢性期にある子どもと家族の看護	慢性期の特徴 小児慢性特定疾患治療研究事業 慢性期にある子どもと家族の特徴と看護	看1

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
6月5日(水)	2	桑田	先天的な問題をもつ子どもと家族の看護	先天異常の種類と特徴 先天的な問題をもつ子どもと家族の看護	看1
6月12日(水)	1	〃	心身障がいをもつ子どもと家族の看護	心身障がいの定義・分類・特徴 障がいをもつ子どもと家族の看護	看1
6月12日(水)	2	〃	重症心身障がいをもつ子どもと家族の看護	重症心身障がいの定義 重症児の原因疾患 二次障害とケア	看1
6月19日(水)	1	〃	難病をもつ子どもと家族の看護 感覚障害をもつ子どもと家族の看護	希少難病をもつ子どもと家族の看護 地域における患者会活動 視覚障害、聴覚・言語障害をもつ子どもと家族の看護	看1
6月19日(水)	2	白坂	NICUに入院している子どもと家族の看護	NICUの特徴 NICUに入院している子どもと家族の看護	看1
6月26日(水)	1	桑田・白坂	在宅療養をする子どもと家族の看護	在宅療養をする子どもと家族の特徴と看護 社会資源の利用方法 学校生活	看1・看実
6月26日(水)	2	桑田	終末期にある子どもと家族の看護	子どもの死の概念 デス・エデュケーション 子どもに特徴的な悲嘆反応 子どものターミナルケア	看1・看実
7月3日(水)	1	桑田・白坂・臨床教育看護師	小児看護技術演習1	病児の沐浴	看1・看実
7月3日(水)	2	〃	看護過程演習1	看護過程グループワーク (患児の全体像)	看1・看実
7月10日(水)	1	〃	小児看護技術演習2	検査介助・呼吸管理・保育器管理	看1・看実
7月10日(水)	2	〃	看護過程演習2	看護過程グループワーク (患児のアセスメント)	看1・看実
7月17日(水)	1	〃	小児看護技術演習3	子どもの採血・輸液管理	看1・看実
7月17日(水)	2	〃	看護過程演習3	看護過程グループワーク (看護計画立案)	看1・看実
7月24日(水)	1	〃	小児看護技術演習4	調乳・離乳食 包帯法	看1・看実
7月24日(水)	2	〃	看護過程演習4	看護過程発表会・討議	看1・看実

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義と演習

講義ではミニテスト、演習では課題レポートを毎回行う。

パワーポイント、DVD教材使用。

7 評価方法

筆記試験及びレポートの評価を含めて6割以上の得点で合格とする。

出席回数が全講義数の2/3以上の出席（遅刻3回あるいは早退3回は1日の欠席、30分以上の遅刻は欠席とみなすこともある）をもって、筆記試験の受験資格要件とする。ミニテストの提出と演習時の出席確認で出席とみなす。

8 教科書・参考文献

教科書：

特に指定しない

参考文献：

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学1 医学書院

看護系標準教科書 小児看護学 オーム社

成人保健看護学Ⅰ

1 担当教員名

教授	宮松直美	(臨床看護学講座)	非常勤講師
助教	東さおり	(臨床看護学講座)	伊波早苗 (草津総合病院 看護部看護部長)
助教	炭本佑佳	(臨床看護学講座)	森本朱実 (宝塚大学 看護学部 講師)
助手	岡本智子	(臨床看護学講座)	呉代華容

2 配当学年等

第3学年 前期前半 2単位

3 学習目標

成人期にある人々が抱える健康障害とそれに対する看護過程の展開、看護実践の方法を学習する。

4 授業概要

1. 循環機能障害、呼吸機能障害、栄養代謝障害など成人期に発症・進展する様々な機能障害をもつ人の対象理解を深める。
2. 上記の障害を有する成人への看護実践の原理を理解し、必要とされる知識を習得する。
3. 上記の障害を有する成人への看護実践に必要な技術を習得する。
4. 上記の障害を有する成人への看護実践について、事例を用いて看護過程の展開を学ぶ。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	教室
2019年				
4月11日(木)	1・2	宮松	循環機能障害を有する成人の看護①②	看1
4月12日(金)	1	〃	循環機能障害を有する成人の看護③：周手術期看護	看1
4月12日(金)	2	宮松・平岩 (リハビリテーション部)	循環機能障害を有する成人の看護④：心臓リハビリテーション	看1
4月18日(木)	1・2	宮松・炭本・東・岡本・臨床教育看護師 (看護部)	循環機能障害を有する成人の看護⑤⑥：演習 (心電図、モニター)	看実
4月19日(金)	1・2	呉代	呼吸機能障害を有する成人の看護①②	看1
4月25日(木)	1	〃	呼吸機能障害を有する成人の看護③：周手術期看護	看1
4月25日(木)	2	宮松・岩井 (リハビリテーション部)	呼吸機能障害を有する成人の看護④：呼吸リハビリテーション	看1
4月26日(金)	1・2	宮松・森本	呼吸・循環機能障害を有する成人の看護：演習 (アセスメントと問題抽出)	看1
5月9日(木)	1・2	宮松・東・炭本・岡本・臨床教育看護師 (看護部)	呼吸機能障害を有する成人の看護⑤⑥：演習 (吸引・吸入)	看実
5月16日(木)	1	宮松	栄養代謝機能障害を有する成人の看護①：消化吸収・排泄機能障害	看1
5月16日(木)	2	〃	栄養代謝機能障害を有する成人の看護②：周手術期看護	看1
5月17日(金)	1・2	宮松・東・炭本・岡本・臨床教育看護師 (看護部)	栄養代謝機能障害を有する成人の看護③④：演習 (経管栄養、中心静脈栄養)	看実
5月23日(木)	1・2	伊波	栄養代謝機能障害を有する成人の看護⑤⑥：耐糖能障害	看1
5月24日(金)	1・2	宮松・東・炭本・岡本・山口 (看護部)	栄養代謝機能障害を有する成人の看護⑦⑧：演習 (血糖測定)	看実
5月30日(木)	1・2	伊波	栄養代謝機能障害を有する成人の看護⑨⑩：看護過程の展開	看1
5月31日(金)	1・2	宮松	栄養代謝機能障害を有する成人の看護⑪⑫：肝機能障害	看1
6月6日(木)	1	〃	栄養代謝機能障害を有する成人の看護⑬：肝機能障害	看1
6月6日(木)	2	〃	内部環境調節機能障害を有する成人の看護①：腎機能障害	看1
6月7日(金)	1・2	〃	内部環境調節機能障害を有する成人の看護②③：腎機能障害	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義および演習

パワーポイントやビデオ等の視聴覚教材を用いることもある

7 評価方法

修了の認定は、筆記試験（70%）およびレポート（20%）・演習（10%）の評価によって行う。ただし、筆記試験60%以上の得点を修了の認定要件とする。

8 教科書・参考文献

- 1) 慢性期看護論 鈴木志津枝・藤田佐和編集 ニューヴェルヒロカワ
- 2) 急性期看護論 鈴木志津枝・藤田佐和編集 ニューヴェルヒロカワ
- 3) 病気がみえる vol.1 消化器 メディック・メディア
- 4) 病気がみえる vol.2 循環器 メディック・メディア
- 5) 病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 メディック・メディア
- 6) 病気がみえる vol.4 呼吸器 メディック・メディア

9 オフィスアワー（授業相談）

毎日12～13時@509号室、516号室（看護学科棟5階）（教室全体で対応）

10 学生へのメッセージ

- ・演習の日は白衣で3階演習室へ集合して下さい。開始時間以降の入室は認めないことがあります。
- ・レポートは指定された提出期限内に、看護学科事務室前の所定のBOXもしくはe-mail<hqahn@belle.shiga-med.ac.jp>へ提出してください（提出方法は指示に従うこと）。

11 授業用E-mail

hqahn@belle.shiga-med.ac.jp

成人保健看護学Ⅱ

1 担当教員名

教授	宮松直美	(臨床看護学講座)	非常勤講師
助教	東さおり	(臨床看護学講座)	横田千晶
助教	炭本佑佳	(臨床看護学講座)	(国立循環器病研究センター病院 脳血管内科医長)
助手	岡本智子	(臨床看護学講座)	今堀智恵子
			(京都看護大学 講師)
			呉代華容

2 配当学年等

第3学年 前期後半 2単位

3 学習目標

成人期にある人々が抱える健康障害とそれに対する看護過程の展開、看護実践の方法を学習する。

4 授業概要

1. 脳神経機能障害、運動機能障害、生殖機能障害、身体防御機能障害を有する成人、生命の危機的状況下にある成人、緩和ケアを必要とする成人の対象理解を深める。
2. 上記の障害を有する成人への看護実践の原理を理解し、必要とされる知識を習得する。
3. 上記の障害を有する成人への看護実践に必要な技術を習得する。
4. 上記の障害を有する成人への看護実践について、事例を用いて看護過程の展開を学ぶ。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	教室
2019年				
6月13日(木)	1・2	宮松	脳神経機能障害を有する成人の看護①②	看1
6月14日(金)	1	〃	脳神経機能障害を有する成人の看護③：周手術期看護	看1
6月14日(金)	2	〃	脳神経機能障害を有する成人の看護④：看護過程の展開	看1
6月20日(木)	1・2	宮松・東・炭本・岡本・ 臨床教育看護師(看護部)	脳神経機能障害を有する成人の看護⑤⑥：演習(点滴・輸液管理)	看実
6月21日(金)	1	横田	脳神経機能障害を有する成人の看護⑦：特別講義 SCU	看1
6月21日(金)	2	宮松	脳神経機能障害を有する成人の看護⑧：特別講義 SCU	看1
6月27日(木)	1・2	呉代	生命の危機的状況下にある成人の看護①②：ICU看護	看1
6月28日(金)	1	宮松・東・炭本・岡本・ 川添(臨床工学部副技士長)	生命の危機的状況下にある成人の看護③：演習(人工呼吸器)	看1
6月28日(金)	2	〃	生命の危機的状況下にある成人の看護④：演習(人工呼吸器)	看実
7月4日(木)	1・2	宮松・東・炭本・ 岡本・小越(看護部)	生命の危機的状況下にある成人の看護⑤⑥：演習(ACLS)	看実
7月5日(金)	1・2	宮松	性・生殖機能障害を有する成人の看護①②	看1
7月11日(木)	1	宮松・臼井(看護部)	性・生殖機能障害を有する成人の看護③：事例演習	看1
7月11日(木)	2	宮松	運動機能障害を有する成人の看護①：看護過程の展開	看1
7月12日(金)	1・2	〃	運動機能障害を有する成人の看護②③：看護過程の展開	看1
7月18日(木)	1	今堀	緩和ケア①：ペインコントロール	看1
7月18日(木)	2	〃	緩和ケア②：グリーフケア	看1
7月19日(金)	1・2	宮松	身体防御機能障害を有する成人の看護①②	看1
7月25日(木)	1	〃	身体防御機能障害を有する成人の看護③：化学療法	看1
7月25日(木)	2	宮松・北(看護部)	身体防御機能障害を有する成人の看護④：事例演習	看1
7月26日(金)	1・2	宮松・東・炭本・岡本・ 臨床教育看護師(看護部)	身体防御機能障害を有する成人の看護⑤⑥：演習(ドレーン・ 水分出納管理)	看実
7月31日(水)	1・2	宮松・東・炭本・岡本	まとめ	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義および演習

パワーポイントやビデオ等の視聴覚教材を用いることもある

7 評価方法

修了の認定は、筆記試験（70%）およびレポート（20%）・演習（10%）の評価によって行う。ただし、筆記試験60%以上の得点を修了の認定要件とする。

8 教科書・参考文献

- 1) 慢性期看護論 鈴木志津枝・藤田佐和編集 ニューヴェルヒロカワ
- 2) 急性期看護論 鈴木志津枝・藤田佐和編集 ニューヴェルヒロカワ
- 3) 病気がみえる vol.5 血液 メディック・メディア
- 4) 病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 メディック・メディア
- 5) 病気がみえる vol.7 脳・神経 メディック・メディア
- 6) 病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 メディック・メディア

9 オフィスアワー（授業相談）

毎日12～13時@509号室、@516号室（看護学科棟5階）（教室全体で対応）

10 学生へのメッセージ

レポートは指定された提出期限内に、看護学科事務室前の所定のBOXもしくはe-mail<hqahn@belle.shiga-med.ac.jp>へ提出してください（提出方法は指示に従うこと）。

11 授業用E-mail

hqahn@belle.shiga-med.ac.jp

高齢者看護学

1 担当教員名

准教授 荻田 美穂子 (臨床看護学講座)
 助教 片寄 亮 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第3学年 前期 2単位

3 学習目標

1. フレイルの状態を理解し、その予防的視点が分かる。
2. 高齢者特有の症状や障害を理解し、生活に及ぼす影響についてアセスメントする方法や具体的看護援助の方法を習得する。
3. 加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化をアセスメントし、看護計画立案、実施、評価するための能力を培う。
4. 尊厳を保持し、高齢者個々にとって最適な健康をめざすための目標設定の考え方が分かる。
5. 我が国の超高齢社会の動向を理解し、病院・介護施設・地域等での看護職の役割を考えることができる。

4 授業概要

高齢者看護に必要な、知識、技術、態度を学ぶ。

5 授業内容

高齢者特有の症状や障害（フレイル・歩行障害・転倒・骨折・嚥下障害・脱水・感染・失禁・皮膚障害・睡眠障害・せん妄・視覚聴覚障害・認知症・うつ等）と看護援助方法、生活習慣病や脳血管疾患、運動器疾患等を有する高齢者の在宅移行支援方法など

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月11日(木)	3	荻田	授業オリエンテーション 高齢者看護学の考え方	授業の進め方 高齢者看護の理念と目的	看1
4月11日(木)	4	〃	対象理解	加齢と生活機能の変化についての振り返り 高齢者のフレイルと予防 高齢者に対するコミュニケーション法	看1
4月18日(木)	3	〃	症状・障害別看護の実際： 歩行障害・転倒（1）	高齢者の歩行の特徴に関する振り返り 歩行障害・転倒のメカニズム 歩行障害・転倒が生活に及ぼす影響	看1
4月18日(木)	4	〃	症状・障害別看護の実際： 歩行障害・転倒（2）	高齢者の転倒予防 歩行障害・転倒を有する高齢者の看護援助 高齢者の廃用性症候群と予防 転倒事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
4月25日(木)	3	〃	症状・障害別看護の実際： 嚥下障害（1）	高齢者の摂食動作・口腔の特徴に関する振り返り 口腔・摂食嚥下機能障害のメカニズム 口腔・摂食嚥下機能低下が生活に及ぼす影響	看1
4月25日(木)	4	〃	症状・障害別看護の実際： 嚥下障害（2）	高齢者の口腔・摂食嚥下機能低下予防 口腔・摂食嚥下機能障害を有する高齢者の看護援助 高齢者の低栄養と予防 嚥下障害事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
5月9日(木)	3	〃	症状・障害別看護の実際： 排泄障害（1）	高齢者の排泄の特徴に関する振り返り 排尿・排便・排泄動作障害の種類とメカニズム 高齢者の排泄機能低下が生活に及ぼす影響	看1
5月9日(木)	4	〃	症状・障害別看護の実際： 排泄障害（2）	高齢者の排泄機能低下予防 高齢者に対して自然な排泄を促す看護援助 排泄障害事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
5月16日(木)	3	〃	症状・障害別看護の実際： 皮膚障害（1）	高齢者の皮膚の特徴に関する振り返り 皮膚真菌症・皮膚掻痒症のメカニズムとスキントラブル 褥瘡のメカニズムと評価法	看1
5月16日(木)	4	〃	症状・障害別看護の実際： 皮膚障害（2）	高齢者の予防的スキンケア 皮膚障害を有する高齢者の看護援助 皮膚障害事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
5月23日(木)	3	〃	症状・障害別看護の実際： 脱水・浮腫	高齢者における脱水の特徴と看護援助 高齢者における浮腫の特徴と看護援助 脱水・浮腫事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
5月23日(木)	4	荻田	症状・障害別看護の実際：易感染	高齢者における免疫機能の特徴についての振り返り 高齢者におけるインフルエンザや感染性胃腸炎の特徴と看護援助 感染症事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
5月30日(木)	3	〃	症状・障害別看護の実際：視覚聴覚障害	高齢者における感覚機能の特徴に関する振り返り 高齢者における視覚聴覚障害の特徴と看護援助 視覚聴覚障害事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
5月30日(木)	4	〃	症状・障害別看護の実際：生活リズムの乱れ	高齢者における生活リズム障害（睡眠障害・せん妄）と原因 高齢者の生活リズムの乱れを最小限にするための看護援助 せん妄事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
6月6日(木)	3	〃	症状・障害別看護の実際：認知機能障害（1）	認知症の定義・認知症治療およびケアの変遷 認知症の原因疾患 認知症の症状と評価法	看1
6月6日(木)	4	〃	症状・障害別看護の実際：認知機能障害（2）	認知症の症状やその進行が生活に及ぼす影響 認知症の人の心理 認知症予防のための看護援助 BPSDとその看護援助	看1
6月13日(木)	3	〃	症状・障害別看護の実際：認知機能障害（3）	コミュニケーション	看1
6月13日(木)	4	荻田・片寄	症状・障害別看護のまとめ 看護過程の展開（1）	症状・障害別看護に関する確認問題を解いて、ポイントの確認 事例演習オリエンテーション（事例演習の進め方、事例紹介）	看1
6月20日(木)	3	荻田	慢性疾患を抱える高齢者ケア（1）	高齢者で重視すべき慢性疾患管理 高齢者の薬物療法の問題点とその対処	看1
6月20日(木)	4	荻田・看護部	慢性疾患を抱える高齢者ケア（2）	慢性疾患を有する高齢者の看護援助の実際 臨床からの症例提示と意見交換	看1
6月27日(木)	3	片寄・荻田・看護部	看護過程の展開（2）・技術演習（1）	グループに分かれて以下の演習 Aグループ：技術演習（嚥下機能低下を有する患者への食事援助など） Bグループ：事例演習	看1・看実
6月27日(木)	4	〃	看護過程の展開（3）・技術演習（2）	第21回の内容継続	看1・看実
7月4日(木)	3	〃	看護過程の展開（2）・技術演習（1）	グループに分かれて以下の演習 Aグループ：事例演習 Bグループ：技術演習（嚥下機能低下を有する患者への食事援助など）	看1・看実
7月4日(木)	4	〃	看護過程の展開（3）・技術演習（2）	第23回の内容継続	看1・看実
7月11日(木)	3	荻田	高齢者の在宅移行支援の実際（1）	高齢者における継続看護の考え方	看1
7月11日(木)	4	荻田・看護部	高齢者の在宅移行支援の実際（2）	退院支援の実際 臨床からの症例提示と意見交換	看1
7月18日(木)	3	片寄・荻田・前川昭次（リハビリテーション部技士長）	技術演習（3）	技術演習（廃用予防のための援助技術）	看実
7月18日(木)	4	〃	技術演習（4）	第27回の内容継続	看実
7月25日(木)	3	荻田・片寄	看護過程の展開（4）	各事例の分析・看護問題の抽出 ・初期計画の発表 意見交換とまとめ	看1
7月25日(木)	4	〃	看護過程の展開（5）	第29回の内容継続	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義と演習

授業の内容・順序など、一部変更する場合がある。講義と演習の併用で学習を進める。

7 評価方法

総授業時間の3分の1を超えて欠席した場合は、本試験を受験することはできない。

本試験80%、授業の取り組み状況（レポート・グループワーク・発表など）20%で評価を行う。

ただし、本試験は100点満点中60点以上あることが単位認定の必須要件とする。

8 教科書・参考文献

教科書：

授業でその日の資料を配布する。

教科書：老年看護学技術、南江堂

参考文献：

参考文献：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学、医学書院

参考文献：健康長寿診療ハンドブック、編集／発行 老年医学会

その他、講義中に随時紹介

9 学生へのメッセージ

高齢者看護は加齢変化を捉えることが前提になります。既習の知識を復習して講義にのぞみましょう。また、日頃から高齢者の生活動作や生活環境に関心を向けてみましょう。

精神看護学

1 担当教員名

教授 河村 奈美子（臨床看護学講座）
講師(学内) 藤本 智美（臨床看護学講座）

2 配当学年等

第3学年 前期 2単位

3 学習目標

精神疾患に関する基礎的知識を学び、精神の健康問題に直面している対象とその家族を理解するとともに、彼らに必要な援助方法を習得する。個別的な看護を展開するための基礎的能力を養う。

4 授業概要

以下のような項目について学修し、精神看護技術を修得することをめざす。

1. 精神の発達に関する精神疾患とその看護について理解する。
2. 主な精神症状、精神科疾患とその看護について理解する。
3. 精神看護における治療的患者—看護者関係について理解し、効果的な看護技術を習得する。
4. 自我構造をとらえ、オレム・アンダーウッドのセルフケアモデルに基づく看護過程を考えることができる。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月8日(月)	1・2	河村	精神看護における援助技術	精神看護におけるコミュニケーション技術、場面の再構成	看1
4月15日(月)	1・2	〃	精神看護における援助技術	CBT、ACT（認知行動療法）、アドヒアランス、SST、心理教育	看1
4月22日(月)	1	藤本	精神疾患を持つ対象への看護	気分障害、神経症を持つ対象の看護	看1
4月22日(月)	2	〃	精神疾患を持つ対象への看護	依存症（物質依存、摂食障害）を持つ対象の看護	看1
5月13日(月)	1・2	河村	精神疾患を持つ対象への看護	統合失調症急性期・回復期にある対象の看護	看1
5月20日(月)	1・2	〃	精神状態のアセスメント	MSE・オレムアンダーウッドモデルの活用	看1
5月27日(月)	1・2	河村・藤本	治療的患者—看護者関係①	治療的かかわり①ロールプレイを通して対象者の理解と看護の方向性について考える	看1
6月3日(月)	1・2	河村	精神疾患を持つ対象への看護	発達障害をもつ対象者への支援と看護	看1
6月10日(月)	1	〃	精神疾患を持つ対象者の地域生活の支援①	移行期における看護	看1
6月10日(月)	2	〃	精神科治療と看護①	薬物療法と看護	看1
6月17日(月)	1・2	河村・藤本	家族の支援	ケースマネジメント、家族のアセスメント ジェノグラム・エコマップから家族を捉える	看1
6月24日(月)	1	〃	精神科治療と看護②	身体療法・精神療法・リハビリテーションと看護	看1
6月24日(月)	2	〃	精神疾患を持つ対象者の地域生活の支援②	地域における支援の実際を学ぶ	看1
7月1日(月)	1・2	〃	セルフケア理論を用いた看護展開	アセスメントの方法と記録の使い方、事例の展開（アセスメント～看護計画立案）	看1
7月8日(月)	1	〃	セルフケア理論を用いた看護展開	事例の展開	看1
7月8日(月)	2	河村	セルフケア理論を用いた看護展開	事例の展開	看1
7月16日(火)	1・2	〃	セルフケア理論を用いた看護展開	展開事例の発表、展開事例の説明	看1
7月22日(月)	1・2	〃	精神疾患を持つ対象者の地域生活の支援	視聴覚教材を活用し精神疾患を持つ対象者と家族・地域のつながり、看護について考える	看1
7月29日(月)	1・2	河村・藤本	治療的患者—看護者関係②	治療的かかわり②ロールプレイ	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

グループディスカッションなどを多く含みます。視聴覚教材を適宜活用する予定です。講義では、毎回出席カードにて、学習目標と評価及び、感想を求めます。ワークブックを配布予定ですので、各自の積極的な学びのために有効活用してください。

7 評価方法

総授業時間数の3分の1を超えて欠席している場合は、本試験を受験することができません。期末試験、レポート、学習の取り組み状況等により総合的に評価します。総合評価の60%以上を単位認定の要件とします。(再試験は1回のみ実施)

8 教科書・参考文献

教科書：

新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論精神保健, メヂカルフレンド社
テキストISBN番号 9784839233051

新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護, メヂカルフレンド社
テキストISBN番号 9874839233068

参考文献：

これまでの講義資料を活用すること。その他、参考文献・資料等は適宜提示する。

9 オフィスアワー(授業相談)

電話やメールによる事前連絡の上で、時間調整することを前提に随時対応する。

10 学生へのメッセージ

グループの取り組みが多くなります。ディスカッションやプレゼンテーション、グループワークにおける積極的な授業への参加を求めます。

公衆衛生看護学概論

1 担当教員名

教授 伊藤 美樹子（公衆衛生看護学講座）

2 配当学年等

第2学年 後期 2単位

3 学習目標

公衆衛生看護学の基礎となる理念・概念および活動を展開するための基本的な知識を学ぶ。

公衆衛生看護活動は、健康に影響を及ぼす社会・環境要因の把握、地域診断、母子保健や成人保健を中心とした健康増進、疾病予防をはじめ、介護保険、障害福祉、被災者支援など、保健医療福祉の全域にわたる。そうした活動の実際を紹介しながら、人々の健康で文化的な生活を営む権利を保障するための、個人・家族、集団、組織の支援のあり方、システム化・施策化、地域活動など、公衆衛生看護活動の実際と理念を概観する。

4 授業概要

- (1) 公衆衛生看護学の定義、対象、機能が説明できる。
- (2) 人々の健康が社会経済文化的な影響を受けていることがわかる。
- (3) 健康増進、疾病予防の方法、活動成果の評価が理解できる。
- (4) 個人・家族、集団、組織の支援における考え方や方法がわかる。
- (5) 住民の主体的な活動を育成する意義や方法がわかる。
- (6) 地域の課題を把握し、活動計画を策定するための地域診断がわかる。

5 授業内容

公衆衛生に関する身近なトピックの紹介、分析を通じて、公衆衛生看護学の基本を教授する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
10月8日(火)	1	伊藤	公衆衛生看護とは	公衆衛生看護の定義、対象、機能	看4
10月8日(火)	2	〃	公衆衛生看護の対象	健康の社会的決定要因 健康の環境的決定要因	看4
10月15日(火)	1	〃	公衆衛生看護の倫理	人権を守る 社会的弱者を見出す 社会的公正性を鑑みて事業を実施する 個人情報の取り扱い	看4
10月15日(火)	2	〃	公衆衛生看護の歴史(中間テスト)	公衆衛生看護の草創から確立までの歴史、高度経済成長期から現在にいたるまでの歴史(中間テスト)	看4
10月29日(火)	1	〃	公衆衛生看護の活動の方法1	地区活動の展開方法	看4
10月29日(火)	2	〃	公衆衛生看護の活動の方法2	地区活動の展開方法	看4
11月12日(火)	1	〃	公衆衛生看護の活動の方法3	地区活動の展開方法	看4
11月12日(火)	2	〃	公衆衛生看護の活動の実際1	人口動態統計	看4
11月19日(火)	1	〃	公衆衛生看護の活動の実際2	人口動態統計	看4
11月19日(火)	2	〃	公衆衛生看護の活動の実際3	母子保健	看4
11月26日(火)	1	〃	公衆衛生看護の活動の実際4	成人保健	看4
11月26日(火)	2	〃	公衆衛生看護の活動の実際5	高齢者保健	看4
12月3日(火)	1	〃	公衆衛生看護の活動の実際6	感染症保健	看4
12月3日(火)	2	〃	公衆衛生看護の活動の実際7	産業保健	看4
12月10日(火)	2	〃	まとめ	まとめ	看4

6 評価方法

2/3以上の出席を要する。

講義への参加度 10%

ミニレポート 10%

試験 80%

7 教科書・参考文献

最新公衆衛生看護学 総論：日本看護協会出版会
国民衛生の動向：厚生労働統計協会

8 オフィスアワー（授業相談）

質問は随時受け付けますが、メールで必ず事前に連絡を下さい。

9 学生へのメッセージ

みなさんの積極的な学びを期待します。

学 校 保 健

1 担当教員名

講 師 興 水 めぐみ (公衆衛生看護学講座)

非常勤講師

松 本 訓 枝 (岐阜県立看護大学 准教授)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期後半 1単位

3 学 習 目 標

1. 学校保健の概念が理解できる。
2. 学校保健活動の目的および特性が理解できる。
3. 養護教諭の役割と機能について理解できる。
4. 児童・生徒等の健康課題が理解できる。
5. 生涯にわたる心身の健康保持増進の手だてについて考えることができる。

4 授 業 概 要

児童・生徒等の心身の健康な発育を保障する学校保健活動の実際とその方法について学習する。

5 授 業 内 容

授業は講義を中心に展開する。そのうち1回については、養護教諭を特別講師に招聘する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	内 容	教室
2019年					
7月2日(火)	4	興 水	学校保健活動とは	学校保健の概念、しくみ、学校保健の目的・特性 養護教諭の専門性、役割とその歴史の変遷	看1
7月2日(火)	5	〃	養護教諭の活動		看1
7月9日(火)	4	〃	保健室の機能と運営		看1
7月9日(火)	5	〃	学校保健統計からみた学齢期の健康状態		看1
7月23日(火)	4	〃	学校給食、学校感染症		看1
7月23日(火)	5	〃	特別支援教育		看1
7月30日(火)	4	松 本	学校の危機管理1		看1
7月30日(火)	5	〃	学校の危機管理2		看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、一部変更する場合がある。適宜、視聴覚教材や副読本を使用して学校看護のイメージをつける。またグループワーク等を取り入れる。

7 評 価 方 法

授業への参加度、課題レポート20点、筆記試験80点を総合して判断する。ただし、全授業の2/3以上(2回の遅刻および早退は1回の欠席とみなす)の出席をもって筆記試験の受験資格とする。

8 教科書・参考文献

教科書：適宜、提示する。

参考文献：適宜、提示する。

9 オフィスアワー(授業相談)

質問や相談は随時受け付けます。時間の確保のため、必ず事前にメールや電話でアポイントを取るようになしてください。

10 学生へのメッセージ

授業内容に関連した文献、新聞記事等に関心を持ち、自ら学びを深める機会としてみてください。

在宅看護学

1 担当教員名

講師 興水 めぐみ (公衆衛生看護学講座)
 助教 平和也 (公衆衛生看護学講座)
 特任助教 清水 奈穂美 (公衆衛生看護学講座)

2 配当学年等

第3学年 前期 2単位

3 学習目標

1. 在宅看護の歴史的背景を理解する。
2. 在宅看護の特性と役割を理解する。
3. 療養者と家族の権利や意思を尊重し、セルフケアを支援する看護過程を展開するための基礎的知識を習得する。
4. 療養生活を支援する看護職の連携や協働について理解する。
5. 療養生活を支援する保健・医療・福祉のネットワークシステムと諸制度を理解する。

4 授業概要

高齢化の進展や家族機能の変化といった社会背景から、病気や障がいのある人を住み慣れた地域で支え、その人らしく生活できるように支援する看護活動への期待は大きい。本科目では、地域での看護活動の理解を促し、暮らしを支える看護への興味関心の涵養をめざす。特に訪問看護活動の特性と役割、保健・医療・福祉のネットワークシステムと諸制度の理解を基盤にしなが、療養者とその家族を支える看護の基礎的知識を習得する。

5 授業内容

授業は講義と演習を組み合わせる。講義のうち1回については、訪問看護の実践家を特別講師に招聘する。演習では、療養生活の支援に必要な基本的技術を取り上げる。

年月日(曜)	時 限	担当教員	項 目	内 容	教室
2019年					
4月9日(火)	1	興水	在宅看護の概要	在宅看護の背景、目的と特徴	看1
4月9日(火)	2	〃	在宅看護の対象者	療養者の特性	看1
4月16日(火)	1	〃	在宅看護の対象者	家族の特性	看1
4月16日(火)	2	〃	在宅看護演習	ケース・スタディ：在宅看護の対象者	看1
4月23日(火)	1	〃	在宅看護演習	グループワーク：在宅看護の対象者	看1
4月23日(火)	2	〃	在宅看護演習	グループワーク：在宅看護の対象者(発表)	看1
5月7日(火)	1	〃	在宅看護の実践	(特別講義)訪問看護ステーションの実際	看1
5月7日(火)	2	〃	在宅看護の制度	訪問看護の歴史	看1
5月14日(火)	1	〃	在宅看護の制度	訪問看護制度	看1
5月14日(火)	2	〃	在宅看護の制度	介護保険制度	看1
5月21日(火)	1	〃	在宅看護の制度	療養者とその家族への日常生活上の援助	看1
5月21日(火)	2	〃	在宅看護の制度	医療依存度の高い療養者とその家族への援助	看1
5月28日(火)	1	〃	在宅看護の制度	在宅ケアシステム、他職種との連携	看1
5月28日(火)	2	〃	在宅看護の制度	入退院時における医療機関との連携、継続看護	看1
6月4日(火)	1	〃	在宅看護演習	ケース・スタディ：在宅看護の制度	看1
6月4日(火)	2	〃	在宅看護演習	在宅看護の制度のまとめ	看1
6月11日(火)	1・2・4・5	〃	在宅看護演習	バイタルサインの測定とアセスメント、コミュニケーションの技術	看1
6月18日(火)	1・2・4・5	興水・平・清水	在宅看護演習	食事と排泄の技術①	看1・看2
6月25日(火)	1・2・4・5	〃	在宅看護演習	食事と排泄の技術②	看1
7月2日(火)	1・2	〃	在宅看護演習	地域の特徴と社会資源を把握する情報収集の技術	看1・看2

6 授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、一部変更する場合がある。適宜、視聴覚教材や副読本を使用して在宅看護のイメージをつける。

7 評価方法

授業への参加度、演習20点、課題レポート20点、筆記試験60点を総合して評価する。

全講義の2/3以上（2回の遅刻および早退は1回の欠席とみなす）の出席をもって筆記試験の受験資格とする。

8 教科書・参考文献

教科書：

原礼子 プリンシプル 在宅看護学 医歯薬出版株式会社

押川真喜子 写真でわかる訪問看護 インターメディカ

厚生指針 臨時増刊『国民衛生の動向』 厚生統計協会

押川真喜子 在宅で死ぬということ 文春文庫

参考文献：

授業時に、適宜提示する。

9 オフィスアワー（授業相談）

質問や相談は随時受け付けます。時間の確保のため、必ず事前にメールや電話でアポイントを取るようになしてください。

10 学生へのメッセージ

授業内容に関連した文献、新聞記事等に関心を持ち、自ら学びを深める機会としてください。

演習の場所や準備が必要な物は講義の中で説明します。

看護の統合と実践

1 担当教員名

教 授 伊 藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)

准 教 授 中 西 京 子 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 後期 1単位

3 学習目標

これまで学内において講義や演習を通して学習し習得してきた看護学の学びと、看護学実習における看護実践の学びとを統合させ、看護学学習者としての自己の在り方を考える学習の機会とする。

4 授業内容

卒後、医療機関や地域における科学的根拠に基づいた実践活動をリードする人材、あるいは研究者・教育者として看護学の発展に貢献する人材として活躍するには科学的探究心に基づいた研究能力、および実践活動と研究活動とのリンゲージ能力が必要である。

そこで当該科目では、各教員が実践活動と研究活動との統合の実例を自身の研究内容から紹介し、学生自身が実践家あるいは研究者・教育者としての将来像を考える契機とする。

また、講義後には若手教員をファシリテーターとしたグループワークを行い、卒業後のキャリア形成についてより具体的に考える機会を提供する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	内 容	教室
2020年					
2月3日(月)	1	伊藤・中西	オリエンテーション・講義	実践活動と研究活動との統合	看1
2月3日(月)	2・3・4	〃	講義	実践活動と研究活動との統合	看1
2月10日(月)	1	〃	グループワーク	看護職の活躍の場と求められる能力	看4
2月10日(月)	2	〃	グループワーク	卒業後のキャリア形成を考える	看4
2月10日(月)	3・4	〃	成果発表		看4

5 授業形式・視聴覚機器の活用

看護学や看護実践等のエキスパートを講師に招き、講義・討論を行う。

6 評価方法

講義への出席とレポート提出

7 教科書・参考文献

教科書・参考書は各講師の指示による。

8 学生へのメッセージ

個々の学生は、主体的かつ能動的に学習し、積極的に討論に参加することが必要です。

外国文献

1 担当教員名

教授 相見良成（基礎看護学講座）
少人数ゼミ担当教員

2 配当学年等

第4学年 前期 1単位

3 学習目標

諸外国における看護学上の最新のトピックスを原文で読み通すことにより、医学英語の基礎的な能力および看護におけるセンスの向上を目指す。

4 授業概要

看護研究担当の各教員の専門領域に関連した外国語文献を紹介してもらったり、学生自らが興味のある資料を探索する。日本語に翻訳して、各自レジュメを作成し、他の学生の前でプレゼンテーションをおこなう。その後、内容について話し合うことによってさらに学びを深める。

5 授業内容

具体的な授業内容や方法・期間については、各担当教員の指示に従うこと。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

少人数制による話し合いが中心となる。

7 評価方法

評価方法や評価基準については、各担当教員によって違いがあることを事前に了解しておくこと。

なお、第3学年後期に実施したTOEFL ITPテストの結果を、「外国文献」の評価に若干加味するが、その方法等は各担当教員の裁量であることも、併せて了解しておくこと。

8 教科書・参考文献

各担当教員から指示をもらうこと。

9 学生へのメッセージ

積極的に教員と関わり合うことで、是非とも学びを深めて欲しい。

日本語表現法

1 担当教員名

非常勤講師 神田大輔(立命館大学 非常勤講師)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 後期後半 1単位

3 学習目標

1. 分かりやすい日本語表現ができる力をつける。
2. 説得力ある仕方で自分の意見を述べる力をつける。

4 授業概要

この授業では、自分の伝えたいことを正確に表現する方法と、論理的に考え、表現する方法を学習する。学生は授業時間中に作文を行い、担当者がそれを添削して次回に返却する。また、論理的な思考力を高めるための各種のトレーニングを行う。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2020年					
2月4日(火)	1	神田	論理的な文章・論文とはどういうものか	論文についての概要	看4
2月4日(火)	2	〃	語について	正しい語の使い方	看4
2月5日(水)	1	〃	注と文献表／文について①	引用の仕方／文の基本形	看1
2月5日(水)	2	〃	文について②	文のよじれ、文末表現	看1
2月7日(金)	3	〃	文と文の関係①	接続表現(順接、逆接)	看4
2月7日(金)	4	〃	文と文の関係②／論文作成	論文作成	看4
2月12日(水)	3	〃	段落と論文全体の構成について	序論・本論・結論の三段構成	看1
2月12日(水)	4	〃	論文作成	レポート執筆作業	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

個人の学習活動を基本とする。

7 評価方法

出席(30%)と学期末レポート(70%)の合計が60%以上を合格とする。

全回出席を前提とする。やむを得ず欠席する場合は担当教員に連絡すること。レポートの評価基準は授業内で説明する。

8 教科書・参考文献

松葉祥一『ナースのための実践論文講座』(人文書院、2007年)

9 学生へのメッセージ

文章を書くのが苦手だという人は多いですが、他のジャンルに比べると論理的文章(論文)を書くことはそれほど難しいことではありません。作文と各種のトレーニングを繰り返し行うことで、分かりやすく、論理的な表現ができるようになるでしょう。

看護研究方法論

1 担当教員名

教授	桑田弘美	(臨床看護学講座)
教授	宮松直美	(臨床看護学講座)
教授	立岡弓子	(臨床看護学講座)
教授	河村奈美子	(臨床看護学講座)
教授	伊藤美樹子	(公衆衛生看護学講座)
准教授	本田可奈子	(基礎看護学講座)
准教授	荻田美穂子	(臨床看護学講座)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期後半 1単位

3 学習目標

看護専門職者は、患者様などケアをさせて頂く対象となる方々に、常に最高のケアができるよう日々研鑽を重ねている。ケアの質向上を図るために、様々な努力をしているが、特に日々の看護実践の中で生じる疑問を明確にし、解決していく能力が必要となる。看護研究は、この看護実践の基礎となる科学的知識体系を発展させていくために必要なものである。研究の必要性を理解して、卒業研究に取り組むために、看護研究についての基礎知識を習得することを目標としている。

4 授業概要

卒業研究にスムーズに取り組めるよう、研究の導入部分を具体的に教授する。看護研究の特徴等を踏まえ、実際にどのような研究がなされており、どのように研究に取り組んでいくのかを解説し、最終的に研究計画書が書けることを目指す。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	教室
2019年				
6月11日(火)	3	桑田	看護研究とは	看1
6月18日(火)	3	伊藤	看護研究の概観	看1
6月25日(火)	3	荻田	研究における倫理・文献検討	看1
7月2日(火)	3	立岡	概念枠組みと仮説	看1
7月9日(火)	3	河村	質的研究	看1
7月23日(火)	3	宮松	量的研究	看1
7月30日(火)	3	本田	研究計画書の書き方	看1
7月31日(水)	3	桑田	研究の責務	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

パワーポイント等を使用して教授する。

7 評価方法

看護研究は人に関わる研究が多く、どんな状況においても、研究をしようとする人の倫理性は重要である。学生であっても、倫理的配慮を無視して研究はできない。各講義には必ず倫理的課題を含んでいる。

基本的には3分の2以上の出席と、レポート課題の提出をもって評価するが、欠席した授業の内容によっては、看護研究を許可できない場合がある。その際には、他の講演等を受講するように連絡をするので、必ず看護研究担当教員に相談して、受講をすること。

レポート課題は、最終日に提示する。

8 教科書・参考文献

教科書：特に指定しない。

参考文献：南裕子編集：看護における研究 日本看護協会出版会他

看護研究

1 担当教員名

教授 相見良成（基礎看護学講座）
少人数ゼミ担当教員

2 配当学年等

第4学年・編入第4学年 通年 3単位

3 学習目標

目的：学部におけるこれまでの学習成果を基盤として、学生各自が看護学上の疑問・関心に基づいて積極的に先行文献を渉猟・検討し、研究課題を見出す。得られた課題に関連の深い専門分野の教員による指導のもとで看護研究を実施する。それらの一連の過程を通して研究方法の基礎について学び、看護学の発展に寄与する素養を身につけることを目的とする。

4 授業概要

看護研究方法論で学んだことを基礎とし、配属された卒業研究担当教員のもとで、研究計画を洗練し、看護研究論文を作成する。

5 授業内容

決定しているゼミにおいて、看護研究担当教員の直接指導により卒業論文を作成する。文献の探索から調査や実験を経て、卒業論文の作成に至るまでの一連のプロセスについて詳細に学ぶ。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

それぞれのゼミにおける看護研究担当教員の方針・方法に基づく。

7 評価方法

論文作成過程および論文内容を総合的に評価する。
提出期限：2020年1月24日（金）

8 教科書・参考文献

教科書・参考書は各指導教員の指示を受けること。
なお、参考URLより「論文および抄録作成の手引き」を参照のうえ、規定の書式に基づいて卒業論文を作成し提出すること。

9 学生へのメッセージ

学生は受け身的な態度に終始することなく、積極的に教員と話し合いながら論文作成にあたって欲しい。

10 授業用URL

http://gakunai.shiga-med.ac.jp/hqgaku/soturon_tebiki.PDF

専門看護科目（実習）
専門看護（実習）



人間発達実習

1 担当教員名

准教授	萩田	美穂子	(臨床看護学講座)
教授	室寺	義仁	(医療文化学講座 哲学)
教授	宮松	直美	(臨床看護学講座)
教授	桑田	弘美	(臨床看護学講座)
准教授	埴田	和史	(社会医学講座 衛生学部門)
講師(学内)	白坂	真紀	(臨床看護学講座)
助教	東	さおり	(臨床看護学講座)
助教	片寄	亮	(臨床看護学講座)
助教	炭本	佑佳	(臨床看護学講座)
助手	岡本	智子	(臨床看護学講座)

2 配当学年等

第1学年 前期 1単位

3 学習目標

医学・看護学の目的は「人」の「幸せ」に貢献することである。人は「生老病死」の言葉に象徴されるように、心身の発達段階や健康状態に応じて多様な生活を営み一生を終えていく。健康や生活を支える医療や福祉は、人の一生の様々な段階でその役割が求められており、諸君らは、将来、専門家としてそうした社会の要請に応えることになる。人の抱える困難は病苦だけで生じているのではない。心身に障害があるために抱えなければならない困難、年老いたことで生じる困難、孤独や貧困に由来する困難など、諸君らが対峙すべき課題は多様である。また、困難を抱える人を支えているのは医師や看護師など特定の専門家だけではない。家族や地域の人たちの努力や連携が支援の基盤をなしていることを理解しなければならない。

本科目の一部は、医学科（早期体験学習）との合同授業に位置付けており、地域で展開されている医療・保健・福祉の現場に参加体験し、そこで働く人々やその活動を通して、また支援を受けている人たちとの交流を通じて、医学・看護学を学んで行く自分の役割や課題について省察することを目的としている。

1. 様々な発達段階にある人の生活や健康状態を捉える
2. 病気や障がい、加齢に伴う機能低下をもつ人やその家族の心理、生活、闘病上の困難と工夫を知る
3. 看護が対象とする人々の健康へのニーズ、医療への期待や看護の役割・課題について省察を深める
4. 人間の尊厳を尊重した関わり方を学ぶ
5. 保健・医療・福祉現場におけるチームケアの実際を知る
6. 今後、医療者として成長するために必要な自己課題を明らかにする

4 授業概要

本授業は、学生諸君が病院・診療所や福祉施設、また地域で実施される関連行事において自身で体験的に関与し、医療や福祉支援を必要とする人々やそういった人々を支える多くのスタッフと交流することにより成立する。また、自分の体験や発見した課題について、同級生や教員と交流しながら話し合い、お互いに共有することを通じて学びを深化させる。

詳細は実習要項を参照すること。

5 授業内容

人間発達実習（医学科の早期体験学習と合同）は、医療・保健・福祉の現場を実際に訪れ、そこで働く人々やそこでサービスを受ける人々と交わり、その体験を通じて医学・医療の役割や課題についての省察を一層深めることを目的に、夏季休暇中の3～4日間を利用して実施する。例年、受講した学生が高く評価している授業である。2010年度における体験型実習の実施内容を例示する。実習に応じていただける施設の数は年毎に増えており、多様な実習が可能となっている。

1. 膳所診療所（大津市）往診、訪問看護、デイケアへ参加し、診療所における地域医療・保健活動、住宅医療について理解する。
2. 坂本民主診療所（大津市）同上
3. こびらい生協診療所（栗東市）同上
4. びわこ学園医療福祉センター草津、野洲（草津市・野洲市）重度心身障害者（児）の施設内生活の実体の理解と介護の実際に触れる。
5. 障害児のサマー・ホリデー（大津市・草津市・栗東市）夏期休暇中の障害児のサマースクールに参加し、障害児や障害児をとりまく親・教師との交流を通じて、障害児にかかわる医療・福祉・教育の課題を考える。
6. むれやま荘（草津市）急性期を脱した障害者の社会復帰に向けた機能訓練等を行っている現場を体験する。
7. 滋賀県立障害者福祉センター（草津市）障害者のリハビリテーションを目的としたスポーツ指導やレクリエーション指導を

行っている現場を体験する。

8. 公立甲賀病院（甲賀市）病院医療の実際（診療、救急医療、検査）を体験する。
9. 滋賀医科大学附属病院産科婦人科病棟（大津市）大学病院での医療の実際を体験すると共に、患者・医師・看護師と交流する。
10. 国立病院機構紫香楽病院（甲賀市）重度心身障害児の医療を理解し、障害児医療に関わる書問題を体験的に学ぶ。
11. 草津総合病院（草津市）病院医療や老人リハビリの実際を体験する。
12. 市立長浜病院（長浜市）病院医療や老人リハビリの実際を体験する。
13. 琵琶湖病院（大津市）痴呆老人病棟における高齢者医療の実際にふれ、ボランティアとして諸事に参加する。
14. 琵琶湖療育院病院（大津市）病院医療や高齢者医療・福祉の実際を体験する。
15. しがなんれん作業所（栗東市）難病患者とその家族が運営する作業所にボランティアとして参加し、難病問題について理解する。
16. てんとう虫養育キャンプ（守山市）障害者とその仲間達の旅行に参加し、障害のある人たちと交流する。
17. ケアタウンからさき（大津市）要介護高齢者のための施設でボランティアに参加し、高齢者問題を考える。
18. ビハラー本願寺（城陽市）緩和医療施設の機能及び施設利用者の実情やニーズについて理解を深める。
19. 滋賀県中央子供家庭相談センター（草津市）非行や虐待相談、その子ども達との交流を行なう。
20. ビハラークリニックあそか第2診療所（城陽市）緩和医療施設の機能および施設利用者の実情やニーズについて理解を深める。
21. 地域包括ケアセンターいぶき（米原市）老健体験・デイケア・リハビリ見学・訪問看護と同行等。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

期間：2019年6－9月

1. 特別講義：

1年生前期科目「生涯発達論」の学びに、補完として小児・成人・老年の各発達段階の特徴についての講義を受け、各発達段階の特徴および実習中の観察点についてレポートにまとめる。

6/26（水）4限 課題学習の説明（担当：荻田、看護第1講義室）

7/1（月）4限 小児期の特徴（担当：桑田、看護第1講義室）

7/1（月）5限 成人期の特徴（担当：宮松、看護第1講義室）

7/8（月）4限 老年期の特徴（担当：荻田、看護第1講義室）

2. 体験型実習：

8－9月の指定された期間（3～4日間）に配置された施設（医療施設・介護福祉施設・社会福祉施設）における活動の実際を見学し、施設利用者や患者とコミュニケーションを図ること及び施設における看護職の役割を観察する（医学科と合同）。

※参加する施設・行事によって体験内容は異なる。単なる見学や講義型の授業ではなく、受け入れ施設・行事の指導者の指示の下に、施設・行事の一員として「少しでも役に立ち、できること」に取り組む参加型の授業を基本とする。

※「医学概論」の授業内で、実習に関する説明や事前グループワークがあります。本科目と連動していますので、必ず出席するようにしてください。

3. 体験交流会・発表会：

○体験交流会（医学科と合同）は、少人数による発表意見交換形式で行う。9/24（火）－27（金）の1～4限目のいずれか1コマにそれぞれ割り当てられる。なお、場所は多目的教室1～12とする。

○発表会（看護学科のみ）は、9/30（月）1－4限で行う。グループワークを通して、自分が配置された施設だけでなく他施設での体験や学びを共有し、まとめ、「人間発達実習」を発表する。なお、場所は看護第4講義室とする。

7 評価方法

試験は行わない。決められた日数の体験学習参加、体験交流会への参加、各レポートの提出と受理は単位認定の必須事項とし、出席状況、実習内容、実習記録、グループワークや発表会での参加状況、自己評価から総合的に評価する。

○医学科との共通課題；体験学習後にレポートの提出を求める。レポートでは、体験内容、体験を通じて発見した自分の課題等について記載し論考する。また、体験交流会終了後、交流会内容および交流会の成果についてレポート提出を求める。提出されたレポートについて、医学生・看護学生として真摯に課題に対峙する姿勢および記述の論理性について、4段階で評価する。受理に値しないと判断されたレポートは再提出を求める。

○看護学科単独課題；特別講義後のレポート、体験学習での課題レポートの提出を求める。

8 教科書・参考文献

滋賀医科大学：医学・保健・医療・看護と人権

その他は、医学概論および人間発達実習の授業の際に随時示す。

9 オフィスアワー（授業相談）

随時お受けします。個人研究室へお越しください。

事前に荻田宛（tan3434@belle.shiga-med.ac.jp）にメールをいただくと十分な相談時間を設けて対応できるので助かります。

10 学生へのメッセージ

学生の皆さんの体験学習を受け入れて下さる施設・行事は、心身の困難を抱えた人たちを支援する第一線の現場です。個人のプライバシーや人権に対して十分に配慮した責任ある行動を厳しく求めます。また、医学・看護学を学び始めた「1年生」にふさわしい「謙虚」な姿勢で、多くの人たちから学んでもらいたいと願っています。

地域で展開されている保健・医療・福祉の実践活動に触れ、看護が対象とする様々な発達段階にある人々への理解を深め、健康へのニーズを体験できるよう自己課題を明確にして挑んでください。また、臨地実習では医学科との合同で行いますので、各専門領域の果たす役割や求められている立場を知り、将来共に働く医療チームメンバーとして今後どのように関わっていけるのか学んでください。

基礎看護学実習 I

1 担当教員名

准教授	本田	可奈子	(基礎看護学講座)
教授	松浦	博	(生理学講座 細胞機能生理学部門)
教授	伊藤	俊之	(臨床教育講座)
准教授	中西	京子	(基礎看護学講座)
准教授	川崎	拓	(医師臨床教育センター)
准教授	向所	賢一	(病理学講座 分子診断病理学部門)
准教授	辻	喜久	(臨床教育講座)
助教	山下	敬	(基礎看護学講座)
助手	岡	美登里	(基礎看護学講座)

2 配当学年等

第1学年 後期 1単位

3 学習目標

1. 看護師の患者との関わりの実際を見学することで、看護師の役割と機能を理解する。
2. 附属病院における患者の生活の過ごしかたを患者の立場から理解する。
3. 医療・看護が提供されている場としての附属病院において、病院の機能・構造や特徴を理解する。
4. 附属病院においてどのような職種の人々が患者の療養生活を支えているか理解する。
5. 患者の療養生活における医療者としての倫理的態度を理解し、学生としての自己の課題を明確にできる。
6. 特定機能病院としての附属病院で行われている先端医療を理解する。
7. 医学科は診療の実際を見学することで医師の役割と機能を理解する。
8. 看護学科は看護師の患者との適切なコミュニケーションのありかたを理解する。

4 授業概要

滋賀医科大学医学部附属病院を見学することで、病院の果たす役割、また特定機能病院としての附属病院の機能や特徴を理解する。具体的には、附属病院で働く医師の診療業務、看護師の患者への看護活動、附属病院の各部署（医療サービス課（地域連携）、薬剤部、放射線部、栄養治療部、リハビリテーション部、検査部、救急部（ヘリポートを含む）、防災倉庫、地下・電源装置）で働く方々の多様な活動を見学する。これらの体験を通して、医療者としての倫理的態度や自己の課題を省察し明確にする。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
12月16日(月)	1	松末・西村・加賀・松浦・本田・伊藤・辻・向所・中西・山下・岡	実習オリエンテーション(講義)	実習に関する全体説明	臨3
12月16日(月)	2	本田・中西・松浦・伊藤・辻・向所・山下・岡	講義	グループワークを始めるための講義	臨3
12月16日(月)	3	〃	グループワーク (リップルテラス会議室1)	看護師同行実習に関する 1. 自己目標 2. グループ目標 を作成するためのグループワーク	臨3
12月16日(月)	4	川崎	講義(リップルテラス会議室1)	医師同行実習について	臨3
12月17日(火)	1・2	各部署担当者	看護師同行実習(各部署) 各部署説明(臨3)	看護師同行実習、各部署説明・見学	臨3
12月17日(火)	3・4	〃	看護師同行実習(各部署) 各部署見学(各部署)	看護師同行実習、各部署見学実習	臨3
12月18日(水)	1・2	〃	看護師同行実習(各部署) 各部署説明(臨3)	看護師同行実習、各部署見学実習	臨3
12月18日(水)	3・4	〃	看護師同行実習(各部署) 各部署見学(各部署)	看護師同行実習、各部署見学実習	臨1

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年 12月19日(木)	1	各部署担当者	実習 (臨床講義室3に集合)	(医学科) 医師に同行し、1日の仕事内容を見学・体験する。 (看護学科) 看護師同行実習と患者とのコミュニケーション実習	臨1・臨3
12月19日(木)	2	〃	実習	(医学科) 医師に同行し、1日の仕事内容を見学・体験する。 (看護学科) 看護師同行実習と患者とのコミュニケーション実習	臨1
12月19日(木)	3・4	(医学科) 各部署担当者 (看護学科) 本田・中西・山下・岡	(医学科) 実習 (看護学科) グループワーク(臨1)	(医学科) 医師に同行し、1日の仕事内容を見学・体験する。 (看護学科) グループワーク	臨1
12月20日(金)	1・2	本田・中西・松浦・伊藤・辻・向所・山下・岡	グループワーク	看護師同行実習の振り返り	臨3
12月20日(金)	3・4	〃	発表会 (リップルテラス会議室1にて)	看護師同行実習の振り返りに関する班別発表と全体討議	

6 授業形式・視聴覚機器の活用

期間：医学科・看護学科5日間

場所と形式：滋賀医科大学医学部附属病院での見学実習

【第1日目／医学科、看護学科合同】

・午前、医学科、看護学科合同オリエンテーションと病院・看護部の概要の説明を行う。

午後、看護師同行実習に関する1. 自己目標、2. グループ目標、を作成するためのグループワークを行う。

【2日目・3日目／医学科、看護学科合同】 医学科第1学年学生100名と看護学科第1学年学生60名の合計160名を80名ずつ(医学科第1学年学生50名と看護学科第1学年学生30名)のチームにわけ、以下の①②を日替わりで行う。

①3人から5人程度のグループに分かれ8の部署に配置し、1日看護師に同行する。

②10人ずつのグループに分かれ、1日で8か所の病院内の部署を見学する。

【4日目／医学科、看護学科別】

・医学科は、1日研修医に医学科学生が同行して医師の業務を見学する。

・看護学科は、午前看護師同行実習と患者とのコミュニケーション実習をおこない、午後は午前の実習での学びに関するグループワークをおこなう。

【5日目／医学科、看護学科合同】

・看護師同行実習の学びに関するグループワークおよび発表会・全体討論を医学科・看護学科合同で行う。

7 評価方法

- 全日程の出席をもって評価の要件とする。無断早退・無断遅刻・無断欠席は認めない。
- 以下のグループ成果物、個人レポート・臨床指導者の評価を5段階で評価し、総合したものを成績評価とする。
 - グループ成果物①：学びについてグループワークとプレゼンテーションを医看合同で行い、その成果物を提出する。
 - グループ成果物②：コミュニケーション実習の学びの成果を個人記録、グループワークとプレゼンテーションで行い、提出する。
 - 個人レポート：終了後、実習を通じて省察した自分の課題等について論考し、レポートとして提出する。
 - 臨床指導者の評価：附属病院の臨床指導者の実習態度について評価を成績評価に含める。
- 受理に値しないと判断されたレポートは再提出を求める場合がある。

8 教科書・参考文献

必要時、随時提示する。

9 学生へのメッセージ

実習を受け入れて下さる施設・行事は、心身の困難を抱えた人たちを支援する第一線の現場である。個人のプライバシーや人権に対して十分に配慮した責任ある行動を厳しく求める。また、医学・看護学を学び始めた「1年生」にふさわしい「謙虚」な姿勢で、多くの人たちから学んでもらいたい。

基礎看護学実習Ⅱ

1 担当教員名

准教授 中西京子 (基礎看護学講座)
准教授 本田可奈子 (基礎看護学講座)
助教 山下敬 (基礎看護学講座)
助手 岡美登里 (基礎看護学講座)

2 配当学年等

第2学年 通年 2単位

3 学習目標

1. 受け持ち患者との援助的人間関係を形成できる。
2. 受け持ち患者を通して看護過程の展開を実施できる。
3. 保健・医療・福祉チームの一員として周囲の人々と連携できる。
4. 看護の対象となる人々の人格を尊重した行動がとれる。

4 授業概要

看護の対象を身体・心理・社会面から統合的に理解し、看護過程を展開する基礎的能力を養う。

5 授業内容

詳細は実習要項に提示する。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

期間：2週間（2019年9月）

1. 一斉講義：実習目的・目標、内容、方法の説明、特別講義
2. 1名の患者を受け持ち、看護過程を展開する。

7 評価方法

出席状況、実習内容、実習記録、レポートによる総合評価
なお、出席状況については、実習全体の2/3以上の出席が単位認定要件である。

8 教科書・参考文献

必要時参考文献を提示する。

9 学生へのメッセージ

自己の健康管理に十分に留意し、実習に臨んでください。

育成期母性看護学実習

1 担当教員名

教授 立岡 弓子 (臨床看護学講座)
教授 喜多 伸幸 (臨床看護学講座)
講師 土川 祥 (臨床看護学講座)
助教 中井 抄子 (臨床看護学講座)
助教 花原 恭子 (臨床看護学講座)
助手 吉川 芙雪 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第3学年 後期・第4学年 前期 2単位

3 学習目標

1. 周産期における妊産褥婦と新生児の生理的変化が理解できる
2. 周産期における母児とその家族の健康問題について、ウェルネスの看護診断をもとにアセスメントすることができる
3. 総合的に対象の母児について理解し、看護ケアの立案をすることができる
4. 周産期における母子のケアを実践し、評価することができる
5. 母子への看護を通して、母子相互作用について理解することができる
6. ハイリスクの妊婦及び褥婦のケアについて理解することができる
7. 母性看護学の特徴を整理し、自己の母性に関する考え方を明確にできる
8. 母子保健チームの一員として、周産期に携わる助産師・看護師の役割と責任について理解することができる
9. 大学病院、産科クリニック、助産施設における母子医療について、その特性を理解し、母子とその家族に果たす役割と地域連携を考えることができる

4 授業概要

妊娠・分娩・産褥期の女性及び胎児期を含む新生児とその家族における身体的・心理的・社会的特性を理解し、看護診断をもとに必要な母性看護を実践するための能力を養う。

5 授業形式・視聴覚機器の活用

臨地実習

6 評価方法

2/3以上の出席 (10%)、記録 (30%)、カンファレンスへの参加状況 (20%)、態度 (20%)、面接評価 (20%)
面接評価は、各週の最終日に個人面接を行う。

7 教科書・参考文献

教科書：

横尾京子他編：母性看護実践の基本，メディカ出版，第3版，2016.

立岡弓子編著：「新訂版 周産期ケア・マニュアル 第2版」サイオ出版，2014 テキストISBN番号 978-4-260-00530-2

参考文献：

立岡弓子編著；乳房ケアのエビデンス 日総研出版，2013

8 学生へのメッセージ

周産期看護において、ウェルネス理論、オレムのセルフケア理論に基づいた看護過程を展開し、必要な看護技術、保健指導を行います。

育成期小児看護学実習

1 担当教員名

教授 桑田弘美（臨床看護学講座）
講師(学内) 白坂真紀（臨床看護学講座）

2 配当学年等

第3学年 後期・第4学年 前期 2単位

3 学習目標

子どもは成長発達途上であること、個性のある人格であること、家族・地域社会の一員として生活していることを理解し、小児の健康の保持・増進・回復への援助を考え、看護実践する能力を養う。

1. 小児の発達段階の特徴や健康障害による影響を理解し、援助の必要性を考える。
2. 小児の健康レベルや発達段階に応じた看護を実践する。
3. 小児の健康障害が家族に与える影響を理解し、援助を考える。
4. 小児の地域での生活を想定し、継続看護と多職種との連携について考える。
5. NICUの特徴と看護について考えることができる。
6. 小児と家族に人権を尊重したケアの必要性を理解する。

4 授業概要

子どもは成長発達途上であること、個性のある人格であること、家族・地域社会の一員として生活していることを理解し、小児の健康の保持・増進・回復への援助を考え、看護実践する能力を養う。

5 授業内容

実習場所：滋賀医科大学医学部附属病院、NICU/GCU病棟、小児科外来

実習方法：1名の患児を受け持ち、入院生活を送っている子どもとその家族への看護過程を展開する。小児への看護の実践から、地域で生活する小児と小児を取り巻く環境についての視点を持ち、必要な援助について考える。

1. 受け持ち患児への看護…看護過程を展開する。
2. 小児科外来実習…診察場面の見学、看護師の業務等を見学、検査・処置の介助。継続看護について考える。
3. NICU/GCU実習…診察場面の見学、看護師の業務等を見学、ケアの実践、検査・処置の見学。ファミリーセントードケア、ディベロップメンタルケアなど、看護の特徴を学ぶ。

詳細は、実習要項。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

1. 1名の患児を受け持ち、入院生活を送っている子どもとその家族への看護過程を展開する。
2. 子どもへの看護の実践から、地域で生活する子どもと子どもを取り巻く環境についての視点を持ち、必要な援助について考える。
3. NICU/GCU、小児科外来では、診察場面の見学、指導者と一緒にケアを実践する。継続看護、家族看護について学ぶ。

7 評価方法

出席状況、実習態度、実習記録を総合的に評価する。

8 教科書・参考文献

発達段階からみた小児看護過程 医学書院
小児看護学実習DVD 医学映像教育センター
第1巻 小児看護学実習の特徴と看護学生の心得
第2巻 小児病棟での実習の実際
第3巻 小児科外来とNICU・GCU実習の実際

9 学生へのメッセージ

1. 学生自身の小児期感染症の罹患状況を把握しておく。
2. 自分の健康管理を心がけ、感染症症状など異常がある場合は、速やかに受診し、担当教員・臨床指導者に連絡する（自己判断しない）。
3. 子どもの安全を確保し、事故防止に留意する。
4. 子どもたちは、受け持ちをする学生と遊んだり、勉強したりすることを、とても楽しみにしている。そのため、体調管理には十分に留意し、休まないこと、約束は必ず守ることを心がけてほしい。

成人保健看護学実習

1 担当教員名

教授 宮松直美（臨床看護学講座）
助教 東さおり（臨床看護学講座）
助教 炭本佑佳（臨床看護学講座）
助手 岡本智子（臨床看護学講座）

非常勤講師
呉代華容

2 配当学年等

第3学年 後期・第4学年 前期 6単位

3 学習目標

主として成人期の入院患者を受け持ち、慢性期・急性期などさまざまな健康レベルにある対象者を多面的に理解し、健康の回復および維持、向上のための看護実践に必要な基本的な知識・技術・態度を習得する。また、対象者の療養支援上必要な種々の専門的介入方法について学び、健康障害から回復にむけての過程における保健医療チームのかかわりと看護の役割を理解する。

4 授業概要

以下、詳細は実習要項を参照

5 評価方法

出席状況、実習中の行動、実習記録およびレポートによる総合評価

高齢者看護学実習Ⅰ

1 担当教員名

准教授 萩田 美穂子（臨床看護学講座）

助教 片寄 亮（臨床看護学講座）

2 配当学年等

第3学年 前期 2単位

3 学習目標

1. 高齢者とコミュニケーションがとれる。
2. 高齢者の身体的・精神的・社会的特徴が理解できる。
3. 高齢者の特徴が日常生活に及ぼす影響を理解できる。
4. 老年期にある人の発達課題が理解できる。
5. 高齢者を取り巻く社会資源が理解できる。
6. 高齢者を尊重した姿勢や態度で接することができる。

4 授業概要

詳細は実習要項を参照すること。

5 授業内容

1. 特別講義（高齢者に対する医療・福祉・リハビリテーションに関する講義）
講義の詳細は実習オリエンテーションで提示する。
2. 滋賀医科大学医学部附属病院の外来（3日間）での実習
3. 高齢者福祉施設（3日間）での実習
4. グループワークと発表会を通した「高齢者看護学実習Ⅰ」の振り返りと統合

6 授業形式・視聴覚機器の活用

期間：2019年9月9～20日（土日祝日は除く）

1. 特別講義：
高齢者における医療面、福祉面、リハビリテーション面に対してそれぞれの臨床現場の専門家からの講義を受け、これまで学んできた高齢者看護との知識を統合させる。また、得られた知識に対して考察を行い、レポートにまとめる。
2. 臨地実習：
配置された外来診療科・高齢者福祉施設（各1箇所）において、実習指導者の指導の基で高齢者やその家族との接触を図り、高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を学ぶ。詳細は実習要項及びオリエンテーションにて説明する。
3. 発表会：
臨地実習グループメンバーで臨地実習での体験や学びを共有する。また、配置された外来診療科・高齢者福祉施設の特徴を踏まえて共有した体験・学びを考察し、まとめる。さらに、発表会を通して学年全体として学び・考察を共有することで「高齢者看護学実習Ⅰ」を統合する。

7 評価方法

出席状況、講義への参加状況、実習内容、実習記録、実習態度、自己評価から総合的に評価する。

8 教科書・参考文献

教科書：指定なし（特別講義では資料を配布する）

参考文献：なし

9 学生へのメッセージ

臨地・臨床実習で求められている学生としての本質を念頭に、どのような姿勢で実習に挑むべきであるのか十分に考えてください。また、高齢者と接するにあたって留意しなければならないことは何なのか、高齢者にとって受け入れやすい若輩者とはどのような姿であるのかについても十分に考えた上で実習に参加してください。

高齢者看護学実習Ⅱ

1 担当教員名

准教授 荻田 美穂子（臨床看護学講座）

助教 片寄 亮（臨床看護学講座）

2 配当学年等

第3学年 後期・第4学年 前期 2単位

3 学習目標

1. 高齢者の身体的・精神的・社会的特性が説明できる。
2. 高齢者に合わせたコミュニケーション法を用いて情報収集することができる。
3. 対象の疾病や治療内容及び加齢が生活に及ぼす影響をアセスメントし、看護問題を抽出することができる。
4. 対象の健康レベルや本人・家族の希望を踏まえた目標設定ができる。
5. 対象の残存機能や強みを最大限に活かした看護を実践・評価できる。
6. 対象およびその家族の思いや希望を把握し、在宅や施設での日常生活が送れるよう退院支援について考えることができる。
7. 高齢者を「人生の先輩としての個人」として尊重する態度がとれる。
8. 他職種との連携や協力について考えることで、医療チーム内での看護職の役割を理解することができる。
9. 実習を通して高齢者看護観を語るすることができる。

4 授業概要

詳細は実習要項を参照すること。

5 授業内容

実習場所：滋賀医科大学医学部附属病院 2 D病棟（整形外科）、もしくは 6 C病棟（糖尿病内分泌内科・腎臓内科・脳神経内科・放射線科）

実習内容：病棟に入院中の高齢者を受け持ち、個性の大きい老年期における疾病管理や身体的・精神的・社会的特徴、さらには人生観が高齢者の日常生活や健康管理行動に及ぼす影響を考察し、疾患を抱えた高齢者が療養・在宅生活を送るための看護過程を展開する。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

期間：2週間（土日祝日を除く）

実習期間中は、基本的に同一の入院中高齢者を1名受け持ち、看護過程を展開する。また、高齢者看護における疑問点や学びを共有し発展させるためのテーマカンファレンスと、受け持ち高齢者の看護問題及び看護計画を討議するためケースカンファレンスを行う。実習最終日には、教員との個別面談を通して実習での学びや課題を明確にする。詳細は実習要項に記載する。

7 評価方法

出席状況、実習内容・態度、実習記録、個人面談から総合的に評価する。

8 教科書・参考文献

教科書：指定なし

参考文献：「ライフステージと健康Ⅴ」及び「高齢者看護学」での講義資料を活用すること
ライフステージと健康Ⅴおよび高齢者看護学の授業資料を活用する。

9 学生へのメッセージ

臨地・臨床実習で求められている学生の姿勢で実習に挑んでください。また、高齢者の全体像を捉えるための方法論や看護展開方法を事前に十分学習し、円滑な看護展開が行えるよう努めてください。

精神看護学実習

1 担当教員名

教授 河村 奈美子（臨床看護学講座）
講師(学内) 藤本 智美（臨床看護学講座）

2 配当学年等

第3学年 後期・第4学年 前期 2単位

3 学習目標

目的：精神を障害された個人およびその家族を理解し、精神の健康の回復に向けた治療的な関わりができる基礎的な能力を養う。
目標：

1. 精神障がい者をありのままに理解することができる。
2. 精神障がい者と治療的患者—看護師関係を構築することができる。
3. 対象の個別性にあった看護過程を展開することができる。
4. 精神医療における看護の役割・機能を理解することができる。
5. 看護学生として、治療チームの一員として責任ある行動や主体的な学習態度をとることができる。

4 授業概要

詳細については実習要項をよく読んでおくこと。

5 授業内容

実習施設：滋賀医科大学医学部附属病院 1 C病棟／滋賀県立精神医療センター

実習方法：各施設において1名の入院患者を受け持ち、自我構造やオレム・アンダーウッドのセルフケアモデルを用いて、対象を理解し、必要な援助について学ぶ。

その他、詳細については実習要項を参照する。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

受け持つ患者の疾患や重症度などについては、実習施設や病棟により異なることがある。

7 評価方法

出席状況、実習記録、カンファレンスにおける発言、患者との関わりや実習に臨む際の態度を客観的に観察し、実習指導者と教員の評価に加え学生の自己評価も参考にして、これらを総合的に評価する。

8 教科書・参考文献

教科書：講義で使用したテキスト

参考文献：参考文献：講義資料や、これまでの学習で用いた資料。その他参考文献等は適宜提示します。

9 オフィスアワー（授業相談）

電話やメールによる事前連絡の上で、時間調整することを前提に随時対応します。

10 学生へのメッセージ

臨床における実践的な実習ではさまざまな不安や困難に遭遇すると思いますが、遠慮なく教員や指導者に相談し、適宜アドバイスをもらうことが大切になります。

また、精神科病棟は他の診療科の病棟とは異なり「精神保健福祉法」に基づく多くの規制があるため、オリエンテーションの内容に留意し、それらを遵守することが重要です。

在宅看護学実習

1 担当教員名

教授 伊藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)
講師 興水 めぐみ (公衆衛生看護学講座)
助教 平 和也 (公衆衛生看護学講座)

2 配当学年等

第3学年 後期・第4学年 前期 2単位

3 学習目標

1. 地域の特性を踏まえ、地域ケアシステムの中で看護職の果たす役割と専門的知識・技能について説明できる。
2. 保健・医療・福祉等の多職種と連携しながら、対象の特性を踏まえた看護計画を立案し、実践するための基本的能力と態度を養う。

4 授業概要

詳細は実習要項参照

5 授業内容

滋賀県一円の訪問看護ステーションにおいて実習する。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

実習の前にオリエンテーションを行う。履修する学生は出席が必要である。

7 評価方法

出席状況、課題達成度、実習態度、実習記録より総合的に評価する。

8 教科書・参考文献

必要時に、適宜提示する。

9 オフィスアワー（授業相談）

質問や相談は随時受け付けます。必ず事前にメールや電話でアポイントを取るようになしてください。

10 学生へのメッセージ

- ・自己の健康管理に十分に留意し、実習に臨むこと。
- ・在宅療養者とその家族が利用する社会資源と関連する法律や制度について、よく理解した上で実習に臨むこと。

統合看護学実習

1 担当教員名

教授 遠藤善裕（臨床看護学講座）
准教授 本田可奈子（基礎看護学講座）

2 配当学年等

第4学年前期 2単位

3 学習目標

1. 看護管理の基礎となる組織管理、リーダーシップ等の諸理論を理解する。
2. 看護管理実践を見学し、組織とシステムを理解して、看護の質を維持・向上させる看護管理の意義と役割を学ぶ。
3. さらに、医療における危機管理や、看護倫理、他部門とのコーディネートの必要性を学ぶ。
4. 複数の患者を受け持つ看護スタッフに同行し、ケアの優先性の判断、他の看護職や他職種との連携、ケアの継続性等、看護のメンバーシップと役割を理解する。
5. 看護管理者や看護スタッフの看護観や言動の意味を理解し、自己の人間的成長と看護観の育成を図る。
6. 看護学を学ぶ者として必要な今後の自己の学習課題を明確にする。

4 授業概要

看護管理、複数患者の看護、メンバーシップ等の見学実習を通して、看護サービスを効果的・効率的・継続的に提供する看護システムと機能を理解し、看護実践に参画する能力を育成することを実習目的とする。

5 授業内容

以下、『実習要項』中の『統合看護学実習』参照

保健師課程



家族看護学

1 担当教員名

講師 輿水 めぐみ (公衆衛生看護学講座)
 助教 平和也 (公衆衛生看護学講座)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 後期後半 2単位

3 学習目標

1. 家族について、定義、機能、文化的背景から理解する。
2. 家族看護学に関する理論やモデルについて理解する。
3. 地域住民の健康を支援する専門職者の活動と役割がわかる。
4. 家族を分析する理論やモデルをもとに家族のアセスメントができる。
5. 家族に対する看護職の支援者としての役割を考えることができる。

4 授業概要

地域に暮らす人々について、個人およびその家族について家族看護理論の枠組みをもとにアセスメントし、健康問題や健康課題について支援を展開することは、地域集団の健康レベル向上を目指した看護活動の基礎となる。本講義では代表的な事例を通して、個人およびその家族の健康問題や健康課題を理解するとともに、支援の考え方および支援方法の基礎について学習する。

5 授業内容

個人およびその家族の健康問題や健康課題について理論的枠組みを用いて検討する。
 講義日程と場所は詳細が決まり次第通知する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
12月17日(火)	3	輿水	地域での看護実践	活動の実際とケアマネジャーの役割	看1
12月17日(火)	4	〃	地域での看護実践	活動の実際と理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割	看1
12月17日(火)	5	〃	地域での看護実践	活動の実際と保健師の役割	看1
12月18日(水)	4	〃	地域での看護実践	活動の実際と社会福祉士の役割	看1
12月18日(水)	5	〃	地域での看護実践	活動の実際と医師の役割	看1
12月24日(火)	3	〃	地域での看護実践	活動の実際と訪問看護師の役割	看1
12月24日(火)	4	〃	家族看護 序論	地域における個人・家族の支援	看1
12月24日(火)	5	〃	家族看護 理論的枠組み	家族看護理論	看1
2020年					
1月7日(火)	3	輿水・平	演習(事例分析)	家族看護理論の展開①	看1
1月7日(火)	4	〃	演習(事例分析)	家族看護理論の展開②	看1
1月7日(火)	5	〃	演習(事例分析)	家族看護理論の展開③	看1
1月10日(金)	3	〃	演習(事例分析)	家族看護理論の展開④	看3
1月10日(金)	4	〃	演習(事例分析)	家族看護理論の展開⑤	看3
1月14日(火)	3・4	〃	演習(事例分析)	発表	看1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、一部変更する場合がある。適宜、視聴覚教材や副読本を使用して家族看護のイメージをつける。またグループワークや体験学習を取り入れる。

7 評価方法

講義や演習への参加状況40点、課題レポート60点を総合して評価する。
 全講義の2/3以上(2回の遅刻および早退は1回の欠席とみなす)出席した者に対して成績判定を行う。

8 教科書・参考文献

教科書：

宮崎美砂子：最新 公衆衛生看護学 第2版 2018年版 総論 日本看護協会出版会
宮崎美砂子：最新 公衆衛生看護学 第2版 2018年版 各論1 日本看護協会出版会
宮崎美砂子：最新 公衆衛生看護学 第2版 2018年版 各論2 日本看護協会出版会

参考文献：

授業時に、適宜提示する。

9 オフィスアワー（授業相談）

質問や相談は随時受け付けます。時間の確保のため、必ず事前にメールや電話でアポイントを取るようになしてください。

10 学生へのメッセージ

授業内容に関連した文献、新聞記事等に関心を持ち、自ら学びを深める機会としてください。

公衆衛生看護学方法論 I

1 担当教員名

教 授 伊 藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)

非常勤講師

尾ノ井 美由紀 (宝塚大学 看護学部 教授)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期前半 1単位

3 学習目標

公衆衛生看護活動を行う上での手法を理解し、基礎知識と考え方および各方法を身につけることを目標とする。

また、保健師活動の対象は、個人の相談や支援にとどまらず家族やグループなど集団まで広域的な地域住民となり、その特性を学ぶ。

4 授業概要

公衆衛生感度活動の各場面に対応して行う。より理解しやすい講義を展開するために、実践に近い設定に基づいて演習を実施する。また、グループダイナミクスをもとに、積極的な討論を必要とする。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	教室
2019年				
4月9日(火)	4	伊 藤	公衆衛生看護活動の支援技術の特性と保健指導 健康診査・健康相談の実際	看3
4月9日(火)	5	〃	保健行動に関する理論①	看3
4月16日(火)	4	〃	保健行動に関する理論②	看3
4月16日(火)	5	〃	保健行動に関する理論③	看3
4月23日(火)	4	〃	保健行動に関する理論④	看3
4月23日(火)	5	〃	演習に関する説明	看3
5月7日(火)	3	〃	演習の準備とグループワーク①	看1
5月7日(火)	4	〃	演習の準備とグループワーク②	看1
5月14日(火)	4	〃	演習の準備とグループワーク③	看3
5月14日(火)	5	〃	演習の準備とグループワーク④	看3
5月21日(火)	4	〃	演習の準備とグループワーク⑤	看3
5月21日(火)	5	〃	演習の発表①	看3
5月28日(火)	3	〃	演習の発表②	看1
5月28日(火)	4	〃	演習の評価	看1
6月4日(火)	3・4	〃	まとめ	看1

6 評価方法

評価については講義にて説明を行います。

7 教科書・参考文献

日本看護協会 最新公衆衛生看護学 2018年版 総論
日本看護協会 最新公衆衛生看護学 2018年版 各論 1
日本看護協会 最新公衆衛生看護学 2018年版 各論 2

8 オフィスアワー (授業相談)

質問は随時受け付けますが、事前に予定を確認の上お願いします。

公衆衛生看護学方法論Ⅱ

1 担当教員名

教授 伊藤 美樹子（公衆衛生看護学講座）

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 後期後半 1単位

3 学習目標

1. 地域の健康課題の明確化するために必要な疫学統計、保健医療情報や住民の生活に深く関わる社会経済的な背景に関する情報、ならびにそれらの分析方法を理解し、地域診断のために用いることができる。
2. ヘルスニーズの分析のために必要な情報を選択し、適切な方法で分析結果を示すことができる。
3. 得られた分析結果の評価方法がわかる。
4. 地域の健康増進能力を高める個人・家族・集団・組織への継続的支援と協働・組織活動に関するニーズや公衆衛生活動の成果を資料にして表すことができる。
5. ヘルスニーズや公衆衛生看護活動の課題を根拠を用いて説明することができる。
6. 公衆衛生看護活動における地域診断の意義とPDCAサイクルを説明できる。

4 授業概要

第4学年で公衆衛生看護活動展開論実習を行う地域をフィールドとして、実習グループ別に地域診断を行い、資料を作成し、ヘルスニーズを明らかにする。

効果的な資料を作成し、プレゼンテーションを行う。

5 授業内容

詳細は、講義中にて通知します。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	教室
2019年				
12月16日(月)	1	伊藤	地域診断について	看3・⑤
12月16日(月)	2・3・4	〃	グループワーク	看3
12月23日(月)	1・2	〃	グループワーク	看2
12月23日(月)	3・4	〃	グループワーク	看3
2020年				
1月6日(月)	1・2	〃	グループワーク	看2
1月6日(月)	3・4	〃	グループワーク	看3
1月16日(木)	3・4	〃	発表	看3
1月16日(木)	5	〃	講評とまとめ	看3

6 評価方法

詳細は、講義中にて通知します。

講義日程・場所は詳細が決まりましたら連絡します。

公衆衛生看護活動プロセス

1 担当教員名

教 授 伊 藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)
助 教 平 和 也 (公衆衛生看護学講座)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 後期後半 1単位

3 学習目標

公衆衛生看護活動の目的は地域全体の健康レベルの向上である。

特定された地域（集団）の中でも特に困難な健康課題について、課題の成立過程や、問題の分布、将来への影響をアセスメントした上で、公衆衛生看護として対応可能な保健事業を企画する。

事業の成り立ちや活動の効果の捉え方、事業評価についての知識を深めるとともに、資料の分析や作成を通して公衆衛生看護活動を展開するための基本的能力を養う。

4 授業内容

困難な健康課題についての事例についてグループワークでの話し合い、発表、講評を行う。

個と集団の利益、効率性、優先度の判断など倫理的課題を含む活動の対応についてを理解する。

公衆衛生看護の基本的な知識や保健師の専門性の理解を深める。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室	
2019年						
12月19日(木)	5	伊 藤	公衆衛生看護活動のプロセスについて	概要説明	看1	
12月20日(金)	3	〃	事例1-1	虐待ハイリスク事例	看1	
12月20日(金)	4	〃	事例1-2		看1	
2020年						
1月9日(木)	3	〃	事例1-3	超多剤耐性の事例	看1	
1月9日(木)	4	〃	事例1-4		看1	
1月9日(木)	5	伊藤・平	事例2-1		看1	
1月20日(月)	2	〃	事例2-2		看1	
1月20日(月)	3	伊藤・有馬 (大阪市東淀川区役所)	事例2-3		看1	
1月20日(月)	4	〃	事例2-4		看1	
1月23日(木)	3・4・5	伊 藤	産業保健領域における公衆衛生活動プロセス		(※学外(予定))	看1
1月30日(木)	3・4	〃	産業保健領域における公衆衛生活動プロセス			看1
1月30日(木)	5	〃	事例まとめ		看1	

5 授業形式・視聴覚機器の活用

講義と演習（グループワーク）を行います。

講義日程・場所は詳細が決まりましたら連絡します。

6 評価方法

1. 演習（グループワーク）の成果（70%）
 2. 出席（30%）：課題の取り組みに対する主体性を評価
- ※全講義（演習を含む）の2/3の出席を評価の要件とする。

産 業 保 健

1 担当教員名

教 授 伊 藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)
准 教 授 埜 田 和 史 (社会医学講座 衛生学部門)
講師(学内) 北 原 照 代 (社会医学講座 衛生学部門)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 後期後半 1単位

3 学習目標

産業保健の理念・目標や、労働衛生関連の法規、日本の産業保健・産業看護の動向、並びに産業看護職の役割と職務、労働者の健康課題および労働に関連する健康影響について学習する。

4 授業概要

- (1) 産業保健の理念・目標を理解し、産業保健を推進する組織や制度に関する基本的な知識を習得する。
- (2) 労働や労働環境が健康に与える影響に関する基本的な知識を習得し、必要な対策が説明できる。
- (3) 産業看護の実践に求められる看護職の専門的役割と職務が説明できる。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	内 容	教室
2019年					
12月19日(木)	3	埜 田	産業保健総論・法制度	産業保健総論・法制度 総論	看3
12月19日(木)	4	伊 藤	総論		看1
2020年					
1月8日(水)	4	埜 田	産業保健の実際と3管理1教育		看1
1月8日(水)	5	〃	職業病各論・零細事業所の課題		看1
1月24日(金)	3	北 原	労働時間・交替制勤務・女性労働		看3
1月24日(金)	4	埜 田	医療・介護職場における腰痛問題		看3
1月31日(金)	3	伊藤・ ゲストスピーカー	産業保健活動の実際 (産業医から)		看3
1月31日(金)	4	〃	産業保健活動の実際 (保健師から)		看3

6 評価方法

各回ごとにミニレポートを課します。

7 教科書・参考文献

テキストは指定しません。

8 オフィスアワー (授業相談)

各回の講義中や終了時に積極的に質問をして下さい。

講義日程・場所は変更になる場合があります。決まり次第通知します。

公衆衛生看護活動展開論 I

1 担当教員名

教 授 伊 藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)

非常勤講師

尾ノ井 美由紀 (宝塚大学 看護学部 教授)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期前半 2単位

3 学習目標

生涯にわたる発達段階、健康レベル別の健康課題から、地域で生活する個人や家族および集団を支援するための基礎知識を習得する。

4 授業概要

母子・成人・高齢者を対象に、地域保健活動の枠組みを理解し、発達段階別、健康レベル別に、地域で生活する個人・家族および小集団が抱える健康課題への支援に必要な基礎的知識や技術を習得する。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月10日(水)	3	伊 藤	発達段階に応じた保健活動の概要	各発達段階における健康課題と保健活動(保健サービス)の概要	看2
4月10日(水)	4	〃	感染症予防活動①	感染症予防活動	看2
4月17日(水)	3	尾ノ井	母子保健活動①	乳幼児期の発育・発達と生活の特徴 健康問題の早期発見とその対応	看2
4月17日(水)	4	〃	母子保健活動②	母子保健システムについて 母子保健システムと保健師活動	看2
4月24日(水)	3	〃	母子保健活動③	健康上のリスクを持つ対象への支援(心身障害児・発達障害) I	看2
4月24日(水)	4	〃	母子保健活動④	健康上のリスクを持つ対象への支援(心身障害児・発達障害) II	看2
5月8日(水)	3	伊 藤	感染症予防活動②	感染症予防活動	看2
5月8日(水)	4	〃	成人保健活動①	成人保健の概念および歴史の変遷 成人保健施策と関係法規	看2
5月15日(水)	3	〃	成人保健活動②	成人各期の特徴と健康課題 健康問題とアセスメント	看2
5月15日(水)	4	〃	成人保健活動③	生活習慣病予防と保健師活動 (特定健診・保健指導および地域職域連携を含む)	看2
5月22日(水)	3	尾ノ井	高齢者保健活動①	高齢者保健の概念および歴史の変遷 高齢者保健施策と関係法規	看2
5月22日(水)	4	〃	高齢者保健活動②	高齢者の特徴と健康課題・健康問題とアセスメント 介護予防・要支援・要介護高齢者への保健師活動	看2
5月29日(水)	3	〃	高齢者保健活動③	今日的な課題と保健師活動 (認知症高齢者、ターミナルケア、高齢者虐待等)	看2
5月29日(水)	4	〃	精神保健活動 難病保健活動	精神障害をもつ人への支援 心の健康づくり 難病患者と家族への支援	看2
6月5日(水)	3	伊 藤	まとめ	事例検討 まとめ	看2

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義、演習のほか、DVD等の視聴覚教材を使用します。

7 評価方法

評価については講義にて説明を行います。

8 教科書・参考文献

『国民衛生の動向2017 / 2018年版』財団法人厚生統計協会, 2017

日本看護協会出版会 最新公衆衛生看護学 2018年版 総論

日本看護協会出版会 最新公衆衛生看護学 2018年版 各論 1 ※助産師課程の学生は購入不要

9 オフィスアワー（授業相談）

質問は随時受け付けますが、事前に予定を確認の上お願いします。

公衆衛生看護活動展開論Ⅱ

1 担当教員名

教 授 伊 藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)

非常勤講師

角 野 文 彦 (滋賀県健康医療福祉部 理事)

尾ノ井 美由紀 (宝塚大学 看護学部 教授)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期後半 2単位

3 学習目標

保健医療福祉行政の概要を理解すると共に、それを具現化する活動としての「保健師活動による地域づくり」に焦点をあてながら、公衆衛生やヘルスプロモーションなどの基盤となる概念、政策立案過程、組織的取り組みプロセスを理解する。

4 授業概要

地域における健康づくりのための、行政の仕組みと機能を理解し、それを推進するための保健医療福祉計画の実際を学ぶ。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内 容	教室
2019年					
6月5日(水)	4	伊 藤	地域特性に応じた活動論	へき地における公衆衛生看護活動 都市部における公衆衛生看護活動	看2
6月12日(水)	3	〃	ヘルスプロモーションと公共政策	ヘルスプロモーションと公共政策(理論)	看2
6月12日(水)	4	〃	ヘルスプロモーションと公共政策	ヘルスプロモーションと公共政策(実践)	看2
6月19日(水)	3	角 野	地域保健医療福祉計画の実際	滋賀県における取り組みⅠ	看2
6月19日(水)	4	〃	地域保健医療福祉計画の実際	滋賀県における取り組みⅡ	看2
6月26日(水)	3・4	尾ノ井	健康危機管理	健康危機管理	看2
7月3日(水)	3・4	伊 藤	地域づくりを推進する行政の仕組みと機能	地域づくりを推進する行政の仕組みと機能	看2
7月10日(水)	3・4	〃	保健医療福祉行政と地域包括ケア	保健医療福祉行政と地域包括ケア	看2
7月17日(水)	3・4	伊藤・ ゲストスピーカー	地域特性をふまえた活動の実際	地域特性をふまえた活動の実際	看2
7月24日(水)	3・4	尾ノ井	行政看護管理活動	行政看護管理活動	看2

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義、演習のほか、DVD等の視聴覚教材を使用します。

7 評価方法

評価については講義にて説明を行います。

8 教科書・参考文献

『国民衛生の動向2017/2018年版』財団法人厚生統計協会,
日本看護協会出版会 最新公衆衛生看護学 2018年版 総論
日本看護協会出版会 最新公衆衛生看護学 2018年版 各論2

9 オフィスアワー(授業相談)

随時受け付けますが、事前に予定を確認の上お願いします。

地域ケアシステム論

1 担当教員名

教 授 伊 藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)

非常勤講師

尾ノ井 美由紀 (宝塚大学 看護学部 教授)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期後半 1単位

3 学習目標

地域ケアシステムとは地域の人々の健康生活を支えるための多様な資源の秩序を持って組織化されたものである。

この講義では、地域活動を支えるケアシステムの違いがもたらす成果の効率性や公正性について具体例を通して学習し、システム構築の意義を理解するとともに、地域ケアシステムの構築に関わる知識・技術の基本的理解を深める。

4 授業概要

公衆衛生看護活動を展開するための方法をシステムとして連動して位置付け、体系化できる能力を養う。

5 授業内容

講義と演習を組み合わせて実施する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
6月17日(月)	4	伊 藤	地域ケアシステムの保健師活動における意義と位置づけ	地域ケアシステムの保健師活動における意義と位置づけ	看3
6月24日(月)	4	伊藤・大北全俊 (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻)	感染症と倫理的課題への対応	感染症と倫理的課題への対応	看3
7月1日(月)	4	伊藤・有馬和代 (大阪市東淀川区役所)	大阪市における地区活動	大阪市における地区活動	看3
7月8日(月)	4	伊 藤	地域包括ケアシステムの構築1	地域包括ケアシステムの構築1	看3
7月16日(火)	4	〃	地域包括ケアシステムの構築2	地域包括ケアシステムの構築2	看3
7月22日(月)	4	〃	地域包括ケアシステムの構築3	地域包括ケアシステムの構築3	看3
7月29日(月)	4	伊藤・ゲストスピーカー	地域ケア・提供システムの開発1	地域ケア・提供システムの開発1	看3
7月29日(月)	5	〃	地域ケア・提供システムの開発2	地域ケア・提供システムの開発2	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

1. 講義
2. グループワークによる演習

7 評価方法

1. 出席点 10%
2. 各回レポート 60%
3. 試験 30%

尚、全講義の3分の2以上の出席をもって評価要件とする。

8 学生へのメッセージ

公衆衛生看護活動は多くの専門職や関連機関と連携して行います。

システムとして捉えることで、地域住民に対する保健医療福祉活動における保健師の役割や専門性の深い理解につながることを期待しています。

公衆衛生看護活動展開論実習

1 担当教員名

教授 伊藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)
講師 興水 めぐみ (公衆衛生看護学講座)
助教 平和 和也 (公衆衛生看護学講座)

2 配当学年等

第4学年・編入第4学年 前期 4単位

3 学習目標

地域特性や地域住民の生活を理解し、地域住民の健康の維持・増進を目指した公衆衛生看護活動を実践する基礎的能力を養う。

4 授業概要

1. 保健所・市町・中核市で行われている地域保健活動を理解することができる。
2. 公衆衛生看護過程を理解することができる。
3. 個人・家族・集団の健康ニーズにそった公衆衛生看護活動の方法を理解することができる。
4. 地域ケアシステムのあり方を理解することができる。
5. グループ実習においてグループダイナミックスの学びを深める。

5 授業内容

詳細は実習要項を参照

6 評価方法

出席状況・実習態度・実習記録・レポートをもとに評価する

地域ケアマネジメント実習

1 担当教員名

教授 伊藤 美樹子 (公衆衛生看護学講座)
講師 興水 めぐみ (公衆衛生看護学講座)
助教 平 和也 (公衆衛生看護学講座)

2 配当学年等

第4学年・編入第4学年 前期 1単位

3 学習目標

市町保健センターおよび保健所での実習を通して、公衆衛生看護活動における看護管理について理解する。

4 授業概要

1. 保健医療福祉計画策定および施策化の機能を理解できる。
2. 各機関との連携・調整職の機能と必要性について理解できる。

5 授業内容

詳細は、実習要項を参照。

6 評価方法

出席状況・実習態度・実習記録・レポートをもとに評価する。

助產師課程



助産学概論

1 担当教員名

教授 立岡 弓子 (臨床看護学講座)

教授 喜多 伸幸 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期前半 1単位

3 学習目標

1. 助産の歴史や教育の現状、分娩と助産実践の現状、助産師の自立性について助産学の概論を広い視野から学習し、現在における助産師の役割と課題が理解できる。
2. 助産ケアを行う際の基盤となる考え方が理解できる。

4 授業概要

1. 助産とは何か、助産学とは何かについて理解するために、助産・助産師の定義について学習する
2. 助産の対象の理解と基盤となる理論について学習する
3. 助産における倫理・権利について学習する
4. 助産師教育における歴史と文化について、学習する

5 授業内容

1. 助産師について、定義・業務独占・教育・研究の側面から理解する
2. 助産師が行うケアの概念について理解する
3. 助産業務について、法律・関連法規から理解する
4. 助産実践の倫理、倫理原則、意思決定プロセスについて理解する

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月12日(金)	4	立岡	助産とは 助産を支える理論	<ul style="list-style-type: none"> ・助産行為 ・助産の基本概念 ・助産ケアモデル ・助産に用いる理論 (セルフケア理論、愛着理論、母親役割獲得理論) 	看実
4月19日(金)	4	〃	助産の対象と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・助産の対象の理解 ・リプロダクティブヘルス ・助産実践と倫理的意思決定 ・助産師の職業倫理 	看実
4月26日(金)	4	〃	助産の歴史と文化 助産学教育の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・産婆の職業化 ・産婆規則 ・産婆の活動 ・医制と産婆教育 ・お産と文化 	看実
5月17日(金)	4	〃	助産師の業務と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師免許 ・助産師の名称独占 ・助産師の業務独占 	看実
5月24日(金)	4	喜多	産科医療補償制度と助産業務	<ul style="list-style-type: none"> ・助産実践の現状と医学的評価 ・産科医療補償制度 	看実
5月31日(金)	4	立岡	助産師の能力とキャリア開発	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての助産 ・キャリア形成と能力 ・周産期医療体制と助産師の能力 ・クリニカルラダー ・ポートフォリオ 	看実
6月7日(金)	4	〃	助産師と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健の動向 ・健やか親子21 ・制度・政策への視点 	看実
6月14日(金)	4	〃	国際的母子保健の理解と 助産師の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に関する指標と動向 ・母子保健施策 ・母子保健に関する国際的活動 	看実

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義

7 評価方法

出席（10%）、筆記試験（90%）

8 教科書・参考文献

日本看護協会出版会：助産師基礎教育テキスト第1巻 助産概論.

日本看護協会出版会：新版 助産師業務要覧 第3版 I 基礎編 2018年版.

助産診断・技術学Ⅰ

1 担当教員名

教授	立岡弓子	(臨床看護学講座)
教授	喜多伸幸	(臨床看護学講座)
特任教授	高橋健太郎	(総合周産期母子医療センター)
講師	土川祥	(臨床看護学講座)
助教	中井抄子	(臨床看護学講座)
助教	花原恭子	(臨床看護学講座)
特任助教	中原小百合	(小児科)
助手	吉川芙雪	(臨床看護学講座)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 後期後半 3単位

3 学習目標

1. 助産診断学の概念を理解できる。
2. 妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期にあり正常経過をたどる対象への助産診断・技術について理解できる。
3. 妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期の正常経過から逸脱する場合の対象への助産診断・技術について理解できる。

4 授業概要

- ・妊娠期から産褥期、新生児期の正常な経過を理解するために、助産診断及び技術の基本的な知識・技術や思考過程について学習する。
- ・具体的事例を通して、授業での学びが臨床での判断やケアと深く結びついていることを学習する。
- ・参加型演習を通して、対象の正常経過を維持・増進し、正常からの逸脱を予防するための具体的ケアについて学習する。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
12月16日(月)	2	立岡・喜多	助産診断とは。妊婦へのヘルスアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・助産診断の概念・定義・特徴 ・妊娠期助産診断の特徴 ・妊娠期の経過診断・健康生活診断 	看実
12月16日(月)	3	立岡・喜多・花原・中井・吉川	妊娠高血圧症候群の助産診断とケア。妊娠糖尿病の助産診断とケア	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠高血圧症候群の助産診断 ・子癇発作への緊急対応 ・妊娠糖尿病の助産診断と分娩への影響 	看実
12月16日(月)	4	花原・中井・吉川	分娩期：正常分娩経過と助産診断	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩期の助産診断と特徴 ・正常分娩経過の経過診断と健康生活診断 	看実
12月19日(木)	3	花原・中井・吉川	分娩期：正常分娩における胎児の下降と回旋	<ul style="list-style-type: none"> ・胎位、胎向 胎勢の助産診断技術 ・児頭の回旋の助産診断 ・骨盤の形態と解剖 ・児頭の下降の機序と評価 	看実
12月19日(木)	4	吉川・中井・花原	内診の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・内診の目的 ・内診のタイミング ・内診の助産技術 ・内診所見にもとづく正常分娩経過のアセスメント 	看実
2020年					
1月6日(月)	2	喜多	胎児心拍モニタリングⅠ	<ul style="list-style-type: none"> ・胎児心拍数陣痛図の判読 ・胎児機能不全の定義 ・胎児心拍数波形のレベル分類とその対応 	看実
1月6日(月)	3	〃	胎児心拍モニタリングⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ・脳性麻痺事例からみた胎児心拍数陣痛図の判読演習 	看実
1月6日(月)	4	立岡・喜多・花原・中井・吉川	アクティブラーニング(胎児心拍モニタリングの助産診断)	<ul style="list-style-type: none"> ・常位胎盤早期剥離の早期助産診断と初期対応 	看実
1月9日(木)	3	高橋・喜多・中井	胎児発育と助産診断	<ul style="list-style-type: none"> ・超音波診断について ・胎児の大きさと位置 ・羊水量・胎盤の位置 ・骨の形成状態 ・胎児奇形の診断 	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2020年 1月9日(木)	4	高橋・喜多・中井	分娩期：会陰切開・裂傷の縫合の実際	<ul style="list-style-type: none"> 会陰裂傷の分類と縫合 持針器の扱い方 縫合 <ul style="list-style-type: none"> マットレス縫合 連続縫合 	看実
1月16日(木)	3	立岡	分娩期：回旋異常の助産診断	<ul style="list-style-type: none"> 第1回旋 第2回旋の異常 定位異常 進入異常 	看実
1月16日(木)	4	花原・中井・吉川	分娩期：パルトグラムを用いた分娩経過予測	<ul style="list-style-type: none"> 分娩経過曲線 パルトグラムについて パルトグラムの記入方法 パルトグラムを用いた分娩経過予測 	看実
1月20日(月)	2	〃	分娩期：分娩経過と記録	<ul style="list-style-type: none"> 助産計画の立案と記録 分娩経過記録 助産記録 	看実
1月20日(月)	3	〃	分娩期：正常分娩経過と助産診断	<ul style="list-style-type: none"> 事例演習：Paper patient/Role play 	看実
1月20日(月)	4	立岡	新生児期：新生児と助産診断	<ul style="list-style-type: none"> 新生児期の助産診断の特徴 新生児期の経過診断・健康生活診断 出生直後から生後24時間の新生児の助産診断 分娩外傷 	看実
1月23日(木)	3	花原・中井・吉川	分娩期：正常経過からの逸脱と助産診断	<ul style="list-style-type: none"> 事例演習：Paper patient/Role play 	看実
1月23日(木)	4	〃	分娩期：帝王切開時の助産診断	<ul style="list-style-type: none"> 帝王切開術の適応 緊急帝王切開術とその前後のアセスメント・ケア 	看実
1月27日(月)	2	立岡	産褥期：母乳哺育と助産診断1	<ul style="list-style-type: none"> なぜ母乳が必要か 乳房の解剖と生理 乳汁の産生・分泌・ホルモン 乳房の生理的緊満 母乳と喫煙・アルコール・感染・薬・アレルギー 母乳の保存・搾乳 	看実
1月27日(月)	3	〃	産褥期：母乳哺育と助産診断2	<ul style="list-style-type: none"> 乳頭・乳房トラブルと授乳の実際 	看実
1月27日(月)	4	喜多・立岡	分娩期：シミュレーターを用いた器械分娩の実際(医師臨床教育センターにて実施予定)	<ul style="list-style-type: none"> 急遂分娩の実際 吸引分娩 鉗子分娩 子宮底圧迫法 	看実
1月30日(木)	3	立岡・喜多・花原・中井・吉川	産褥期：産褥経過と助産診断。アクティブラーニング	<ul style="list-style-type: none"> 分娩後24時間の産褥経過の助産診断 産科出血への助産ケア 	看実
1月30日(木)	4	〃	多胎妊娠・羊水の異常の分娩管理と助産ケア	<ul style="list-style-type: none"> 多胎分娩の助産技術 羊水過多 羊水過小の分娩対応と助産技術 	看実

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義、技術演習、事例演習、グループワーク、発表

7 評価方法

出席(10%)、課題(10%)、筆記試験(80%)により評価する(定期試験で60%以上をとる必要がある)。全回出席を前提とする。やむを得ず欠席する場合は担当教員に連絡すること。

8 教科書・参考文献

教科書：

森 恵美 編：助産師基礎教育テキスト4(妊娠期の診断とケア)。日本看護協会出版会、2015。

町浦美智子；助産師基礎教育テキスト5(分娩期の診断とケア)。日本看護協会出版会、2015。

立岡弓子 編著：周産期ケアマニュアル。新訂版第2版、サイオ出版、2014。

立岡弓子 編著：乳房ケアのエビデンス。日総研出版、2013。

横尾京子 編：助産師基礎教育テキスト6(産褥期のケア、新生児・乳幼児期のケア)。日本看護協会出版会、2015。

参考文献：

医療情報科学研究所 編：病気がみえるVol.10産科。第3版、メディックメディア、2013。

吉沢豊予子・鈴木幸子 編著：マタニティアセスメントガイド。新訂第2版、真興交易(株)医書出版部、2012。

9 学生へのメッセージ

助産師の立場で行う臨床診断、そしてこれに基づく助産技術(助産ケアの実際)は、助産師の専門性を維持する上で最も重要な部分です。責任をもって正常範囲内にある母子のケアに当たることができるよう、また正常からの逸脱を的確に判断できるよう、臨床実習を前にしっかりと学んでください。講義以外の授業形式もありますので、積極的な参加を望みます。

助産診断・技術学Ⅱ

1 担当教員名

教授	立岡弓子	(臨床看護学講座)
教授	喜多伸幸	(臨床看護学講座)
講師	土川祥	(臨床看護学講座)
助教	中井抄子	(臨床看護学講座)
助教	花原恭子	(臨床看護学講座)
助手	柳貴英	(小児科)
助手	吉川芙雪	(臨床看護学講座)

2 配当学年等

第4学年 前期 2単位

3 学習目標

- 分娩期・新生児期における助産診断・技術を学ぶ。
- 分娩期・生児期に必要なアセスメントの視点と助産ケアを学ぶ。
- 分娩介助技術を習得する。
- 妊娠期に必要な健康教育を学ぶ。
- 妊娠期・産褥期に必要な保健指導を学ぶ。

4 授業概要

- 分娩介助と新生児ケアを通して分娩期・新生児期における助産診断・技術を教授する。
- 分娩期・新生児期における事例のアセスメントと診断を行い、助産ケアについて考える。
- 妊娠期の母親(両親)教室を企画し、ロールプレイを行う。
- 妊娠期・産褥期の事例をアセスメントし、必要な保健指導をロールプレイにて行う。

5 授業内容

1. 分娩期・新生児期の助産診断と技術
2. 保健指導・健康教育に関する援助技術

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月4日(木)	1	花原・中井・吉川	妊娠期・産褥期の保健指導	貧血、体重増加過多、産後の家族計画、母乳分泌不良・児の体重増加不良に対する保健指導の計画 案作成・媒体作成	看実
4月4日(木)	2	立岡	妊娠期の保健指導	GDMに対する保健指導ロールプレイ	看実
4月4日(木)	3	花原・中井・吉川	妊娠期の健康教育	母親教室・両親教室の意義、企画、助産師の役割	看実
4月5日(金)	1	〃	新生児訪問	新生児訪問の方法とロールプレイ	看実
4月5日(金)	2	〃	妊娠期・産褥期の保健指導 新生児訪問	保健指導のロールプレイ	看実
4月8日(月)	1	花原	妊娠期の健康教育	母親教室の企画案作成	看実
4月8日(月)	2	花原・中井・吉川	分娩期のケア	分娩期に必要な産痛緩和・呼吸法のエビデンスと効果	看実
4月8日(月)	3	中井・立岡・喜多・花原・吉川	分娩介助	分娩介助デモンストレーション	看実
4月9日(火)	1	中井・花原・吉川	分娩介助	分娩室の整備・薬品の管理、清潔物品の準備	看実
4月9日(火)	2	〃	分娩介助	清潔野作成 肛門保護と会陰保護	看実
4月9日(火)	3	中井・花原・吉川・立岡・喜多	分娩介助	児頭・軀幹・胎盤の娩出 分娩後2時間までのケア	看実
4月10日(水)	1	〃	分娩介助	児頭・軀幹・胎盤の娩出 分娩後2時間までのケア (創部の観察、1・2時間値、帰室)	看実
4月10日(水)	2	〃	分娩介助	清潔野作成～分娩2時間までのケア(創部の観察、1・2時間値、帰室) まとめ	看実
4月11日(木)	1	〃	出生直後の新生児ケア	出生直後の新生児ケア	看実
4月11日(木)	2	柳・立岡・花原・中井・吉川	新生児蘇生法	新生児蘇生法	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月11日(木)	3	中井・花原・ 吉川・立岡・喜多	分娩介助	人工破膜、剃毛、導尿、胎盤計測	看実
4月12日(金)	1	〃	分娩介助	人工破膜、剃毛、導尿、胎盤計測	看実
4月12日(金)	2	立岡	臍帯血の評価	臍帯血の採取・評価、早期母児接触	看実
4月22日(月)	1・ 2	中井・花原・吉川	分娩介助	清潔野作成～分娩2時間までのケア まとめ	看実
4月22日(月)	3	立岡・喜多	骨盤位分娩 麻酔分娩	・ファイトスメリー法 ・Bracht法 ・硬膜外麻酔分娩 ・バランス麻酔	看実
4月23日(火)	1・ 2	立岡・喜多・ 中井・花原・吉川	分娩期の事例	事例の助産診断発表	看実
4月23日(火)	3	花原・中井・吉川	妊娠期の健康教育	母親教室の媒体作成・リハーサル	看実
4月24日(水)	1	喜多 (医師臨床教育セ ンターにて実施予 定)	胎児超音波画像の描出 と判読(医師臨床教育 センターにて実施予定)	・胎児構造異常 ・羊水異常 ・胎児発育 ・胎児血流	看実
4月24日(水)	2	花原・中井・ 吉川・立岡	妊娠期の健康教育	母親教室のロールプレイ	看実
4月25日(木)	1	〃	妊娠期の健康教育	母親教室のロールプレイ	看実
4月25日(木)	2・ 3	立岡・喜多・ 中井・花原・吉川	技術試験	分娩介助技術試験	看実
4月26日(金)	1	〃	筆記試験	総合試験	看実

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式、演習形式、グループワークの形式を取る。
スライド・DVDなど適宜使用する。

7 評価方法

演習終了後に分娩介助の技術試験を実施する。出席状況10%、ロールプレイ20%、筆記試験50%、技術試験20%により評価する。
全回出席を前提とする。
やむを得ず欠席する場合は担当教員に連絡すること。

8 教科書・参考文献

教科書：

山本あい子 責任編集：助産師基礎教育テキスト1～7，日本看護協会出版会，2014.

立岡弓子 編：周産期ケアマニュアル 第2版，サイオ出版，2014.

北川真理子他 編：今日の助産 改訂第3版，南江堂，2013.

参考文献：

細野茂春 監修：新生児蘇生法テキスト 改訂第3版，メジカルビュー，2016.

これまで学習した助産師課程の講義資料

ウィメンズヘルス演習

1 担当教員名

教授	喜多伸幸	(臨床看護学講座)
教授	村上節	(産科学婦人科学講座 母子)
教授	立岡弓子	(臨床看護学講座)
准教授	木村文則	(産科学婦人科学講座 女性)
准教授	梅田朋子	(地域医療教育研究拠点)
講師	土川祥	(臨床看護学講座)
助教	中井抄子	(臨床看護学講座)
助教	花原恭子	(臨床看護学講座)
助手	吉川芙雪	(臨床看護学講座)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 後期後半 1単位

3 学習目標

- Women's Healthの概念と助産師の役割を学ぶ。
- 女性への暴力、不妊症、尿失禁、女性のメンタルヘルスに対する助産師の役割・支援について学ぶ。
- 生殖医療に関する倫理と助産師の役割を学ぶ。
- 思春期を対象とした健康教育の企画・運営方法を学ぶ。

4 授業概要

- Women's Healthの概念について教授する。
- 各ライフステージにある女性の健康問題として暴力、不妊症、尿失禁、うつ病を取り上げ、助産師の役割・支援について演習を通じて教授する。
- 生殖補助医療の現状と課題、助産師としての役割についてグループワークを行い、討論する。
- 思春期を対象とした健康教育の企画・運営方法を教授し、実習に向けてロールプレイできる。

5 授業内容

- Women's Healthについての講義と演習
- 女性の健康問題についての講義、グループワーク、発表
- 生殖医療に関する講義、事例検討、グループワーク
- 思春期を対象とした健康教育についての講義、企画、ロールプレイ

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
12月17日(火)	1	立岡	Women's Healthと助産師の役割	ウィメンズヘルスとは	看実
12月17日(火)	2	喜多・吉川	フィジカルイグザミネーション	助産師の役割とは 婦人科診察 細菌検査	看実
12月20日(金)	3	喜多・花原・吉川	ライフサイクル女性の身体1	骨盤腹膜炎事例	看実
12月20日(金)	4	〃	ライフサイクル女性の身体2	過多月経事例	看実
12月24日(火)	1	喜多・花原・中井・吉川	人工妊娠中絶・性交感染症	シミュレーターによる事例の演習	看実
12月24日(火)	2	立岡・中井・花原・吉川	性暴力被害女性のフィジカルアセスメントと助産師の役割	証拠採取 カウンセリング技法	看実
2020年					
1月7日(火)	1	喜多	子宮頸がん検診1	子宮がん検診 HPVワクチン	看実
1月7日(火)	2	喜多・花原・中井	子宮頸がん検診2	シミュレーターによる子宮がん検診の実際	看実
1月10日(金)	3	喜多・花原	産後うつとヘルスケア	事例の演習	看実
1月10日(金)	4	喜多・花原・中井	更年期障害とヘルスケア	尿失禁 骨粗鬆症 高絞血症	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2020年					
1月14日(火)	1	村上・喜多	不妊症	不妊症、不育症、がん妊孕	看実
1月14日(火)	2	〃	婦人科疾患	月経異常、子宮筋腫、子宮内膜症、子宮内膜ポリープ 更年期障害	看実
1月21日(火)	1	木村・喜多・中井	不妊治療と倫理	不妊治療における倫理問題と支援	看実
1月21日(火)	2	〃	生殖補助医療	生殖補助医療の実際・倫理	看実
1月24日(金)	3	梅田・喜多・中井	乳腺の異常	乳腺の異常の診断・治療・セルフチェック	看実

6 評価方法

出席状況10%、定期試験50%、プレゼンテーション20%、ロールプレイ20%

7 教科書・参考文献

教科書：

山本あい子他編：助産師基礎教育テキスト1～7，日本看護協会出版会

参考文献：

ライフステージと健康 I の講義資料

立岡弓子 編著；女性の健康と看護，サイオ出版，2017

北川真理子他 編：今日の助産，南江堂，第3版，2013.

日本産科婦人科学会／日本産婦人科医会 編：産婦人科診療ガイドライン 産科編2017.

周産期病態学 I

1 担当教員名

教授 喜多伸幸 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期前半 1単位

3 学習目標

周産期における正常妊娠から逸脱した疾患の要因および病態について理解を深める。

1. 周産期におけるハイリスク妊娠の病態について理解できる。
2. 周産期に発症する合併症への理解を深め、さらに薬理学的作用から母体や胎児への影響ならびに妊娠・分娩への影響について理解できる。

4 授業概要

1. 妊娠期の異常に関して、病態と生理的機序について講義形式にて学習を展開する。
2. 妊娠期の異常について、病態と生理的機序から妊産婦と新生児に及ぼす影響について考えられるように事例展開とシミュレーション形式にて教授し、必要な助産ケアについて学習できるようにする。
3. 検討を取り入れながら、時系列ごとに助産診断が行えるように参加型形式にて学習を行う。

5 授業内容

1. ハイリスク妊娠の生理学・解剖学・組織学的側面を理解する。
2. ハイリスク妊娠経過における病態を根拠に、助産診断過程を立案し、助産目標・助産ケアについて学習する。
3. 妊娠合併症に関する病態を理解し、妊娠・分娩・産褥経過への影響、胎児発育への影響について学習する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月12日(金)	5	喜多	異常妊娠その1	異所性妊娠 流産 妊娠悪阻	看3
4月19日(金)	5	〃	異常妊娠その2	早産 切迫早産	看3
4月26日(金)	5	〃	異常妊娠その3	妊娠高血圧症候群	看3
5月17日(金)	5	〃	異常妊娠その4	妊娠糖尿病	看3
5月24日(金)	5	〃	異常妊娠その5	多胎妊娠 羊水の異常	看3
5月31日(金)	5	〃	異常妊娠その6	胎児発育異常	看3
6月7日(金)	5	〃	異常妊娠その7	胎児機能評価 心拍数モニタリング エコー	看3
6月14日(金)	5	非常勤講師(予定)	異常妊娠その8	胎盤の異常	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義、演習

7 評価方法

出席(10%)、定期試験(90%)

8 教科書・参考文献

教科書:

荒木勉:最新産科学, 正常編 異常編 文光堂, 2008.

北川真理子他編:今日の助産, 南江堂

立岡弓子編:周産期ケアマニュアル, サイオ出版

参考文献:

医療情報科学研究所編:病気が見えるVol.10産科, メディックメディア

日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修 産婦人科診療ガイドライン2017.

周産期病態学Ⅱ

1 担当教員名

教授 喜多 伸 幸 (臨床看護学講座)
 特任講師 越田 繁 樹 (総合周産期母子医療センター)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 前期前半 1単位

3 学習目標

1. 周産期における基礎的薬理学を理解しその助産ケアについて学ぶ。
2. 胎児機能不全の要因・病態の理解と母児管理ならびに助産ケアについて学ぶ。
3. 妊娠期・分娩期の合併症妊娠などの偶発事例を通して、助産ケアを学ぶ。
4. 新生児期における異常の要因、病態、管理と助産ケアについて学ぶ。

4 授業概要

1. 周産期における基礎的薬理学を理解しその助産ケアを教授する。
2. 胎児機能不全の要因・病態の理解と母児管理ならびに助産ケアを教授する。
3. 妊娠期・分娩期の合併症妊娠などの偶発事例の助産ケアを教授する。
4. 新生児期における異常の要因、病態、管理と助産ケアを教授する。

5 授業内容

1. 周産期における薬理学の講義、事例を用いたアセスメント
2. 胎児機能不全に関する講義、事例を用いたアセスメント
3. 妊娠期・分娩期のハイリスク事例のアセスメントと必要なケアのロールプレイ
4. ハイリスク新生児についての講義、胎児機能不全やハイリスクで出生した新生児の事例アセスメント

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
4月9日(火)	3	喜多	合併症妊娠その1	心疾患 内分泌疾患 膠原病	看3
4月16日(火)	3	〃	合併症妊娠その2	感染症 TOACH症候群	看3
4月23日(火)	3	〃	産科出血	弛緩出血 産科DIC 羊水塞栓症	看3
5月7日(火)	3	〃	分娩誘発・促進	過期産 分娩誘発・促進の実際	看3
5月14日(火)	3	越田	新生児の異常	低出生体重児 呼吸障害 循環障害 黄疸	看3
5月21日(火)	3	喜多	産褥期の異常	子宮復古不全 産褥晩期出血 産褥熱 産褥血栓塞栓症 尿路系疾患	看3
5月28日(火)	3	〃	周産期のメンタルヘルスケア	産褥精神障害	看3
6月4日(火)	3	〃	周産期の薬理学	分娩誘発・促進剤 止血薬 降圧剤 抗菌薬	看3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式

7 評価方法

出席状況10%、定期試験90%により評価する（定期試験で60%以上をとる必要がある）。
全回出席を前提とする。やむを得ず欠席する場合は担当教員に連絡すること。

8 教科書・参考文献

教科書：

山本あい子他 編：助産師基礎教育テキスト 1～7. 日本看護協会出版会, 2015.

参考文献：

我部山キヨ子 他 編：助産学講座 1～10. 医学書院.

北川真理子他 編：今日の助産. 第3版, 南江堂, 2013.

日本産科婦人科学会／日本産婦人科医会 編：産婦人科診療ガイドライン産科編. 2017.

荒木 勤 著：最新産科学 正常編・異常編 改定第22版, 南江堂.

9 学生へのメッセージ

病態についての理解を深めた後、事例を通して助産ケアの実際について学びます。助産学実習が安全に行う事が出来る知識を習得します。

助産マネジメント学

1 担当教員名

教授 立岡 弓子 (臨床看護学講座)
 教授 一杉 正仁 (社会医学講座 法医学部門)
 助教 中井 抄子 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年 後期後半 1単位

3 学習目標

助産業務を遂行するために必要な法規やガイドラインについての理解を深める。

1. 助産師が助産業務を遂行する活動場所の特性、責任、保護、役割、機能について理解できる。
2. 助産師に必要なマネジメント機能について、情報管理、安全危機管理、労務管理機能から理解できる。
3. 助産師の業務改善と課題について理解できる

4 授業概要

1. 助産師の業務と義務について、法律に規定された義務と倫理綱領に基づく義務から学習する。
2. 助産師が業務を遂行するうえで科せられる責務を整理し、関連法規と連動させたケーススタディから学習を深める。
3. 助産師の業務について、助産行為に特化した妊娠・分娩・産褥期・新生児期の責務と対応について、助産業務ガイドラインから学習する。

5 授業内容

1. 助産管理の概念・チーム医療の在り方
2. 助産師の責任・業務に関連する法的義務・規則
3. 助産師の情報管理、組織管理
4. 産科病棟・助産所の管理・運営の基本
5. 院内助産の管理・運営の基本

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
2019年					
12月19日(木)	5	立岡	助産師の活動場所の特性と業務管理1	<ul style="list-style-type: none"> ・助産管理とは ・助産業務とマネジメント能力 ・地域周産期医療センター ・総合周産期医療センター ・MFICU 	看実
12月20日(金)	5	〃	助産師の活動場所の特性と業務管理2	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期医療と情報管理 ・安全管理 ・労務管理 	看実
2020年					
1月9日(木)	5	立岡・ 白井康恵 (附属病院 MFICU師長)	院内助産院の開業の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠リスクスコア ・院内助産の背景と開業 ・他職種協同 ・開院の実際と課題 ・助産師ラダー 	看実
1月10日(金)	5	立岡	助産師の活動場所の特性と業務管理3	<ul style="list-style-type: none"> ・助産所の開設と法的義務・規則 ・助産業務とリスクマネジメント 	看実
1月16日(木)	5	〃	助産業務ガイドライン1	<ul style="list-style-type: none"> ・助産業務ガイドライン ・妊婦管理適応リスト ・医療安全リスト ・分娩経過正常逸脱症例に対する助産院の対応と役割 	看実
1月23日(木)	5	中井	助産業務と安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・助産行為と医療安全 ・助産業務と安全危機管理 ・感染管理 ・災害と助産師の業務 ・災害時の分娩中の対応 	看実
1月24日(金)	5	立岡	助産業務ガイドライン2	<ul style="list-style-type: none"> ・出生直後の新生児逸脱症例に対する助産師の対応と役割 ・分娩後2時間の異常出血症例への助産師の対応と役割 ・助産院での脳性麻痺症例の実際 	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	内 容	教室
2020年 1月30日(木)	5	一杉・立岡	妊婦の外傷	<ul style="list-style-type: none"> • 妊婦の交通外傷 • 死胎検案について • 妊婦の突然死 	看実

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義、グループ発表

7 評 価 方 法

出席 (10%)、グループ発表 (10%)、筆記試験 (80%)

8 教科書・参考文献

日本看護協会出版会；助産師業務要覧（基礎編）

日本看護協会出版会；助産師基礎教育テキスト第3巻，周産期における医療の質と安全.

日本助産師会；助産業務ガイドライン2014

助産学実習

1 担当教員名

教授 立岡 弓子 (臨床看護学講座)
教授 喜多 伸幸 (臨床看護学講座)
講師 土川 祥 (臨床看護学講座)
助教 中井 抄子 (臨床看護学講座)
助教 花原 恭子 (臨床看護学講座)
助手 吉川 芙雪 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第4学年 前期 8単位

3 学習目標

1. 妊産褥婦と胎児・新生児、及びその家族の生理的な変化と対象の特性を理解することができる。
2. 分娩期にある対象のフィジカルアセスメントから分娩経過診断、健康生活診断を行い、統合的助産診断を展開した上で、助産ケアを実践することができる。
3. 母体と胎児の生理的機能を促進しながら、安全、安寧な分娩介助を実践することができる。
4. 分娩後の母体の生理的年化について、産褥早期を中心とした助産診断過程を展開し、必要な助産ケアを実施することができる。
5. 新生児の特性を理解し、出生直後の新生児の胎外生活適応状態を診断しながら、健康状態を維持するためのケアが実践できる。
6. 助産師の業務範囲と義務、法的責任を理解した上で、助産業務管理の実際について理解することができる。

4 授業概要

助産ケアの主たる対象となる妊産褥婦と胎児・新生児、及びその家族の特性を理解し、助産診断に基づいた適切な助産ケアの提供と分娩介助を実践するための基本的な能力を養う。

5 授業形式・視聴覚機器の活用

臨地実習

6 評価方法

1. 妊産褥婦の理解 10%
2. 助産過程の展開 30%
3. 分娩介助技術 40%
4. 助産師の役割と業務・周産期医療現場への関心 10%
5. 実習態度 10%

7 教科書・参考文献

講義にて使用した資料、教科書、参考書

8 学生へのメッセージ

助産学の理論に基づいて、周産期の助産技術を学びます。学内の演習において技術の確認をした上で、実習に臨みます。

マタニティサイクル支援実習

1 担当教員名

教授 立岡 弓子 (臨床看護学講座)
講師 土川 祥 (臨床看護学講座)
助教 中井 抄子 (臨床看護学講座)
助教 花原 恭子 (臨床看護学講座)
助手 吉川 芙雪 (臨床看護学講座)

2 配当学年等

第4学年 通年 2単位

3 学習目標

1. 妊娠末期から産後1ヵ月にかけて1母子を受け持ち、経過に応じた継続的な助産診断とケアを実践することができる。
2. 継続事例の経過や生活を総括的にアセスメントし、対象に必要な保健指導を実践できる。
3. 妊婦とその家族を対象とした出産準備教育を実践できる。
4. 地域で子育てをする母親とその家族のニーズを理解し、対象への支援と助産師としての役割を理解することができる。

4 授業概要

1. 継続事例実習：助産学実習を行う施設の産科外来でローリスクの初産婦を受け持ち、妊婦健診の見学・実施と保健指導、分娩介助、産褥・生後入院時ケア、退院後のフォローアップ、1ヶ月健診の実施と保健指導を行う。
2. 出産準備教育の見学と実施：市町村で実施されている出産準備教育を見学した後、協力医療機関内で実施されている出産準備教室を見学し、同医療機関内での教室を企画立案、実施し、評価する。
3. 子育て支援実習：乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）、および子育て支援団体（自助サークルやNPOなど）が行う事業を見学する。

5 授業形式・視聴覚機器の活用

臨地実習

6 評価方法

継続事例の事例記録（50%）、継続事例以外の実習記録（20%）、妊娠期集団指導の展開（20%）、実習態度（10%）

7 教科書・参考文献

講義にて使用した資料、教科書、および参考書

8 学生へのメッセージ

継続事例実習では、妊娠期から産後・生後1ヶ月までの対象を継続的に受け持ち、深く関わらせて頂きます。対象が肯定的な出産体験をされ、母親として成長し育児を楽しまれるよう、個別性を十分に踏まえた助産ケアを提供していきましょう。

ウィメンズヘルス実習

1 担当教員名

教 授	喜 多 伸 幸	(臨床看護学講座)
教 授	立 岡 弓 子	(臨床看護学講座)
講 師	土 川 祥	(臨床看護学講座)
助 教	中 井 抄 子	(臨床看護学講座)
助 教	花 原 恭 子	(臨床看護学講座)
助 手	吉 川 芙 雪	(臨床看護学講座)

2 配当学年等

第4学年 前期 1単位

3 学習目標

1. 思春期の健康問題とニーズを把握し、健康教育の理論を用いて集団を対象とした健康教育を企画することができる。
2. 思春期を対象としたプレコンセプショナルヘルス・ケアの概念を取り入れた健康教育を通して、効果的な健康教育の実践を理解することができる。
3. 乳腺外来を受診する女性の診療を通して、対象の健康問題と必要なケアについて理解することができる。
4. 妊孕外来において治療を受ける女性とその家族の身体的・精神的状態を把握し、助産師としての役割について理解することができる。
5. 各ライフステージにある女性の健康問題を理解し、助産師としての支援について考えることができる。

4 授業概要

1. 思春期の性に関する健康問題とニーズを把握し、健康教育の理論を用いて集団を対象とした健康教育を企画する。また、思春期を対象としたコンセプショナルヘルス・ケアの概念を取り入れた健康教育を通して、効果的な健康教育の実践を学ぶ。
2. 乳腺外来を受診する女性の診療を通して、対象の健康問題と必要なケアについて考える。
3. 生殖補助医療の実際を学び、治療を受ける女性とその家族の身体的・精神的状態を把握し、助産師としての役割について学ぶ。
4. 各ライフステージにある女性の健康問題と助産師としての支援について学ぶ。
(詳細は実習要項参照)

5 授業内容

1. 思春期を対象とした性教育の見学、企画、実施
2. 乳腺外来、妊孕外来での実習

6 授業形式・視聴覚機器の活用

臨地実習

7 評価方法

評価方法は、本学規定のウィメンズヘルス実習評価表に基づき、学生の自己評価・教員評価から行う。評価用紙は別紙参照とする。

8 教科書・参考文献

教科書：助産師課程で指定しているテキスト

参考文献：助産師課程の講義資料